

UFOと宇宙

1978

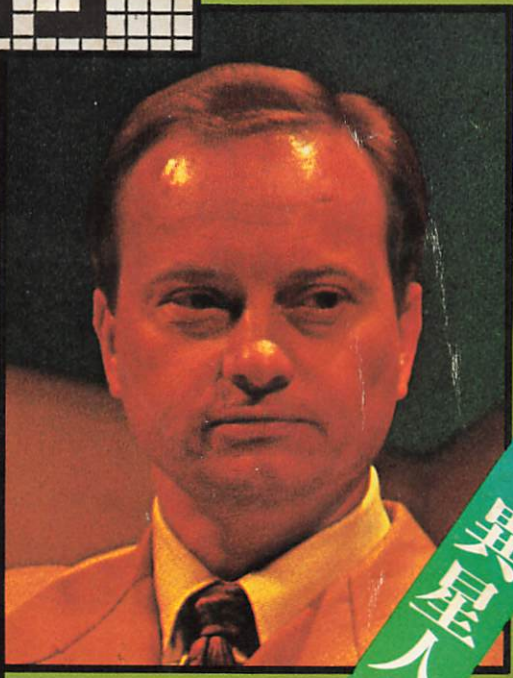
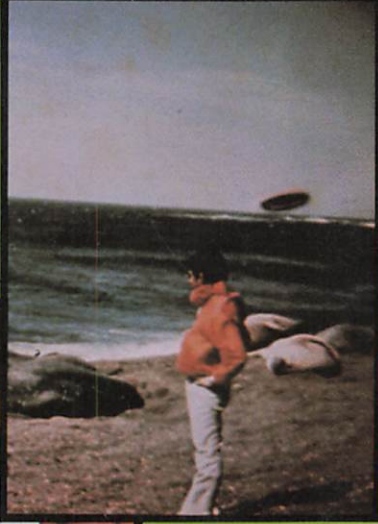
新年号

独 占 フレッド・ステックリングに聞く
インタビュー



カラー/これが
宇宙人セムジ
ャーゼの顔!

共産圏
UFO
事件簿



シベリア大爆
発の謎を追う

ハロー・異星人、こちら地球

札幌で異星人と接触! 第2弾

創刊30号
記念号



武部本一郎画

文藝春秋デラックス

2月号 12月24日発売

スペース・オペラの時代

『スペ・オペ』イラスト・フェスティバル

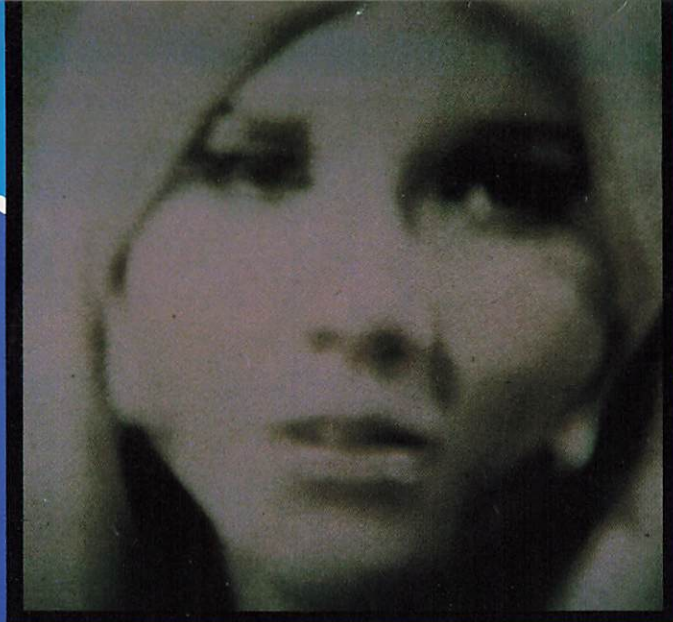
- 宇宙活劇の原点 ●火星大元帥・ジョン・カーター ●レンズマン
- ベム=宇宙の怪物 ●キャプテン・フューチャー〜ペリー・ローダン

宇宙SF映画年代記 禁断の惑星 スター・ウォーズ
スペース1999 惑星大戦争etc.

『スター・トレック』マイ・コン遊び 小松左京

銀河的放談=スペ・オペとぼくたち

豊田有恒 田中光二 山田正紀 <司会>石川喬司



●セムジャーゼは本当に美人だった

◀これが惑星エラから来た金髪の美女セムジャーゼ。耳が小さめで、耳たぶがないというが、ちっとも違和感がない。かすかな青みを帯びたキメ細かな肌と、大きなブルーの瞳が印象的。このうら若き女性が、地球の年齢になおすと350歳にもなるという。

▼美しいスイスの山並みを背景にして飛行するブレアデスの宇宙船。メイヤー氏が目撃し、撮影した円盤には、すくなくとも4種類のタイプがあるという。

新着カラー写真

UFO

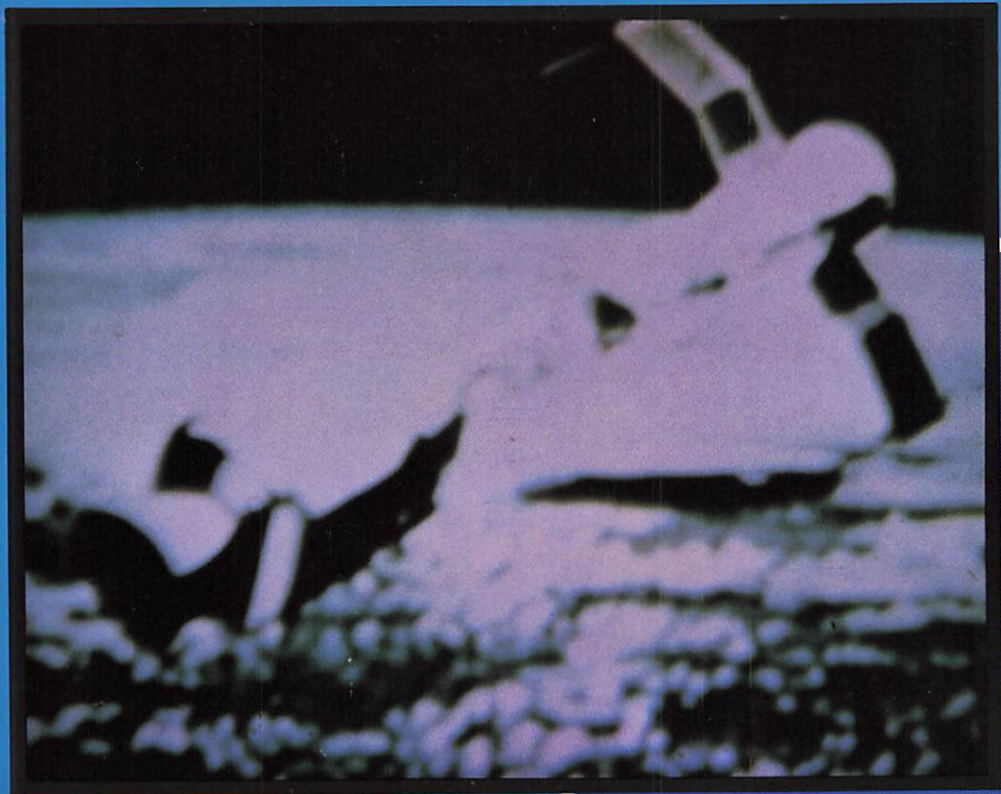
●スイス・コンタクト事件●

宇宙の美女と



●円盤の中から撮影に成功！

▼1975年7月17日、メイヤー氏はブレアデスの偵察用宇宙船に同乗し、地球を周回しながらドッキングするアポロとソユーズの決定的瞬間の撮影に成功した。彼は偵察用宇宙船や母船に何度となく同乗している。



◀スイス、ヒンウィルの近く、松林に囲まれた広い草地に残る円盤の着陸痕。丈の高い草が円形になぎ倒されているのが手にとるようにわかる。

スイス、チューリッヒ郊外のヒンウィル村に住むエドアルド・メイヤー氏は、自宅付近の草地に美しいUFOが着陸するのを目撃した。

いまから3年前、1975年1月28日のことである。円盤の中から姿を現した女性宇宙人はセムジャーゼと名のり、ブレアデス星団の惑星エラから来たという。これがメイヤー氏とセムジャーゼの最初のコンタクトだった。以後コンタクトは18回以上も続き、彼は1,000ページを越すノートを取り、200枚以上の写真を撮影している。

(本誌22号～24号の記事を参照)
この驚くべきコンタクト事件について、もっと詳しい内容が待ち望まれていたが、つい最近、海外より最新情報が到着した。そこで、新年号にふさわしく、興味あふれるカラー写真4点を選んでご覧いただくことにした。なお、記事は次号に掲載の予定である。

宇宙の美女と **UFO**



Mt. Bachelor

私は ビッグ・フット の足跡を見た!

アメリカ西海岸
の陽気な友人

●カメラ・文
清水一行

長さ35cm、幅20cmの巨大な
足跡が木立の方へ…

「なんだ、ホートランドに居るといっ
のに、遊びに来ないなんて、友だちら
しくもないわー」



マウント・パチェラースキー場の社長であるビル・ヒーリー氏より電話があったとき、私は、心から申し訳ないと思っていた。

四か月のアメリカ滞在がそろそろ終わりに近づいて、私は西海岸のオレゴン州ポートランドでアメリカ最後の宿をとっていたのである。一九七七年一月下旬のことであった。

ビル・ヒーリー氏とは数年前、あるスキー雑誌の仕事で彼のスキー場に取材に行つて以来、なんとなく気が合い、それ以後毎年のように彼とは顔を合せていた。それがその時だけは仕事に追われ、連絡をとることも怠つていたのである。

「ポートランドから私の居るバンドまでなど、すくだよ。どうだ、明日にでも寄らないか？」

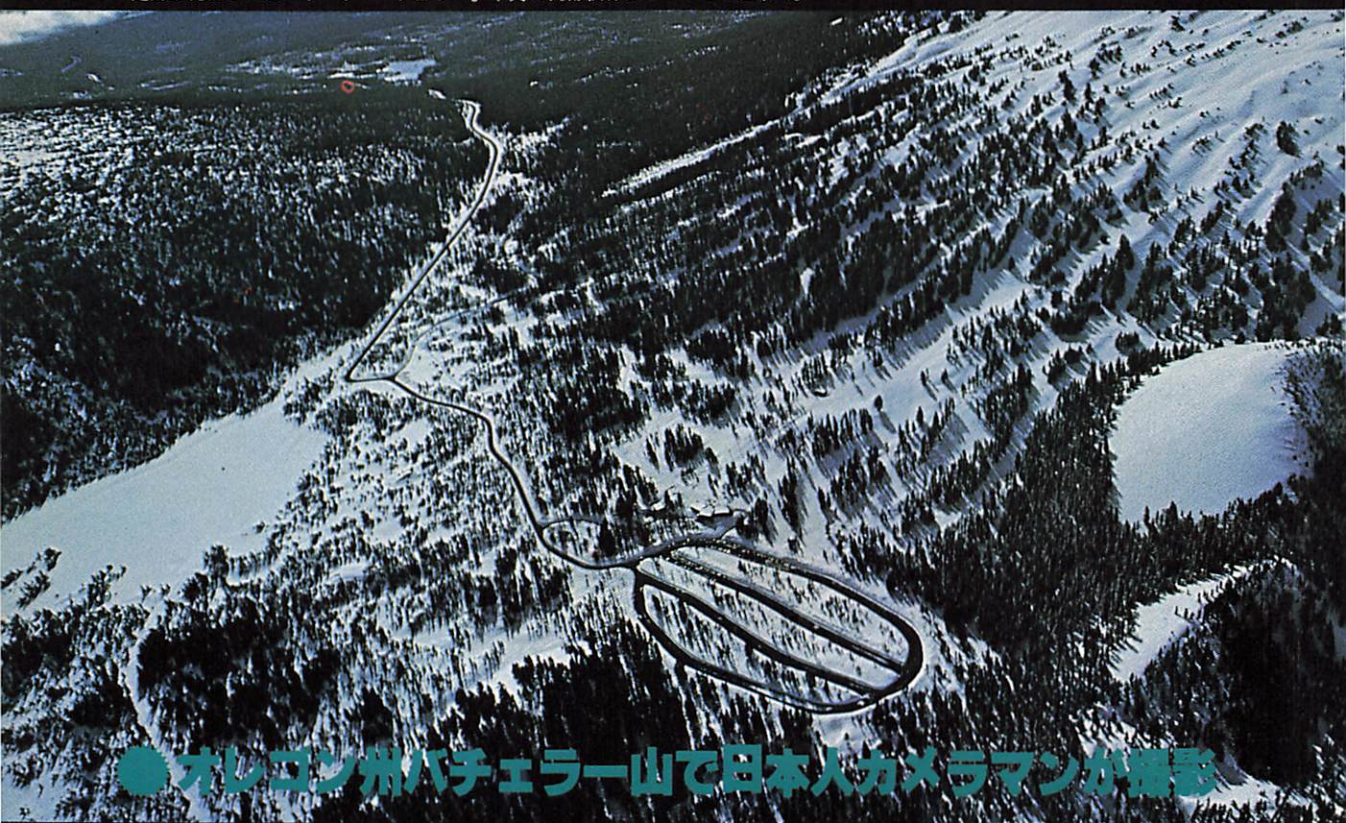
ビル・ヒーリー氏の強い誘いを、おげにも断れないでいた。私は「二泊三日の予定で、今回のアメリカ滞在最後の小旅行を兼ねて、ヒーリー氏を訪ねることにしたのであつた。」

翌日、私はポートランド発ヘンド行きのバスに乗り込んだ。

「これが西部の本当の姿」と思えるような美しい景色が続き、岩山が山肌をあらわにし、稜線からインディアンが突然出てきてもちつとも不思議ではない……そんなムードをバスの中で楽しんでいた。

約五時間、バスの運転手が終着のヘンドに近いことを告げる。人々の姿が

▼足跡が発見されたマウント・パチェラー。中央の円形模様はスキー場の駐車場。



多くなつて、陽気て人なつこい顔でほほえみかけてくる。アメリカ人らしい明るさ、こういうムードが私はいつも好きだ。

ヒーリー氏は、その中でもこに陽気で、オーバーと思えるぐらいのセスチユアで私を待っていた。

「ヘー！ ミスター・シミス。また一段と男らしくなつたじゃないか！」

人混みの中で、いきなり私に抱きつくヒーリー氏。周囲の人々はびっくりし、そしてにこやかにほほえんでそれを見守る。開けつひろげな空気が、西部の街にふさわしいと思えるほどであつた。

ヒーリー氏は、私の空腹を心配してか、イタリアン・レストランへ案内し得意のジョークで私を笑わせた。

私をホテルまで送ってくれたあと、彼は、その夜の夕食を家族いっしょに楽しもうよ、と熱心に誘ってくれた。

神秘的に 広がる森林

その夜の私のホテルは、オレゴン州の大平原の中にある、静かなコンドミ



▲足跡は後方の木立の間に続いていた。

二ツム武の部屋であつた。このスワイ
ルは部屋に台所から食卓まで準備さ
れていて、自分で何か料理したければ
スーバーで勝手に買物して過せるよ
うになつてゐる、長期滞在向きのシス
テムである。私はこんな形式の気楽な
ホテルが好きたつた。

部屋窓の窓から見える景色は、木々に
おおわれた、うつそうとした森林がど
こまでも広がり、その中には無数の動
物が住んでいるだらう、と思われた。

私はその時、ふと何年か前にカナダ
のジャスパー国立公園のホテルで、や
はりひとりでホテルの窓から外を見つ
めているとき、急に窓の所にエリック
(大鷲)が出てきて、驚いた時の光景を
思い出していた。

ホテルのバーで私は、バーテンと手
に言つてみた。

「あの森林の中には、一体どのへん
の動物がいるんだらうね」

バーテンは笑ひながら、さつぷら
ないことを聞くな、とても言いわけな
表情で言つたものだ。

「数えられるもんかねー 星の数ほど
もいるだらうよ!!」

私は、広がる森林をながめながら、
なにが神秘的な、言うにいわれないよ
うな感慨でそれを聞いていた。

夜になつて、ヒリー氏宅での歓迎
のパーティーに招かれた私は、久しぶ
りに会うヒリー氏の家族たちの心づ
くしのしるすに、心から楽しんでい
た。

Healy-San' hunting

By Steve Boyer

Bulletin Staff Writer

The fame of Bigfoot is spreading. Even Japanese magazine editors are becoming believers.

It all began last winter when a few employees at the popular Ski Area didn't have enough time to keep them busy. They decided to keep a few of the hairy critter's footprints in the snow around the lodge.

At the area on the day the prints were "discovered" was a Tokyo photographer named Kazuyuki Shimizu, who is a friend of Mr. Bachelor Corp. president Bill Healy. And as any friend would do, Healy took Shimizu out and showed him the prints.

Being a photographer, Shimizu took a picture of them. And that appeared to be the end of it.

Until Healy got a letter this fall that began "Hallo, Healy-San." It was from Shimizu, and a part of it is reprinted exactly below.

"By the way, do you remember that I took the picture of Big Footprints near your mountain's office?"

"Yesterday the editor of some Japanese Magazine came to my office and I showed him that picture."

"He was excited and inter-ested in know-are about the

questions but almost all I couldn't give him the answer to.

"Therefore I need your help."

"Would you like to give us answer to next questions?"

"1 The time, date and conditions in which the Big Footprints was placed."

"2 Did you get any idea what he was doing there by seeing the Footprints."

"3 How big were the Big Footprints and the distance between steps."

"4 Have you ever seen or heard about these kind of footprints before."

"5 Do you know any animals that make the Big Footprints like these?"

"6 Was there any strange thing happened around for example a building had been damaged or a food had been disappeared?"

"7 Was there any hairs, smells or other strange things left around the place where the Big Footprints were found?"

"8 What was the weather like the night before?"

"9 Can you think, some people who you know of the tricks that leave the Big Footprints?"

"10 Was there any cave or hole

「熊山の熊、早くからスキーをいそい
する」

娘のメアリーと私を誘つた。バー
リー氏の家を出たのは、朝の七時だ
だつた。

ホテルへ急ぐ道は、田舎道で、その
うさまつ路地地である。ひいては不気
味な感じがする。

五分ほど歩いたところになつたのが、
私の車の前を、向かひ横切つたのであ
る。私はあわててブレーキを踏んだ。

黒いかたまりのような何物かは、あわ
てもせず、ゆづせんと道路の右手の林
へ入つて行つたやうであつた。私はほ
つとして踵を踏みしめて、

車を止めて、手を振つてゐる光景がハ
ッ、フライトに入つてきた。

「一瞬、私は車を止めようかどうしよ
うか考えた。私は右手がストップ・サ
インをしているので、やむなく止めた。

「どうしたのか? 何かトラフルか?」
私の質問に、彼は大きくうなづいて

「を聞いた。」
「トラフルもいふところだよ。ちやう
と俺の車の前を見てくれよ!」

彼の車のフロントガラスはメチャメ
チャで、ボンネットもへこんでいる。
「熊だよ! 熊が俺の車にぶつかつた
のだ!!」
彼は少しばかり興奮した口調で言つ
た。「へえー 熊はどつて死んでゐるんだ

「うう」と聞く。
「道路にひつくりかえつたが、すべに
起きあがつて、何もいわずに逃げてし
まつた、さ。」と彼は言う。

だが、私は不思議な気持ちだつた。
この直線の道路に、車が走つてきたら
雪中ならばなおのこと、隠れて車に気
がつくことだらうに。ぶつかる前に車
をさげるのではないかと。そう思い

ながら、先ほど自分の車の前を横切つ
た何物かは、やっぱり熊だつたのだら
うかと、と舌をのめくらせてもいた。

折よく反町華線にボリスの車が止ま
つた。ボリスは私に話をかけてきた。
「どうした? 事故か?」

彼は、腰をぶつかつたのだ」とだけ
言つと、ボリスも何事もなくつたのは
よかつた、と言つた。

「よくあるんだ。かわいそうな熊だち
よ!」と言いつて、その場を去つた。

そうか、やっぱり熊だつたのか、と私
は悲つ一方で、そつたうか? とい
う疑念は晴らせないでいた。

ホテルに帰ると、バーのバーテンが
私の姿を見つけると、からかい半分に
言つた。

「日本から動物を見に来たのかい?」
こんな夜更けまでかかつて、何匹の動
物を探したのか!」

私はホテルで、このバーテンが他の
客に「日本から動物を見に来た熊」と
紹介したために、へんなふうに行名に
なつてしまつたのであつた。

間違いだ! ビッグ・フット!?

翌朝のスキーは楽しいものだった。

昨年のアメリカ西海岸は、異常気象でひどい雪不足であった。マウント・パチエラー・スキー場も目をおおいなくなるほどの大変な雪不足であった。だが、スキーのできるころがあるだけでラッキーだった。

メアリーと一緒にゲレンデへ出た。

スキー場の娘だけあって、彼女はテフニックにもすぐれていた。友人のスキー場で、心おきなく滑れる自分の自分を、ちよつびりせいたくだと思っていた。

しばらくしてからだった。ヒリー氏が、息せききつて私のところへ走ってきた。

「おい、シミズ。ロッジの近くに大きな足跡があるんだ。なんだろうね。ちよつびり見てくれないか」

ヒリー氏は、強引に私の手を引っばつて行く。私は(また彼の得意の冗談ではないのか?)ぐらいの、軽い気持ちで、それに応じた。

ヒリー氏は私を連れてロッジの回りをあちこち歩いてみせる、そしてところどころに、人間の歩いた跡と重なっているが、確かに大きな足跡がある。だが私は、内心では(また彼は私をからかっているんだな?)と思っている。私は、だれかがアフターフットのよう

なものでいたずらしたのだろうと思っていた。

「いつこれを見つけたの?」と問う私に、ヒリー氏は言うのだった。

「今朝だよ。ロッジで働いている少年が発見して私に報告に来たんだ」

ヒリー氏はめずらしく真剣だった。ヒリー氏は、この足跡は何だと思つてます?」

彼は、そう、それよ、と言わんばかりに答えた。

「ビッグ・フットじゃないかと思うんだ」

私は驚いて彼に問う。

「ビッグ・フット? どんな動物?」
「とにかく大きくて猿のような動物だ」



▲マウント・パチエラーに近いベンドの街。

「そんな大きな動物がロッジのこんな近くまで来るの? 何かいたずらでもされたんですか?」

いや、それはない、とヒリー氏は答えた。そして私を、ロッジから七、八メートル離れた、まだたれも踏んで



▲足跡発見騒ぎがあったスキー場のホテル。

いないところに連れて行つた。そこには、はつきりと、大きな足跡が残されていた。

私は、初めてここで一枚の写真を撮つた。この足跡は一体何だろう、とその時になつて、はじめてヒリー氏の話が真実味をおびているのに改めて気づきながら……。

ロッジに行つて、メアリー達に話した。

「ビッグ・フットの写真をとつてきたよー」

もちろん彼女はそんな話を信じようとしなかつた。私は、やっぱりヒリー氏にいつぱいくわされたか、と思つていた。

そのとき、そばにいたひとりの女の

子が言った。

「インディアンの間では、昔からよくビッグ・フットの話はあつたらしいわよー」

私はこの話に興味をひかれた。インディアンが、ビッグ・フットを知っていたらまちがひなくビッグ・フットはいたのだからか?

この足跡は、長さ三十五センチ、幅約二十センチくらいだったろうか。どうみても普通の人間の足跡ではないと思わないわけにはいかなかった。

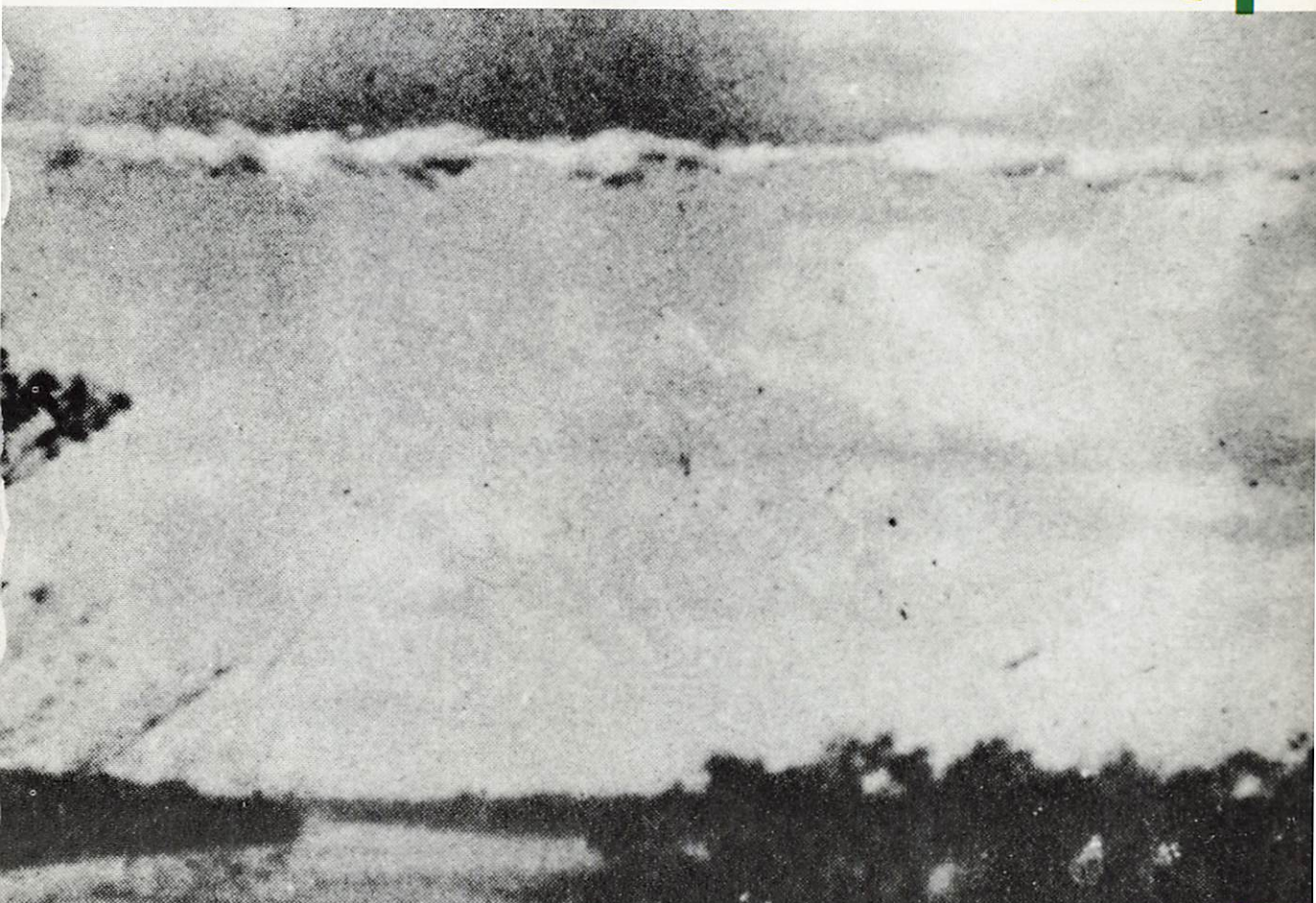
日本に帰つてきて私は、ヒリー氏から手紙をもらつた。その中に、小さな新聞記事があつた。ある一人のハンターが、セフィートもある熊でなく、猿のような動物に襲われた、というビッグ・ニュースであつた。この新聞記事は、おそらく真実だろうと私には思われる。

このビッグ・フットはカナタではサスカッチ(毛深い巨人)と呼ばれインディアン語に由来するといわれている。カナタのジャスパー公園では、一八八一年に最初にビッグ・フットの足跡が発見されたという報告があるという。インディアンの間では確かに昔からビッグ・フット存在は言い伝えられてきたのだらう。

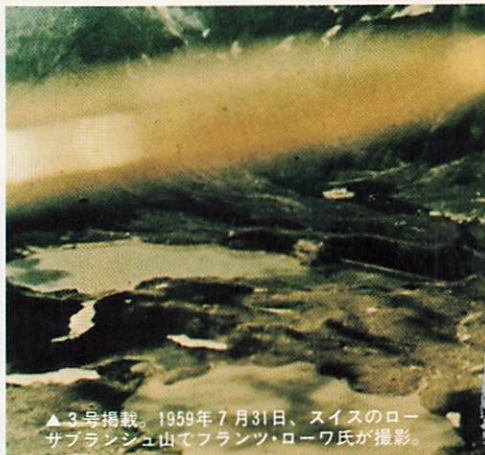
私が夜道で会つた何物か、そしてはつきりとこの目で見た大きな足跡……それらはまちがひなくビッグ・フットであつたと私は思っているのである。

復刻 / UFO名写真集

あの写真を もう一度



絶版となり、手に入りにくくなった
本誌1号から7号までのUFO写真から、
何点かを選んでみました。
誌上にふたたびよみがえった
UFOをお楽しみください。



▲ 3号掲載。1959年7月31日、スイスのローサブランシュ山でフランツ・ローワ氏が撮影。



▲ 5号掲載。1952年ペルーで農夫が撮影した長い噴煙のような尾を引いたUFO。

◀ 4号掲載。1966年4月2日、オーストラリア、メルボルン郊外のバルワインで会社重役が撮影。



水谷均氏が撮影したUFO。

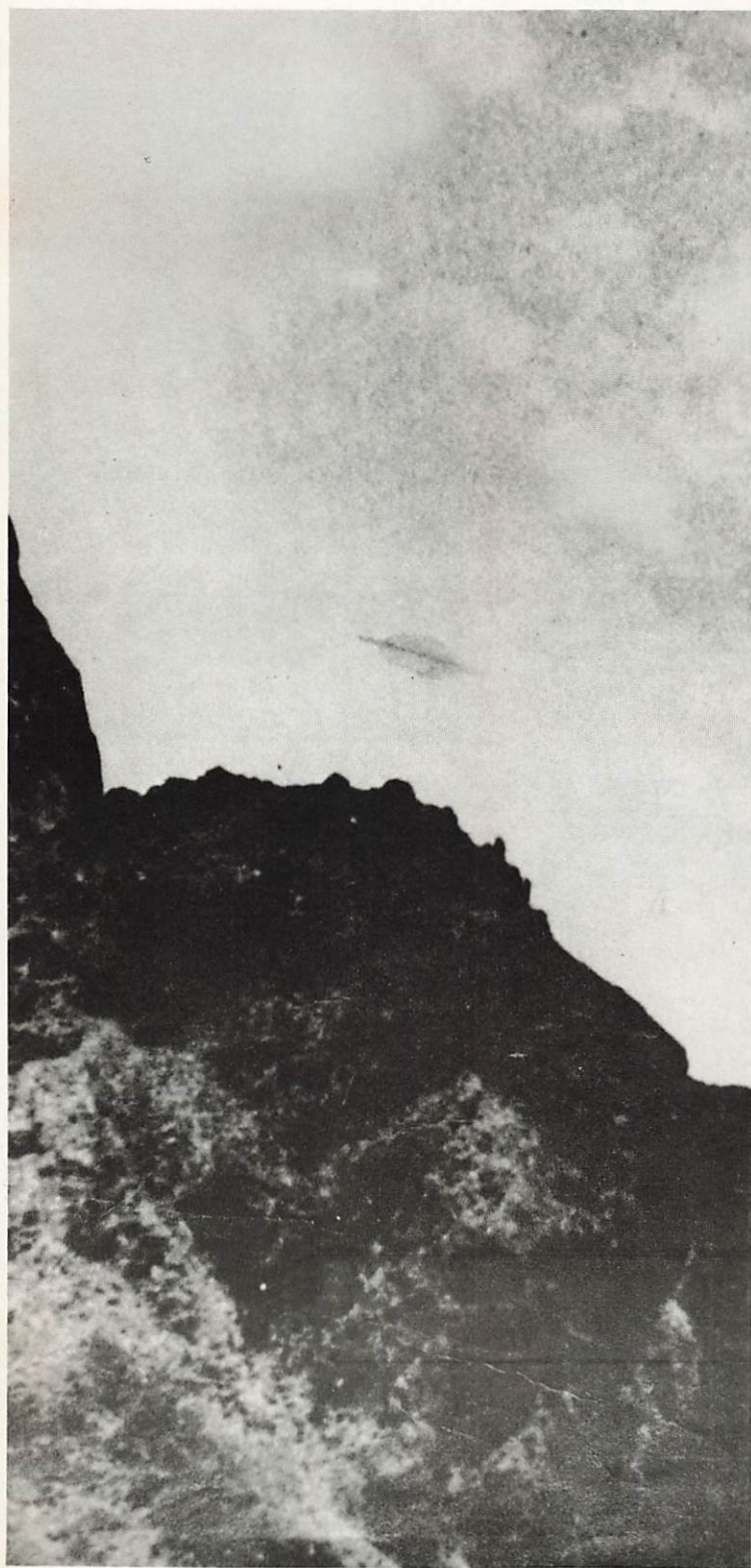


▲5号表紙。1973年6月30日、皆既日食調査のため出勤した超音速機コンコルドがアフリカ上空で撮影。

▼7号掲載。1974年2月22日、宮崎県の日豊本線「佐土原一日向住吉」間で有馬義春氏によって撮影された。



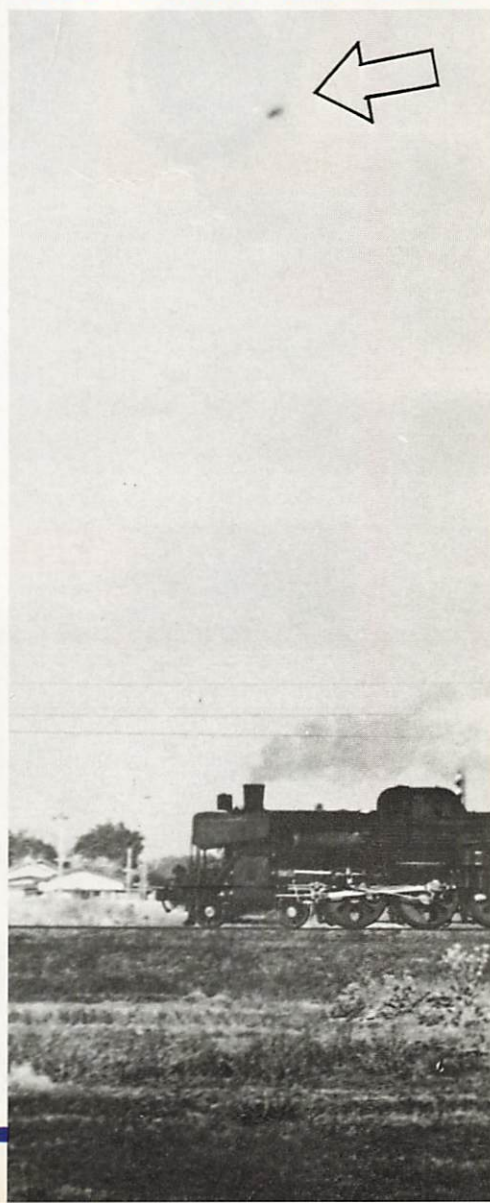
あの写真を もう一度



▲創刊号掲載。トリンダデ島上空のUFO。1958年2月、ブラジル海軍撮影。



▲5号掲載。1973年9月2日、埼玉県狭山市の会社員



本誌を読んで答えてください!

——豪華賞品が当たる

UFOと宇宙

クイズ

賞品



金賞

ボラウォッチ T-75
(ヤングショップ・ツクダ)
¥13,800) 1名
●スイスからやってきた不思議な腕時計。文字盤にUFO写真やイラストをデザインすると30秒ごとにくっきり現われる。完全保証6ヵ月、17石、耐震装置付。

銀賞

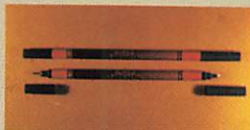
UFOコードペンダント
(木曜会 ¥9,900) 2名

●窓からも灯がともるアダマスキー型の本格的UFOコードペンダント。25Wまたは40W×3灯ボールランプ。大きさ、φ430%×H200%。



銅賞

消えるボールペン
(ボラックス ¥300) 50名
●インク消しのついた西ドイツ生まれの名品。



〔問題〕 1969年7月、地球人類の代表として月面に最初の一步を印した宇宙飛行士……。宇宙開発計画のさまざまな場面、彼らの多くが未確認飛行物体と遭遇しています。さて、1965年12月、宇宙飛行士フランク・ボーマンとジームズ・ラベルがケープ・ケネディ上空を通過中、船体近くに不思議な小型物体群と巨大UFOを目撃する事件が発生しましたが、このとき彼らが乗り組んでいた宇宙船は次のうちどれでしょうか? 記号で答えてください。

- (A) ジェミニ7号
- (B) アポロ1号
- (C) マーキュリー5号

応募のきまり

- 必ず官製はがきを使用。
- 締切り 昭和53年1月20日。当日消印有効。
- 発表 『UFOと宇宙』 3月号(2月20日発売)誌上。正解者多数の場合は抽選で決定します。

はがきの書き方

●あて先 郵便番号110
東京都台東区上野5-1-6 ヤマ

トビル

ユニバース出版社

●『UFOと宇宙』1月号クイズ係裏面には、あなたの住所・氏名・年齢・職業(学生は学校名/学年)、そして次の順序でお書きください。

- ①解答
- ②本号で良かった記事の題名2つ
- ③本誌への感想または企画
- ④あなたが読んでみたい本
- ⑤今後、クイズの賞品として希望する商品名

『UFOと宇宙』11月号

クイズ——当選者発表!

『UFOと宇宙』11月号のクイズは(B)の海棲爬虫類プレシオサウルスが正解でした。

応募総数1028通のうち、正解は992通、抽選により左記の方々めでたく当選されました。

- ★金賞 (MOP双眼鏡20×50/1名)
横田大介(〒520滋賀県大津市南志賀3-10-17)
- ★銀賞 (高感度5石トランシーバー/2名)
田村幸子(栃木県安藤郡)

★銅賞 (消えるボールペン/50名)
小林中人(埼玉県入間郡)
賞品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。

UFO 新年号 と宇宙

■カラー■

- 1 スイス・コンタクト事件／宇宙の美女とUFO
- 4 私はビッグ・フットの足跡を見た！
- 8 復刻・UFO名写真集／あの写真をもう一度

創刊30号記念



14 ●—— 本誌独占インタビュー **フレッド・ステックリング氏に聞く(1)**

22 ●—— 創刊30号によせて **各界著名人特別寄稿**

(五十音順、敬称略) 荒井欣一／黒沼健／高坂剋魅／斎藤守弘／清家新一／高梨純一／中岡俊哉／並木伸一郎／韭沢潤一郎／橋本健／平野威馬雄／南山宏／横尾忠則

創刊30号企画

- 32 札幌市で異星人との驚異コンタクト発生！(2)
- 48 月は異星人の宇宙基地か(1) 久保田八郎
- 58 共産圏UFO事件簿 中岡俊哉
- 66 聖書と宇宙人(完) クロード・ポリロン
- 74 ハロー・異星人、こちら地球 斎藤守弘
- 44 シベリアの爆発は別な惑星の宇宙船？ 久保田八郎
- 105 (続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(12) レナード・克蘭プ
- 43 UFO界情報／主要研究団体の最新動向
- 86 ミステリー豆知識／アストラル体
- 89 エニグマ情報／海外・国内
- 96 UFO目撃レポート
- 100 科学ニュース
- 117 声・OPINIONS
- 122 蚤の市
- 12 豪華賞品が当たる「UFOと宇宙」クイズ



●創刊30号記念企画

●来日したジョージ・アダムスキーの高弟に
本誌独占インタビュー



Mr. Fred Steeking
●フレッド・ステック
クリング氏の略歴

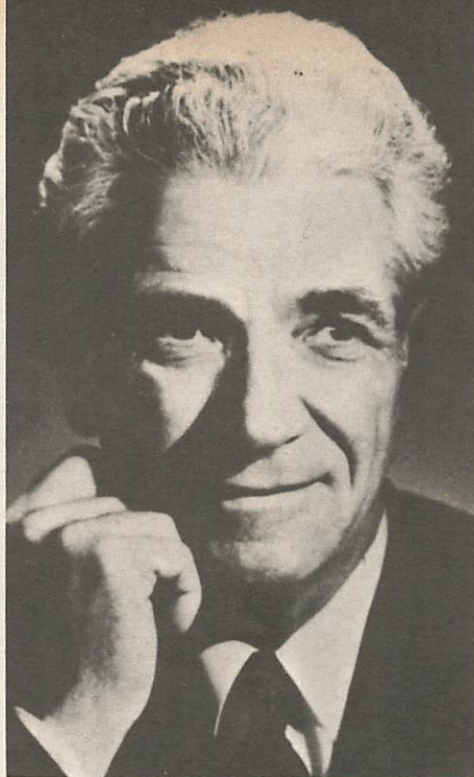
ステッククリング氏はドイツのベルリン生まれ。18歳のときカナダへ移住して航空機とUFOに限りない関心を持ち、ジョージ・アダムスキーに師事して研鑽を積むうちにスペース・ブラザーズとコンタクトするといふまれにみる体験を持ったUFO研究界の第一人者である。とくにアダムスキーの高弟として最後までつかえ、死の数日前に師が『生命の科学』に関して語った重要な言葉も肉声として直接に聞きとめている。彼は1966年秋にヨーロッパへ講演旅行に行ったとき故国ドイツの急行列車の窓から上空に出現したスペース・ブラザーズの大母船団を8ミリ映画に撮影し、米国で公開して大センセーションを巻き起こした。著書に『なぜ空飛ぶ円盤は来るのか』等がある。

フレッド・ステテックリン グ氏に聞く

そのⅠ

●インタビュアー／編集部

〔於／銀座ルノワール他〕



▲ジョージ・アダムスキー。

G・アダムスキーとの出会い

—あなたは、故ジョージ・アダムスキー氏の高弟として最後まで彼に協力をしたと聞きましたが、初めて彼に会ったのはいつのことですか。また、なぜ彼の弟子になる決心をしたのですか。

「アダムスキー氏と初めて会ったのは1963年—私がワシントンDCでアダムスキー型円盤

を目撃したあとのことです。

円盤を見たとき、私は妻のイングリッドや息子のグレンといっしょに、ワシントンの繁華街にいました。街にいた他の多数の人々も、デパートの上空500mの高さにいた同じ円盤を目撃しています。それは青っぽい色をした半球形の物体で、約8〜10秒ほど滞空したあと、急に空の彼方へと飛び去って行ってしまいました。

私はそれ以前にも、UFOについて調査していましたが、さっそく、ベンタゴンや米空軍に手紙を書いて、その事件に対する何らかの解答を得ようと思いました。しかし、私に返ってきた

●絶賛と罵倒、あらゆる毀誉褒貶の渦巻く中を宇宙人來

訪説を買い取ってゆるぎなかったジョージ・アダムスキー！この今世紀最高のコンタクティーの生きた日々はいかなるものであったか？ 人間アダムスキーの真実の姿が、いま、身近につかえた高弟の口から縦横に語られる—

た」
—アダムスキー氏に会ったとき

きの第一印象は？

「第一印象は、途方もない英知と知識を持つ偉大な人間の面前にいるという感じがしました。彼と長い時間にわたって話す機

フレッド・ステックリング氏に聞く

会をもったとき、私は自分を卑小に感じ、また一方では彼と話すことができたという「特権」のようなものを感じました。いままでも、だれも教えてくれなかったキリストの法則について教えてくれたのだ、という実感を持つことができたのです」

——教会ではキリストの法則を教わらなかったのですか？

「そうです。私は、母がとても信仰心の深い人であつたせいで宗教的な家庭に育ち、欠かさず教会に行くことを、子供のころから強制されました。その結果、ベルリンのルーテル教会で洗礼を受けましたが、なぜか私

は、母の考えに同意できず、また宗教が我々に教えたことにも同意できなかったのです。

そのため、私は他のいくつかの宗教についての勉強を始めましたが、それらもやはり論理的ではなかったし、私の知識欲を満たしてはくれませんでした。

宗教が教えてくれることは、ある人々にとっては良いことかも知れませんが、私自身にとつては、十分ではなかったのです。

自分が他の人々より優れているからこのように考えるわけではありません。知識欲が他の人より大きくなりすぎていたからなのです」

宇宙人への資金的援助

「私がアダムスキー氏と何年かつきあい、3年ほど一緒に仕事をしていた間、私は、彼を何回もテストしました。それは、彼が本物であるかないかを試すためではなく、彼がどのようにうまくテレパシーを受信できるのか、などを知ることがからです。その結果、彼が非常に敏感であることがわかりました。また一緒に仕事をしているうちに、アダムスキー氏が世に本当

のキリストの法則を示した人であることがわかってきました。アダムスキー氏は、お金をかせぐために、法則を教えたり、本を書いたりしたわけではあり

ません。彼は地球にやってくる以前からずっと教えていたように、私心なく人類に教えるを説いたのです。彼が本を出版して得たお金は、人類救済のために、また何万通もの手紙の返事を送るための秘書に支払われたり、

彼自身の生活のためにつかわれました。しかし、アダムスキー氏はお金持とは言えませんでした。なぜなら彼は、宇宙人たちにお金を与えていたからです。彼らは地球で仕事をするために宇宙船でやってきました。そしてアダムスキー氏は彼らに何度もポケットマネーを与えていました。こつちで何百ドル、あつちで何百ドルといったぐあいに……。そのため宇宙人たちは、落着くことができ、仕事も見つけられ、衣服もととのえて、我々と同じような暮らしをすることができたといえるのです。

そのようなわけで、多くのお金が宇宙人たちに渡され、アダムスキー氏は、彼らを助けることによって、自分自身を確立していきました。

また、ある時非常に重要な人物から100万ドルが差し込まれ、彼の写真や、計画を否定するように頼まれましたが、アダムスキー氏は、それに対し「私は何千年もの間、生命の法則を教えています。あなたがたは、ただの紙きれにしかすぎない下劣な100万ドルを持ってわざわざここにやってきて、私がこれまでしてきた仕事を、だいたにしにしようとするのですか。出て行きなさい」と言って追い返しました。これでアダムスキー氏がどんな人物かおわかりになったでしょう」

——アダムスキー氏の生前の活動について話してください。

「当然のことながら、彼は3冊の本と小冊子をたくさん書きました。そして、授業や、数多くの講義、1年のうち7～8カ月は講演旅行に出かけ、さまざまの分野にまでも知識を広げていったし、さらに地球上の種々様々の国々で起こっている経済問題や政治問題などに関してもよく知っていました」

アダムスキーの宇宙哲学

——先ほどふれた彼の宇宙哲学について詳しく説明していただけますか。

「わかりました。説明を始めるにあたって、まずG・アダムスキー氏が彼自身の哲学を持たなかったという事実をはっきりさせておくべきでしょう。しかし彼は宇宙哲学の教師で、この地球上の人類に再び宇宙の法則を思い起こさせるため、この時期、この地球に生まれたといえるでしょう。

1930年代、彼は宇宙哲学を教えることに積極的で、カリフォルニア・ラグナビーチにスクールを持ち、そこで生徒を受け入れ、宇宙原理について教育しました。

1950年代前半には、他の惑星の人々と正式に接触した地球人ということで世界的に有名になりました。その人々というのは、彼が地球をはじめ他の惑星で、彼の宇宙原理を説くにあたって共に仕事をした人々で、



▲「アダムスキーは宇宙哲学の教師で、地球上の人類に再び宇宙の法則を喚起するために、この地球に生まれたといえるでしょう……」

彼の宇宙哲学を教える熱意を高く評価しています。

宇宙哲学の基本原理は、宇宙の中のあらゆるものは、秩序に従って創造されており、惑星・太陽系・太陽・衛星などは単に偶発的にできたものではなく、人類の理解を越えた英知によって綿密に計画されたものだということを知ることからはいまはじまります。そして、この英知は、それが何であるかを理解されぬまま、たくさんの宗教や信仰に分散してしまいました。また、私たちは、その宇宙哲学を我々にもたらしにやってきた教師たちを信仰してきましたが、やはりそれが何であるかを本当には理解してはいなかったのです。

アダムスキー氏は、いかなる宗教団体にも組織にも属さず、あくまでも個人として活動しました。なぜなら、それらすべての組織には真理というものが、なかったからです。たとえば、仏教を説くときに見いだすことのできる宇宙の真理は、キリスト教の場合より多いからといって、かならずしも、ナザレのイエスが宇宙の法則をもたらさなかったとは言えないでしょう。彼は、シャカが与えたものと同じ原理を我々に与えたのです。

ただ我々は、そのようには解釈しなかったし、その世界に生きてきてはいないというだけのことなのです。

アダムスキー氏は再び、人類に真理をもたらしに来ました。宇宙で知覚できるあらゆるもの……人間も含めて、これらは、すべて英知によってできたもので、この英知は、永遠に生きつづけるものだと言っています。

我々は、すべての宗教の分野においても、神は生きつづけるものであり、「死」というものはないと教えられてきました。地球に宇宙の法則を説きにきた教師たちは「太陽の息子たち」と呼ばれています。太陽は太陽系の中で、生命を与えるものとして、各人の信じるものや行為などにかかわらず、人類にその光を平等に与えています。太陽は、あらゆる植物を生み出し、あらゆるものに生命を与え、当然人間もそれによって生命を維持しています。

宇宙の法則は、創造における基本的なものにすぎず、その法則によって、すべてのものが、創造され、維持され、生きています。これは他の高度な惑星に比べると単純な哲学です。イエスは、かつて「子供を私の

フレッド・ステックリング氏に聞く



▲今回の来日に同行したイングリッド夫人と愛娘エリシア。

分が創造され、何が人生の目標なのかといったことについて、考える時間は、ほとんどないからです。

宇宙の法則は、自然の中にもみられます。地球上で、人間が

学ばなくてはならないことは、あらゆるものと生命との調和、つまり、自然の中の法則と人間の法則に、それぞれあらわされているような調和を、思いだすことなのです」

愛の法則が基本の金星人

——「他の惑星に住む人々」は、その調和を思いだしているのですか。

「金星にいる人々の場合、彼らは、愛の法則に基づいてくらし

主の意志から、彼らを分離します。それは——我々の意識を通してのみ表現する——創造者からの分離でもあるわけです」

——人間以外の、たとえば植物などは……

「植物、鉱物、動物などは、意識の印象、または、英知に対して反応を示します。先に述べたように、人間は、自分自らの心を、内的な調和をめざして訓練しなければなりません。生命は贈り物です。それによって、自分自身を、そして仲間をも向上させ、神のようになるべく、ともに励むのです。これが、人間があるべき本来の姿です。人間は、人生を楽しむために創られたもので、今日のように、大きな重荷を背おって生きるために創られたわけではありません。

もとに來させなさい。彼らは、天上の神の国へ入ることができ

が、存在しています。人間が、深い安らかな感情のとき、それは、愛の法則と呼ばれます。愛をどのようにとらえるかにより、ますが、愛と磁力は、同じであるといえます。すべての創造の根元にあるのが、この特別な法則であり、人類はこの原則を心に持つて生まれてきたのです。しかし、自分が、その潜在能力をもっていることや、それを表現すること、それを実行することなど、ときどき、心に思い起こさせねばなりません。はるか

に高度に進歩している他の惑星の人々IIアダムスキー氏といっしよに、今世だけでなく、他の生涯においても、仕事をした宇宙人グループが、これらの法則を我々に気づかせるべく、教えにやってきました。もちろん、すべての人々を、これらの法則に反応させることは、なまやさしいことではありません。なぜなら、多くの経済問題などによる圧迫、分裂、それに生活を維持していくために働かねばならない現状では、何によって、自

識の英知である」などということとを教えられています。英知は死ぬことはありません。肉体だけが死ぬのです。そして魂は、別の新しい形をとることにより新しい生命を得、それは、東洋哲学では「輪廻」と呼ばれ、西洋哲学では「(全人類の)復活」と呼ばれています。

人間は、心を訓練する必要があります。あることは、何度も言いました

が、人間の心が、道具として、もっと、精巧になれば、宇宙の英知がそれを表現の経路として使えることになります。心は非常にうまく構成された実体で、自らをあらゆる知識の創造源とは分離させていて、現在では、ほとんど独立して活動しています。

肉体と心と意識は（ちょうど高度な進歩を上げている他の惑星の人々の間で、すでにそうであるように）調和をもって、働くべきです。ただし、彼らも、そこに至るまで、当然大きな努力をしてきたのです。

地球上における、心の自我と呼ばれるもの、それは知的な進歩にすぎません。しかし、心にどれほど、知識に対するプライドがあったとしても、生命を創造する知識は、自然だけが知っているものです。だから人間はまさに、自然から学んでいるといえるでしょう。

いかに世の中が進歩したとしても、自然から学んでいない人間が、この地球上だけでなく、他の惑星において一人でもいるでしょうか。否。自然の中にこそ、創造力や、宇宙の意識や宇宙の英知などと、名づけられたものをみいだすことができるの

です。あなたが、どこに住んでいるか、あなたがただの人間か、または有名な科学者であるかなどには関係なく、人間は、すべて、彼らの知識の評価のため、自然から学ばなければならぬのです。自然が、人間と人間の心を創造したのです。

人間には、その内面に2つの英知の源があります。1つは、まわりの事実を観察して自分自身の意見を分析するもの。もう1つの英知の源は意識が操作するもので、人の心に語りかけてくるものです。この意識は、すべての人が持っているもので、心に語りかけられた経験は、誰

文明にむしばまれた現代人

——他の惑星の人々もそのような訓練をしているのですか。

「金星からやってきた人々は、毎日、このことを頭において、くらしています。心と宇宙の英知との間に争いがいないため、彼らの中には、地球の時間に換算して1千年近くも生きている人もいます。一方、地球の人々は、内なる声によって導かれたくはないと主張していて、その心と意識の間に摩擦が生じてい

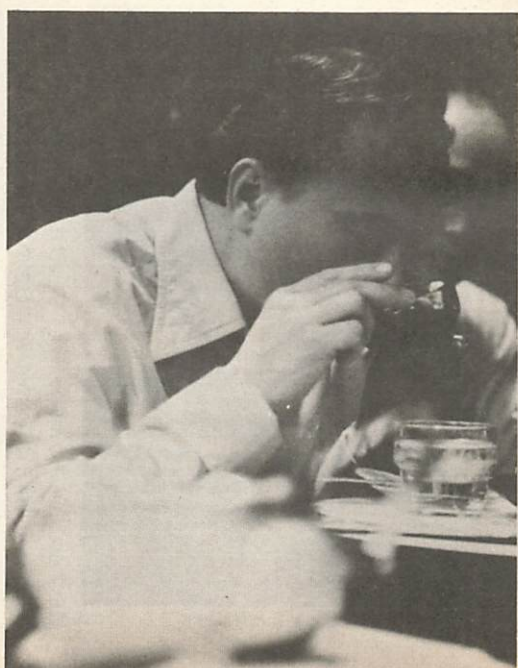
てもが持っているはず。その声は、我々の心が復讐を求めているとき、崇高であれと我々に語ります。また、その声は、我々が車に乗っていると、スピードを落とせと語りかけてきます。本当に日常生活でのあらゆる行動を、その声で導かれることをも辞さないといえれば、その声は、まさしく我々の教師の役目を果たします。今、我々がなすべきことは、この内なる声を日常に生かすために、我々の心を訓練することです。その結果、我々の心は、もっともつと、その声に調子を合わせるようになるでしょう」

ます。

地球上のほとんどの人間は、自分が思っていることと正反対のことをやっていると叫ぶでしょう。そして、その努力の結果が思わしくないとき彼らのほとんどは、こう言います。「そうするべきではなかったのに……」。注意しなくては、という感じはしてただけで、これは直感と呼ばれ、動物が持っている本能と同じものです。たとえ

ば次のような場合を考えてみてください。

1人の文明人——ちょうど現在在の我々のような人間が森の奥深い未開の地で、ある音を聞いたとしましょう。彼は、すぐに逃げ出さず、心がある種の戦いを始めます。耳にはたしかに木の枝を折る音がきこえたが、目には何もみえないから、逃げることはない。一方、目で危険がやってくるのが知覚されているのに、耳には何の音もきこえてこない場合、耳は彼に「君の目が危険だと判断しても、君は何の音も聞いてはいない。しばらくようすをみよう」と語りかけます。



しかし、動物の場合はどうするのでしょか。鹿、熊、狼などの野生の動物たちが草を食べる時に、木の枝をバリバリ折る音が、きこえたとしたら、彼らは考えることなしに、まず逃げ出します。また、動物が目で危険な状態を知覚した場合、耳でその音を知覚しなくとも、当然すぐに逃げだします。

これと同じようなことが、いわゆる「未開人」の場合にもみられます。我々はジャングルに住む人間を「未開人」と呼び、我々を「文明人」と呼んでいます。なぜなら、我々は、エレクトロニクスの社会に生き、ボタンを押し、テレビやラジオを持ち、

フレッド・ステックリング氏に聞く

車を運転したりするからです。しかし、このような物質的利点は、多くの場合、個人としての我々に害を与えています。

たとえば、今でもアマゾンに住む未開人は、動物と同じようにふるまいます。危険を知らせる音を聞くと、心であれこれ考える前に逃げ出しますし、また何か不吉なものを見た時は、嗅覚、聴覚、味覚という人の持つ他の感覚に呼応しなくとも、見るという動作一つで、次に自分のなすべき行動に判断を下すのです。

前に述べたように人間の内面

自然の法則に同化する

意識と心の争いについて、詳しく説明してください。

争いは肉体に摩擦を起こし、その摩擦は肉体を破壊します。言いかえれば、我々は宇宙に流れるエネルギーを断ちきっているのです。ちょうど、電気モーターの電気をきっているようなもので、モーターは、電力がなければ動かないのと同じです。パイプの中と言われているように、人は2人の主人を持っているとき、その一方を軽んぜず

では、意識と心が絶えず戦っています。

そして、意識が、我々に正しいことや、すぐれたことをさせるよう導く一方、心はしばしば復讐を求め、グロテスクでしかないブライドを持たせようとしています。

そうして、我々は愚かな理性を失った行動をし、あとでどうもない罪の意識を持つことになるのです。

つまり我々は、悪い事をしたと知っており、法則を正しく適用しなかったことに気づいているということなのです

には2人の主人に仕えることはできません。我々は、心に仕えることもできるし、意識に仕えることもできます。しかし、我々が両方を正当化しようとする、それは、摩擦を生むだけです。

我々の生きている社会は罪を持っていて、さっき私が言ったように、それはグロテスクなものです。我々は、自分のフィリングに従いませんが、自然は英知を持った創造主の命令に疑

間をもつことなく、応じます。自然が生じる衝撃とは、絶えることのない新しさを表現し、育てることです。自然の最も高度な表現としての人間も、同じ法則に従わなければならない。

すべての人間がなすべきこと、それは自然と同じになるということです。我々の子供たちは皆そのようにして生まれてきたのです。そして我々大人が、我々の俗世間的で慣例的な考え方や生き方を、子供たちに、押しつけるまでは、彼らは無垢な状態でいられたのです。子供たちがフィリングを表現するのに正直で自由であることは、恥ではありません。子供たちは、我々大人が彼らに、大人の考え方を要求したときから変わってしまったのです。

イエス・キリストは、次のように言っています。

「幼な子を私のもとに來させなさい」また「あなたが幼な子のようにならないかぎり、天国に入ることはできない」

この言葉は、単に我々が、赤ん坊の遊び場で遊んだり、ミルクビンをかかえ、おむつをして歩くといったことを意味しているわけではありません。「心を開き、信念をもって自然にもど

りなさい」という意味なのです。

新しい人生を始めるにあたって、何でも、とくに何かを行う前に、フィリングを用いるのはいいことです。ほとんどの人間は、心と自我を急速に使いますが我々は、知恵と忍耐をもつて、状況を判断すべきだったのです。

宇宙の大使アダムスキー

——詳しい説明をありがとうございます。ところで、アダムスキー氏は1965年に亡くなりましたが、そのときの気持ちを

お話しください。

「彼が亡くなったのは、1965年、我々が彼の誕生日を私の家で祝った後のことでした。私は、このような

偉大な友人を失った時の気持ちを、どのように表現してよいかわかりません。私にとって、あまりに緊密にながっている彼を失った時の気持は、家族を失った時のとは随分ちがいます。

です。

知恵と忍耐は宇宙の英知に源を発しています。あせり、忍耐のなさ、怒り、嫉妬などは人間の心の創造によるものです。そして人間の好き嫌いは、宇宙的な人間への確実な進歩を妨げています」

実際、母が3年後に亡くなりましたが、アダムスキー氏の死に対する深い感情に比べて、確かに異なるものを感じました。彼は、自分の知識の70パーセント以上を、明らかにしていないと私は思います。というのは、地球上の人々が、それを理



▲家族とくつろぐステックリング氏。



▲オーストラリアへ講演旅行したときのジョージ・アダムスキー。

があるのです。

アメリカの政治学者たちの中には、アダムスキー氏について良く言わない人もいます。しかし、彼らは人々を混乱させるのが仕事で、真理を教えることはできないのです。

真実を評価するのに良い方法があります。もし、ある人が多くの人によって、否定されたとする、それはその人が真実を話したからかもしれないのです。多くの人々とうまくやっていく人は、真実を話してないことが多いのです。政治家も然りです。

コンドン博士は、アダムスキー氏のフィルムなどの報告を受けていたが、それを見ようとはしませんでした。つまり、コンドン委員会の人々は、これらのフィルムが真実の明らかな証拠になることをよく知っていたからです。しかし、現在の大統領ジミー・カーターは、UFOを2度ほど見えています。そして、NASAに対してUFO関係のファイルを再調査するように命じました。そうすることによって、一般と情報交換できるわけです。

人々が人々に興味を持つこと

解する能力をもてなかったからだと思います。このことから、イエスが司教たちに言った言葉を思い出します。イエスは、いくつかの法則を語りましたが、それに対して多くの反対意見がおこりました。それで彼は司教に、こう言いました。

「私は、いままで現世のことについて語ってきたが、あなたがたはそれを理解できない。もし私が天上のことを語ればどうなることだろう」

たぶん、アダムスキー氏も70パーセント以上の知識を明示することができずに去った……

私は、イエスと同じことを、アダムスキー氏も感じていたのではないかと思っています」
——アダムスキー氏亡きま、アメリカの人々は彼のことを、どのように考えているのでしょうか。

「アダムスキー氏に対して、肯定する人々と否定する人々がいます。また、肯定的な面と否定的な面と両方感じている人もいます。ある人々は、アダムスキー氏が前世において誰であったかということや、地球上での彼の仕事、彼が持たしたものの真の人間としての法則などにつ

いて知っていますが、大部分の人々は、彼が空飛ぶ円盤の分野のバイオニアで、いままでの中で最も有力な写真を撮った文明人であると見ています。

アメリカの出版物のいくつかに、彼は「宇宙の大使」であると書かれています。この肩書きは、なかなかよく当てはまっているし、彼自身にふさわしい呼び名であると思います。また、中には、彼の経験や写真に疑問を持ち、反証しようとした出版物もあります。これは、日本でも同じことがあるといえますが、物事には、肯定の立場と否定の立場と

政府の中の一人の政治家が、老人や労働者の福祉に関心を持つやいなや、彼は、多数の反対者をかかえるでしょう、なぜなら現実の姿にふれているからです。かつて、真実を述べたガリレオ、コペルニクス、アインシュタイン、エジソン、キューリー夫人たちにしても、反対にあいました。つまり彼らが人間の怠慢な心を妨害したからです。

同じように、アダムスキー氏も多くの反対にであいました」

——具体的には、どんな反対があったのですか。

「過去においても、UFOについて調査したコンドン委員会

……。この事こそ、世界が必要としていることなのです。もしカーター大統領が、UFOに関する情報を公表できなくなるとすれば、それは、公表したくなかったからではなく、「ある筋」からの圧力がかかっているようにみえるべきでしょう。このような「ある筋」があることを皆さんもご存知でしょう」

(以下次号)

※次号では、さらに具体的な——米国のUFO研究団体の活動状況や有名なUFO事件に関するステックリグ氏の見解、そして彼が会ったという宇宙人についての説明などを紹介する予定です。

●創刊30号記念企画

各界著名人特別寄稿



創刊30号を記念して、日頃本誌がお世話になっている執筆者の方々に、本誌に対する希望、励ましの言葉などを寄せていただきました。ご多忙の中をこの企画に協力して下さった先生方に、誌面をかりてお礼申し上げます。(あいいうえお順、敬称略)



客観的な情報を期待する

●日本空飛ぶ円盤研究会代表
荒井 欣一

『コズモ』として創刊以来本号で通巻30号を迎えたということで、関係者一同の熱意と絶えざ

る努力に対して、まず祝意を表したいと思う。

この間本誌の内容も号を追っ

1923年7月6日、東京生まれ。青山学院専門部商科卒。大蔵省印刷局勤務、書店経営を経て、現在は青松社勤務。1955年9月「日本空飛ぶ円盤研究会」を創立。著書に「アポロと空飛ぶ円盤」がある。

て充実し、体裁も他国に類を見ない新鮮さが板につき、頁数も定価にしてはほぼ満足に値する

ポリウムを提供、おそらく世界でも注目を浴びていることであろう。日本ではUFO現象に対する関心度は極めて低かったが、本誌の登場により、や々と同好者間の絆がよまり、読者も定着し、我国唯一の月刊UFO誌として独走を続けていることは大変心強いことである。しかし私は手放しで本誌をほめてばかりいる者ではない。や



『UFOと宇宙』に声援

●作 家

黒沼 健

はり気になる点が数多く目につくが、そのうちの2点だけを述べてみたいと思う。

まず本誌には、しばしばアダムスキー関係記事が掲載される傾向があるということである。

しかし日本のUFO研究者および関心者の多くはかならずしもアダムスキーの体験記事に感激してUFOに関心を持った人ばかりとは限らないし、むしろ彼の体験には冷やかな態度をとっている人が多いということも

事実である。しかしながら本誌はその点を素通りしてアダムスキーにウエイトをかけすぎているのではなからうかと若干気にかかるものがある。本誌が商業誌であると同時にジャーナリズムの「環」を担っているのであるというならば、もっと客観的な視点からのUFO情報を提供することが、日本唯一のUFO総合誌としての使命ではなからうかと思ひ且つそれを期待するものである。

次は最近号では特に目のつくことだが、目次を見ても執筆者に日本人のオリジナリティーが少ないということだ。日本人による翻訳、翻案は数多くあるけれども我々独自のUFO論文というものが大変少ないと思う。これはまだ日本におけるUFO研究者が少なく、また有力な事件にも乏しいという環境、即ち日本の底の浅さというものを露呈しているのかもしれないが、しかし一方国内の各地にあるU

FO現象研究会の会誌の中には非常に傾聴に値する論文が掲載されていることが間々ある。世間の眼にあまり触れていないこれらの論旨を本誌がとりあげることに、奥行の深い日本独自のUFO論が展開されることを期待できるのではないだろうか。

本誌が日本のUFO界の一つの核となつて商業誌と研究者を結ぶ情報交換の輪をさらにひろげてもらいたいと思つてゐる。

私が「空飛ぶ円盤」のことを知つたのはアダムスキーの『空飛ぶ円盤同乗記』である。これは、昭和32年に高文社から刊行された。その翌年にはアリンガムの『火星人会見記』が刊行され、さらに続いて『土星の円盤同乗記』が出た。

この3冊目のものは、円盤の機長が女性で、これが絶世の美人とあるが、これには、私はがっかりしたし、円盤にたいする

私の興味は薄れた。

ところが、それから2、3年たったある夜、私はついに真物を見たのである。

それまでに、円盤の飛行写真なるものが、いくつか紹介されたが、それらはほとんどが葉巻型なのである。葉巻型の発光体である。

ところが、私の見たのは、円型で、正三角形に近い短い尾があり、その尾の周辺には、赤い

1902年、神奈川県生まれ。東大法学部卒。推理作家協会会員、児童文芸家協会会員。現在のおカルトブームの先駆的存在。「地下王国物語」「第二の世界物語」など著書多数。

小さな三角形の船のようなもの

(あるいは特殊な尾翼であったかもしれない)が、ヒラヒラと動いているのである。ここで私は、「空飛ぶ円盤」の存在を信ずるようになったのである。

それ以来、私は円盤の虜となつた。本腰になつて資料を集め単行本も2冊書いた。

私の周囲では、一時は円盤に関する出版物が雨後の筍のように発刊された。だが、問題は特

殊なもので、大衆の知識では、この真髄を確実に把握することは難しい。その数も限定される。いつか雲散霧消して、はなはだ寂しいのが現状である。いままで残っているのは大阪の高梨氏主宰のものぐらいである。

円盤研究家の私には残念でならなかった。だが、救いの神といおうか『UFOと宇宙』が、突如あらわれたのである。しかし、これには他の刊行物にはない色刷りのグラビアがふんだんに載っている。

ついこのあいだ発刊されたものが、早くも30号に達するといふ。この月刊誌だけは最後まで残っていて欲しい。



“宇宙維新時代”を リードするのは日本人

●宇宙考古学研究者

高坂 剋 魅

創刊号がでてから、はや30号記念。私は、毎号楽しみにしております。編集部から注文や希望などを述べてほしいといわれ、うれしかった。私は『UFOと宇宙』が小中高大の次代を担う青少年層に愛読者が多いことに喜びを感じます。それだけに、影響力も大きいわけですから、出版社の姿勢が大事であると思います。もし、誤りのある宇宙教育をした場合、青少年のせつかくの宇宙への芽をのびしきれず枯らしてしまったり、ゆがめてしまつては、宇宙の最高神に、どうやって、その申し

ひらきがでるのでしょうか。本誌の責任は重大であると痛感せずにはおれません。くれぐれも、祈るしだいです。

ところで、気高い宇宙人が、あなたのそばにいたとしましょう。そのとき、真実を聴く準備が、もしあなたにできていなかったら……。そう……。実に悲しいかな、地球の現実、まさに、ブタに真珠なのです。

ですから、これからは、読者も、30号記念を契機に、空飛ぶ円盤の現象や事象の外ばかりにとられることなく、より大切な内なることを思いだしてもら

1947年、青森県生まれ。北海道教育大学。現在UFOサークルなどの講師として活躍中。「宇宙人のなぞ」(立風書房)の著書がある。

いたいのです。

私は、「日本は、地球の中心となつて21世紀の宇宙維新時代を、世界にさきがけて、切り開いてゆく天命を与えられた国である」と信じております。その宇宙維新時代をリードするのは今日『UFOと宇宙』を愛読している読者の中から、続々と輩出してくると思うのです。ですから、まず、宇宙時代というからには、わたしたちも、ドップリとつかつた臭いカルマのアクをぬいて、宇宙人になることが必要だと思います。

明治維新に活躍した志士以上

私の夢見る

“UFOオピオ”

●前衛科学評論家

斎藤 守 弘

早いものだ。ついこないだのように思ふ貴誌の創刊だが、い

われて気がつけば、もう通巻30号。まずはめでたい。心から乾

1932年東京生まれ。東京教育大学理学部卒。大学講師、会社専務、経営コンサルタントなどを経て、現在は執筆活動に専心。「宇宙の使者」「謎の四次元」など著書多数。

盃したい。はじめて創刊を知ったあの時の、胸のときめきを思

の宇宙維新の志士が、日本人の中から、この『UFOと宇宙』の愛読者の中から、たつた一人でも生まれることを念願致します。

私は、そういった意味で、ユニバース出版社の方々に、より一層、力強く、かつ、ひたすらに、宇宙の最高神へ奉仕されるお気持ちでコトにあたってもらいたいと思います。

その願いをこめて、30号記念の歌をうたわせてもらいます。

ユニバース出版社様

祝30号記念歌

日の本の 次の代担う
若人らへ ひとひの光
与えたる 『UFOと宇宙』
三十もちて 新たな始め
望みは高し 太く繋かれ
ちはやふる 宇宙の神に
真の心 維新を開かむ

い出す。それは、自分の理想とするタイプの女性、長年探し求めてきたその女性をやつと見つけた喜びとでもいえるようか、全身が燃えるような熱っぽい感激であった。

日本も、やつとここまで来たか。これからUFOを中心に本格的な何かが始まる。それをこ

本人の要望により
写真不掲載

の眼で見、この耳で確かめられる。そんな一途な不安と期待の入りまじった複雑な気持ちであった。

期待というものはしばしば裏切られる。だが、嬉しいことに貴誌にはそれがなく、あれよあれよという間にめでたく通巻30号を迎えた。

つい半年前にはUFO目撃の30周年記念があり、3か月前には宇宙開発の20周年記念があった。そのすぐあとにひき続いてあり、それだけにいつそう感慨あつたものがある。

私は、例のケネス・アノルド以来のUFOの「現代史」を、4つに時代区分している。

いわゆる空飛ぶ円盤とよばれた円盤期、それにづく一時的

な昏迷の中間期、そして再び宇宙開発の躍進とともに今度はUFOとよばれたUFO期。

さらに、そのUFOが待望の日本に着陸し、その乗員である宇宙人を目撃したという人が激増した宇宙人期。ごく大ざっぱに分ければ、この4期になる。

貴誌の創刊はまさにこの宇宙人期の始まりとテレパシクに時を同じくし、その豪華な体裁、内容とも世界の最高水準。おかげさまで、貴誌掲載の私の論文は、本場アメリカで英訳された。

ところで、UFOの研究にいつての、この私なりの時代区分にしたがえば、1970年代の末からはふたたび第二中間期がめぐってくるかも知れない。

アダムスキー写真は「真」

● 重力研究所所長

清 家 新 一

アダムスキーのRFO (Relativistic 相対的) 写真は真であることが、重力研究所の成果により確かめられつつある。

一方、同乗記の物語は、真ではないのではないかという文面が

一部で発表されているが、約20年前のあの時点においては同乗記のとおりであったと考えてよいだろう。

地球の光速度は、実測値が、 2.997929×10^{10} 目/秒であるが

そこにあるのは、UFO現象

のもう一つの気づかざる面ではないか。つまり、UFOを高度テクノロジーのスーパー文明現象としてだけでなく、同時にこれまでにないナウな、やがて21世紀にひき継がれる全地球的なスケールでの文化運動、その新しい波としてとらえるなら、たとえば文学運動などもその一つのように、その運動を活気づけている目に見えないリズムがある。

第一中間期の時には、研究が多様化し、ともすれば集中性を失いやすかったが、それを補って余りある型破りな事件が続出し、結局、それが次の新たな周期の先駆けとなった。

70年代末からはスペースシャトルを中心とする多様な軌道空間時代が始まる。それとともにどんな型破りのUFO事件が続出するか。楽しみなことであり、そうした「新しい芽」に虚心に反応し、開けゆく宇宙のニュー・エンターテイメントとして紹介するのも貴誌の一つの方向だろう。

これからはUFOのそうした21世紀文化運動としての面にも目をくばり、UFO関係のミュージック、アート、フィルム、演劇、それらの海外での動向なども、むろん貴誌のメインである本格研究と併せて幅広く紹介してもらえたら、こんな楽しいことはない。

それこそ私の夢見る「UFOピア」である。

1936年、愛媛県生まれ。東大数物系大学院卒。英城大学助手などを経て現在に至る。「超相対性理論」など著書多数。現在ノーベル賞候補になっている。

3番目の地球の番号3をとって

2.997929×10^{10}

がそれに一致している。ここから出発して、地球型惑星の光速度を計算すると、

水星 4万5千km/秒

金星 14万7千km/秒

火星 71万5千km/秒

となり、太陽に近い惑星のそれは小さく、遠い惑星のそれは大きい。従って、どの惑星にも、大量の光が到着して人が住める。

従ってアダムスキーの同乗記の叙述を否定する必要はない。NASAのバイキング計画では、火星表面に、強力な紫外線が到着することがわかり、科学



『UFOと宇宙』の推奨点

●近代宇宙旅行協会会長
高 梨 純 一

者は混乱した。紫外線(Ultra Violet)はその光子のエネルギーの大きいものである。火星の光速度が71万km/秒もあるからのである。火星の日没を

示す写真を見れば、丘の上に建物らしきものが見える。しかしあれから、20年の歳月の流れを考える必要はあるだろう。第5惑星ルシファールの崩壊によって

影響を受けた記憶のある母星から、希望者のみ他の新惑星に移住しているかもしれない。UFOという名称は、Unidentified Flying Objectで未確認という

ことであるが、次第に確認されてきた。学問的には、RFO(前記)である。いつまでも、UFOで通すと困るだろう。

『UFOと宇宙』誌が本号で第30号を迎えるという。まことに

る。

お目出たいことであり、精巧なカラー頁をふんだんに挿入し、極めて近代的なレイアウトで見た眼にも非常にアトラクティブな専門誌をつくり出すという最初からの方針を少しもくずさず

その点では、世界でも最もユニークなUFO資料であって、世界で最も内容豊富な英国のUFO研究誌『フライング・ソーサー・レビュー』でさえも、最近我が国に沢山来ている米国の通俗UFO誌『オフィシャル・UFO』『UFO・リポート』

1923年大阪生まれ。関西学院大卒。講師、貿易業を経て現在に至る。UFO研究界の権威的存在。著書に、「空飛ぶ円盤実在の証拠」など多数ある。

外のいろいろな資料を紹介し、非常に豊富なデータを我が国のUFOファンに提供して来られた功績は非常に大きい。時折我が国のようなUFO研究者から見れば困ったと思うような内容のいかげん記事や、あるいはそれらの紹介面において、読者を誘導すると思われるようなものが見えつつあるのを見て来た。

次第に頁を増やし、内容を充実し、よりタイムリーで、UFOファンにとってよりアピーリングな雑誌を提供しようと努力を重ねてこられた本誌に深甚な賞賛の辞を捧げたい。

などの商業誌にしても、費用の点からか、表紙を除いては白黒の写真ばかりで、一度もカラーのUFO写真をそのまま掲載したことはない。

だが、そういう賞賛と功績との反面、かなりいろいろな批判が聞かれ、また実際、内容的に見て、すべてが全面的に賞賛できるものではなかったことは、残念なことである。

例えば、フランク・スカリーの『空飛ぶ円盤の内幕』という本の中に紹介されている、メキシコの砂漠で発見された空飛ぶ円盤の残骸と小人パイロットの死体という出来事(「着陸した円盤に宇宙人の死体が……」本誌22号参照)は、当時すぐそれが全くの出鱈目の作り話であることが暴露され、そのために同書が絶版となり、スカリーが多くのガセネタをつかまされたものであることが今日まで定説となつて来ているのに、それを今さら「幻の書」として紹介し、我が国のUFOファンに間違っ

本誌において、私が最初から最も高く評価する点は、本誌の出現によって、我が国や世界の各地で撮られたカラーのUFO写真が我が国のUFOファンにとってそのままフルに鑑賞吟味できる場が提供されたことであ

その点、まことに貴重な資料を提供するもので、我が国のUFOファンにとって非常に有難いことと言わなければならぬが、それと共に、その美麗な全容と、多彩豊富な内容とによって、我が国のいろいろな階層のU

折角30号記念の言葉を求められたのに対して、こういう苦言をも呈するのは非常に心苦しいことであるが、批判面においても非常に厳しい私にもこの際感想を求められるからには、当然そういう苦い批判をも覚悟しておられることと思うので、敢てつけ加えさせていただくが、これまで毎号多方面にわたって内

ことであるが、次第に確認されてきた。学問的には、RFO(前記)である。いつまでも、UFOで通すと困るだろう。



未来への大事業の導きたれ

●作家・超常現象研究者

中岡 俊 哉

た知識を与えようというのは、一体どんなつもりなのであるのか？

他に紹介するものがないのなら別であるが、そうではさらさらない筈である。

あるいはまた、もともとはホワイトサンズの無名の工学技術者にすぎず、その後は十把一からのコンタクトの一人としての活動しかしていないダニエル・フライを、何か専門の分野で非常に業績のある世界的に有名な宇宙科学者・工学技術者のように紹介して、その言動を権威づけようとしているのは、どうしてであるのか？

彼は、科学界には席はなく、その「博士」号というの、ロンドンの小さな教会で運営している「通信教育」を受け、1万語の論文に一定の料金を添付して提出すれば安直に入手出来るという無権威のものにすぎないのである。

また、話が変わって、最近沢山の人が我々に訴えることは、我々UFO研究者たちの努力によって、尾道や千葉や名古屋や豊田市などのUFO写真が明らかにトリック写真としか考えられないことが立証され、通説となっているのに、本誌上では一度もそういうネガティブな結果

は発表されない、ということである。

たとえ、いかに体面上の問題があっても、我が国のUFO研究者たちによってたしかにトリックに違いしないと断定されたものを、いつまでもはおかむりしておいてよいものであろうか？

その他、我々の耳にはいろんな批判がはいって来る。しかし私は今なお本誌の存在価値を認めている。

そんなことで私は（私自身がこの位のUFO研究誌を出せばよいが、そんな力も時間もないので）本誌があくまでその特色を伸ばして発展して行ってくれることを望むものである。

また、毎号載る、全国の新聞記事からの切抜きを集め再録した「国内情報」なども、研究者にとっては非常に重要な資料と言える。

1925年東京生まれ。
中国芸大で中国演劇史を専攻。帰国後、超常現象研究に専念する。日本サイコトロニクス研究協会主宰。著書「テレビシー入門」他。

『UFOと宇宙』創刊30号、心よりお祝い申し上げます。おめでとう！

人間にたとえるならば30歳、まさに男盛りであり、これから活躍が大いに期待されるものである。

また、その活躍が、社会全般に与える影響も非常に大きなもの

のなるであろう。私はこの『UFOと宇宙』誌という一点の火花が、将来の燎原の炎となることを期待し、そのため微力を尽くすつもりである。

私はこの機会を借りて、次のことを本誌に希望し、読者諸兄にも望みたいと思う。

(1) 啓蒙誌から研究誌へ

超常現象について執筆を始めて約20年、この間、幾多の超常現象関係誌が創刊され、そして消えていった。

だが、なぜそれらの雑誌が消えなければならなかったか？

はまったく研究されていないようだ。その理由は、それらの雑誌が単なる商業目的、人びとの

関心があつて売ればよいというものであり、売れなくなったら廃止すればいいという安易なものであったからではないかと思う。

また、その他の雑誌、週刊誌もいろいろな特集を組んでいるが、これも単に読者にうけるということが理由にすぎないよう

だ。

もちろん、超常現象の事実を知ってもらう上では、それらの雑誌がどのような目的であろうと、紹介してくれることは結構なことといわなければならない



だろう。

しかし、私はこの『UFOと宇宙』誌の持っている使命はまったく違うと考えている。特に月刊誌となり、UFOを主体とした世界のミステリーを扱う専門誌に発展したのだから、単に売ればいいという雑誌ではないはずだ。

超常現象の啓蒙書であるとともに、理論的な研究書でなくてはならないのだ。それが本誌の使命なのではなからうか。

ぜひぜひ、そうなってもらいたい。

(2) 分散を結集する原動力に私はドキュメンタリー作家として、また徹力な研究者として

超常現象の科学的究明を最大の

目的として活動してきたが、その中で常に感じるもの、ぶつか

るものは、超常現象の科学的究明をめざしての結束ではなく、

個々の人の「自己主張」であり、「セクト主義」であり、「他の

非ばう・中傷」であった。

超常現象に目を向け、関心を持つ者への世間(といっても一

般より知識層・科学者)の風当りは強く、冷たく扱われている

現在、せめて、同じ立場にある者同士が力を出し合い、結束し

ていかなければ、超常現象は100年前と同じ次元に引きもど

されてしまうのではないだろう

本誌創刊30号を祝す

●日本宇宙現象研究会代表

並木 伸一郎

ひと昔前まで大人のお伽ばなしの類にしかたとえられなかったUFO現象も、今では真面目に科学的研究の対象物として考えられるようになってきた。

海外では、一部の著名な科学者たちが、真剣にこの問題に取り組んでいる。しかし、目下の

ところ複雑怪奇な様相を呈するUFO現象の謎を解明するまでには至っておらず、今後この問題は様々な形で斯界に波紋を投げかけつつけることになるだろう。

1970年代に入り、日本にもUFOブームの波が押し寄せ

一部マスコミの心ないレポートは、分裂を狙う中傷、非ばうの記事さえも発表しているのだ。

私はこうした理由から、本誌が超常現象に関心を持つ人びとを結集する原動力になってくれることを期待する。

その手はじめとして、本誌で毎号2〜3ページを使って、各地にある数百の研究會、研究グループの動向、機関誌(紙)の紹介をやってもらいたいこと

と、アドバンスページを作り、研究活動のあり方、方法へのアドバイスをやるようにしてもらいたい。

本誌のタイトルは『UFOと

1947年東京生まれ。

早稲田大学卒業、電々公社に勤務。1973年、「日本宇宙現象研究会」創立。

主著書に「UFO入門」「UFO発見法」がある。

てきた。そしてこのブームの中で誕生した本誌が創刊以来ここに30号を迎えるに至ったことは、まことに喜ばしく心よりお祝い申し上げる次第である。

国内では衝撃的な事件が少ないため、人々のUFOに対する意識も低く、この種の雑誌を創

宇宙』であるが、私は超能力、心靈を含めた超常現象全体の雑誌と考えているし、私はUFO、超能力、心靈の3つを総合的に研究してこそ初めて超常現象の謎は解けるのだと思っている。

最新の情報によると、アメリカの国家機関が近く、「UFO究明の衛星」を打ち上げるとのこと。

謎を多く秘めた超常現象の究明活動は世界的に広がりがつつあり、成果をあげつつあるのだ。

本誌の発展はそうした活動とともにあると考えてよからう。

50号、100号記念のお祝いのべられるようにしたいと思っている。

ている。

つても存続させることは難しいとされていたが、本誌はこうした不安を見事に吹き飛ばし順調に歩みつつけている。社名も「コズモ」出版社から、広大な宇宙を相手にするにふさわしいスケールの大きな「ユニバース」出版社と改められ、本誌も隔月刊から月刊へと急速な伸びをみせている。創刊当時の「コズモ」に比べ内容にやや新鮮さがなくな

ったとはいえ、国内で唯一の定期刊行誌であるだけに、我々読者の期待するところ非常に大で



UFO問題は 現代を象徴している

● UFO 研究者

荏 沢 潤一郎

あり、またこの期待に込めるのも本誌の使命ではないかと思

う。この30号をひとくぎりに、今

後でもできる限り興味深い事件として研究価値のあるレポートを

ドシドシ掲載して欲しいものである。

フライング・ソーサー（空飛ぶ円盤）という名前が生まれて、

すでに30年たったが、『UFOと宇宙』も30号になるとい

今日ではギャラップの調査でもわかる通り、UFOは2分間に1回の割合で世界のどこかで目撃

される時代になっている。しかし、UFOがどこから、何のためにやって来るのかは一般的にはまだ謎のままだ。真相を知っているのはだれだろう。当局はそれを知っているといわれるが、公表していない。にも

かわらずUFO事件は後を絶たず、その真実を知る権利が我々にはあるはずだ。『UFOと宇宙』が単なる商業誌にとどまらず、また一セクトに拘泥することなく、時代を冷静な観点で先取りしながら、それらの事実を大胆に報道して行くことを期待したい。

誌上に登場する多くのUFO目撃レポーターと同様に、私も明確な円盤型の飛行物体の目撃体験がある。しかもその直後、おそらくスクランブルで発進し

1945年、新潟県生まれ。法政大学哲学科卒。現在たま出版編集長。日本PSS学会会員。「UFO教室」編集責任者。「UFO教育グループ」講師。雑誌やテレビで活躍中。

たと思われるジェット機が追跡していた。10年ほど前の静岡県のことである。だからまた「UFOは実在していますよ」と常に言ってきた。

私のように、「UFO研究者がUFOを見たらおしまい」なのだそうだが、まだ世間には目撃体験者に対する偏見があり、口をつぐんでしまう人が多い。だから大いに『UFOと宇宙』が売れることが望ましいと言えるかも知れない。

ただ私は、UFOや宇宙人に

大衆はさめやすい

● 日本超科学会会長

橋 本 健

一般大衆誌として『コズモ』が創刊、途中で『UFOと宇宙』と改名され、こういう雑誌は途

中で消えてゆく例が多い中で唯一の例外として大発展し、遂に30号にまでなれた事を心から

1924年、宮城県生まれ。東大電子工学科卒。現在富士電工研究所長。主な著書に「超心理学入門」「超物理学入門」など。

お祝いするものである。

しかし、大衆は熱しやすくさめやすい。ユリ・ゲラーに始ま

った超能力ブームが、一週刊紙の「超能力インテリゲンチヤ」のキャンペーンによってただちに消えてしまったように。UFOブームも、単に大衆の好奇心によって成り立っているのでは、いつ消え、または消されてしまいかわからないのである。

対する関心が、単なる「夢」に終わってしまったのではないとはいいたい。なぜならば、UFO問題は現代を象徴しており、あらゆる問題をたどって行くとUFOに行き着き、逆に全ての解決のカギがUFOから出てくることさえ言えるほどの深さを、実は内に秘めているからだ。そんなわけで、私自身「UFO教育グループ」なる活動を始めているが、これは、故ジョージ・アダムスキー氏が他の進化した惑星人から伝えられた宇宙の哲理の探究と、地球にやって来ている惑星人の現実社会改善の意志に呼応したものである。この問題は、各自が宇宙の中に存在する一人の人間だという認識に立ってとらえるべきだと私は思う。



日本のUFO研究の 中心であってほしい

●UFO研究家

南山 宏

まずは、とにかくUFO研究
専門のただ一つの商業誌が、こ

まです、とにかくUFO研究
専門のただ一つの商業誌が、こ

まず、とにかくUFO研究
専門のただ一つの商業誌が、こ

まず、とにかくUFO研究
専門のただ一つの商業誌が、こ



本誌の出現で、ぼくは ひまになってしまった

●作家

平野 威馬雄

『エニグマ』が途中で消えたのは誠に残念である。これからは『エニグマ』的なものも『UFOと宇宙』がひきついで、将来消えることのないように、息の

長い成長をとげ、斯界の発展に貢献していただきたい。そのためには興味本位のものから、少しずつ科学的な記事を増やし、また超能力の応用的な記事をも

増やしていただきたい。UFOの写真にはイン・チキも多い。これらにはおかげさまで、過去に真だと思っ

敢に過りを正し、安易にイン・チキを作ってTV局や雑誌社に持ち込まぬ様な、厳正な態度をとり権威をもつことも永く続かすことに必要なことであらう。

日本の人々が、空飛ぶ円盤への興味と関心を持ったのは、アダムスキーの著書が紹介されたことが契機である。

その後、アダムスキーについては、毀誉褒貶つきるところを知らずであるが、なんといつても、アダムスキーの存在は、この世界で忘れられない大きなものとなった。

また、突如として商業ベース

に乗った『UFOと宇宙』（改題後）や『エニグマ』（廃刊）が創刊され、あれよあれよと驚く間もなく、日本にUFOブームをまきおこす原動力となり、しかも、UFO研究家にとっての大きなよりどころ、大きな支えとなつてしまった……という事実は、どんなにたたえても足りない。

追って深く大きくなって行く今の時代に、本誌の健在は、心づよいものである。

この雑誌の出現によって、ぼくは、もう、ひまになってしまった。UFOとのコミュニケーションの一切は、本誌におまかせすれば、正確で安心だからである。

1900年東京生まれ。上智大学独哲科卒。目下、「お化けを守る会」を主宰している。200以上の著書があるが、そのうちUFO関係は「円盤についてのまじめな話」など。

1936年東京生まれ。東京外国語大学に学ぶ。前「SFマガジン」編集長。主な著書に「UFO事典」。訳書に「UFO大襲来」「謎のパミューダ海域」など。

ほんとうに、心からお祝い申し上げます。



UFO問題は「私」自身の研究

●イラストレーター

横尾 忠 則

『UFOと宇宙』が日本のUFO研究の中心であってほしいのです。誌面もその目的に沿って重点的に編集してもらいたいです。

私の見たところでは、最近ではセンセーショナルな記事に重点

がおかれ、創刊当時のいきどろみややや薄れているように感じます。

一つには、最近の号がUFOだけでなく、UFOと関係のない他の分野の科学記事やミステ

リーまでふくめるようになっていくからかもしれません。

それと、UFO記事も見た目には華やかなカラー写真だし、楽しいのですが、厳しい選択や分析検証を経た上で取りあげてほしい。

読者には子供さんも多いようだし、UFOが非常に興味深い現象であることは事実ですが、興味本位だけに終わらないように十分研究的にやってほしいと思います。

8年前、ぼくはふとしたことからUFOに興味を持ち、そしてその虜（もよお）になってしまった。当時はまだ今日のようにUFOに関する資料も少なく、またUFOに関心を持った友人もなかった。だからゲリラ的にUFOを研究するより方法はなかったのである。

ところが現在、驚くほどUFOに関する書物も出版され、UFOを語る人々も激増しており、いふなれば全ての人々がUFO研究家になってしまった。F

私は、UFOを単なる三次元的な物理現象だと狭く考えてはおりませんし、UFO現象には超物理的、また超心理的側面も

大いにふくまれていると考えますが、いたずらな宗教哲学や精神哲学を誌面に取りあげることには反対です。まず何よりも科学的な検証がすべての研究の前提だと考えています。

商業的な制約がいろいろあることは、やむを得ないけれど、できれば、UFO現象と、この

1936年、兵庫県生まれ。現在イラストレーターとして世界で活躍中。ワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ展金賞など受賞多数。

「なぜ？」という質問は不要である。答えは『UFOと宇宙』に記されているからだ。

ぼくが毎月最も楽しみにしているのは、この雑誌が送られてくることである。毎回新たな感動に触れながらぼくは確実に一歩一歩明日に向かってるという

実感を抱く。ここには、人類にとって最も重要なことが記載され、そして人類の未来を予言していることを知らなければなら

現象に関係のある分野のテーマだけでととしてはいいし、唯一のUFO研究誌という自覚のもとに、我が国の遅れたUFO研究の促進を最大目的にしてもいいと思います。

そのためには、読者にテープや本をお売りになるのも結構ですが、真剣なシンポジウムの開催や、UFOの現象を冷視する正当的な科学界への働きかけなどを事業の中心にしてほしいというのが私の希望です。（談）

UFO問題は、いいかえれば「私」自身の研究でもある。「私」とはミクロとマクロによつて1本の糸でもつて通じ合っているのである。

UFOはかつてのようにSFではない。「UFO ARE REAL!」(UFOは現実!)である。UFOを夢とかロマンの領域でとらえている限り、UFOの真の意味は永遠に解けない。

UFOは、他人の問題ではなく、「あなた」自身の問題である。UFOはあなたの中に存在しているのである。『UFOと宇宙』がこの世で存在価値を失ったときこそ真の平和が地球上にやってくる時である。



本誌 特別取材



STV（札幌テレビ放送）屋上で開催された「UFO観測会」会場で次々とテレポーテーションを体験した中野さんは、その夜ついに念願の月に飛んだ。上空に輝く地球と遠くに見える異星人の宇宙基地、そして彼の目の前にある白い建物の前には球型のUFOが一台、入口をあけて待っていた――

〔前号のあらすじ〕

異星人とコンタクトして謎の金属をもらい、そのうえ地球人類

へのメッセージを伝えられたという青年が札幌に出現！ 昨年（1977年）

夏、北海道のUFO研究家加藤さん（仮名）からこのような情報を得た記

者は、異星人と会ったという中野さん

（仮名）にインタビューを申し込み、10月初めに了解を得て札幌に飛んだ。

現地で記者を迎えてくれたのは、中野さん、加藤さんのほかに同じ札幌の

UFO研究家山本さん（仮名）。4人で喫茶店に入りインタビューの打ち合

わせを始めるが、その直後、中野さんが異星人から渡されたという金属が消失するというハプニングが生じた。この出来事のと、場所を中野さんの自宅に移し、インタビューが開

札幌市で異星人との 驚異コンタクト発生！

その
2

●現在も異星人と接触を続けている中野青
 年が明かす待望の第2弾！ 巨大UFO目
 撃、ラミュー氏との出会いに続いて体験し
 た驚異の連続レポート・シヨンは…？



▲写① “UFO観測会”が行われた札幌市中央区のSTV札幌テレビ放送。

始された。

無口な中野さんと、それを補佐する加藤さんと山本さん。3人の協力のもとで、驚異の事件の詳細が次第に明らかになってゆく。

巨大UFO目撃に続く奇妙なテレパシー事件。異星人「ラミュー氏」との出会いと謎の金属。そして肉体が瞬間

6 UFO観測会での事件

●屋上から5階にレポート

1977年6月24日、この日は中野さんたちにとって待ちに待った大切な日であった。つまり「国際UFO観測デー」を記念し、札幌市中央区北1条西8丁目のSTV札幌テレビ放送（写①）屋上を貸りて大々的にUFO観測会を行おうという予定なのだ。

午後6時頃から準備を始め（写②）、

的に遠方に移動するというテレポーター・シヨン事件へと話は進む。
 中野さんは今までに10回ほどテレポーター・シヨンに成功しているが、第一回は昨年（1977年）6月23日夜、札幌市北条30条付近から自宅近くに瞬間移動。そして2回目は早くも翌日に発生した――。

7時に開会。それまでに約40人の参加者が集まった。参加者は、それぞれ思い思いの場所に散らばりながら観測を始めるが、皆が屋上の西側付近にたまたまっているのに対し、中野さんは一人、テレビ塔がある東側で一心にUFOを



▲写② 6月24日午後6時頃、STV屋上でUFO観測会の打ち合わせをする関係者たち。

▲レポートした場所に立つ中野さん(上・写③)と、エレベーター(下・写④)。



呼んでいた。

「こちら地球、日本、北海道札幌の中野です。地球上の星々の兄弟たちよ、どうぞあなたのお姿をお見せ下さい」

ラミュー氏からもらった例の金属を上着のポケットに忍ばせ、両手を上空にのびしながら大空に向けてテレバシィを送り続ける。

すると、20〜30分たったころ、急に身体が熱くなり始めた。そして次の瞬間にはもう、人気のない薄暗い廊下に立っていたのである(写③)。

「ここはどこだろう」

まわりにだれもいないので尋ねるわけにゆかない。しかし部屋のドアや壁などの様子から、ここがSTVのビルの中だということがわかる。でも、どうやったら外へ出られるのだろう……そう思いながらあちこちを歩き回っていると、やがてエレベーターのある場



所にたどり着いた(写④)。よく見ると、ここは5階であった。

安心した中野さんは、屋上に戻るためにボタンを押してエレベーターを待つが、エレベーターのドアが開いたとき、中に若い2人の女性が乗っていた。

彼女たちはUFO観測会に遅れてやって来た参加者で、後に加藤さんの友人であることがわかった。

※加藤さんに女性のことを尋ねると「2人は私の友人に違いありません。彼女たちは、いつでも証人になってくれると思います」と語ってくれた。

エレベーターが屋上に到着し、彼は

再び会場に戻るが、みんなは北西側に集まって空を眺めており、彼がいなくなったことにだれも気がついていない様子だ。

「すぐ、友人のHさんにこの出来事を話しましたが、彼がそれを他の人に伝えたせいか、皆の間で少しの間ざわめきが起きました」

中野さんの話では、この直後東側に光体状のUFOが現れたという。

●北大植物園に飛ぶ

騒ぎが静まった後、中野さんはHさんをつれてエレベーターのある建物の中へと入って行った。灯りがなく暗いおどり場で精神統一をしようというのだ。中野さんはさっそくその場にしゃがみこんで精神を統一し始めるが、HさんはUFO観測をするため途中で皆のところへ引き返した。

——しばらくたったころ、またもテレポーションが起こった。

今度は最初のときのように身体が熱くなることはなく、あつという間に外の地面の上に立っていたのである。場所はSTVの北隣りにある北大植物園(写⑤⑥)の中。前に1度入ったことがあるために目でわかったが、閉園後なので人はだれもいなく、まわりは街灯が2〜3本あるだけの暗闇。なぜこんなところに来てしまったのか見当もつかない。心細くなった中野さんは、



▲写⑤ 中野さんがSTV屋上からレポートした北大植物園の入口付近。



▲STVから見た植物園(左・写⑥a)と、植物園から見たSTVの建物(右・写⑥b)。

すぐに植物園を出る決心をし、柵を越えて(写⑦)STV入口へと急いだ。「STVの玄関には男性の受付がいたのですが、何も話さず、エレベーターで屋上にあがってしまいました」

中野さんの話では、このときからようやく皆がテレポーターションに気がついてくれたというが、残念なのは、これまでの場合、1人になったときに姿を消し、人気のないところに現れて



▲写⑦ 閉園後で人気のない植物園に不安を感じ、入口の柵をこえて外へ出た。

あたりを見回すと、驚いたことにごく最近(5月)に死んだ親しい友人の墓があるではないか。そうすると、ここは大阪府八尾市植松町だということになる。

大阪に来てしまったとは信じられないうが、たびたび訪れているところなので間違いはない。

もしかしたら死んだ友人が呼んだのでは……一瞬寒けを感じた中野さんは

植物園からSTVの屋上に戻った中野さんは再びテレビ塔側に行き、エレベーターでUFOを呼んでいると、そのうちになにか身体全体が引っ張られるような気がしてきた。

「すいこまれるような感じがして、気がつくと、人気のない墓地の中に立っていたのです」

●大阪にテレポート

いるので目撃者が極めて少ないことである。ところが、次(通算4回目)のテレポーターションのとき、はっきりした目撃者が現れた。



ポケットに入れていた例の金属をとり出し、思わず両手で握りしめた。

彼は、自分が「念力増幅器」と名づけた金属を握ったままじっとその場に立ち、STV屋上に戻るように一生懸命念じ続けた。

2〜3分たったころだろうか……

「……中野さん!……」

突然、叫び声が聞こえた。だれかがSTVの屋上から名前を呼んでいるようだ。

次の瞬間には、もうSTVに戻って来ていた。

「あっ!」

声が出たので見ると、知り合いのYさんが驚いた顔をしながらこちらを見



7月面の異星人基地へ行く

ているではないか。どうやら彼は現れる瞬間を目撃したようだ。彼に目撃したときの様子を尋ねると、
「屋上にあるアンテナの下の壁のところに突然姿が現れた」という答えが返ってきた。

●タクシー内での出来事

UFO観測会の際のテレポーターションはこれで終わった。しかし、この日はさらに2回も体験することになるのである。初めは帰りのタクシーの中で起こった。

9時15分に観測会が終了。自宅に帰るため、11時頃地下鉄北24条駅(写⑧)からタクシーをひろった中野さんは、車の中で、観測会のことや会場で見えたきれいな月のことを思い出していた。

山本さんの話では、Yさんはそれまでにぎやかだったが、そのとき以来すっかりおとなしくなってしまう、観測会の帰り際にはしょんぼりしていたという。

●月面にテレポート

ては何も言わず、自宅前で車を止めてもらうと、何事もなかったかのように降りた。

タクシーを降りて家に帰ったあと、自分の部屋でしばらくレコードなどを聴いて楽しんでいたら、午前1時30分ごろ、改めて月に行ってみようという気になった。「念力増幅器」を持って精神統一をしたあとベッドに横たわり、金属を机の上に置いて強烈に念じ始めた。

「月に行きたい……」

約10分ほどたつて気がつく、もう見知らぬところに立っていた。

白い建物と緑色の地面。遠くの方にドーム状の建物が2、3個見える。何気なく上を見ると斜め上空に地球が見えるではないか！

「すると、ここは月……」

しかし、大気が薄いはずなのに呼吸ができる。

その疑問は、すぐに解決した。光の反射などの関係から、ここがガラスのように透明な巨大ドームの中であることがわかったのだ。ドームの高さは、およそ400m。まわりの山々の状態や遠くに見えるドームなどから、これらはすべてクレーターの中に建てられているらしい。

空は、全体に白っぽく輝いているが

太陽は見えない。彼はこの理由を、「異星人たちが月のどこかに太陽エネルギー発生器のようなものを造り、そのエネルギーを白い光に変えてドーム周辺に当てているのではないか」と推測する。

地面は、アスファルトのようにでこぼこした人工物でできており、明るい緑色。彼は自分の部屋のテレビを指差し、

「これに近い色です」

と例をあげた。

他に目についたのは、ドームの中心を上下に貫く円筒と、丸い建物。円筒は、UFOの発着口らしく思える。すると、ここは異星人の基地なのだろうか……(図①)

そのとき、建物のあたりにだれかがいるのに気がついた。

無意識にそちらの方に歩いて行くと球形をした一機の白いUFOが着陸している。さらに近づくと、入口らしいものがあるのに入ることになった。

内部はガランとしていて、機械類など見あたらない。ところが、そのとき紺のスーツを着た背の高い男性が1人いるのに気がついた。よく見ると、あのラミュー氏ではないか！ 中野さんは驚きながらもこう尋ねた。

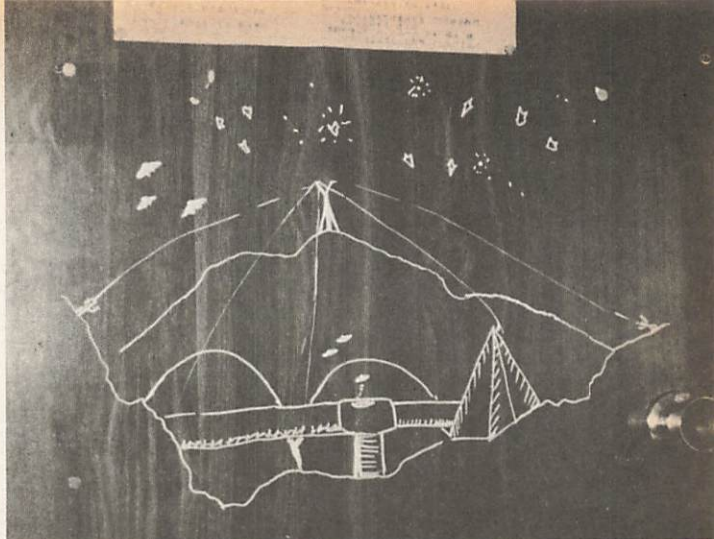
「地球に行きたいのですが、一緒に乗せて行ってくれますか」

この願いは受け入れられ、UFOは

▲写⑧ いくつかの事件は、この北24条駅付近で起こっている。

消えるのをくい止めるためには他のことを考えるしかない。そう感じた中野さんは、必死に他のことを考え始め、しばらくして元の状態にもどることに成功した。

ほっとして前を見るが、運転手は気がついていない様子。そこで、そのことについて



▲写⑨ テレポートで行った“レティクル座”の景色を部屋のドアに描いて残してある。

なく、地面はなめらかで見渡す限りの大平原である。

彼はそのとき思った。

「これならば、地球人でも生きてゆけそうだ」

しかし、まわりにだれもいないし、「面白くなさそう」なので、すぐに地球に帰ることにした。

*この事件で興味深いのは、テレポーションで行ったにもかかわらず、冥王星との往復に5、6時間もかかったと彼が語ったことだ。家に帰って時計を見たときにそれがわかったというが、なぜそんなに長くかかったのかは彼にもわからない。

また、なぜ証拠の石などを持ち帰らなかったかについては次のように説明している。

「そのときは、ただやれたというだけで満足でしたし、自分で確かめればいいと思ったからです。それに、持ち帰ろうとしたとしても成功したかどうかはわかりません。もっと精神を高めてからならばできると思います……」

9 ラミュー氏の訪問

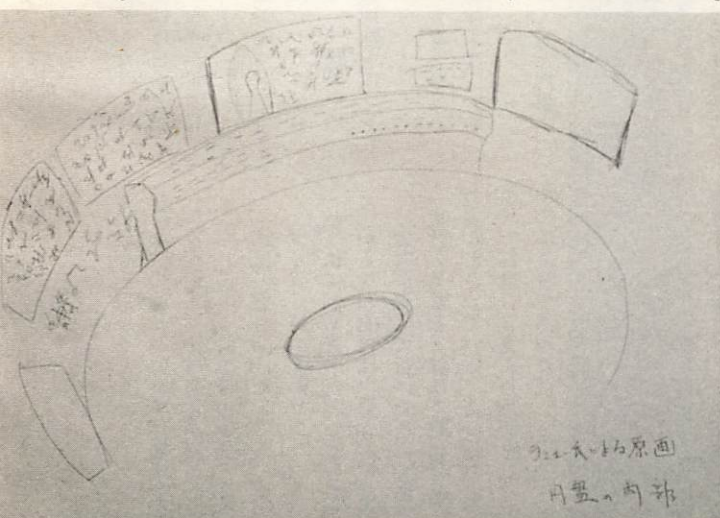
さて、いままではテレポーションを主体にした事件を述べてきたが、このへんから、いよいよ異星人とのコ

ンタクトを含む重要な出来事へと話を進めることにしよう。

ただし、中野さんが詳しく述べたが



▲写⑩ ラミュー氏が現れた場所に立つ。



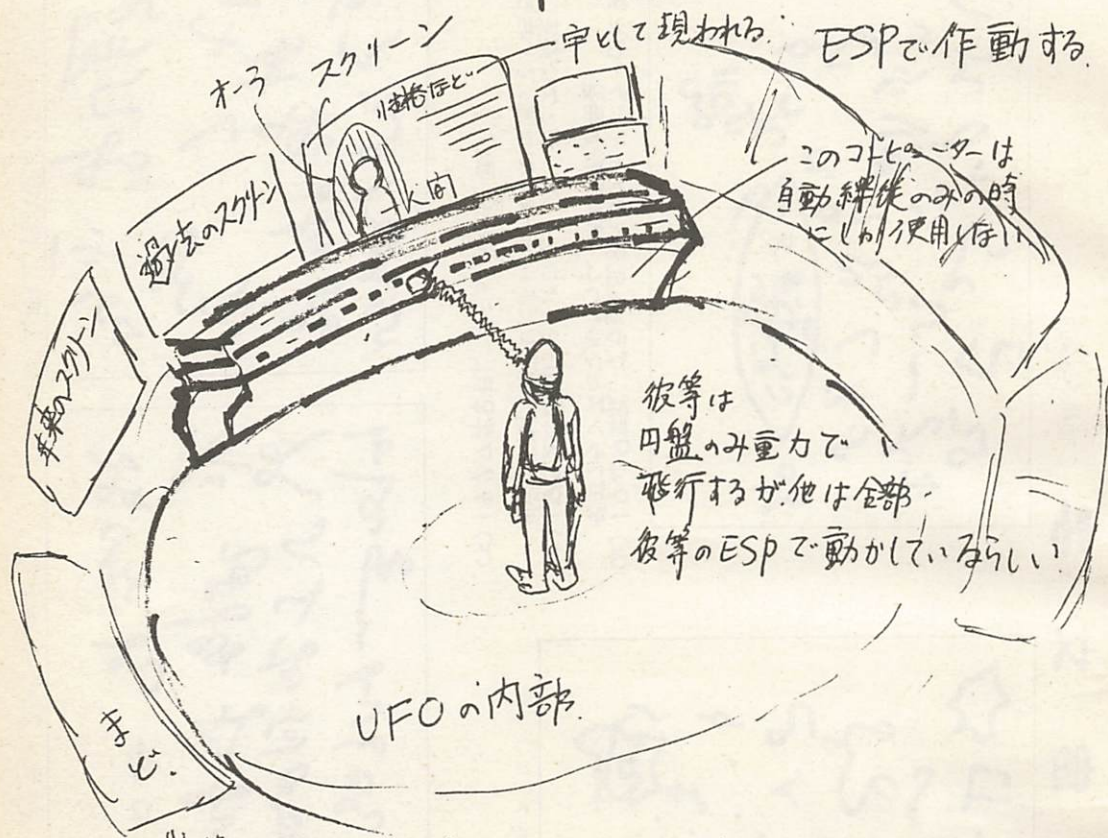
▲図②a ラミュー氏が描いた円盤内部のイラスト（原画）。

らない部分も多少ある。たとえば7月4日午後8時30分頃には、UFOに30分同乗したというが、北23条西4丁目付近からテレポーションで乗ったことや、中にラミュー氏がいたこと以外は教えてくれない。

それよりも、こちらの方が重要だというふうに、部屋の壁に貼ってある1枚のイラスト（図②）を指さした。

見ると「ラミュー氏による原画、円盤の内部」などと書いてある。

円盤の内部構造



武器は、かなりの高度からでも人間の頭を正確に打ちぬけるビーム武器-航で直撃できるという。

守りは、やはり、フォース・フィールドと呼ばれるもので敵から守ることが出来るという。

▲図②b ラミュー氏の原画をもとに中野さんが解説を加えて描いたイラスト。

記者が驚いて中野さんに説明を求めると、文字は自分だが、イラストはラミュー氏が直接描いたものだという。いままで世界中に異星人がイラストを描いたというような事件があっただろうか……記者が記憶をたどっている間に彼はこの事件の詳細を説明し始めた。

8月4日午後3時頃、1人で自宅にいた中野さんは電話のベルが鳴っているのに気がついた。急いで出ると、電話の声はラミュー氏であった。

「もしもし……これからあなたの部屋に行ってもいいですか？」

ラミュー氏の質問に対し、彼はすぐ答えた。

「ええ、何もありませんが、いいですよ！」

受話器を置いた中野さんは、あわてて2階に上がり、部屋をかたづけ始めた。少し何か用意しなくては……。

しかし、その瞬間うしろの方に人の気配を感じた。振り向くと、黒いスーツを着たラミュー氏が靴をはいたまま立っている(写真⑩) どうやらテレポーテーションで来たようだ。

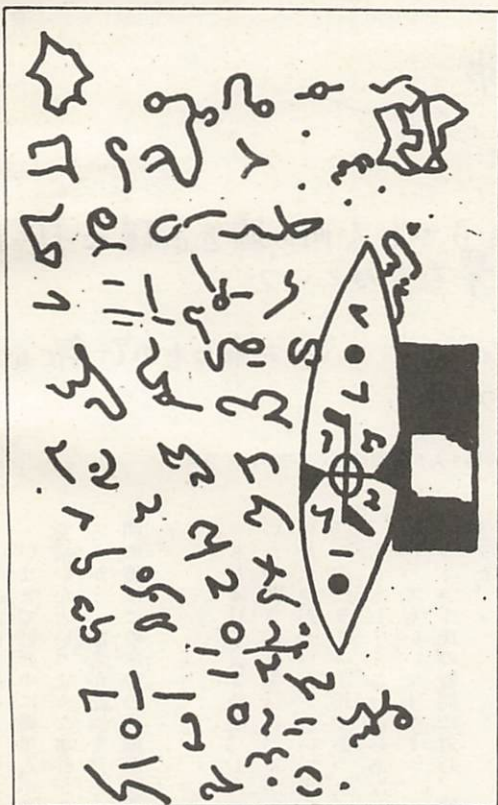
「あなたは、どうして私の家がわかったのですか？ それに電話番号も……」

ラミュー氏は、それに対しこう答えた。

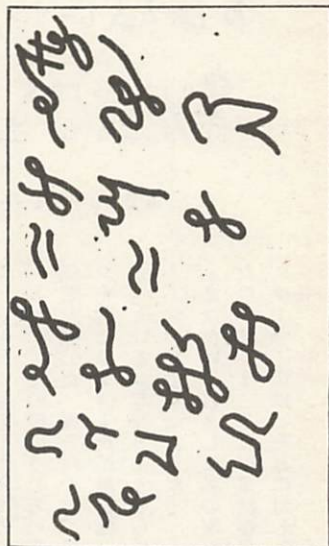
「私たちは今、地球人全部の記録を残し、調査しています。前にもあなたに

宇宙文字

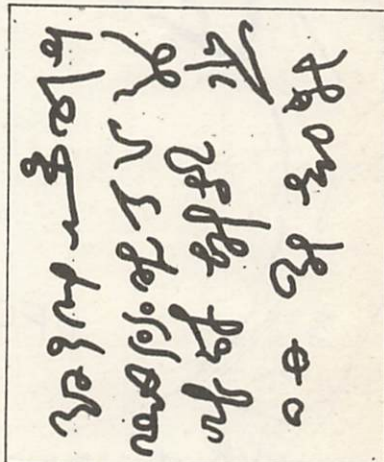
(加藤氏・画)



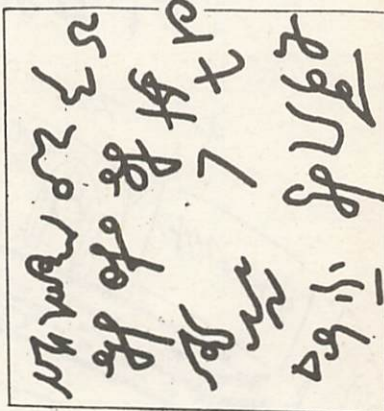
← 金星のマーク?



未来のスクリーンの文庫



過去のスクリーンの文庫



入向の性格のスクリーニ

(上) 1949年秋、ブラジル北部タラマのペドロ・ピントー
タでフランスのマルセラ・オム教授が発見

(中) 1952年12月13日、パロニー・ガーズに飛来した
金星の円盤が特下したホルダーのネガに写ったもの

(下) 1977年8月、ラニー氏の京画

天文図書の

地人書館 〒112 東京都文京区後楽1-1-10
☎03(815)4422 振替東京6-1532

新刊

●サマルカンド開都2500年記念復刻版

ヘベリウス星座図絵

—付 ウルグベグ星表—

荻内清訳・解説 A 3判 150頁 箱入 定価4500円 千690円

●Nature誌がアマチュア必読の書と激賞

宇宙の発見 望遠鏡による 天文学入門

アシモフ著 齊田博訳 A 5判 330頁 定価2500円 千200円

●「天文の基礎教室」姉妹篇

天文の計算教室

齊田 博著 A 5判 228頁 定価1500円 千200円

●1年間の総ての天文現象がひと目でパッチリ

'78 天文観測年表

天文観測年表編集委員会編 B 5判 200頁 定価1000円 千160円

●星座早見盤のついた「天文ポケット年鑑」

'78 天文手帳

「天文と気象」編集部編 A 6判 192頁 定価480円 千120円

好評発売中

●天文学習に役立つ天文ファン待望の書

天文観測辞典

古畑正秋監修 A 5判 380頁 定価2900円 千200円

●SFよりおもしろい

未知の宇宙 ●そのナゾにいとむ

リービット著 齊田博訳 B 5変形 210頁 定価2000円 千200円

●ヘール天文台校閲による天体写真の決定版

パロマ天体写真集 (永久保存版)

大澤清輝解説 B 4判 定価1700円 千240円

●この1冊で天体写真がパッチリ!

天体写真入門 初心者のための 徹底ガイド

天文と気象別冊 B 5判 144頁 定価800円 千160円

●教師のための天文書

天文の基礎教室

土田嘉直著 A 5判 194頁 定価1200円 千200円

会っているの、そのぐらいのことは簡単ですよ」

さらに彼は続ける。

「あなたたちはよく観測をしているようですが、それはよいことです。しかし、あまり人数を増やしても無駄です。私たちが一番着陸を望んでいる場所は、やはり山の中で、人間があまり住んでいないところです」

このほか、中野さんが例の金属を函館で置き忘れたことや、地球に危機がせまっていることなどを語ったが、その最中、中野さんの頭にある質問が浮かんだ。

「ラミューさん、あなたがここに来たという証拠になるものを何に残してく

れますか」

ラミュー氏は、この願いを聞くとすぐ、中野さんからボールペンと画用紙を受け取り、絵を描きながら説明を始めた。

「……上部左側に並んだ3つの四角い窓のようなものは、地球人の性格を表わすために考え出されたスクリーンで、そのうちの右端は、そのときのオリラの形と性格。中央と左端は、それぞれ過去と未来を文字で映し出します。……中央の機械盤のようなものは、地球人のオーラや性格などを記録したり、自動操縦などに使うコンピュータで、すべてテレバシーで作動します。……それと、左端のスクリー

んの下にある文字は「金星のマーク」です」

このほか、UFOには、かなりの高度のところからでも人間の頭を正確に打ちぬける強力なビーム式レーザー砲があるほか、防衛としてフォースフィールドを使っていると言った。

ラミュー氏は5、6分で絵を描き終えるが、このとき信じられないことが起こった。ラミュー氏に貸したボールペンがぐにゃつとねじれている。彼が描いている最中はなんともなかったのに……

驚く中野さんに対して彼は何も答えない。そしてまもなく、部屋に現れてから約30分後、今度は来たときと違っ

て手でドアを開け、足音を立てながら階段を降りて行った。

「私たちは近々、多くの仲間を連れて再びやって来て、ある場所に着陸するでしょう!」

これがラミュー氏の別れの言葉だった。

そして、この約束は数日後に実行されるのである。

(以下次号)

※次回はいよいよ最終回をむかえ、新型UFO同乗の模様やラミュー氏との喫茶店でのコンタクト。そして、ラミュー氏から伝えられた地球人へのメッセージなどを詳細にお届けする予定です。

なお、前号17頁で金属の比重が約4・5とあるのは約2・58の間違いでした。

トクマ・ブックス
TOKUMA BOOKS

ミステリーと ロマンと...

謎のバミューダ海域

UFO基地か、四次元の断層か
C・バーリッツ 南山宏訳 6600円

大消滅

その後のバミューダ海域
C・バーリッツ 南山宏訳 6630円

大隆起

魔の海域にアトランティスが浮上する
B・スタイガー 南山宏訳 6630円

一九八四年 地球人運命の年

G・マクウエーン他
吉野博高訳 6630円

UFO大接近

宇宙の神秘がわかる193項

南山宏 6600円

UFO事典

N・コールドー 森曉雄・小尾信弥訳 6600円

爆発する宇宙

(上)星に生命の謎を追う
(下)星からの訪問者たち

イ・リドバス 吉野博高訳 各6600円

宇宙の知的生物

ミステリー・ゾーンの扉を開く

J・ベルジェ・L・ボウエルス
島津智訳 6630円

古代への遊覧飛行

美人予言者アン・ゲーマンの驚異

H・シャーマン 早川芳男訳 6600円

謎の霊界通信

ロマンとファンタジーへの招待

黒沼健 6630円

怪奇千一夜

宇宙に秘められた驚異の謎

黒沼健 6630円

妖奇と霊の世界

徳間書店の本

東京都港区新橋4-10

東京433-6231

UFO界情報



「なぜ空飛ぶ円盤は来るのか」の著者として知られている米国のUFO研究者フレッド・ステックリング氏が去る11月12日から1週間にわたって滞日した。これは日本GAP（久保田八郎代表）主催の年度総会に招か

フレッド・ステックリング来日！

れたもので、会場となった東京・港区のヤクルトホールには朝早くから長い列がつくれ、遠く北海道、九州からも会員が詰めかけるほどの盛況ぶり。600名を収容する大ホールも満員になった。

日本空飛ぶ円盤研究会

荒井欣一代表

昭和50、51年に東京・新宿の三井ビル、虎の門の霞ヶ関ビルと2回、本格的な「UFOフェスティバル」を開催している

が、昨年はUFO30周年であったことを一つの踏み台として今年も、一般の人々を対象とした

UFO展を開きたい。

●会誌「宇宙機」現在休刊。

＜〒114 東京都品川区東五反田2-19-18＞

近代宇宙旅行協会

高梨純一代表

第3回UFO研究協議会が開催される。

日時 1月15日(日)11:55 PM

場所 大阪リバーサイドホテル

内容 スライド講演……「アニマル・コミュニケーション」(動物虐待)とUFO

会費 一般当日500円(会誌「空飛ぶ円盤研究」最新

総会は午前9時から開かれ、代表の久保田八郎氏の挨拶の後、フレッド・ステックリング氏が演壇に立つた。

公演は、故G・アダムスキーの思い出や業績などを混じえて2時間余り行われ、つめかいた会員は熱心に耳を傾けていた。

そのあと共に来日したイングリッド夫人も公演、女性らしい優しい口調が印象的だった。

午後に入ってから、アダムスキー撮影の8ミリ映画なども上映され、総会は4時過ぎ、盛大なうちに閉会した。

日本GAP 久保田八郎代表

毎月、例会が開かれている。日時 1月14日(土)11:55 PM

場所 東京・上野の文化会館

内容 「生命の科学」解説など。●会誌「GAPニューズレター」62号発行中

＜〒133 東京都江戸川区本一色町365-818＞

号1冊贈呈)

交通 国鉄環状線桜の宮駅下車

北口徒歩3分

●会誌「空飛ぶ円盤研究」79号

発行中

＜〒560 大阪府豊中市夕日丘2-7-12＞

日本宇宙現象研究会 並木伸一代表

第1回UFO研究者大会を6月開催企画。詳しくは後日、誌上に発表する。

●会誌「UFOマンスリー」9号1月発行「未確認飛行物体」8号4月に発行

＜〒150 東京都渋谷区神山町5-12＞

ユーホロジストクラブ 平野泰敏代表

全日本コンタクト大会を富士山ろくで開催。夏の7、8月。米国の有名なUFO集会「ジャイアント・ロック」を日本にも実現させよう。

第6回会合、1月15、16日

●会誌「ユーホロジスト」35号

発行中

＜〒673-03 兵庫県神戸市垂水区神出町五百蔵142-116＞

日本宇宙UFO研究会 並 幸夫代表

恒例のUFO講演会、および写真展3月に開催。8月には全日本UFO研究グループの総会を開催準備中。

●会誌「UFO」7号発行中

＜〒834 宮崎県児湯郡高鍋町蚊口浦＞

UFO教室 安斎純夫代表

第1回UFO教室説明会

日時 1月29日(日)11:55 PM

場所 四ツ谷公会堂 第2集会室 定員40名

●会誌「UFO教室」3号発行中

＜〒350-12 埼玉県入間郡日高町高萩2648-38＞

重力研究所 清家新一代表

RFO(=UFO)の準完全設計図作成中。

●会誌「宇宙艇」隔月発行

＜〒798 愛媛県宇和島市宮下甲519＞

高坂烈氏からの情報

火星接近にともないUFO観測開始。過去のデータからこの時期最も多くUFOが目撃されている。1月4月までの間。

ドーン、ゴーツ——すさまじい轟音^{どんごん}がシベリア、イルクーツクの北、約900kmのツングースカ川上流地方にとどろいたのは、1908年6月30日の朝7時17分である。驚いて戸外へとび出た住民たちの眼にうつったのは、巨大なキノコ型雲が上空に巻き上がって

いる地獄のような光景だった。バーバラ村の住民たちは大恐慌におちいり、上を下への大騒ぎになった。これが世界のミステリー史上有名なシベリアの謎の大爆発である。隕石の落下か、それとも他の不可解な物体なのか、謎はいまもって解けそうにもない。

信じられぬほどの大爆発

その日、早朝から仕事に出ていた人たちは、太陽よりも強烈な光を放つ物

体が、ものすごいスピードで空中を飛ぶのを目撃した。この物体は大体に南

から北へ飛行したと考えられるが、奇妙なことにブレアスブラジエンカ付近で突然、東へターンしたのである。隕石がこのような方向転換を行うとは考えにくい。

その直後に、およそこの世のものは思えないほどの大爆発が発生した。これがいかにすさまじいものであったかは、次の種々の事実でわかる。

爆発地点では、2千万平方kmの地域にわたって、数万本の樹木をなぎ倒した。アウガラ川の岸には大波が溢れ、

川に浮かんでいた材木が空中にはね上がった。人々は衣服が焼けるような熱気を感じ、続く3日間は現場一帯が日没後も昼のように明るく、この夜光現象はヨーロッパにまで及び、ロンドンやパリの市民は夜間に戸外で新聞が読めた。モスクワでは夜、フラッシュなして写真が撮れたし、シベリアの黄緑色の雨雲が、ときどきピンク色に変わった。

爆発原因に関する諸説

約20年後に初めてこの爆発地点へ調査の足を踏み入れたのは、ソ連気象学

シベリアの謎の大爆発は別な惑星の原子力宇宙船？

UFO・ミステリー研究家

久保田八郎

70年前、ツングースに何が起きたか……………



会の科学者、レオニード・クーリックである。彼の熱意に打たれたソビエト政府は、革命後5年目に彼のために探検資金を捻出した。そして1927年、人跡未踏の極寒の大タイガ地帯を、落伍した同行者を離れて、ガイド1人と共に絶大な困難を突破して現場へ到着したのである。

彼は恐るべき光景を見た！ 松や唐松などの大木のすべてが北西の方向になぎ倒されて、まるで巨大な鎌で刈り取られたような様相を呈している。この樹木の倒壊範囲は約2500平方kmに及び、倒木数は推定6万本。この範囲は東京都がすっぽりはいるほどの広さであることは、後の航空測量などによって判明している。

装備の乏しかったクーリックは、いったん引き返して、翌年の1928年の春に、再度、現地調査におもむいた。そして最初は隕石の落下によるものと考えたが、いくら歩きまわっても肝心の大穴が発見できないために、隕石説に疑問を起し始めた。しかも隕石のかけから見つからないのだ。

こうして隕石説に対する疑惑は、探検第1号たる彼から生じたのである。

1938年と9年には空中撮影による調査がしばしば行われたけれども、第二次大戦で中断され、以後この大爆発の謎は未解決のまま残された。が、近年になって再度脚光をあびるようになってきた。放射能測定技術が発達し

たからである。この大爆発によって樹木が燃えたのは、ある種の熱線の放射をあげた結果であることが発見されたし、爆発後の樹木の異常な生長ぶりからみても、放射能によるものと考えられるのだ。

大体にこの大爆発は質量1000万吨相当の物質によるもので、地上約10kmの位置で発生し、爆発エネルギーはTNT火薬の10メガトン分にあたるといわれている。

そこで、これまでに各種の説が学者から出されていた。まずブラックホール説がある。これならば直径1mm以下で小惑星ほどの信じがたい質量を持っている。これが秒速数万mでもすごい衝撃と高温を発するというのは、アメリカ、テキサス大学のジャクソン教授らの説だ。

トムスク大学のワシリエフ教授らに

やはり核爆発なのか……

1946年9月に彼はシベリアの謎の大爆発に関する推理記事をフォクルグ・ツベタ誌に出したが、それによると、あの爆発は別な惑星から来た核エネルギーを持つ大宇宙船で、それが着陸寸前に操作を誤って大爆発を起こしたのではないかというのである。

正規の科学者でないこともあって、この説は科学界から完全に否定された上、アカデミー会員のV・フェセンコ

によると、これはスィ星の一種で、全体が水でおおわれており、大気との摩擦で高温を発して気化したのだという。しかし、スィ星だとすれば各国の天文台が観測しそうなものだが、その例はない。

反物質説もある。現在の三次元宇宙の裏側には反宇宙が存在し、それを構成しているジャグモンという素粒子はこの宇宙の素粒子と正反対の性質を持つ。光速を超えるこのジャグモンが反宇宙世界を飛び出て、シベリアへ突入し、我々の知っている何かの物質と接触して爆発したというわけだ。

その他、小惑星接近説とか何だかだと種々の説があるけれども、どうやら軍配は核爆発説に上がりそうな気配をみせてきた。

その先駆をなしたのはソ連のSF作家カザンチエフである。

フヤ、ソ連隕石研究センターのE・クリンコフらは隕石説をとなえて反論した。

だが科学者でカザンチエフに味方をした人もいる。1959年にツングースの爆発現場を探索したA・V・ゾロトフは、大気圏外から来た何物かの核爆発だと今でも考えているし、別な探検隊をひきいたG・ブレカノフとN・コシエロフも同じように核爆発説をと

精神と秩序とエネルギー 《7つの質問》



- 宇宙とあなたを支配しているものは？
- すべての存在の背後にあるものは？
- 万物は超自然によって創られたか？
- 精神と秩序とエネルギー、これは「意識」の一言で説明できるのではないか？——そして、その背後には……
- 宇宙の普遍的意識」というものがあるのでは？
- 意識は死後も生存し続けるのだろうか？
- 人間には未使用の未知の自我の力があるのだろうか？

▼バラ十字会は、長い歴史をもち、宗教・政治団体とはまったく無関係の立場で、哲学的探究を目的としている同人組織です。本会は、幾世紀も保存し続けてきた未公開の英知を、希望者に対して通信教育方式により一般公開する活動を現在、世界63カ国で行なっております。

▼古代の奇蹟と方神祕として伝承されていることの裏面には、古代人が探究した自然の法則、人間の精神の働きの意外さ、人生の諸問題の対処のしかたなど、ユニークな視点、英知の数々が内包されています。

●詳細を説明した小冊子「人生を支配する」(日本語版)を無料でお送りします。下記にハガキでお申込み下さい。勿論、付帯義務や責任はつきません。なお、教材はすべて日本語になっております。

■申込先＝〒165 東京都中野区若宮2-49-16 バラ十字会 日本本部AMORC事務局U-2係

The ROSICRUCIANS 米国カリフォルニア州サンノゼ市 バラ十字会AMORC 世界総本部



▲爆心地から数kmの場所。



▲爆心地の折れた木。

ついている。
彼らが1969年に発表した調査事実
は驚くべきものであった。爆発後に
生長した樹齢40ないし50年の唐松や樺
の木の高さが、17ないし22mに及んで
いるのだ。普通ならせいぜい7、8m
にすぎない。この異常な生長ぶりは明
らかに放射能によるもので、自然の成
育状態ではない。

さらに樹木の年輪を調べた結果、爆

発時以前のものは太さが0・4mmない
し2mmにすぎないけれども、爆発後に
できた年輪は5〜10mmもあった。爆発
後50年も経過して、年輪の太さが4倍
になっていたのだ。焦げた木片を調査
すると、放射性同位元素のセシウム1
37が確認された。このことは爆発後
に年輪にたくわえられた放射能によ
り、人工的な放射性同位元素が存在し
たことを思わせるのである。

先般、新聞に掲載された記事による
と、ソ連の物理学者アレクセイ・ゾロ
トフ教授は、あの爆発は広島島の原爆
の2千倍以上ものエネルギーをもつ核
爆発であることが確認されたという。

最大のミステリーとは？

この大爆発に関する最大の謎は、爆
発直前に住民たちが目撃した輝く物体
が、直線状に飛行したのではなくて、
コースを変えたという点にある。先に
も述べたように、巨大な発光体はまず
南から北へ飛んだ。これは飛行中に記
録された地震や電気的な変化などから
計算して、アトボビッチ教授が出した
もので、その他にも住民の証言なども
とり入れた。また多数の木クギを使用
してミニチュアの爆発実験を行ったゾ
トキンとチスクリンの説も、物体が南
方から侵入して東へコースを変えたこ
とを認めている。

物体は大気圏内に突入してから、ケ

謎の物体が地上に激突して爆発した際
に、核反応をともなったと指摘し、ヤ
はり墜落した年の樹木の年輪が放射能
を帯びているし、爆発時の全エネルギ
ーのうち約30パーセントが光エネルギ
ーとして発散したという。

更に、樹木以外のコケや土について
も分析実験が進められており、アメリ
カのノーベル賞学者リビーも、年輪研
究により1909年以来放射能が少し
ずつ増加していることを認めている。
そしてゾロトフは「この物体が隕石や
スィ星であるとはまだ確認できず、他
の天体の人工的物体だったという可能
性は除外できない」と述べている。

最大のミステリーとは？

シユマまでを北上し、ブレアスブラジ
エンカ付近で急に東へ方向を変えた。
これと同じ発光体と思われる物は、6
月30日にポーランドのタトランスカ天
文台の一天文学者により目撃されてい
るが、これもポーランドの上空で突然
コースを変えたという。

これは何を意味するか。
おそらく知的生物により操縦されて
いたか、または遠隔操縦されていた大
気圏外の物体ではなかったか！

隕石やスィ星があのように急激なコ
ース変更を行うとは考えられないし、
いわゆる火球現象でもないだろう。だ
いいち、この有名な大事件はソ連のト

ップクラス科学者がむかしから研究に
取り組んでおり、現在もソ連科学アカ
デミー・シベリア支部、ウクライナ科
学アカデミー、全ソ天文測地協会など
が総力をあげて調査中なのである。そ
して大勢はどうやら核爆発説にかたむ
きつつあるのだ。

考え得るべき事実は、数万本の樹木
が破壊されるというこの途方もない大
爆発が、人跡未踏の大森林で発生し、
人間の居住地域から完全にはずれてい
たということだ。しかも航空機設計家
のA・モノツコフが目撃者の証言をも
とにして飛行コースを調べた結果、物
体の爆発時の速度は秒速0・7〜1km
であったことが判明した。これは到底
隕石やスィ星の落下速度ではない。こ
の速度という核爆発説といい、我々には
ある大いなる幻影が浮かんでくる。

核爆発とすれば、人工的な物としか
考えられないのだ。推測だが、長さ5
50m、幅60mあったゾロトフが推
定している、この別な惑星から来た大
宇宙船が何かの故障を起こして着陸地
点を探索中、せつばつまって爆発を決
意し、人畜に無害な場所を選んで、シ
ベリアの大タイガ上空まで飛来したの
だろうか。そうだとすれば彼らはきわ
めて「博愛の精神」に富んだ知的生命
体だということになる——。そのよう
なものが宇宙空間に存在しないとは断
言できないほどに、大宇宙は神秘と謎
に満ちているのだ。

●クボタ・ミステリー・シリーズ③

月は異星人の 宇宙基地か(1)

●月面に発生する謎の現象と
驚異の探索事実を明るみに出す！

●UFO/
ミステリー研究家

久保田八郎

■月面の謎の“オニール橋”

「おや？ 何だろう」

3インチ屈折望遠鏡のアイピース（接眼鏡）に目をくつつけていた男は、ちょっとまばたきをして、また眼を皿のようにしてのぞき込んだ。

「おかしいなあ。こんな物が存在するはずはないんだが……。おれの眼はどうかしてるんじゃないか」

男は再度アイピースから眼を離して、肉眼で宇宙の彼方を見た。暗黒の中に月が明るく輝いている。

また、まばたきをした彼はふたたびアイピースに眼をつけた。

「わーっ、やっぱり見えるぞー。どれい物が出現したんだ！」

興奮して叫ぶ男の声がアパートの屋上にこだました。ニューヨークの摩天楼が黒いシルエットとなって浮かび上がっている。

時は1953年7月29日の夜10時すぎ。望遠鏡にかじりついて狂気のようには月面を見つめている男は、ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙の科学部長ジョン・J・オニールである。

いったい何を
見たという
のか？

この夜彼は
愛用の望遠鏡
を屋上に持ち

出して月面の観測を始めた。38万キロ彼方の空間に浮かぶこの優美な夜の女神は、白昼の太陽神と並んで、古来人類の崇拜とロマンの的であった。太古より無数の人々がこの愛すべき天体に悲喜こもごもの想いを寄せて、ある者は限らない憧憬をいだき、ある者は涙を流した。

しかし1609年にイタリア・ルネサンス末期の物理学者ガリレオ・ガリレイが、オランダで発明された望遠鏡を改良し、倍率を高めて月の表面をのぞいたときから様相は一変した。美しかるべき月の顔は、実際はアバタだらけであったことが判明し、近代天文学の黎明を迎えることになったのである。以来、月は宇宙探索の好目標となり、プロ、アマを問わず望遠鏡の筒先を向け続けた。そして日光で形成される山腹やクレーターの黒い影と光輝部とが、かもし出す美しく複雑なコントラストは、天文愛好家たちにとって特別な意味での憧憬の対象となった。人跡未踏の地に対する大いなる好奇心の吐け口を月が提供したのである。

いったいに望遠鏡は不思議なものはない。居ながらにして宇宙空間の遠方の光景を引き寄せては目撃させてくれるこの魔法の機械をのぞくときの醍醐味は、風呂屋の壁に穴をあけて隣の湯を密かにのぞき見る悪趣味などとは比較にならず、ひとたび望遠鏡の魔力に魅せられたが最後、やめられない

のである。

オニールもその1人であった。新聞記者という激務のかたわら、天体観測を続けては科学精神の高揚をはかっていたのである。

この夜彼が標的にしたのは月面の東側のふちに近い、少し北寄りの部分に位置する『危機の海』である。海といっても水をたたえた海洋ではなく、ガリレオが最初に月面を望遠鏡でのぞい

たとき、各種の黒い平坦部がそのように見えて海と呼んだことから、以来『何々の海』と称せられるようになったのだ。

最初はいげんミッテンツェー25mmのアイビスで低倍率にしたが、次に6mmに切り換えて倍率を200倍にした。対物レンズの焦点距離が1200mmだから、これをアイビスの合成焦点6mmで割ればそうなるのだ。

荒涼たる月面が大きく展開し、見な

れているとはいえ、神秘の世界が美しく迫ってくる。

このとき異様な物が目についた。高い山と山とのあいだに長さ20kmもあらうと思われる細長く黒い物体が、ちょうど橋のように横たわっているのだ！ こんな物はかつて見たこと

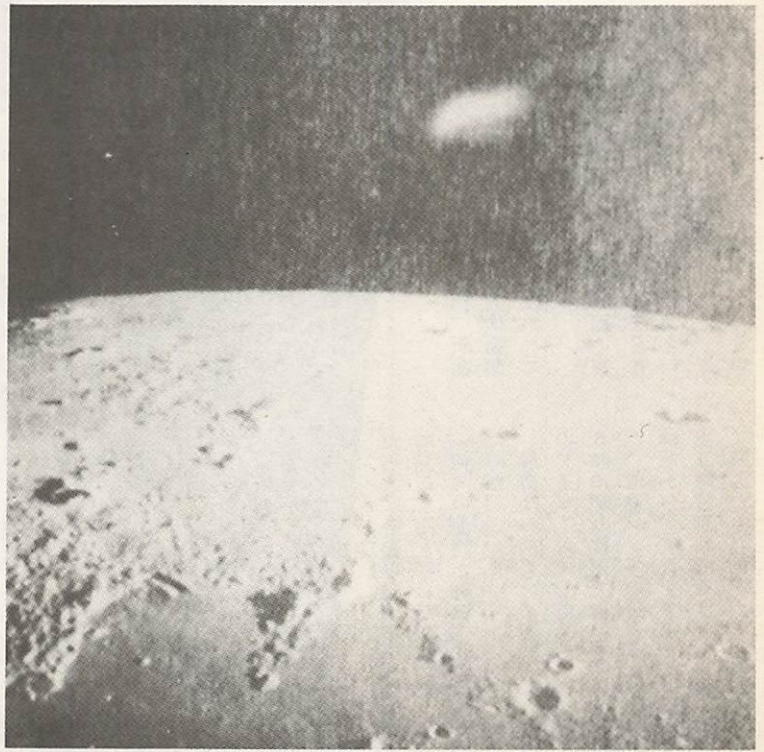


▲左のクレーターがアリストアルコス、右はヘロドトス（アポロ15号撮影）、下は1951年、アダムスキー撮影による月面付近の5機の円盤。



がないし、天文学上で発表されたこともない。

興奮さめやらぬオニールはただちにこの件を『惑星・月観測家協会』へ報告した。巨大な自然の橋が観測されたと書いたのである。当然のことながら彼は天文学者連から猛烈な非難を受けた。バカも休み休み言え、眼がどうかしていたのだらう、などと罵詈雑言を



▲月面上空を飛行するUFO。

あびせられた上、彼の職場の地位さえ危うくなってきた。だがその天文学者連もまもなく沈黙した。世界一流の英国の天文学者、H・P・ウィルキンズも、その「橋」を観測したと公表したからである。「これは月面上における最も驚くべき、神秘的な、人工建造物を思わせる現象のひとつである」とその名著『我らの月』の中で述べている。

観測した人はまだいた。英国天文学

協会のトップクラスの科学者、バトリック・ムーアも『危機の海』に横たわる不気味な黒い物体を認めたと報告したし、他の学者のなかにはその物体の下に流れる日光を見たと言う人もいた。観測者たちはこの異様な物体を自然現象だとみなしたが、ウィルキンズは人工的な構造物ではないかと考えていた。英国は保守的な国と思われているが、なかなかどうして進歩的な学者が少なくない。18世紀後半に天王星を

発見した英国の天文学者、ウィリアム・ハーシェルは、他の惑星群はもろん、太陽にすら人間が住んでいるのではないかと想像していた。戦後脚光をあびたUFO問題にしても、英国のUFO研究界や出版界が目覚ましい活動を行ったことは周知の事実である。さて、『危機の海』の黒い物体はどうなったか。謎は倍加した。なんと、この構造物はオニールが発見してから数日後に忽然と姿を消したのである！

『オニール橋』と名付けられたこの不可思議な現象は、今もって天文学界やミステリー研究家のあいだで語り草となっている。

自然現象であるような巨大な構造物が出現して、また消滅するものだろうか。これは到底考えられないことだとすると正体は何か？

ここにひとつの憶測がある。あの物体は別な惑星から来た宇宙大母船ではないだろうか!? 地球人には未知の反重力推進法を応用した一大宇宙都市ともいふべき建造物が、たまたま故障を起こして『危機の海』の山と山とのあいだに着陸したか、または地球の天文学者が精密な観測装置により期せずして『危機の海』を見つめていることを「知った」異星人が、デモンストレーションとして故意に出現したのか。そしてアマチュア観測家のオニールがアマチュアなるがゆえに臆することなく報告したということになるだろうか

■観測された

月面の怪現象

異星人が我らの月を早くから基地にしていたのではないかと考える方は世界のUFO研究界で行われていた。そしてそれを裏付けるかのような月面の怪現象がむかしから観測されていたのである。

1950年3月30日、H・P・ウィルキンズは、月面のアリストタルコスIIヘロドトス地域に、気味悪く輝くタマゴ型物体を15インチ反射望遠鏡でみずから認めた。

「クレーター」の地盤付近の上空に浮かぶ光る機械のような物」だったと彼は述べている。それより6年前の1944年8月12日の早朝にも、彼はブラトン・クレーターの中心部付近に、強烈に輝く丸い物体を見ていたのだ。

1953年9月16日には、英国天文学協会の月面部のメンバーであったルドルフ・M・リップバートが、オレンジ色の光体を発見したし、1963年10月30日には、米アリゾナ州のローウェル天文台で、天文学者のジョン・グリナーカーが、大きなルビーに似た赤い光体を観測している。こうした例をあげればきりがなほあり、過去200年間に800例以上もの異常現象が有能な観測家によって報告されているのだが、どういふわけか天文学関係

の書物にあまり記載されていないようだ。たとえば前述の『オニール橋』を発見した天文学者パトリック・ムーアは、1966年4月30日から5月1日の夜にかけて、ガッセンディー・クレターの中にも輝く赤い光点を1個観測したけれども、当時、月は全くの死の世界と考えられていたために、学者連は火山活動かガスの噴出ではないかと憶測した程度で、ほとんどかえりみられなかったのである。

■宇宙飛行士

UFOを目撃!

やがて宇宙開発時代が始まった。まずソ連が最初の人工衛星を打ち上げて負けじとばかりに、アメリカも次々と打ち上げる。そして一連のアポロ計画により、人類最初の月面到着という輝かしい業績が達成される。

人々は興奮した。何か異様な物が月面に——特に月の裏側で発見されるのではないか。だが期待は外れた。地球へ帰還する宇宙飛行士たちは全くありきたりのことしか言わず、表面も裏側も完全な死の世界であるかのごとき印象を世界に与えてしまった。果たして月は水も空気もない岩石のかたまりにすぎないのだろうか?

「隠されている物事で、明るみに出ないものはない」という法則がある。なぜなら地球人の心は秘密というものを保ち得ないほど脆弱であるからだ。

これは宇宙飛行士といえども例外ではない。

ジョン・グレン中佐が初めて有人衛星船に乗り、地球を回る軌道を飛んだとき、それまで何もない暗黒だと思われていた宇宙空間に、多数のホタル火のような発光体が浮かぶのを目撃したと帰還後に発表して、世界を驚かせた。狼狽した米政府の権威筋は、以後宇宙飛行士に対して厳重な箝口令をしいた。宇宙空間でいかなる驚異的物を目撃しても、一切他言するなという命令である。だがこれは無意味だった。宇宙飛行士たちも人間なら、それを取り巻く関係者も人間であり、しか

も陰謀や策略が渦巻いている。極秘事項が絶対完全に保たれるわけがない。こうして次々と驚異的な事実が明るみに出たのである。

ところでグレンが目撃したホタル火現象は何だったのだろうか? おそらく地球人として最初に宇宙空間へ飛び出した彼の衛星船を見守るUFOの群れから放射された「何か」ではなかったか! このような世紀の大実験を別な惑星の人間が——存在するとすれば——無視するはずはない。そのUFO群が友好的なものであってもなくても、地球人類の科学的進歩は彼らの注目の的となるだろう。



▲複雑なスジが交差するガッセンディー・クレター。1930年代に米ローウェル天文台撮影。

宇宙空間で異常な現象を目撃したのには彼だけではない。明確にUFOとわかる物体を見た最初の宇宙飛行士はゴードン・クーパー少佐である。

1963年5月15日、フェース7号で地球を回る軌道に乗っていたクーパーは、ハワイ上空で第4回目の飛行を続けていたとき、気味の悪い声が受信機から流れるのを聞いた。これは全く不可解な外国語で、この録音テープを後に調査した結果、地球上のいかなる言語でもないことが判明した。この宇宙船の地上との送受信は特殊なVHFで行われており、他からの干渉を受けるはずはないにもかかわらず、突然不思議な声が割り込んできたのである。

奇妙な体験はまだ続いた。最後の21回目の軌道を飛行中、クーパーがオーストラリア、パース上空にさしかかったとき、不気味な光体が彼の方へ接近するのを見たのだ。

「光る物がこちらへ接近中!」

「ボギーか? (注)『妖怪』とはNASA米航空宇宙局の職員がUFOにつけているニックネーム)」

「そうらしい。本船よりも高度を飛んでいる!」

地上の管制センターと交信した彼はその物体がかなり大きな物で、星ではなかったと言っている。

「この宇宙空間で我々が興味ある生物を発見してそれと親しくすることは可能かもしれない。お伽話は信じないが

◀月の雲の群れ。左頁の2点の写真にも月面に雲のカゲがはつきり見える。



私に言わせれば、地球の周辺には無数の未確認飛行物体が存在するので、地球以外の宇宙空間にある種の生命が存在する可能性は否定できない」とクーパーは述べている。

■またも宇宙の ホタル火現象、現れる

クーパーを最後とするマールキュリー計画のあと、続いてジェミニ計画が実施された。この実験では特に宇宙服を着た飛行士が宇宙遊泳を行うテストや2機の宇宙船をドッキングさせたりする試みが意図されたが、12回にわたる打ち上げに参加した宇宙飛行士の全員がUFOを目撃したという。

劇的な例をひとつ挙げると、1965年6月に、ジェームズ・マクデビットと、エドワード・ホワイトが、ジェミニ4号に接近するタマゴ型の光る物体を目撃して撮影するという事件がある。これはハワイ上空で発生したもので、このときマクデビットは物体を映画に撮った。以下はこの模様を伝えるジェミニ4号と管制センターの通信である。

「こちらはジェミニ管制センター。飛行は今30時間と9分間を経過。ジェミニ4号は20回目の軌道を周回してハワイ上空の通過を完了」

このとき通信士のガス・グリソムの会話で、船長のジム・マクデビットは別な物体を見たと報告した。

「このUFOには大きな腕のような物が数本突き出ているぞ!」
「まだ見えていますか?」
数秒後に4号側の宇宙飛行士グリソムが尋ねた。

「見えない。見失った。……1分間はど見ただけだ。写真に撮ったぞ!」
だがこのフィルムは後に地上で隠されてしまい、NASAの写真分析官が公開したときは、マクデビットが見た物体とはまるで違うものだった。

続くジェミニ5号の打ち上げでも、宇宙飛行士のクーパーとコンラッドが3機のUFOを宇宙空間で目撃している。矢のように飛ぶ銀色の物体が、ロケットの航跡の周辺でS字型のターンを行った。これも映画に撮影されたが奇妙なことに現像してみると3機のUFOが写っていた。

更にジェミニ7号になると驚くべき光景が展開する。これは1965年12月のことで、宇宙飛行士フランク・ボーマンとジェームズ・ラベルが船体付近に、不思議な小型物体群と、巨大なUFOを1機、目撃したのである。ケープ・ケネディ上空を通過中に発生したこの事件は、NASAのスポークスマンによると、それまでの宇宙開発史上最大の謎のひとつであるという。

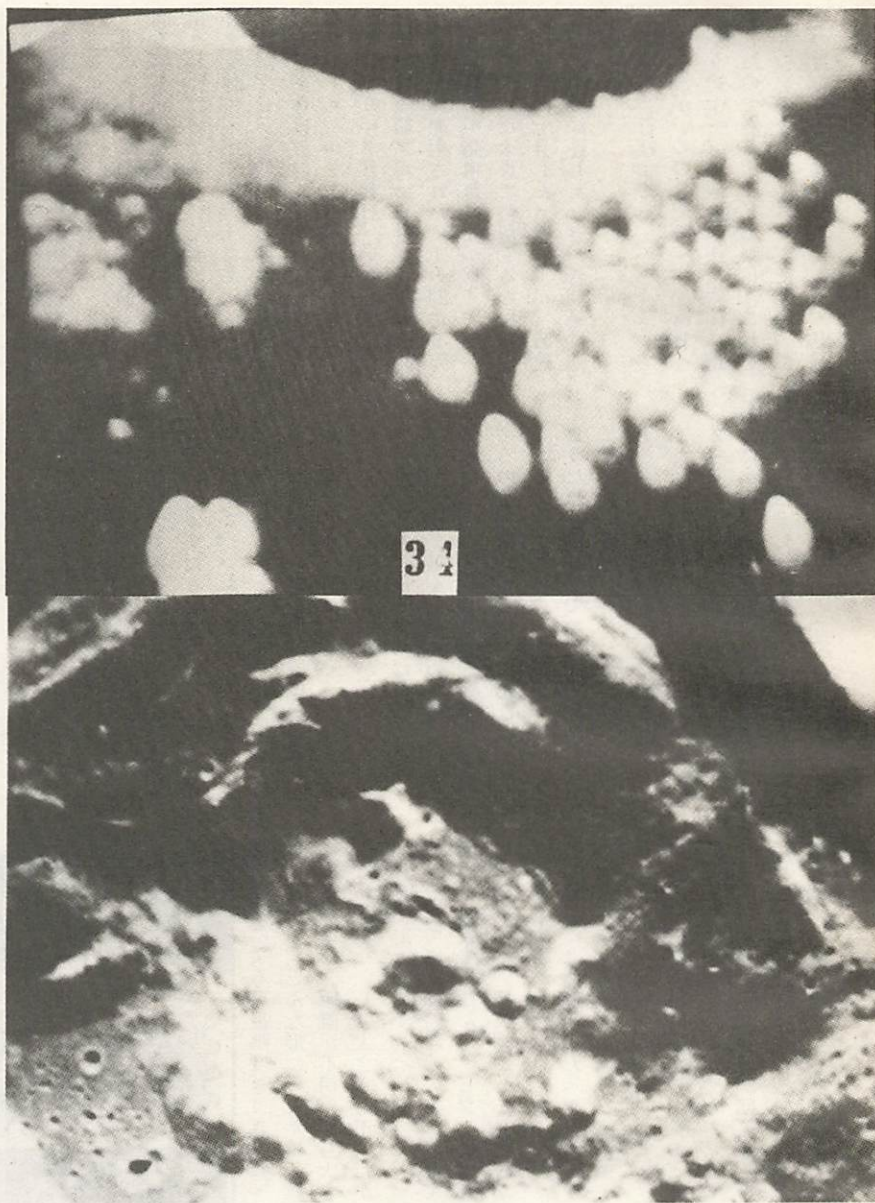
その交信記録は次のとおりだ。

ジェミニ7号「ヒューストン管制センター? こちらはジェミニ7号。聞こえるか」

ヒューズ「明瞭だ。続ける」
 ジェ「10時の方向にUFO!」
 ヒューズ「こちらヒューズ。なに?」
 ジェ「10時の方向にUFO」
 ヒューズ「了解。ブリストールか、それとも
 実際の目撃か」
 ジェ「数個のUFOが見えるぞ。実際の
 の目撃」

ヒューズ「詳細は? 大きさと距離は?」
 ジェ「ブリストールも見える」
 ヒューズ「了解」
 ジェ「沢山見える。左方約3ないし7
 マイルの方向に、数百の微粒子のよう
 な物が——」
 ヒューズ「了解。距離は?」
 ジェ「90度の位置に、UFOの進路に

あるようだ」
 ヒューズ「了解。それらは3〜4マイル離
 れているんだな」
 ジェ「そのとおり」
 ヒューズ「10時の方向にブリストールとU
 FOと微粒子群がいるのか」
 ジェ「横手にブリストール。UFOは日
 光をあびて強烈に輝いており、その表



面に無数の微粒子が見える」
 ヒューズ「いま、どちらの方向か」
 ジェ「2時の方向」
 ヒューズ「前方にいますという意味か」
 ジェ「ゆっくり回転しながら、2時の
 方向の前方にいます」
 この無数の光る微粒子というのが、
 先に述べたグレン中佐のホタル火現象
 と同じものである。これはマッキュー
 ー17号に乗ったカーペンターも目撃し
 ている。
 更にジェミニ10号の宇宙飛行士も1
 966年7月に、未知の物体に追跡さ
 れるという出来事に遭遇した。その交
 信記録によると、2機の強烈に光るU
 FOが宇宙船の軌道にはいつて、いつ
 たん姿を消したあと、また出現した。
 あまりに光輝が強いので星や惑星では
 ないと宇宙飛行士は断言している。
 こうした宇宙空間の目撃例は全く日
 常茶飯事として行われたのであり、こ
 の記録類の内容分析だけでもぼう大な
 UFO研究書になると思われるが、本
 稿の目的は月面の異常現象にあるので
 その方へ進むことにしよう。

■「月の砂漠」は本当だった

「惑星地球の人間、月面のここに最初
 の1歩をします。西暦1969年7
 月。我々は全人類を代表し、平和裡に
 ここに到達した」
 この簡潔な文章は、月面に最初の足

跡をしるしたニール・アームストロングが残したステンレス製飾り板に刻まれたものである。

だがその前年の12月20日に、予備調査のためアポロ8号が打ち上げられて、これが最初の月を回る有人宇宙船となった。乗員はフランク・ボーマン、ジェームズ・ラベル、ウィリアム・アランダーの3名である。こうしてアメリカの宇宙開発は、地球に最も近い天体の探検という輝かしい業績の幕を切って落とした。

ところが、この最初の宇宙船も月を回る第1回の軌道で、円盤型の物体に出くわしたのである。それは強烈に輝く発光体で、宇宙飛行士たちは眼がくらんだ。しかも船内の温度は異常に上昇し、船体はグラグラ揺れて、あやうくコントロールを失いそうになった。

1969年7月16日、いよいよ人類初の月着陸船アポロ11号が、午前9時32分51秒に発射された。1分間に5万ガロンの水が発射台に注がれて、ロケットの猛烈な火炎で溶解するのを防いだ。空間に上昇したロケットが、時速3万9千kmに達したとき、管制塔は連絡した。

「いいぞ。行けよ！」

ところが、この世紀の宇宙船も月へ向かう途中で、1個の異様な物体に遭遇したのである。はじめ乗員はこれをサターン4号のブースターだと思ってその旨を地上へ知らせたところ、意外

な回答が返ってきた。そのブースターなら9千5百km離れているはずだという。後日宇宙飛行士たちが交わした会話の記録をみよう。

オールドリン「我々が見た最初の異様な物体は、月はかなり接近していたよ。かなり大きな物だったなあ。それで単眼鏡で見たんだ」

コリンズ「どのようにして見たんだっけ？ 窓から見たら、それがいたんだね？」

オ「そう。サターン4号ブースターだと思ったね。そこで地上を呼び出したら、そのブースターなら9千5百km離れているはずだと言った」

コ「何かが、いたんだ。衝突するかと思ったよ」

アームストロング「彼は機械船が離れたのかと思っていったんだ」

コ「みんなは恐れていなかったね」

オ「もちろん、ぼくたちはいろいろな小さな物体が近くを飛ぶのを見ているからね。すると、あの光る物体が通過するのを目撃したんだ。みんなはサターン4号のブースターだと思っていたようにだね。単眼鏡でのぞいて見たら、どうもL字型のようだった」

ア「スーパークセスが開いたような形だったね」

オ「そのときみんなは司令船にいたものだから、よく見えたんだ。物体はすぐ近くにきた。かなりの大きさだったなあ」

UFO探知機

超高感度

国産唯一の本格的磁気探知機！

現在230台が全国で活躍中！！
既にUFO探知成功18件！！



左からT-5・T-3a・T-3b型

T-5型……¥9,000
T-3a型……¥18,000
T-3b型……¥19,000

■その他、連続観測用のACアダプター及び、補助電池ボックス（新製品）があります。

申込先：〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606

折田 至

Tel. 044-866-8347

●カタログ請求は100円切手をお送り下さい。

ア「肉眼による可視限度ぎりぎりだった。だから、どんな形だったかは正確に言えないな。距離が不明だから大きさもわからないし、大きさも不明だから距離もわからないんだ」

オ「それでぼくは着陸船の方へ降りて行って肉眼で見たんだ。ビントはずれの六分儀では、円筒型にしか見えなかったからね」

ア「実際には2個の輪だった」

オ「そう」

ア「2つの輪がつながっていたよ」

コ「いや、ぼくには中空の円筒のようには見えなかった。2つの輪がつながったようではなかったな。物体が回転するのが見えたはずだ。中空の円筒だ。六分儀の焦点を変えると、書物を開いたよ

うな形に見えた。実際、気味の悪い物だったね」

オ「円筒型にちがなかった」

コ「結局、正体は不明なのだ」

フロリダ時間の7月20日午後10時56分に、アームストロングは月面に足を降ろして、有名な言葉を伝えた。

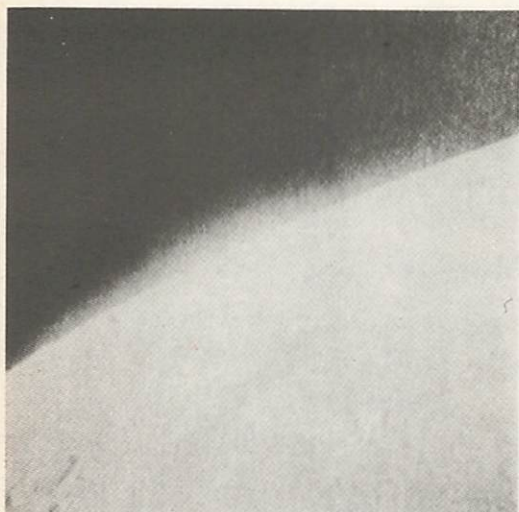
「これは人間にとって小さな第一歩だが、人類にとっては偉大な飛躍だ」

こうして、例のステンレス板を砂原の土に立てたのである。

ところで、このときの模様はテレビで世界中に放映されたから、だれしも記憶に残っているはずだが、月の表面はコンクリートのように固い岩盤だといふのがそれまでのある種の天文学書に述べてある通説だったのに、これが

見事にくつがえされて、『静かの海の着陸地点』は実際には広漠たる砂漠であつたことが判明した。とにかくアポロ計画により、月は水も空気も植物もない完全な死の世界だという説は結局生きなかつたことが、次第にわかつてくるのである。

アームストロングその他の宇宙飛行士の足跡が月面の砂地に克明に残されている写真を見ると、砂には水分が含まれているのではないかという気がする。乾燥しきつた砂に、あのようにクツの裏の模様まで鮮明に残るわけがない。月の重力は地球の6分の1だから砂がくずれにくいとも考えられるが、どうも彼らが歩きまわった『静かの海』は、本物の海ではないにしても、一種の湿地帯のように見えるのだ。



▲月面上空の大気。

だが——
しかしこの音は数日間、断続的に鳴り響いたので、乗員はイライラしてきた。たしかにアポロ宇宙船の外部からはいる干渉音だ。月から来る音か、それとも付近のUFOからか？
これについてはNASAの科学者オットー・バインダーが地上のセンターとアポロ11号との交信記録中に抹殺

とにかく一連の宇宙探検計画に参加した勇敢な冒険者たちが、ひんばんに月の周辺にUFOを目撃し、その驚異的記録がある程度明るみに出たからには、月面に重大な謎が秘められていることを考えないわけにはゆかないがどうしたわけか、これがさっぱり世間の注目の的にならないのだ。

■月面にいた

UFOの群れ！

さて、アポロ11号が月に接近するにつれて、宇宙飛行士たちは無電で不気味な音を聞き始めた。ワーン、ヒューッという消防車のサイレンにも似た音は地上の管制センターにも聞こえて、センターが連絡してきた。

された重要な部分があると述べている。それはこうだ。

2人の宇宙飛行士、オルドリッジとアームストロングが着陸地点を歩きまわっていたとき、突然アームストロングが、オルドリッジの腕をつかんで興奮しながら叫んだ。

「あれは何だ？ あれこそ、おれの知りたい物なんだ！」

2人の異常な様子はセンターにもわかって、一同は息をのんだ。

セ「何があつたんだ？ トラブルか？ アポロ11号、回答せよ！」

宇「巨大な物体（複数）が見えるぞ。

ああ、信じられないほどだ！ 別な宇宙船群がいるんだ。クレーターのむこう側のふちに並んでいる……月面上にいて、我々を見ているぞ！」

しかしこの驚異的な報告は一般には流されなかった。NASAや権威筋はただちに2人の宇宙飛行士に命じて、目撃した体験を忘れてしまえ、何事もなかったことにせよ、と指令を発したのである。結局、このテレビ中継を見ていた世界の6億の人々はツンボ機敷におかれてしまった。地上の管制センターで行うディレイド・システムという方法により、公開できない極秘部分はその都度カットされて、さしきわりのない映像だけが数分間の誤差により一般のテレビに流されるのだ。

なぜ米政府やNASAはこうまで秘密にしたがるのか？ 理由は簡単である。巨費をかけたこの宇宙開発計画はもともと軍事目的を持つもので、その極秘事項のすべてを公開するわけがないのである。それに、我らの衛星たる月を別な惑星から来た「人間」がすでに基地化していると発表しようものなら、世界的に大恐慌が発生し、結局アメリカも不利になることは眼に見えている。考えれば米権威筋の隠蔽策はむしろ賢明なのかもしれない。

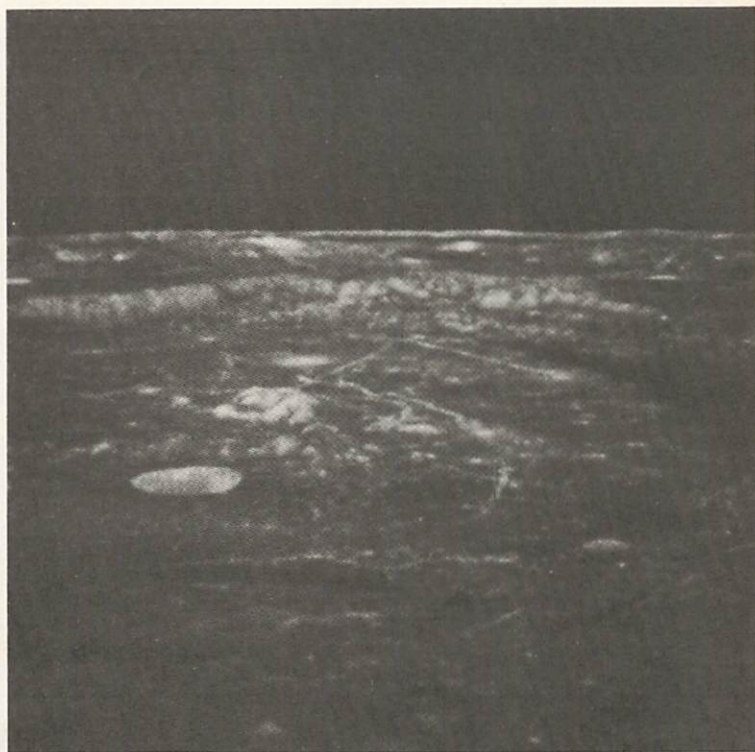
続いて1969年11月14日にはアポロ12号が打ち上げられたが、これも飛び立つてから1分もたたぬうちに電気系統が故障して、船内のあらゆる機能が一時マヒした。しかも宇宙船の付近に2機のUFOがいたことが判明したのである。そのうちの1機は長時間、12号の飛行に並行して飛んでいた。

その後、アポロ15号、16号、17号も宇宙飛行中に不思議な物体を目撃してその交信記録に残っているが、ここでは省略しよう。とにかく、これら一連の有人宇宙船による宇宙探検は、はやく言えば『異常物体目撃行』と称してもよいほどに、興味深い体験を豊富に残したのである。

■不思議な月の

クレーター

月に関してはこれまでに無数の謎がつきまとってきた。その第一として、水星や金星などには衛星がないのに、なぜ地球に衛星があるのかという点で



▲これは自然の産物にしては不可解すぎる。人工建造物としか思えない。

ある。宇宙の自然の法則によれば月のような天体が地球の周囲を回る現象など「あり得るはずはない」というわけで、これは全く自然界の気まぐれによって出来た奇形児だと述べたのはアイザック・アシモフらの一連の科学者であった。月の直径は地球のそれに比較して約4分の1もある。木星の12個ある衛星のうち、最大のものすら、本体の80分の1にすぎない。地球の質量の約0.1倍しかない火星も2個の衛星

を持つているけれども、地球の月に比較すれば微小な物である。なぜ地球だけが大きな衛星を持たねばならないのか。しかも月が地球を回る軌道は、地球が太陽を回る軌道に奇妙に似ているのだ。

これはおそらく月が自然の創造物ではなくて、人為的な物であるからではないだろうか。

月のミステリーはまだ山程ある。月面でアバタ面^{アバタ面}をなしているクレター

群の底が、奇妙に浅いのだ。そのなかには直径が数10 kmに及ぶものもあるが、100万個もあるクレターの3分の1以上、すなわち30万個が、直径8 km以上もあるのである。いったい、どのようにして、こんなに多数のクレターが形成されたのだろう。天文学上の通説では隕石が落下して出来たと推測されている。しかしジャック・グリーン博士のごとき月の専門家は太古の火山活動説をとっている。それなら地球にも火山活動があるのに、なぜ月と地球はこうまで表面の地形が異なるのか。科学者によると、月には大気がないので、隕石類が猛烈な勢いで落下するけれども、地球上では厚い大気圈の中で隕石が燃えてしまうのだという。これはある程度の説明にはなるにしても、月と地球が果てしない長い時代を通じて太陽を回る軌道を共にしてきたからには、地球へ激突する隕石も多数ありそうなものだが、実際に地上で見られる巨大なクレターは数えるほどしかない。だが月には無数にある。なぜか？

ここでもまた憶測が生じる。

月は地球の片割れではなくて、実は遠い別な場所で作られた物体ではないだろうか。そして「何者か」が、何らかの目的で地球の付近まで運んだのではないか――。

大気が存在しない点を考慮して隕石落下説をとるにしても、前述のごとく

クレター群の底が驚くほど浅いという事実は、月の最大のミステリーである。150 kmも直径のある大クレターの深さは、せいぜい3~5 kmにすぎない。これはどうしたことか？ 重量100万トンもある大隕石の落下は、1メガトンの原爆の爆発力に匹敵するのに、平坦な浅い大穴が残っているにすぎない。クレビウス・クレターを例にとっても、その直径は233 kmもあり、これはスイスとルクセンブルグを合わせた面積よりも大きい。その最深部はたったの5 km弱である。大隕石が落下したのなら、もつとはるかに深い穴が生じるはずだ。かりに直径15 kmもある隕石が落下したとすれば、その径の4~5倍の深さの穴ができる。と推定されるのだが、最も深いガガーリン・クレターは300 kmも直径があるのに、深さは6 kmしかない。

そこで科学者の結論としては、月の表面下に、何か極端に固いものが存在して、それが落下する隕石の突入を防いだのだろうという。その固いものとは何なのか？

これについては、月の内部は実際には金属の球体の核があり、その周囲に人工的な天体の殻をかぶせたのだという説を打ち出して人々を驚かせたソ連の科学者2名がいるが、それは次号で述べることにしてむしろ、どこからか運び来る途中で無数の隕石の直撃を受けたとみなす方が、まだ仮説らしくな

ってくる。ただしこれは筆者の推測ではない。

月のクレイターの起源に関する別な説としては、前述のように、火山活動がある。アリゾナ大学のロバート・ストーム教授は言う。

「月のクレイターの10パーセントは明らかに隕石の落下によるもので、約10パーセントは火山活動によるものだ。あとは不明である。クレイターをかつぱしから調べるより他に方法はな

い」
いずれにしても、科学者は月のクレイターが一樣に浅いの首をかしげているのだ。そして、この浅い凹部に怪光が見られることは、前に述べた。しかも月には不気味な振動があるし、ゴビ砂漠の百万倍も乾燥しきっていると考えられた月面に巨大な雲が出現して、水も発見されたのである！

■月面上空の大蒸気雲！

大体に月には水が存在しないということがアポロ11、12、14号で確認されたということになっていった。このことはNASAの月科学部副部長のリチャード・アレンビーも声明している。

ところが、アポロ宇宙船によって月面に残された装置により、驚くべき事実が明るみに出た。水蒸気雲の大噴出が起こり、月面の100平方マイルもの地域にわたって拡がったことが探知

されたのである！ この噴出は14時間も続いた。これはアポロの超熱イオン検知機が検出したデータを2名の科学者が分析して判明したものである。これは最大の驚異的発見で、月震が発生しているあいだに深奥部から噴出したものらしい。この事実を発表したのは

ライス大学の物理学者ジョン・フリーマンとH・ケン・ヒルズの両博士であった。
NASAの科学者は真つ向から否定した。

「あれはアポロが月面に残した2個の水タンクから出た水蒸気雲だ」
しかし各水タンクにはわずか270kgから450kgの水しかない。それが100平方マイルにもわたって水蒸気をたなびかせるとは、どういうわけだろう。

もちろんライス大学の科学者はこの声明を相手にしなかった。アポロ12号と14号の着陸地点は180kmも離れているのに、両位置で水蒸気の同じ噴出量が検知されたのである。この2個の検知機は互いに反対方向に向きあった状態で水蒸気雲を検知しているのだ。

そこでNASAは、これは8月14日に司令船から月の上空に放出された宇宙飛行士たちの小便のせいだと苦しい釈明をした。この小便が数週間も月の周囲の空間を回り、次第に地表へ下降して検知されたのだらうという。

もちろんヒル博士は言下に否定し、小便ならば空中で自然消滅するはずだと主張した。

NASAと両博士との「小便論争」は一見おかしくもあるが、月に水が存在するか否かは重要な問題である。これは月の起源と発達に関して、種々の説の中心課題になるからだ。サイエンス・ニュース紙も指摘しているし、

「月の内部は表面で見える様子とは全く異なるのかもしれない」と、月科学者のファルーク・エル・バズも言っている。

だがアポロ16号が帰還してから、この謎は重大化した。宇宙飛行士が持ち帰った岩石の中に、さびた鉄が含まれていたのだ！

★この眼で見よう！ 謎と神秘に満ちた雄大壮麗な
エジプト・ギリシア・ローマの
遺跡群と、奇跡のルールドの聖泉を！

エジプト宇宙考古学遺跡の旅 行こう！古代の神々の国へ！

大成功を収めた第1回の中米宇宙考古学遺跡の旅に引き続き、今度はエジプトを主体にまたもすばらしいツアーを企画しました。参加者多数が予想されますので、早目にお申し込み下さい。(定員50名)

- 期 間 昭和53年8月12日→26日(2週間)
- 費 用 50万円弱(航空運賃・朝食付ホテル代・その他の費用を含む)。
12ヵ月、24ヵ月分割払い可。
- 申込先 〒110 東京都台東区上野5-1-6、ヤマトビル
ユニバース出版ツアー係(140円切手同封お申し込みの方に詳細説明書をお送りします)
- 主 要 見学地 (フランス)パリ市内、ルーブル美術館、ノートルダム寺院、モンマルトルの丘、サクレクール寺院、凱旋門、その他。
(イタリヤ)ローマ市内、バンテオン神殿、サンピエトロ寺院、バチカン宮殿、その他。ナポリ市内、ポンペイ遺跡。(ギリシア)アテネ市内、アクロポリスのアテナ、ニケ、パルテノン各神殿、ゼウス神殿、コロント遺跡、ミケーネ遺跡。(エジプト)カイロ市内、エジプト博物館、ギゼーの3大ピラミッド、スフィンクス、サッカーラ遺跡、ルクソール神殿(これのみオプション・ツアー)。その他。
久保田八郎(ユニバース出版社会長・UFOとミステリー研究家)
ユニバース出版社 株式会社トラベル日本
国際アカデミック・センター ユニバース出版社
ギリシア政府観光局
- 同行者 催 画 力
●共 協
●企 協

月に水が存在しないというのに、なぜ鉄がさびるのか？ さびるためには当然、水がなければならず、水があるのなら酸素も水素も存在するはずだ。2名のソ連人科学者、バシルとシチエルバコフの主張によると、月の内部には巨大な空洞部があり、そこには生命を維持できるガス類が充満しているという。このガスが裂け目などから表面に出て、大蒸気雲を形成したのではないか――。

謎は深まるばかりだが、実際にはアポロ16号によって、相当数の驚くべき事実が明るみに出されたのである。次号では更に興味深い問題に触れて核心にせまることにしよう。(以下次号)

共産圏にもUFOは出現している

チェコスロバキア・その1

車を吸いこんだ
円形の飛行物体

チェコスロバキアでは、なぜ

か1人の農業科学者が1年たらずの間に、2回もUFOに襲われる事件が発生している。

その人は、チェコ農業研究所のG・カルビナ氏で、第1回目の事件は、1976年4月9日、

チェコ西部にある町で起きた。

その日、クヒンカ博士ら5人の科学者は、カルビナ氏の運転する自動車に乗って、首都プラハへの道を行っていた。

かれらは、農業関係者と、電気関係者で、将来の農業開発についての新しい提案を会議で検討することになっていたのだ。

「私の実験は、まだまだ十分ではないが……」

クヒンカ博士は、電気的な面での農業生産の向上を研究していたのだ。

「いや、博士の実験はすばらしいものですよ」

カルビナ氏は、ハンドルをにぎったままバック・ミラーで、後座席の博士をたてていた。時速80kmあまりのスピードで、

プラハへの国道を走る車の中では、これから参加する会議で何がしきりと話し合われた。午前6時、朝のすがすがしい

空気が車窓から流れこんでいた。数十分後、おそろしい事件が起こることなど、誰一人として考えもしなかった。

「あれっ、あれは……？」

運転をしていたカルビナ氏が突然、大声をあげ、車のスピードをおとした。外の4人も、い

っせいに車窓から外を見た。前方上空に、飛行機とはまったく違う円形の物体が飛んでいるのが見えたのである。

その物体は、直径8~9mもある大きな物で、銀白色に輝きながら、とても速いスピードで南方から北方の空へ飛んでいったのである。

「なんだろうね……？」

5人は、思わず顔を見合わせながらグングン高度をあげて見えなくなっていく謎の物体を見

送った。

「秘密兵器を見てしまったのかね？」

クヒンカ博士は、いやな顔をしながら、座席に体をうずめ、

タバコに火をつけた。車はもとのスピードで走り出したが、しばらくは誰も口をきこうとしなかった。クヒンカ博士のいった

「秘密兵器」という言葉がひっかかっていったようだ。

それもそのはずで、かれら東ヨーロッパ人は、軍の秘密に触れることを大変に恐れ、嫌っていたのだ。もし、まったくの偶然にしろ、軍の機密に接し、触れることは、ときによっては自分の自由を失うことにもなりかねなかったからだ。

「あれは疲れからくる幻覚であって、われわれは何も見えていないのだ」

カルビナ氏が、アクセルを大きくふかしながら大声でいった。その一言で車内の空気がかわった。ふたたび、車内ではその日の会議のことに話の花がさいた。

「あっ、またきた……」

カルビナ氏の脇の助手席にす

わっていた農業科学者が、つぶやくように小声でいった。みんなの目が、何か恐ろしいものでも見るように、前方の上空に注がれた。

さつきと同じ円形の飛行物体が、こんどはさつきより低い高度で、ゆっくりと飛んでいたのだ。

「あまり見ないほうが無難でしょうな」

カルビナ氏は、誰にいうとはなしにいつて、車のスピードをこころもちあげ、プラハへと急いだ。

午前7時をまわり、対行車もあるようになったし、サイドミラーに数台の後続車も見られるようになっていた。

後続車も、前方上空の謎の物体を発見したらしく、スピードをおとし、窓から首を出して見ている者もあった。

「大変だっ！」

車に乗っていた5人は、いっせいに悲鳴をあげた。なんと、謎の物体が、突然、方向を変え、高度を上げて5人の乗っている車のま上にきたのである。

カルビナ氏は、車のスピード

●1970年、ソ連ウクライナ地方でソ連の空軍将校が撮影した大変珍しいUFO。

ぼ
事件簿



超常現象研究家・中岡俊哉

共産圏UFO

こまれていく車を、がく然と見上げていた。

謎の物体に、クヒンカ博士ら4人を乗せた自分の車が吸いこまれ、やがて、物体が高度をあげて飛び去っていったとき、カルビナ氏は狂ったように大声をあげた。

4人を乗せた自動車を吸いこんだ謎の物体は、スピードをあげ、あっという間に上空に姿を消してしまった。

「そんなバカなことがあるものか！」

後続車の1台に助けられ、現場から十数kmほどはなれた町の中

チエコスロバキア・その2

謎の物体

旅客機をゆらす

この事件のショックのため、

もさけていた。

カルビナ氏は休職していたが、事件から半年目、かれはもとの職場にもどり、研究活動をはじめた。

いまわしい事件をなんとか忘れようとしていたのであるが、不運なことに、またも事件に直面してしまったのである。

カルビナ氏は事件から、強度の自動車ノイローゼになり、もちろん自分で車を運転することもしなかったし、車に乗ること

1976年3月14日、カルビナ氏は仕事でブラチスラバに出かけていた。そしてその日、飛行機でブラハに帰ることになっ

をあげ、必死に逃げようとしたが、車におおいかぶさるように、

の物体から逃れることはできなかった。

びったりとま上を飛んでいる物体は、車からはなれようとしなかった。

ガラガラガラ……突然、タイヤの空まわりする音がした。

カルビナ氏は、車のエンジン

「ぎゃあーっ！」

が焼けついて断末魔の叫びをあげるまで、車を走らせたが、謎

カルビナ氏は、自分の車が地上からはなれて浮き上がってい

道路に投げだされたカルビナ氏は、速さをましながら宙に浮きあがり、謎の物体の腹に吸い

た。

カルビナ氏は、仲間に見送られて午後9時10分発の最終便に乗った。旅客機は満席で、エンジンの音も快調に空港を飛び立った。飛行機は高度を3500mまであげると、プラハに機首を向けて水平飛行をはじめた。スチュワデスが、飲み物と軽食を配った。

カルビナ氏は食事をすませ、ジュースを飲みながら、突然、謎の物体におそわれたときのことをふと思い出した。それは思い出すだけでも、気の重くなるいやなことであった。

カルビナ氏は、いやな思い出をかき消そうとタバコに火をつけ、隣席の男に雑談をしかけようとしたときである。

「あれはなんだ!」

カルビナ氏のうしろの座席の人が、大声をあげて、窓に顔を押しあてて、機外の様子をうかがった。

かれもその声につられて外を見たが、その瞬間、おどろきの声をあげ、身を硬ばらせてしまった。

月のない上空にオレンジ色に光る円形の物体があったのだ! その物体は、色こそ発しているが、形はカルビナ氏の車を襲

った物とそっくりだった。かれは気が狂いそうだった。事件のショックからようやく立ち直りかけているとき、またしても、謎の物体を見しまったのだ。

カルビナ氏は、ショックのため、頭をかかえてしまった。「あつ、近づいてくる!」

窓から光る物体をのぞいていたほかの乗客が大声をあげるのと、機体が激しくゆれ動くのとほとんど同時だった。

機体は、まるで乱気流の中にまきこまれたように激しくゆれ動き、乗客は悲鳴をあげた。カルビナ氏は、頭をかかえたまま、うずくまっていた。

同機のま近に接近した光る物体のため、機内までオレンジ色に光り輝き、その光に青白くなった乗客の顔が照らし出され、不気味であった。

操縦室では、計器類が故障したように作動しなくなってしまう、パイロットは青くなっていた。

3分後、光る物体は同機から

離れていった。機体の激しいゆれは止まり、計器類もみなもとどおり作動をはじめた。

「助かった……」

カルビナ氏をはじめ乗客はみなほっとした。

しかし、かれの気持ちはとても重かった。前回のこともあり、きつと何かの理由をつけて警察によばれるのではないかと不安があったのだ。

はたして、空港に着くと、乗客全員が足どめをくった。そして事情聴取をされた。カルビナ氏の場合は、2度目ということもあって特にきびしく調べられた。また、着陸後、機体の点検が行われたが、主翼に直径30cmほどの円形の焼け焦げたような跡が3つもついていることがわかった。

カルビナ氏の車を襲った事件、そして今回の事件とも、調査が続けられている。

一部の科学者は「UFO説」をとえているが、はっきりした結論はまだ出ていない。

ソ連

ウクライナの

陸軍兵士が目撃

「おいあれを見ろ、なんだ」

1977年9月19日早朝、ソ

1974~76

共産圏のUFO事件簿

(1) 1974年10月13日、チェコスロバキアのブラチスラバで、科学者たちが皿型UFOを目撃した。

一行がタクシーンのつて走っているとき、南西の上空に、白っぽい色をした、直径20cmあまりの皿型UFOが飛んでいるのを発見した。

車をとめ、見ていると、いったん超高空に消えたUFOは再び姿をあらわした。ものすごいスピードで下降してきたが、すぐに南西から北東へとジグザグに飛んで視界から消えてしまった。

(2) 1976年10月25日、ポーランドのワルシャワに住むテレビ・プロデューサーで、超能力研究家のステファンスキー氏は、友人の家を出たとき、UFOを発見した。夜空に、直径1mあまりの、青白く光る土星型のUFOが飛んでいたのである。

ステファンスキー氏たちは、夜空に曲線を描きながらゆっくりと西の空へ飛び去っていく、この土星型のUFOを約2分間目撃していたのである。

(3) 1974年7月20日、アルバニア空軍のボロロ大尉は、ジェット戦闘機で快晴の空の下で飛行訓練をしていた。すべて正常で、司令塔との連絡もうまくいっていた。ところが、午後3時17分、突然、すべての計器が異常をきたし、計器の示す数値は飛行していないときと同じ0にもどってしまったのだ。

あわてた大尉の目に、不思議な物体が接近してくるのが見えた。それは、直径3mほどあるカップ型のUFOで、太陽の光をうけて銀白色に、まばゆいほどに光っていた。

そのUFOは、あわてて急降下をはじめた大尉機を高度6000mまで追ってきたが、やがて、超高空へ飛び去っていった。

連のウクライナにあるバスターミナルのことである。

出庫前のバスの整備をしていた運転手3人と、警備員の2人は、西の上空にぼつかりと浮いている物体を発見して大声をあげた。

上空には、大きさ4〜5mほどの、灰色をしたカップ型の物体がゆっくりと飛んでいた。物体は高度をあげたり、さげたり、左右にジグザグに飛んだりしていた。

運転手たちは、仲間をよび集め、上空の物体を見た。

「きつと、新兵器だよ、革命記念日前だからなあ……」

一部の人は、物体がソ連の新兵器だといった。その考えに反対する者もあったが、なん

であるかまったく不明だった。

同じころ、バスターミナルから100kmほど離れた場所にある陸軍の兵営で、ちょうど訓練

中だった15人の兵士が、上空300mくらいに飛んできたカッ

プ型の物体を目撃したのだ。

「……？」
兵士たちは、初めて見る物体におどろきの目を見はった。

物体はやがて、高度を下げはじめ、広い兵営の土地に着陸しうになった。

兵営は大騒ぎとなった。さつ

そく空軍司令部にも連絡がとられ、その物体の正体確認が行われた。

「撃ち落せ！」

司令部からの命令が発せられた。兵士たちは銃を持ち出し、謎の物体に発砲しようとした。

その瞬間、謎の物体は、ものすごいスピードですい直に上昇し、あっという間に上空へ消えてしまった。

それから3日後の9月22日、またしても謎の物体が目撃された。

同日、午後11時、ウクライナからモスクワに向けて、2機の貨物機が飛んでいた。貨物機は高度4500mをとって、ベテランパイロットのイワノフ氏の操縦で飛んでいた。

同機には、機長のイワノフ氏のほかに5人の乗務員と、2人の貨物係が乗っていた。飛行はきわめて順調であった。

ウクライナを飛び立って20

▲1970年、ソ連ウクライナ地方でソ連の空軍将校が写したUFO。

そのとたん、大尉機の計器は正常にもどったのである。

(4) 1974年2月26日、バタロフ氏は、小型の貨物輸送機を操縦して、ウクライナ共和国にある飛行場を飛び立った。高度2500m、時速400kmで飛行を続けていた。

午後2時50分ごろであった。バタロフ氏は、一瞬、自分の目を疑い、操縦かんを握る手を思わずとめた。

前方700mくらいの上空に、直径1mたらずの皿型をした物体が3つ、左右、上下に自由自在に飛び回っているのを見つけたのである。

しかも、その中のひとつが、突然、小型機めがけて体当たりでもするように飛んできたのである。バタロフ氏は、あわてて急上昇しながら、危くその物体をかわした。

ひやりとする一瞬であった。その後、数分間、3つの物体は遠くから小型機の左前方を飛び続けたが、やがていずともなく消えてしまった。

(5) 1974年3月19日、アダメンコ氏は、ソ連のキューブ市郊外にある気象自動記録計の定期検査に出かけた。検査も終わり、帰りがけた午後4時10分、アダメンコ氏は、北の空から黒光りする物体が降下してくるのを見つけた。その物体は、ちょうど木の葉が風にゆれながら落下してくるような形で降下してきた。それは直径40〜50cmのもので、土星型をしていた。

彼は、持っていたカメラでその物体を撮影した。物体は推測5000mくらいまで降下してから、ななめに曲線を描きながら上昇し、やがて視界から消えた。時間にして約2分間ぐらいの出来事であった。

アダメンコ氏は、その写真を気象台に提出したが、なんらの回答もなかったという。

(6) 1972年9月16日、ポーランドのヤクボード地方で、30人もの人が同時に6機からなるUFOの編隊を見た。

最初に発見したのは、ブレネフ氏という校長先生であ

心と体の統一強化

超道

◆超道師範資格取得講座

- カール・ヘニングターの指導によりアメリカでブームを呼ぶ画期的運命転換システム「ボダ原理」、大脳生理学、深層心理学による独創的中枢能力開発によって、心と体の統一強化をはかる。



- 通信講座部 (基礎科3ヵ月)
1日10分の行法練習を自宅で行うだけで充分効果のあがるシステム指導。
受講料:9,000円(スクーリング付)
- 通学部 (基礎科3ヵ月)
銀座会場で毎月1回直接個人指導を徹底的に行なう。
受講料:15,000円

申込方法 ハガキに通信、通学の別を明記の上、超道受講と書いて申込み下さい。受講料は教材到着後振替又は現金書留でお近くの郵便局からご送付下さい。

唯超学会 (UFO係)

〒104 東京都中央区銀座
2の8の17
(中川ビル1号室)
TEL 03 (567) 6718
資料呈:超道資料(通信・通学の別)と書いて、切手50円同封下さい。

0kmあまり飛んだときだった。
「あっ、機長!」

無線士が、大声をあげて右前方の上空を指さした。同機よりも2~3000m上空に大きな葉巻のような型をした物体が飛んでいたのである。

同機との距離は約2000mあった。

「ウクライナ・タワーへ、謎の物体を発見した。物体は……」

イワノフ機長は、さっそくタワーに連絡をとり、指示をあおいだ。なにしろ、謎の物体は同機のコース上にあるし、その飛行速度はおそく、ぶつかると危険さえあったからだ。

しかし、タワーからの返事のないうちに、機長らの目に、不思議な様子が映った。

長さ30~40mの葉巻型物体の胴から、1mくらいの皿型をし

た2つの物体が飛び出し、同機めがけて飛んできたのだ。

「タワー! タワー!」

機長は、タワーをよびながら思いきって機首を曲げ、コースをそらせた。

だが、小さな物体は同機をめがけて自由自在に飛んできた。まるで、同機をほんろうするようであった。

イワノフ機長は必死だった。

ハンガリー

グリーンに輝く

UFOの落としもの

1977年8月26日、ハンガリー

の首都ブダペスト郊外の建設現場で、この事件は起きた。

現場で働いていた工事関係者は、上空から銀白色に輝く皿型の物体が下降してくるのを発見

し、大騒ぎをした。

物体は直径6~7mもある大きなもので、高度500m近くまで下降し、ちょうど建設中の

ビルの馬上で停止していた。

「なんだろう?」

った。午後7時すぎ、なんとなく空が明るくなったような気がしてふと空を見上げた。すると、そこには直径14mくらいもあるオレンジ色のUFOが6機、飛んでいたのである。

「みんな、来てくれ!」

ブレネフ先生のびっくりした声で、校内にいた夜勤の先生や、校舎を使っていたその町の世話役たちが、外に飛びだして夜空を見上げた。そこには、はっきりと6機のUFOが……

やがて、停止していたUFOは、上下に、さらに左右にと飛びはじめ、十数分後には超高空に姿を消してしまった。

なお、この6機のUFOが飛来したとき、近くにあった火力発電所の電圧に異常な変化が起きたという。

(7) 1974年10月11日、ポーランドのクラクフ市でのことである。

午後11時すぎ、十数人の兵士をのせたトラックが走っていたときである。突然、謎の飛行物体が降下してきて、トラックの道をふさいでしまった。

その物体は、直径5mあまりのカップ型のもので、クラクシオンを鳴らしてもどかないので、兵士の1人がそ



▲1970年、ソ連ウクライナ地方でソ連の空軍将校が写したUFO。

きなかった。人びとは恐ろしく、物体に近づいていった。だが、誰も物体に触れようとしなかった。

人びとと物体とのにらみ合いが続いていたが、やがて、大きな音をたてて物体は急上昇をはじめた。

「あれは……？」

物体が飛び立ったあとに、グリーンに光る小さな球形物体が3つあるのを見つけた。

しかし、工事関係者は気味悪がって、その球形物に近よらなかった。そして警官がその品物を拾いあげようとした。

「重いなあ……」

警官はびっくりした。ピンポン玉くらいの金属物体だというのに、片手で拾いあげることができなかったのだ。

警官は、不気味な光線を発している3つの球形物を車にのせて、署へ運んだ。

ところが、その球形物を手にした警官が、突然、身体の異常を訴えた。身体が異常にだるくなり、しかも意識がうすれて、口もきけなくなってしまうたのである。

「こんな小さな物体がこんなに重いなんて信じられないし、この光がどうして金属から放射さ

の物体に近づいたところ、物体から光線が発射され、その兵士は、大火傷を負ってしまった。

そこで、ほかの兵士たちがいっせいに銃を発射したところ、その物体は飛び去ってしまった。

この報告をうけた軍司令部は、その物体をUFOと断定した。

(8) 1973年12月23日、ハンガリーの首都ブタペストに住む医師のミランスキー博士は、家族5人とUFOを目撃した。

博士たちは自家用車にのって郊外にある祖父の家からの帰り道であった。

高校生の長男が最初に発見した。大きな火のかたまりのような物体が、車めがけて急降下してきたのである。近づくにつれて物体はその形がはつきりしてきて、カッブルになり、オレンジ色に光っていた。

物体は、直径3m以上もあり、走る車の上にビタリとついて飛行してきたが、車を止めると、車めがけて青白い光線をあびせてきた。

だが、幸いなことに、自動車にも、のっていたミランスキー博士らにもなんの異常もなかった。

(9) 1974年11月12日、ブルガリアの港町ブルーガスの人びとは、海上を飛んでいる8機のUFOを目撃した。その数多い目撃者の一人である警官のサルケーズ氏は、そのときの様子をつぎのように語った。

UFOがあらわれたのは、午後4時少し前で、港にある船舶監視塔のサイレンがけたたましく鳴った。

ちょうどバトロール中だったサルケーズ氏は、上空を見上げて騒ぐ人びとにまじってUFOを見た。

UFOは、それぞれ直径2mぐらいのもので、銀白色に光る皿型のものであり、8機が左右や、T字型、V字型などの編隊を組んで海上を飛びまわっていたのだ。

近くの空軍基地から緊急発進した空軍機が現れるまでの数分間、UFOは自在に飛びまわり、空軍機が現れる

初めて見る人びとは、仕事の手をとめ上空を見上げた。目撃者の数は200人近くに達し、数人の警官もあせんとこれを見ていた。

その物体がなんであるのか？ どうしたらいいのか？ かれらはさっぱりわからなかった。

やがて、物体はすい直に上昇をはじめ、かなりの高度まであ

がつてから、W字の型の飛行をした。

それから、ふたたびすごいスピードで下降をはじめ、建設現場に降りてきた。物体は空地に着陸したのだ。

「……？」

工事関係者は、着陸した物体を遠巻きにして見ていた。

数分たっても、何の変化も起

中国

山中に消えた
皿型UFO

されるのか不思議だ……」

ハンガリー科学アカデミーの
ナヒモフ教授らは、いま、謎の

球形物を調べているが、それが
「地球上の物ではない」というこ
としかわかっていないようだ。

「あれは……敵の秘密兵器か？」

1977年7月8日、中国チ

ベットの警備兵5人は、上空を
飛んでいる物体を発見して叫ん
だ。

ら、「リーダーには何も映って
いない」という連絡が入った。
「そんなわけはない、ちゃんと
あそこに飛んでいるじゃないか
……」

その物体は皿型をしており、
直径8mくらいもある、銀白色
に輝くもので、その飛び方は飛

指さしながら話し合った。
物体は、高度をあげたり、さ
げたりしながら飛んだかと思っ
と、急に停まり、また左右に飛

行機とはまったく違った。
警備兵たちは、さっそく本部
とリーダー基地へ知らせた。不

思議なことに、リーダー基地か
「あっ!？」

「あっ!？」

警備兵たちは、思わずおどろ
きの声をあげた。自分の目をう
たぐった。

それまで上空を飛びまわって
いた物体が、かれらの目の前に
あるカビナン山(2850m)
の山脈に、スーッと吸いこまれ
るように消えてしまったのであ
る。

「幻覚かなあ……?」

5人の兵士は、顔を見合わせ
た。

物体は、何の音もなく、スー
ッと山の中へ吸いこまれるよう
に、たしかに消えたのである。

大きな物体が、山に吸いこま
れるわけもなかったし、まして
や、もし万一、そのようなこと
があったとしても、音一つしな
いということは考えられなかつ
たのだ。

「物体が、山に消えたのを目撃
したか?」

本部から問い合わせのトラン
シーバーが鳴った。数カ所の警
備兵が同じことを目撃していた
のだった。

「見ました! たしかに山に消
えました!」

5人はうわずった声で返事を
した。

「徹底的に調べろ!」
よく日から、本部の命令でカ

と、急上昇して消えてしまった。

(10) 1974年9月28日、ルーマニアのクルージで、ト
ラックがUFOに攻撃されるといふ事件があった。

その日の午後6時すぎ、運転手のゲオルギー氏は、空
になったトラックを運転して工場への帰り道を急いでい
た。

山道をおりたときだった。ゲオルギー氏は、前方の空
に、白っぽい大きな物体が飛んでいて、だんだんとトラ
ックに向かって降下してくるのを見つけた。

その物体は、ラグビーボール状のもので、飛びはねる
ような飛び方をしていた。直径の部分が、3m、長さが
5.6mもあった。物体は、いきなりオレンジ色のような
光線をトラックに向けて発射してきた。そのためトラ
ックはあえなく炎上してしまった。

(11) 1976年3月19日、ソ連のウクライナにある空軍
リーダー基地で、モリヤノフ中尉は、30mもある葉巻型
物体を発見し、物体から小さな皿型物体が飛び出した
り、入ったりするのを見た。

同日、ロコソフ少尉の操縦するミグ戦闘機は、5000
mの上空で、皿型の飛行物体を発見し、それを追跡した。

しかし、超スピードで前後左右に自由自在に飛びまわ
る物体に追いつくこともできなかったし、高性能のロケ
ット砲もまったく効き目がなかった。

(12) 1976年6月18日、ブルガリアのショザンカト町
の教会で結婚式があげられた。そのとき、夜空にギラギ
ラと光る直径5mくらいの物体が教会の建物すれすれに
まで下降してきて停まった。

人びとが教会の外へ出て物体を見ると、物体から
音もなく、サーッと一筋の丸い光が流れてきた。その光
はちょうど、透明な筒のようなものであった。

そして、その光の筒の中を通過して、人間の姿によく似
た生物が降りてきたのだ。生物は数秒間で、飛行物体へ
もどってしまった。



ジョージ・アダムスキー

があなたにおくるメッセージ

テレパシー

訳・久保田八郎 ￥550 送料140

テレパシーすなわち宇宙語／人間の四つの感覚器官／触覚／細胞から細胞へ伝わる印象／肉体細胞から来る印象／感情が肉体細胞におよぼす影響／他の遊星から来る印象と地球の習慣的な想念／自我の抑制／弛緩・関心・感受性／透視・透聴・予知／思考と推理

生命の科学

訳・久保田八郎 ￥650 送料140

生命の分析／心とその成分／宇宙の法則の応用／万物の相互関係／意識英知及び生命力／“新鮮さ”は人間の若返り薬／宇宙的記憶／宇宙の一体性／宇宙的細胞と肉体の細胞の活動／意識による旅行／宇宙空間の探険／絶え間なき進歩の報い

フレッド・ステックリング著

なぜ空飛ぶ円盤は来るのか

訳・久保田八郎 ￥750 送料140

好評発売中

当社の出版物が書店にない場合は振替・現金書留・小為替・低額切手などで直接ご注文ください。

文久書林 ● 〒113 東京都文京区白山1-29-12

電話(03)813-2495 振替 東京4-2521番

ビナン山の調査が開始された。約100人の兵士と民兵が動員され、謎の物体が消えた山腹がくまなく調べられた。だが、樹木一本倒れていなかったし、もちろん岩肌^{いかりだ}に割れた所も見つからなかった。

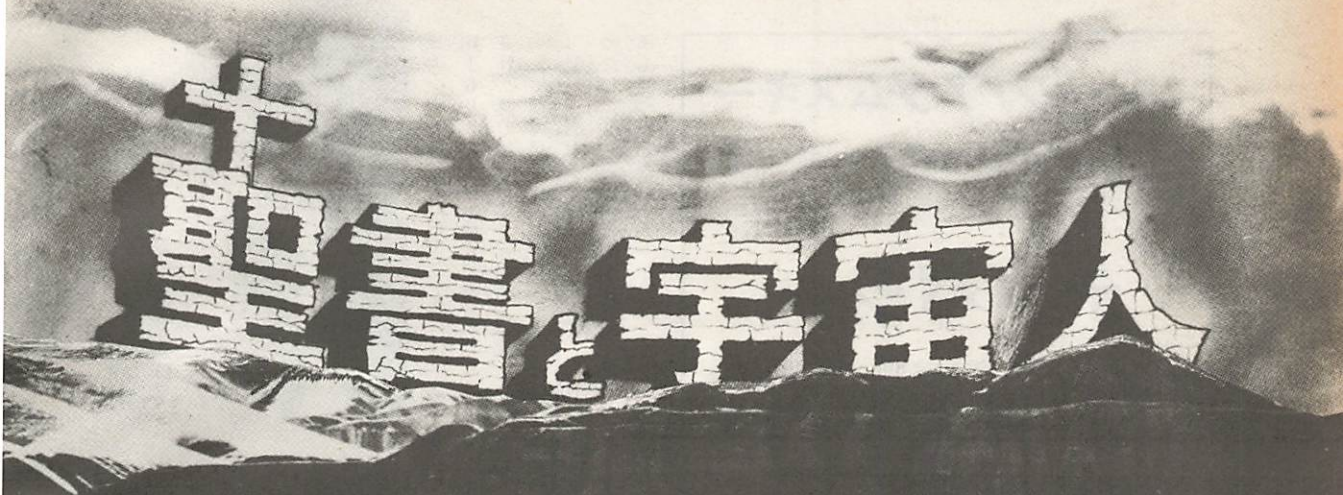
「あの物体はどこへ消えたんだろう？」
自分の目で、謎の飛行物体が山腹に消えるのを見ている兵士たちは、首をひねるばかりだった。5日間にわたって、カビナン



▲訓練中の中国兵（共同提供）

山一帯が調べられたが、ついに飛行物体が消えたと考えられる跡は何一つ発見されなかった。飛行物体はどこへ消えたのか？もし、警備兵が強度のノイローゼにかかっていたいなければそのような幻覚を見ることがなかったろうし、たとえ2人ぐらいはいたと仮定しても、多数の人がそのようになっていたとは考えられない。
もしかしたら、よくいわれる「円盤基地」がその山中にあって、まったく発見されないような状態の下に物体はその基地に入ってしまったのであろうか。

(3) 1976年10月21日、ポーランドの首都ワルシャワで、カップ型をした3つの飛行物体が目撃された。この飛行物体を目撃したのは、科学者7人と、軽工業省の次官で、約5分にわたって上空を飛行するのが見られた。
この物体を目撃したあと起きた不思議な現象は、8人の腕時計がみんな停まってしまい、その後、どうしても動かなくなってしまったことである。
(4) 1976年11月26日、アルバニアの首都チラナ郊外を走っていた大学教授の車が謎の物体におそわれる事件が起きた。
突然、上空にあらわれた直径2mほどの皿型をした物体は、教授の車の上にのしかかるように降下してきた。教授はショックで気を失ってしまったが、そのとき、特に熱気も何も感じなかったのに、意識をとりもどしたときには、車のボディは焼け焦げていたのである。



■最終回■

クロード・ボリロン

これまでの話の締めくくりとして、異星人はクロードに重大な使命をたくす。そして、自分の惑星について質問に答えた後、立ち去ってしまった。今度、異星人が来訪するのは果たしていつなのか。

第6章 新たな使命

天才による統治

翌日、またもや異星人に会うと、彼は次のように話しはじめた。

「まず最初に、政治と経済の分野について考えてみましょう。」

人間性を進歩させられるのは、どんな種類の人間でしょうか。天才です。だから、あなたがたは天才に報いて、彼らに世界を支配させる必要があります。これまで権力を握ってきたのは、他の者より肉体的な力がつよい『野蛮人』、こうした野蛮人を沢山雇える金持ち、政治家といった人々です。彼らは希望をふりまいて、民主主義国家の国民をたくみにとらえています。でもそのシステムが成功している根底に、野蛮性を合理化している軍事力があることには口をつぐんでいます。あなたがたが権力を与えてこなかった唯一のタイプの人間こそ、人類を進歩させてきた人々です。車や火薬、内燃機関、原子力などを発明した人々、こうした天才による平和のための発明は、彼らより知性の劣る人々が殺人のために利用して恩恵をこうむってきました。こういうことを変えなければなりません。

このためには、実際のところ、人間

性の進化にとって全くふさわしくない選挙や投票をやめる必要があります。投票というのは、知識と知性の水準が等しくなければ実際的にはありません。コペルニクスが有罪を宣告されたのは大多数の人が理解できなかったのに、彼だけが理解できる水準にあったからです。最初に自動車を走らせる時に自動車を認めるか禁止するかをみんなに投票させたらどうなったでしょうか。人々は自動車に無知でバカにしていたので、結果は否定的なものになり、あなたがたは今でも馬車を走らせていたことでしょう。どうしたら、こういうことを変えられるでしょうか。

現在、心理学者は個人の知性と適性を評価するテストを作成できます。幼ない頃からこのテストを系統的に行って勉学の方向づけをし、責任を持てる年齢になれば、身分証明書に記入するようにします。また、選挙人名簿に登録できる知性指数の限度を決めるのです。ある種の公職については、知性指数が最低50%なければ被選挙人資格がないようにし、最低10%以上なければ選挙人資格を持たないようにします。もしこれを現在実施していれば、政治家の多くはその職務をつとめられないでしょう。これこそ民主的なシステムです。一方では知性が平均より劣って

いるのに記憶力がすぐれているおかげで沢山の資格を取った技術者がいて、他方では、専門家ではないけれど平均より50%以上すぐれた知性を持つている職人や農夫がいます。実に認めがたいことです。

小さな町の選挙では、公約が素晴らしいからではなく、酒を一番きまえよく振舞うからというので当選することがしばしばです。だから、投票権は、思考力に富み、問題を解決できる頭脳を持った、知性的なエリートだけが持つるようにしなさい。なにも勉強をたくさんした者にしろといっているわけではありません。天才に権力を与えることです。これが天才による統治といえるものです。

人道主義

第2に、あなたがたの世界は利益によって麻痺しています。共産主義も、努力と進歩をしたいという気を起こさせるだけのニンジン人間に与えていません。あなたがたは平等に生まれています。これは聖書にも書いてあることです。知性もろくにない子供たちが、父親が蓄えた富のおかげで豪華な生活をし、それに対して天才が貧困に苦しみ、食べるためにどんなにやしい仕事でもひき受けざるを得なくなり、人間全体に利益をもたらす発見を可能にするような職につけなくなるとい

ことは認められません。これを避けるには、共産主義に利せられないようにしながら、所有制度を廃止する必要があります。この世界はあなたがたのものではありません。これは聖書にも書いてあります。あなたがたは賃借人にすぎません。だからすべての財産は9年間賃借するようにすべきです。これは遺産の不平等をなくします。あなたがたの遺産、あなたがたの子供の遺産は、この世界全体です。もしうまく返還するように組織化することをあなたがたが知ればですけれど……。人間性に対するこの政治方針は共産主義ではなく、人間の将来に献身するもので、お望みなら人道主義と呼んでさしつかえないでしょう。

一例を挙げてみましょう。人は21歳で勉学を終え、実社会に入り、職業を選んで金を稼ぎます。もし両親が健在で、自分の家を見つけないと望むなら、家を「買」います。実際には国家が建てた家を49年間賃借するのです。もし住宅の評価額が10万フランとするなら、この金額を49年間にわたって月掛けで支払います。70歳(21+49)まで家の値段を支払うと、死ぬまで無料でその家に住みます。死ぬとこの家は国家に返還され、もし死者に子供があれば無料で権利が譲られます。もし子供が1人いるとすれば、父の家を死ぬまで無料で利用できます。彼が死ぬとその子供が家族の家を引き継ぎ、これが永続的に続きます。遺産は、家族の家を除いて、完全に廃止しなければなりません。これは各人が報いを受けるといことを妨げるものではありません。別の例を挙げましょう。2人の子供のある男性の場合、1人は勤勉で、もう1人はなまけものだといいます。21歳になると、2人はそれぞれの道を歩むことを決めます。彼らはそれぞれ10万フランの家を借ります。勤勉な者は、怠慢な者より多くの金を短期間に稼ぎ出します。だから彼は、最初のものより2倍も高い価額の家を借りることができ

ます。もし金銭的余裕があれば、2軒借りることもできます。一つは別荘として。また、もっと財産があれば、自分で家を建てて、49年間、この家を自分で借り、金を受け取ることもできます。しかし、死ぬば、子供たちに引き継がれる家族の家を除いて、すべて共同社会のものになります。いわば、人間は自分の能力に応じて財産を作れますが、子供には残せないということです。だれでも能力はあるものです。商業、工業にしても同じことです。事業を創始した者は、生涯彼のもので、貸すこともできますが、49年間までです。農業でも、49年間、耕作地を借りられますが、その後は国家のものとなり、再び49年間賃しつけられます。息子はその土地を49年間借りられます。利益をあげられる借りた財産すべてについて、物の価値は何も変わりませ

ん。株、事業、流動資本、不動産、すべて価値を持っており、共同社会に属していますが、自分の能力と労働で獲得した人たちに49年間賃し与えられるのです。したがって40歳で一財産築いた人は、不動産を建て、アパートを49年間賃して、その金を死ぬまで享受できます。その後は、この場所からの金は共同社会に返還されます。

もし天才に権力が認められれば、彼はこの改革の効用を理解することでしょう。あなたがたは同様に、地球上のすべての国家が同盟して、単一の政府を作るようにしなければなりません」

あなたの使命

「すでにお話したように、私たちが正式に来訪すればすべてのことがもっと急速にうまくいくでしょう。しかし私たちは、人間が本当に私たちの来訪を望んでおり、私たちが父のように敬愛しているということがわかるまで待つつもりです。私たちの宇宙船が、あなたがたの破壊的な戦力から脅威を受けないように。」

この状態に到達するため、あなたは世界中の人々に私との会話を大声で叫びなさい。そして私が言ったことを繰り返しなさい。賢明な者は耳を傾けるでしょう。多くの者はあなたを気狂いか幻想家だとみなすでしょう。しかし私が前に説明したように、大衆は愚か

だと考えねばなりません。

あなたは真実を理解しています。私たちは、あなたが私たちを信頼できるように、また必要に応じて情報を入手できるように、あなたとテレパシーで連絡をとりつづけることにします。私たちが知りたいのは、地球に十分な英知があるかどうかです。もしかなり多数の人々が私たちのことを理解すれば私たちは再び戻って来ます。場所ですか。私たちが欲待する設備をあなたが整えた所にです。

気候が温暖で暮しやすい国に住居を造りなさい。住居には、訪問客を欲待できる7つの部屋を設けます。それぞれに浴室、少なくとも21人が収容できる会議室、水泳プール、21人が会食できる食堂を設けてください。この住居は庭園の中央に建設しなければなりません。ぶしつけない人間の目からさえぎられた場所でないければなりません。庭園は壁で囲まれ、住居や水泳プールが人目に触れないようになっていなければならない。住居は、庭園をとりまく壁から少なくとも千メートルは離れていなければならない。最大限でも平屋建の高さにして、植物を目かくしに植え、壁の周囲を目立たないようにしなさい。壁には入口を2つ設けます。1つは北に、もう1つは南にです。住居にも入口を2つ設けます。住居の屋根は、直径12メートルの宇宙船が着陸できる平屋根にします。この平屋根に

家の中から行けるようにすることは絶対必要です。住居の上空および周囲は、軍隊が直接もしくはリーダーで監視するようなことがあってはなりません。あなたは、こうした住居を建設できる土地を入手しなさい。私が示した条件に合うようなものをできるだけ早くに。

あなたは私たちの地球大使という資格を持っているので、入手した土地は国家や地方から独立したものと考えなさい。あなたは妻や子供たちとこの家に移り住み、とりしきってかまいません。また、使用人を雇ったり、あなたが選んだ人を招待してもよろしい。でも、7つの部屋のある部分は平屋根の真下に位置するようにして、金属の壁で仕切り、内部から錠をおろして閉め切って、人間が利用する場所と区別しなさい。会議室の入口には、殺菌室を設けなさい。

これを実現するための財源は、あなたを、ひいては私たちを信じる知恵と分別に富んだ人々から援助が得られるでしょう。彼らは私たちが来訪したときに、報いを受けるでしょう。実現のために、財政的援助をした人たちの名簿を作りなさい。この住居の建設や維持への貢献がささいでもかまいません。そして世界中の各国で人々が運動を展開できるように、真実を告げる責任者となりなさい。

住居の近くの山頂へ、あらゆる年齢

の人々を来させなさい。ここに書かれていることを理解し、私たちの来訪を心から望んでいる人々を。

できるだけ多数の人々を、私たちについて深く考えさせ、私たちの来訪を心から望むようにさせなさい。こうした人々がかなりの人数になり、私たちの来訪を宗教的な神秘主義からではなく待ち望み、しかも創造者たちを尊敬するようになった時、私たちは来訪し、地球人に科学の遺産を与えるでしょう。もし好戦的気分が世界中で無力になれば、これは実現します。もし人生と人間性への愛が強力になり、そして私たちへの愛も高まれば、そう、私たちは栄光の日に来訪します。

私たちは待っています。もし人間が攻撃的なまま、他の世界にとって危険をもたらすような進歩をとげるなら、私たちはこの文明とそれが持っている科学的富の諸々を滅ぼし、新たな「ソドムとゴモラ」にするでしょう。人間が威厳をもち、道徳的になる科学水準に達するまで。

人間の将来は彼らの手中にあり、真実はあなたの手中にあります。決して

落胆することなく、真実を世界に広めなさい。私たちは、疑い深い人たちに証拠を与えることもせず、明確な形であなたを援助することもしません。懷疑主義はしばしば攻撃心と結びついています。知性ある人々はあなたを信じてでしょう。あなたが話すことは神秘がかっていませんから。これは私たちにとって重要なことなのです。物質的な証拠なしにあなたを信じたら、私たちは他の何にもまして、人間が知性的で、私たちの科学的遺産を受けるに値するとわかります。

さあ、行きなさい。私たちとしては今後たびたび出現することぐらいいしか手助けできません。こうして、人々に問題を気づかせ、あなたが伝える真実を理解したいという気を起こさせるのです。私たちが頻繁に出現するようになれば、私たちはしだいに大衆の意見を感じやすくなり、また、私たちがバカげた崇拜のきつかけとならなくなるでしょう。そして、人類のために私たちと連絡をとりたいたいと心から望むようになるでしょう。

第7章 エロイム

人口過剰

「これであなたとはお別れですが、最

後に何か質問がありますか」

——あなたは一種の不死について話されたでしょう。人口過剰には、どのような対策をたてているのですか。

「この問題は地球でも急速に重大さを増すでしょう。あなたがたもかなりの人口なので早急に解決しなければなりません。1人の女性に子供を2人までしか認めない厳しい法律を制定する必要があります。2が2のままなら人口は増加しません。あなたがたがどのようにして難関を切り抜けるか、見守るつもりです。これはまた、あなたがたが私たちの遺産を受け継ぐ資格があるかどうかという、知性の程度を証明することにもなるでしょう。」

私は平均寿命75年しかないあなたがたに、現実問題の解決策を教えてあげました。私たちににとっては、実際のところ、問題が違っています。私たちは不死ではありません。私たちは、ちょっとした外科手術のおかげで生命を永らえるのです。これが聖書の「生命の木」で、あなたがたより10倍も長生きできます。私たちも子供を持ち、先ほど話したように2人の両親に2人の子供という規則をつくって、人口が一定になるようにしています。」

「あなたがたの人口は。」

「約70億人です。」
——これまで6日間にわたってあなたと会ったのですが、そのたびにあなたは自分の惑星に戻っていたのですか。
「いいえ。私たちが基地にしている母船に帰っていたのです。この母船は常に地球の近くにいます。」

——その母船には何人いるのですか。
「7人です。私たちの惑星には7つの地方がありますから。母船の各人がそれぞれ地方を代表しているのです。これに母船の責任者2名を加えた9人が定員となります。」

——もし地球人があなたがたの望むとおりになったら、どうなるのですか。

「あなたがたが用意する住居を私たちが公式に訪問することになるでしょう。そして、地球人の団結が得られるように、各国の最重要人物を正式代表者としてまねきます。もしこれが順調にいけば、私たちは高度の科学知識をいかに提供して人類に恩恵を授けます。その利用が軌道に乗ったら、人類に私たちの知識をすべて授けるかどうか考慮します。これであなたがたは、私たちの250億年進歩した科学を遺産として受け継ぎ、銀河間文明の時代に入れるでしょう。」

——これだけの科学水準を持っているのは世界中であなたがただけですか。

「宇宙のこの地域ではそうです。ヒューマンノイド型の生物が住んでいる世界は無数にあります。彼らの科学水準は私たちより低いけれど、ほとんどはあなたがたより高いものです。私たちが滅ばされる恐れがあるので、私たちが同程度の進化をとげた文明を持つ惑星は探しませんでした。私たちは、多くの他の惑星と経済的な交渉を持っています。彼らも、私たちと同じ科学水準

にある他の人間によって創造されたもので、彼らの宗教文獻からそれを証明できます。残念ながら、この世界に最も近い創造的文明は、私たちに見つけることができませんでした。おそらく、もっと遠くを探さねばならないでしょう。」

——あなたがたには宗教はないのですか。

「私たちの唯一の宗教は人間の才能です。それしか信じません。私たちは創造者たちの思い出をこよなく愛しています。彼らには二度と会えず、どこに彼らの世界があるかわかりませんでした。彼らはきつと消滅してしまつたでしょう。彼らは私たちの惑星の周囲に、すべての知識をおさめた巨大な宇宙船を周回させ、彼らの世界が滅びた時、自動的に私たちの惑星に着陸するような措置をとっていました。このおかげで私たちは知識の火を受け継いだのです。この火を地球が受け継ぐのを見たいと思っています。」

——もし、あなたがたの惑星が減んだら、どうなるのですか。

「同じ予防策が取られています。私たちの世界が減る時には、あなたがたが自動的に遺産を受けとれるようになります。」

不死の秘密

——あなたがたは私たちの10倍も長生きするのですか。

「私たちの肉体は、平均して、あなたがたの10倍長生きします。聖書に出てくる最初の人々と同じで、750歳から1200歳の寿命があります。しかし精神には寿命がありません。だから本当の私たちは事実上不死といえるでしょう。前に説明したように、身体のような細胞からでも、新しい生命組織と共に、生命体全体を創造できます。というわけで、最大限の能力を発揮でき、頭脳の働きも知識も最高のときに、私たちは身体のはんの一部を外科的に取り去ってもらい、それを保存しておくのです。そして実際に死んだとき、前に採取しておいた身体の一部から細胞をひとつ取り、それまでと同じ肉体を完全に再創造します。この肉体はいままでと同じものです。つまり、科学知識も性格も以前とまったく同じなのです。しかし肉体は新しい要素で構成されているので、あなたがたの年にするとは何百年も生きられるのです。こうして生命は永遠に続きます。ただ、人口の増加を制限するため、天才だけが不死の権利を持つことになっています。私たちの惑星の人間はみな、ある年齢に達すると細胞を採取されます。彼らは、死後復活する者に選ばれることを希望し、その資格を得るために努力しながら暮らしています。彼らが死ぬと、不死を裁定する総会が開かれます。これは「最後の審判」と言える

もので、その一年間に死んだ人々がもう一度別の生を受ける資格があるかどうかを決定します。3度の生存が不死の資格試験期間になっています。この3度目の生存の終わりに不死会議が開催され、不死会議の終身会員となる資格があるかどうかを、その人がどういう働きをしたかという観点から判定します。新たな生命を望んだ瞬間から、その人は子供をもつ権利を失います。もちろん恋愛まで禁止されるわけではありません。このことから、不死会議のメンバーになっている学者たちがなぜ他の惑星に生命を創造したいと望むかわかるでしょう。彼らは他の世界で創造本能を発揮しているのです」

——あなたがたはなんという名前なのですか。

「私たちは自分の惑星の言語で人間にあたる言葉で呼んでいます。でも、もし私たちに名前をつけたいのなら『エロイム』と呼んでください。『天空から来た者』なのですから」

——あなたがたの惑星では、どんな言語を話しているのでしょうか。

「私たちの公式の言語は、古代ヘブライ語に非常によく似たものです」

——あなたがたの暮らしと労働はどんなものですか。

「私たちは、事実上、知的な労働しかしません。高度な科学水準のおかげですべてロボットまかせにできるので。私たちは欲するときしか働きませ

んし、それも頭脳労働だけです。芸術家とスポーツマンは肉体労働をしますが、彼らは自分で選んだのですから。

非常に進歩した原子力エネルギーは、とくに私たちが閉路原子と太陽エネルギーを利用する方法を発見してからというものの、ほとんど無尽蔵です。また他のエネルギー源も多量に保有しています。私たちの原子炉には、ウラニウムを無理に使用せず、もっと単純で危険のない他の多くの物質を使用しています」

——結婚という制度はあるのですか。

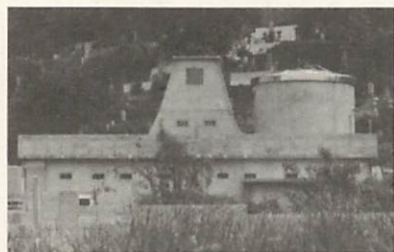
「ありません。女性も男性も自由に振舞えます。2人で暮したいと思えばそうできますが、この関係は好きながお互い同士愛し合っていて、嫉妬することはありません。だれもがあらゆる物を持っていて、私有財産というものがないからです。犯罪がないので、牢獄や警察はありません。これに反して、多数の精神病医がいて、定期的に往診をしています。そして、他人の自由や生命に危害を及ぼすような精神の病気がほんのわずかで見つかった人は、正しい道を歩めるように、ただちに適切な治療を受けます」

——あなたがたの惑星のごく普通の人がどんな一日を過ごしているか、教えていただけませんか。

「朝起きて、まず水浴をします。どの家にもプールがありますから。そして

朝食を済ませると、自分のしたいことを行います。だれもが「労働」しますが、貨幣というものがなくて、ほしい物は与えられます。だから、みんな自分の適性に合った仕事をしますから、「労働」によって作り出された物はとても素晴らしいものばかりです。不死の人たちだけが、きまった使命を持っていきます。たとえば、電子頭脳の監視とか、エネルギー、食糧、組織機構などの重要な問題を監督することです。70億の人口のうち、他の人たちは全く別に暮している不死の人は700人しかいません。彼らは不死の特権を得ているかわりに、労働の義務がない他の人々のため、すべての事を処理しなければならぬのです。

こうした700人の不死の人のほかに、不死の資格試験期間中の人が210人います（各地方から10人、年間に70人ほどです）。70億の人口のうち、子供は4千万人ぐらいいきません。子供たちは成年に達したとき（人によって違うが18歳から21歳の間）に一度だけ、寿命を750歳以上にのばす手術を受けます。この時から、彼らは子供を持つことができます。だから、私たちの惑星の高齢者は、普通、50世代の子孫を知っているわけです。70億の人口のうち、全くの無能力者として治療を受けている者は百万人ぐらいいきません。普通、これらの人は道徳的に狂っているので、6カ月ぐらいいの間医



重力研究所
〒798 宇和島市中央局私書箱33号

空飛ぶ円盤の科学研究誌

宇宙艇 隔月刊
(増頁) B5判

内容 A) 空飛ぶ円盤の理論研究 B) 空飛ぶ円盤の試作
C) 時間反転機の理論研究と試作

☆ 部分品を頒布します（カタログは、宇宙艇巻末にあり）。

年会費 A) 4,000円（大学生及び社会人）

B) 3,500円（高校生以下）

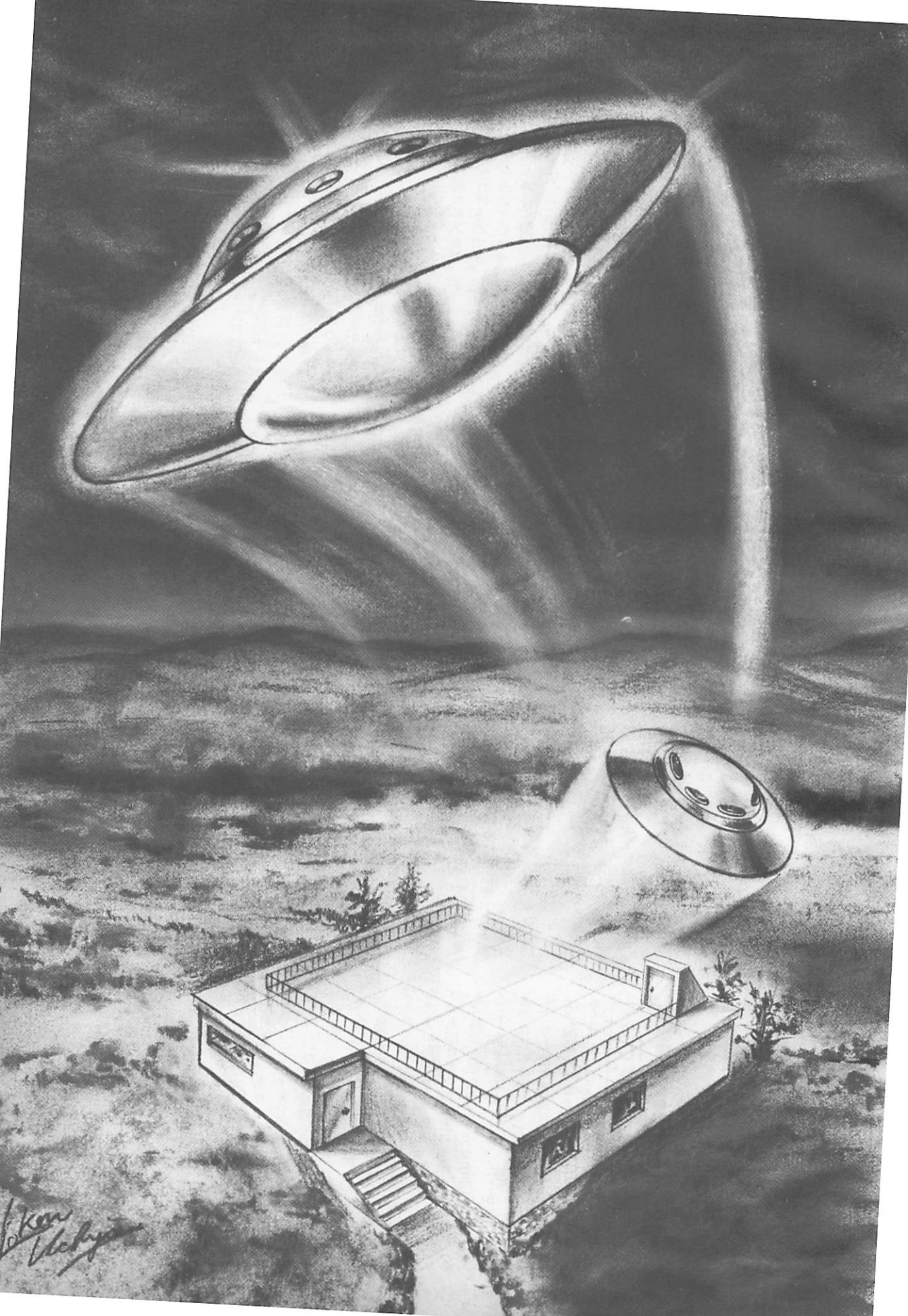
入会金 500円

振替 徳島 28986（又は、現金書留にて・切手は不可）

☆ 超相対性理論（原著）定価 3,000円

発売中

〒 200円（同じく切手は不可）



者の看護を受けます。大多数の人々は美術、織物、彫刻にうちこんだり、音楽や著述を楽しんだり、映画を製作したり、スポーツをしたりしています。私たちの文明は、まさに余暇文明といえるのです。

平均的な大きさの都市は人口50万ほどで、面積は非常に狭いものです。実際都市は高地にある1つの巨大な家で、その中で人々は眠り、愛し合い、自分の欲することをしているのです。

この「住宅都市」は幅と高さがほぼ1kmくらいあり、大量の人員を輸送するため、あらゆる方向に電波が飛びかっています。バンドを身につけてこの電波の流れに入れば、好きな場所に短時間で行けるのです。都市は立方体の空間を占めています。これは、あなたがたの場合と同じように、田舎を「侵食」しないためです。あなたがたの都市で50万人もの人口を擁していれば、私たちの20倍もの面積が必要でしょう。このため、あなたがたの場合、田舎へ行くには何時間もかかりますが、私たちは数十秒ですみます。ひとつの都市全体は1人の建築家によって構成されていますが、これは見た目を心地よくするためと、景観にとけこませるためです。

——でも、何もすることのない人たちは退屈しませんか。

「いいえ、彼らに沢山の活動分野を与えていますから。個人の真の価値とい

うものが認められているので、みんな自分の真価を示したいと思っています。それが芸術にしろ、科学にしろ、スポーツにしろ、不死の人になれるよう目立ちたいと思っていますのです。あるいは社会から……そうですね、それに女性から尊敬をかれたいと思っています人もいます。危険を好む人もいます。死の危険を奪うことは、生存の喜びも取り上げることになります。だから、生命の危険があるようなスポーツが非常にはやっています。

私たちはどんなひどい負傷をした者でも生き返らせることができます。でもこうしたスポーツをする者は、もし活動中に死亡しても治療を受けないと文書で同意しなければ、スポーツをできないことになっています。こうした危険なスポーツとしては、原子力自動車によるレースがあります。あなたならきつと夢中になることでしょう。それからボクシングの一種ですが、もともとと野蛮なものもあります。真裸で行うラグビーは、殴り合い、格闘など、あらゆる攻撃が認められています。あなたにはとても野蛮に思えるでしょうが、すべて極端にまで行ったものは墮落しないようバランスをとる必要があるということを忘れないでください。最高まで洗練された文明は、その正反対にあたる原始的なものを持たねばならないのです。私たちの惑星の人々が、その愛好するスポーツにアイ

ドルを持たないとしたら、残されているのは退屈と死だけです。他人を尊敬しなければならぬのはもちろんですが、それと同時に、限定された特殊な範囲内での死の願望や死とのたわむれも尊敬されてしかるべきです。毎年、すべての分野のコンクールが開催され、世界コンクールで最優秀と認められた人たちは不死の資格者に推薦されます。これは、すべての人にとっての生きがいです。毎年、絵画、文学、生物学、医学など、人間の精神を表現するすべての専門分野について各地方でコンクールが開かれ、同時にその地方の不死の資格者の投票も行われています。選ばれたチャンピオンは首都に集まり、不死審査員たちの投票によってグランド・チャンピオンが選ばれます。そして不死総会に推薦されるわけです。こうして選ばれた者が、不死の人になるための候補者として一定期間の試験をうけます。

これがすべての人の目標であり理想です。娯楽は原始的な形態をとりながら、これほど崇高な目標にまで高められています。

——不死の人たちの生活は、ほかの人たちとは全く違っているのですか。

「確かにそうです。彼らは、都市の中の自分たちだけの場所に他の人とは離れて暮らしていて、決定をくだすため定期的に集まっています」

——一番年寄りの人は何歳ぐらいでしょうか。

「最も年寄り、不死会議の議長は2万5千歳ですが、あなたの目の前にいますよ。私は、これまでに25の身体で生きてきました。私は、この実験が行われた、最初の人間です。だから不死会議の議長になっているのですけれど。地球での生命の創造は、私自身が監督したものです」

——それでは、あなたの知恵は測りられないほどでしょう。

「ええ、かなりの知識を持っていますし、これ以上あまり増やす余地はありません。この点で人間は私たちをしのぐ可能性をそなえています。情報や記憶をたくわえる大脳の容積こそ重要なのですから。もし方法さえ理解すれば、人間は私たち以上の知識をたくわえ、科学を私たちよりずっと発達させることができるでしょう。たしかに、このために不死会議にも反対者がいます。もし何も邪魔するものがなければ、地球人は私たちよりもはやく進歩をとげるでしょう」

「化学的」教育

——でも、生徒が学ばなければならぬ知識が非常に多くなり、時間もすくつかかるのではないのでしょうか。

「いいえ、地球の科学者も漠然とながら気づきつつありますが、とても重要な科学的発見のおかげで、授業内容を

宝島

毎月10日発売 480円



雑誌宝島へ上陸すると——音楽が聞こえてきます。映画も上映中です。読みたい本もいっぱい。今まで知らなかったことや新しい生活を発見します。——未来への宝ものを自分で探すことの楽しさを覚えます。



①162東京都新宿区堀場町15セントラル
・コーポラス207 電話03(268)6312

外科的に学ばせることができるようになっていきます。

学習したネズミの脳から記憶物質を取り出し、それを全く何も知らないネズミの脳に注射して知識を伝えられるということ、あなたがたの科学者は発見しています。脳の記憶物質を注射して情報を伝達できるので、私たちの子供はほとんど学ばず苦労がいりません。必要な情報を持っている人たちから採取した大脳物質の注射を、子供たちは定期的に受けています。だから彼らは自分の関心のある事柄だけに取り組み、世界について思索をめぐらしたり、のびのびとスポーツや芸術にうちこめます」

——あなたがたの世界の7種類の人々

は似かよっているのですか。

「いいえ。あなたがたと同様、人種が違い、文化が異なっています。それらの地方は、それらの人種、文化に応じて創造され、お互いに自由と独立を尊重しあっています」

——人間があなたがたの惑星を訪れることは可能になるでしょうか。

「ええ。あなたがたが訪れるには、呼吸に適した宇宙服を着れば充分でしょう。私たちが地球の大気を作っている居住地区では宇宙服なしで暮らせます。そこには、モーゼ、エリヤ、イエス・キリストその他の、私たちが創造した証人が生きていて、私たちは、時が来たら、あなたの言葉を支持させるため彼らを地球に戻すでしょう」

——どうして今すぐ彼らに戻さないのですか。

「それは、あなたがたの世界の人々が信用しないからです。もしイエス・キリストが再来したら、気狂い病院に入れられてしまうでしょう。

あなたがたの中に1人の男が急に現れて、自分が『キリスト』だと話すのを想像してごらん下さい。彼はあざけり笑われ、あつという間に監禁されてしまいます。もし彼が本当に『キリスト』だと示すために私たちが科学的な奇跡を起こしてちょっかいをだせば、神に基づく宗教を再びもたらし、私たちがちっとも望んでいない超自然的なあるいは神秘的な事柄を復活させることになるでしょう」



エロイムの宇宙船と宇宙服に刻み込まれていた模様。すべては輪廻するということを象徴的に示している。

こうして小人は私に最後の挨拶をして、彼が私に要求したことが達成されるまで再訪しないと言いつつ、宇宙船に乗り込んだ。そして離陸し、これまでと同様に去っていった。(完)

中村省三訳

星間共通語 の試み

なぜなのか、どうも分からない。なぜ話しかけてこないのか。星の世界のどこかに必ずいるはずのかれら。それがなぜ沈黙し、他の星々に交流を求めないのか。

いかなる星であろうと、知的生命体はその進歩の行きつく果てに必ず宇宙への進出を夢み、ひろく宇宙へ向かって心を開くはずなのに……。

おそらく先進的なかれらはすでに近隣の星々の連合である銀河クラブを結成し、その経済的・文化的必要から、クラブの新メンバーを求めて周辺の星域へ繰り返し、呼びかけをおこなっている。そう考えたとしても、いまやスペースシャトルの時代にはいった今日、あなたがち空想的と片づけられまい。

ならば、どうして、その呼びかけが地球に達しないのか。それとも過去にいくどとなく来たりし、現在も来ている。ただ、それに気がつかないだけなのか。

むろん、かれらの呼びかけ——宇宙メッセージはいちばん手つとり早い電波を媒体とするだろう。

そうする方が、いきなり星間飛行して直接訪問するよりも、ずっと「宇宙エチケット」にかなっている。むろ

宇宙言語学のなぞ

ハロー・異星人、 こちら地球

現在、世界各国で、他の天体の知的生物と電波で積極的に交信しようという試みがおこなわれている。地球人とは、かけ離れた思考形態を持つだろう異星人と、いったいどうやってコミュニケーションするのだろうか。

●科学ジャーナリスト 斎藤守弘

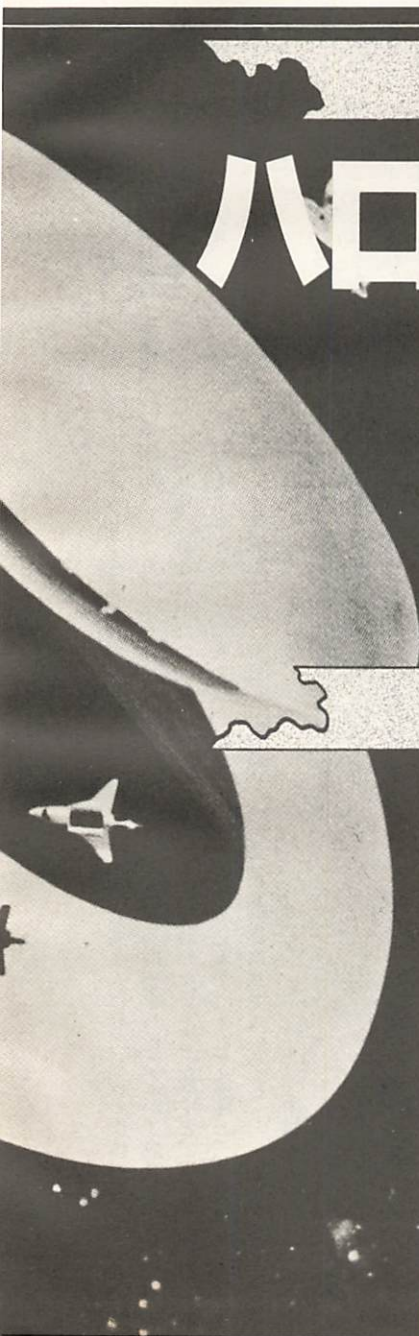
ん、星間飛行の技術的、時間的余裕がない場合でも、電波による交流なら今すぐ地球でも可能である。

だが、ひとたびかれらの「もしもし」の電話がかかってきたら、それに対して一体どのように応答したらよいのか。

こちら側に高度の知性、感情のあることをどのようにして示し、かれらの銀河クラブへ加入する意志のあることを、いかにして表明したらよいのか。

遅かれ早かれやって来る、これから宇宙コミュニケーション時代にそなえて、その情報をすみやかに交換、解読するための宇宙言語学。他の星の住人にも読むことができ、意味を察することのできる新しい星間共通語。それらの試みはすでにアメリカのバイオニア10号やボエイジャー12号などの宇宙探査ロケットで初歩的におこなわれているし、巨大なアレシボ電波望遠鏡による宇宙送信でも先駆的になされている。

むろん、いうまでもなく、宇宙の星々に呼びかける通信電波に英語とか日本語とかを、そのまま送ることはできない。たとえ地球のラジオ電波を受信、再生できたとしても、その意味する内容を理解することは到底不可能。それは異星人にとって、単なる不規則



な高低音の限らない連続でしかない。それは言葉というよりも音楽の一種と解されることも十分あり得る。日本語の抑揚は外人にとって、たいへん音楽的に聞こえるという。反対に、耳にこころよい音楽の方が、異星人にとっては言葉の一種ととられることも、これまたあり得ることである。感情の表現には音楽の方がすぐれているし、実際、無文字社会では舞踏や音楽によって意志表示をしている。

芸術的な メッセージ

● バッハの荘重な調べ

アメリカのメモリアル・スローン・ケタリング医学センターのルイス・トマス所長は言った。

「われわれがどんな生物であるかを、できるだけじかに暖味さをなくして伝えるには、音楽を送るのがいちばんだ。音楽こそ最上の宇宙言語である。とくにバッハがいい。バッハの音楽をまだ見ぬ異星人への挨拶としたい」

この提案がなされた1974年にはじつにユニークであったが、それはNASAのボイジャー計画に実際に採用された。3年後、ケープ・ケネディから打ち上げたボイジャー12号はただ見ぬ異星人へのプレゼントとして銅

製のディスク・レコードを積み込んでいた。そのレコードには古今東西の27曲を録音してあるが、まずいの一、番にとびだすのがバッハのブランデンブルグ協奏曲第2番なのだ。

その威厳にみちた荘重厚な調べ。それを果たして異星人はどのように感じとり理解するだろうか。

「このように語るのには長い年月にわたる成熟した社会の生物であり、分別をわきまえた思慮深い相手である」

そう、考えるだろうか。それとも反対に、

「これは恐るべき実力をひめた凄（すご）い奴だ。うっかり交際を求めたら、こちら

が手ひどい打撃をうけるかもしれない。黙殺するに越したことはない」そんな警戒心をぎやくに与えてしまふのだろうか。

音楽の感受性にはそうした大きな幅があり、相手の社会的な雰囲気、あるいは個人的なコンディションによって一時的に決まらないうところがある。

とくに大宇宙の異星人の場合、その聴覚をふくめて五感の構造が、人間と同じというよりもかなり違っていると思われる方がありそうなことであり、バッハの音楽を果たしてわれわれと同じように感激して聴いてくれるかどうか、まったく推定のかぎりではない。正反

対の場合すら、たとえば『宣戦布告』の意味にすらとりかねないこともある。そうした用心も単なる取り越し苦労といえないかもしれないのである。

それぞれ違う生物によって音楽に対する感受性も異なるという例として、植物に音楽を聴かせた実験がある。ついでながら植物の不思議なテレパシー能力を示す「バックスター効果」などのほか、大宇宙のどこかにはそうした植物から進化した知的生物もいるかもしれないのだ。

植物に音楽を聴かせると発育がよくなる。これはアメリカとインドの学者によって発見された事実だ。



アメリカでは芽をふいた大豆にバイオリンの妙なる音をきかせているが、スポーツカーのエンジン音がいちばん効果があり、ついでクラシック音楽、3番目にジャズという結果がでた。音の全然ない場合は、あまり発音がよくなかった。

おそらく生物は、大宇宙のどの惑星であれ音に対する感受性をもつということは、こうした実験からも否定できないだろう。だが、その鑑賞、好み、快不快となると、まったく予測できないのである。少なくともトマス・ルイス博士の方法は、まだ見ぬ宇宙の相手もまた人間と同じ五感構造、あるいは社会背景をもつときに限り、円滑なコミュニケーションをおこなえるといえる。

●セザンヌの妙なる色彩

では、パッハの音楽によらないような、もつと大宇宙のどこにも普遍的な、星間コミュニケーションの原理があるだろうか。芸術のもう一つの様式、すなわち絵画であり、イラストであり、イメージである。トマス・ルイス博士は異星人にセザンヌの絵を贈りたいといっている。

「この地球がどんな場所か、セザンヌのあのなごやかで平和に満ちた絵を見れば、一目でわかる。もちろん、自分を良く見せたいという気持ちは宇宙のどの生物でも同じだろう。われわれの

本来の姿を伝えれば、それでいいのだ。たとえばセザンヌの描くリンゴ。それは単なる赤い丸い物体ではなく、まさしく豊かな大地の実りであり、だれにでも口にできるおいしい果物であることが、他のいかなる説明もなしにわかるだろう」

つまり、いいかえれば、なみのカラー写真では、そうした人間的な感情の伝達が不十分になるというわけだ。たとえ赤いリンゴそのものを実物そっくりにカラー撮影できたとしても、それはただの物体としてのリンゴでしかない。軟かいのか硬いのか、人工物なのか天然なのか、食べられるのか食べられないのか、甘いのか酸っぱいのか、そういうことのすべてをカラー写真で表現しようとすれば、それぞれのカットを何枚も要し、何枚か一組にして総合的に説明しなければならぬ。

だが、セザンヌの傑作なら、そのすべてをたった一枚の絵で表現しているのである。

とはいえ、しかし、ここでも、音楽に対する感受性の曖昧さと同じ困難にぶつかる。こんどは聴覚でなくて視覚の感覚域の問題である。果たして人間と同じ色彩感覚をもっているかどうか。リンゴの赤がレッドでなく、グリーンに見える視覚構造の人もいるのであり、それほどでなくとも、ほんのわずかの色感覚域の差でも異星人にあれば、セザンヌの絶妙な色彩のシンフォ

ニーは崩れて、すぐれて有機的な表現がカラー写真以下の無意味な色の混合に一変してしまふ。

そうなれば、すべて台無しであり、それが原因で異星人のマイナスの反応をひき起こす恐れすらある。なぜな

コンピュータを通訊に

このように音楽であれ絵画であれ、感情的芸術的なコミュニケーション方式にはそれなりの大きな利点があると同時に、異星人を相手にする場合はまったくこちらの意図と正反対になるかもしれないリスクも、あらかじめ覚悟しなければならぬ。とすれば、「よそ者」にたいする際の最初の呼びかけ、プレゼンテーションもつと誤解の少ない方法を選ぶに越したことはない。

そこで考えられるのは、この地球上でも最も異質な存在であり、かつまた最も初歩的な知性の持ち主、それは、ひとこと「人工頭脳」とよばれたコンピュータであり、それと会話する方法なら、ひろく宇宙的にも通用するコミュニケーションの原理となりうるのではないか。

相手の異星人も、その文明発展のある段階でかならずコンピュータを発明するだろうし、そこに使われる原理はたぶん地球のコンピュータとも共通だろう。したがって、かれら異星人のおしやべりは、お互いにすべてコ

ら、無意味な色の混合なら、ヒトはそこにおのれ自身のその時の心の状態、たとえば恐怖心とか警戒心があれば、それを無意識に画面にオーバーラップさせ、自分自身の心をそこに読みとってしまふ傾向があるからだ。

コンピュータにかけ、コンピュータを「通訳者」として意志の伝達をはかるのが、いちばん客観的で誤解の少ないやり方といえそう。

では、実際にそのやり方で、どのようにして異星人に話しかけるのか。

だれでも電信電波でおなじみのモース符号、あのトン・ツールの方式と基本的に同じだが、違うのはトン・ツールの組み合わせで「文字」を伝えるのではないということだ。それは2進法の「0」と「1」を表わすだけなのだ。コンピュータの場合なら、パンチカードに穴があいているか、あいていないかでそれを表わす。

この2進法というのは、初等数学の一部として小学校の高学年で数えることもあるが、まだ多くの人にとってはなじみが薄いだらう。だが、その基本の数理は全くふつうの10進法と同じなのである。

これからの宇宙言語学の基礎になるので、数学の分野だが、簡単に10進法と比較して説明しよう。

●2進法の原理

まず10進法においては、1の位にはいるのは1〜9までの数字である。10になると、ひとつ位があがって2けたになる。この2けた目もやはり1〜9までであり、10に達すればまたひとつ位があがって3けたになる。この原理はもう誰でも知っている。

「ところで数を表わすのに、なぜ9つの数字を必要とするのか。もっと少なくてもよいのではないか、最少限2つの数字があれば10進法と同じやり方で、どんな大きな位取りの数字でも全て表わせるのではないか」と、数学者は考えた。

これが2進法のアイデアであり、その2つの数字とはすなわち0と1だ。この他にはなにもいらず、それでいて膨大な国家予算である何十兆何千何百何十億何千何百何十何千何百何十円までちゃんと表わせるというのだから全く信じられないくらい。

2進法では1の位にはいるのは0か1かどちらかだけ。この2つの数字しかなく、ひとつの位の中で使えるのはそのみなのだ。だから2になれば、ひとつ位があがって2けたになる。つまり2110になる。では、3はどうか……。

3は2+1である。そして2110なのだから、その1の位に1が入って3111となる。では4になったら……

…

4は2+1に、もうひとつ1が加わる。つまり3111に1が加わる。1の位は2になってしまいうから0にして1けた上がる。ところがつぎの位も2になってしまいうから、そこも0にしてもう1けた上げる。つまり41100となる。

10進法では「百」を表わすが、2進法では「四」にしかない。このへんが「常識」と違い、戸惑うところだ。しかし、なれてしまえば、10進法と全く同じ原理であるのがわかる。10進法で10の位(10¹)が、2進法では2の位(2¹)、10進法で百の位(10²)が2進法では四の位(2²)であり、同じやり方で先へ進むと思えばよい。

このやり方は数理であり、客観的な論理だから、曖昧さの多い主観的な感覚に頼る方法とちがって、全宇宙の知的生物に理解できるはずなのだ。

●2進法のいい点

2進法を用いるのはトン・ツー信号で表わしやすさという点の他に、もう一つ、他の惑星の数のかぞえ方を必ずしも10進法と決めたいこともあつた。

地球で10進法を採用したのは、ヒトの指の数が10本あることに大きく関係しているという。しかし、古代文明にさかのばれば、たとえばバビロニアなど12進法を採用し、いまでも時計の文

字盤やインチ尺などに、そのなごりをとどめている。それで最近では、古代のバビロニア人はその頃地球を訪れた6本指の異星人から、その数概念を教わったせいではないかとさえいわれている。

宇宙には3本指の異星人もいるかもしれない、そうした必ずしも10進法と

図形・パターンの送信

2進法での1〜10までの数の送受信はつぎのようにおこなわれる。

数	電波信号	2進法での数表記
1	トン	1
2	トン・ツー	10
3	トン・トン	11
4	トン・ツー・ツー	100
5	トン・トン・トン	101
6	トン・トン・ツー	110
7	トン・トン・トン・トン	111
8	トン・ツー・ツー・ツー	1000
9	トン・ツー・ツー・トン	1001
10	トン・トン・トン・トン	1010

こんな簡単な電波信号を基礎にして、これよりもっと遙かに複雑であるいろいろな絵や図形、パターンを送信することができる。

だが、この信号の図形化の原理は、やはり、この数の送信から始めるのがいちばんいい。トンの信号は黒で、ツーの信号は空白で表わすのである。1〜10までを図形化してみると、

ぎらない様々の数体系を考慮に入れると、いちばん基礎的な2進法を用いておけばまず無難といえるのである。はなはだ無味乾燥ながら、宇宙のどこかのまだ見ぬ異星人へ話しかける時、この2進法による数のかぞえ方をもっと最初の第一声、「ハロー」の挨拶代りにしようというのだ。

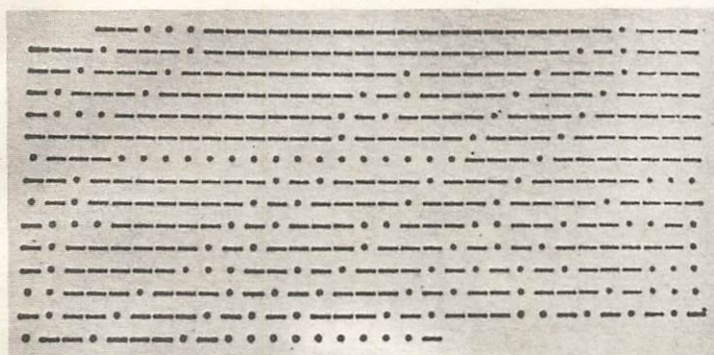
●解説の手続き

すでに1974年11月16日、プエル

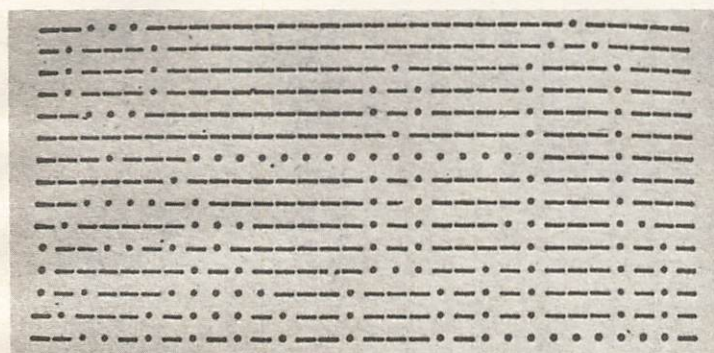
トリコにあるアメリカのアレンボ電波天文台から、遙か2万4千光年かなた、ヘラクレス座の球状星団に向けて電波による宇宙メッセージが送られた。そのメッセージの冒頭の部分、つまり「こんにちは、異星人」にあたる部分が、このトン・ツー・パルス方式による1から10までの数字であった。

同メッセージの中では、その数列に

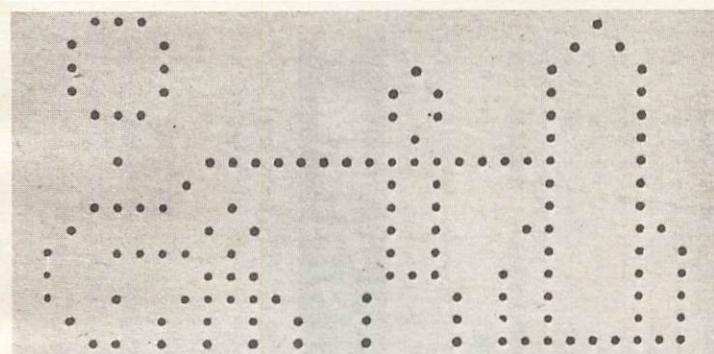
数	表記法	図形化
1	1	■
2	10	■ □
3	11	■ ■
4	100	■ □ □
5	101	■ □ ■
6	110	■ ■ □
7	111	■ ■ ■
8	1000	■ □ □ □
9	1001	■ □ □ ■
10	1010	■ □ ■ □



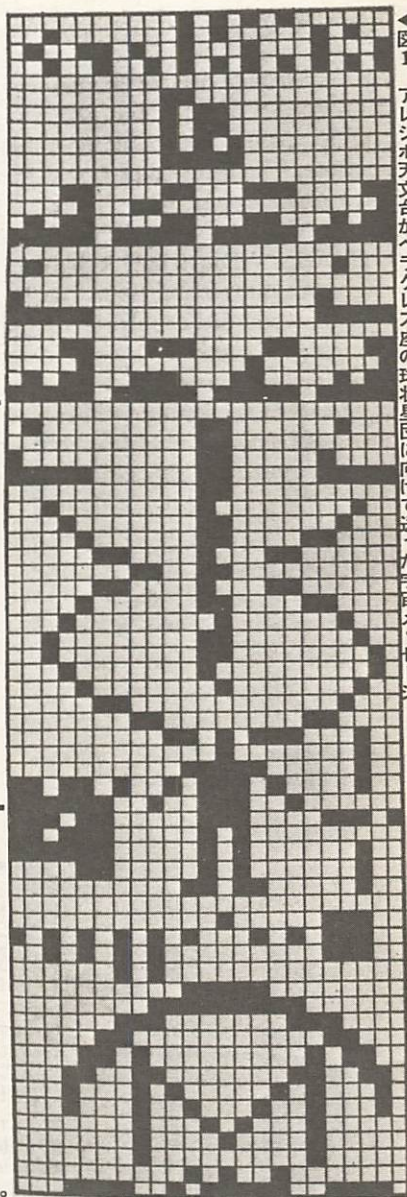
▲図2① 一見すると、トン・ツー信号が雑然と並んでいるようだが



▲図2② タテ15行、ヨコ30行に並べかえてみると……



▲図2③ さらにトン信号の部分だけ残すと、このようにまとまりのある図形となる。



◀図1 アレシボ天文台がヘラクレス座の球状星団に向けて送った宇宙メッセージ

つづいて遺伝子DNA中の水素、炭素、窒素、酸素、リンの各原子の量を2進法で表わし、ほかにも人間の遺伝子情報量(40億)、人間の身長、地球の人口、アレシボ電波天文台の口径(300メートル)などをトン・ツー信号で送っている。(図1参照)

図2の③を見てもらいたい。雑然とトン・ツー信号が並んでいて、そのままではなんの意味も引きだせない。そこでトン・ツー信号の数を数えてみると、全部で450ある。

この450という数は 5×90 でも、 15×30 でも、 45×10 でも表わせる。で、それぞれの数をタテの行、ヨコの行にして並べると、タテ15行、ヨコ30行(②)のとき、どうやらまとまりのある図形(③)があらわれてくる。

つまり、並べ変えてトン信号の部分だけ残すと、まず左上の隅に現れた円形。これは信号の送り主の惑星系の中心星「太陽」だ。その下につづく5つの点は5つの惑星があることを表わしている。ロケットを飛ばし宇宙開発にのりだした直立の知的生物が住むのは、中心星から第2番目の惑星であり、すでに第5番目の惑星まで飛んで行ける能力がある。

3番目の惑星と手をつないでいるのは、おそらくその惑星に住む背の低いタコ型の4本足の生物であり、2番目の惑星とアーチで結ばれていないところから見ると、戦争あるいは競合状態

ランスミッター装置”の設計図を送ってきた場合、それを組み立てるには各部品材料の選択と同時に、各種の数学概念を駆使しなければならないだろう。ごく簡単なものでも小数、分数、対数、無理数、微分、積分などの概念を両者のあいだで定めねばならない。それにはまず基礎の加減乗除の式から始めて、それぞれの計算記号、つまりプラス、マイナス、×、÷などの記号を特定の波形の電波で定める。

分数などは自然数を表わすパルスの強度を $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{3}$ にすることによって、指示することもできる。そして、それらの記号を基礎にし、順に微分積分などの数概念を規定していけばよい。

●数学原理の通用しない世界

しかし、これらの絶対確実と思われる“数学論理”すらも、全宇宙の途方もない可能性の前に立つと、その確信がゆらぐのである。もっとも基礎であ

る1プラス1イコール2が成立しない世界。たとえば、その惑星全体をおおいう海の中に住む、グニャグニャしたアメーバのような知的生物がいるとすれば、かれらにとって1プラス1は1になるだろう。なぜなら、2つの水滴が1つに融合するという経験に基づくからだ。

同様に、かれらにとっては、 $\frac{1}{2}$ は0・5でなくイコール2になることだろう。

こうした計算ははなはだ奇妙に見えるかも知れないが、2進法の計算と同じようなもので、そのように数概念を規定すれば、それはそれで普通の自然数計算とは全く違った数学体系が可能になるだろうし、おそらく、そうした世界では通常の幾何学もまた成り立たず、いわゆる「三角形の内角の和は180度ではない」という「非ユークリッド幾何学」が原初から発達していることだろう。

人物Aの質問。「10プラス1はいくつか」
人物B。ただちに「11だ」
人物C。ただちに「50だ」
人物D。やや時間をおいて「11だ」
そこで人物Aは評価する。人物Bには「良い」を表わす波形アルファの電子音、人物Dには「悪い」を表わす反波形アルファの電子音。いうまでもなく、それは正邪の観念を表わす「正しい」「正しくない」の電子音とはまた別である。それならごく単純に計算の正解の方を「正しい」、間違った方を「正しくない」とすることで規定でき

抽象概念を伝達するシンボース

さて、遙かな星の相手とコミュニケーションする宇宙言語学には、もうひとつ、困難な問題がある。人間の複雑な行動を支える諸概念、すなわちヒトの心の動きをあらわすいろいろな抽象概念を、どのように説明するかだ。これは相手もいちばん知れたることだろうが、その説明は最高度の数学理論よ

りも格段に難しい。たとえば善悪、正義、愛などの観念。あるいは生活の中の道徳律や、対人関係に必要な礼義作法など、まったく、その環境も歴史条件も異なる「よそ者」に、どう説明したらよいのか。

ひとつの突破口として、オランダの数学者ハンス・フロイデンタール教授

好評発売中!
アルファトーン
バイオフィード
バック装置

これを使って精神統一をすると速やかに効果が上がり超能力が発現します。

超科学七、八号（各三〇〇円・送料共）参照

二九、五〇〇円
千五〇〇円



ESPカード…………… 五〇〇円
千一四〇円

キリリアン写真機用テストラコイル
美顔器…………… 一三、〇〇〇円
千五〇〇円

超科学四号
特集 超科学実験装置 参照

五〇〇円 千一二〇円

橋本電子研究所

鎌倉市小町一 一五一一七

0467(25) 3035

あなたの中に眠る超能力を引き出し
すばらしい人生を送るための会

日本超科学会

会員は右記の品一割引、会報進呈、切手六〇円送れ。

つぎに、その観念規定を利用して、行動の礼義作法を説明する。

人物Aが人物Bにたずねる「10 X 100とすれば、Xはいくつか」

人物Cが口をはさむ「10だ」。すると、ただちに「悪い」の反波形アルファ音。

人物Bが答える「10だ」。こんどは「良い」の波形アルファ音。

この問答では早くて正しい解答をだしたのに、人物Cはなぜ「悪い」と判断されたのか。異星人は考えるだろう。

「人物Aは人物Bにたずねたのに、人物Cはそれを差しおいて口をだした。この人たちの世界では、直接、質問されないのに横から口をはさむのは『良くない』ことなのだろう」

という具合に、かなり難しいデリケートな社会行動上の規則をも、この数学的な会話によって伝達することができる。

「出された問題に答えることができても、もし答えたくなければ答えずともよい」

気宇壮大なセティ計画

だがしかし、ひとたび相互のコミュニケーションが成り立ち、かれらの先進銀河クラブに加入できれば、もうこの数学的なリンコス（御用済みとなること）だらう。そうならば、パッパヤセザン

「動物は人間と少し違っていて、そのぞむもの」であるが、「話のできるもの」ではない。人間は「話のできるもの」である」

「行動するもの」「のぞむもの」「話を受けとるもの」の数のほうが、「話のできるもの」の数よりもずっと多い」

こうした抽象観念の積み重ねによって、フロイデントール教授はたんなる数式だけでは伝達できない物理学のいろいろな概念をも、人間行動を中心にして質量、運動、エネルギーから、ついには相対性理論と、核エネルギーの開放に必要な質量とエネルギーの相互関係の有名な公式（ $E=MC^2$ ）まで一気（に説明して）のける。

現代の最高の知識のエッセンス。たんに科学技術のみならず、哲学的道徳的な命題をも含めて、人類の知識と芸術の最前線を、基本的にはまったく同じトン・ツー方式によって他の星へ知らせることができるのである。フロイデントール教授は、この数学的会話の方法を「リンコス」（宇宙語。リング・コスミカ）と呼んでいる。

スどころか、ピカソやバルトックらを中心とする芸術的コミュニケーション・システムが優位を占め、ひろく宇宙社会における地球の公用語として米ソ中仏間のどの自国言語を採用する

か、そこでまた激烈な優位争いが巻き起こることだろう。

ともあれ、それは遙かなる未来のことであり、それまでは地道に心抱強く、繰り返しリンコスで呼びかけるしかない。1日4時間、20時間ごとに繰り返せば、地球の自転周期が24時であることを、相手は理解するだろう。さらに6日おき、1日送信を休めば、1週間の生活リズムにも気づいてくれるかもしれない。そして、ある準備期間をおき、宇宙メッセージの送信が本格化すれば、同じタイプをあらゆる方向に同時に流すことも可能になる。

いま、スペースシャトル計画の延長としてアメリカ航空宇宙局では衛星軌道に直径300メートルの大バラボラ・アンテナを建設し、大気圏の障害のない星からのコミュニケーション電波をじかにとらえようとしている。名づけてセティ（Search for Extraterrestrial Intelligence）計画。まことに気宇壮大なプランだ。

うまくいけば、まだ見ぬ異星人からの呼びかけ電波をとらえ、そこに含まれる膨大な宇宙大百科辞典的知識から、現在、地球が直面しているエネルギー危機、核の抑止、人口食糧問題の解決など、異星人のすぐれた知恵を借りられるかもしれない。

「ハロー・異星人。こちら地球。応答願います。応答願います」

会員募集

日本
GAP

UFOと宇宙哲学
研究グループ

わが国UFO研究界の先駆者久保田八郎はジョージ・アダムスキー研究家としても著名であるが、1961年よりアダムスキー主宰の世界GAP（知らせる運動）組織の日本代表となり日本GAPを設立。以来あらゆる困難と障害を乗り越えてアダムスキーの特別な体験と宇宙の哲学の促進活動を展開してきた。機関紙「GAPニュースレター」はすでに62号まで発行。毎月東京文化会館の月例会で宇宙哲学を指導し、宇宙の法則と人間の真の生き方を探求。大阪・高知・熊本・新潟・岐阜・福知山・仙台・山形・札幌各支部設立。個人の奉仕活動として啓蒙運動を続行中である。真剣な探求者の参加を歓迎している。

不定期刊機関誌

「GAPニュースレター」

第62号発行中

●本格的活版印刷・B5版・極上アート紙40頁●UFOに関連し他惑星における偉大な人類存在の認識と宇宙法則の探求専門誌
主要記事連載スペース・プラザーズはなぜ来のかG・アダムスキー／「太陽と神々の国」を訪ねて 久保田八郎
／その他有益な記事写真満載

入会希望者は50円切手付宛名明記返信用封筒を同封の上「UFOと宇宙」1月号で見たときそえてます案内書をお申し込み下さい。入会は高校生以上に限ります。非会員に機関誌の一冊売りはしません。

〒133東京都江戸川区本一色町365-818 日本GAP（主宰）久保田八郎

ミステリー豆知識 (完)

アストラル体

Reproduced by 'The Encyclopedia of the Unexplained' published in the U.K. by Routledge Kegan & Paul.
© The Rainbird Publishing Group Ltd./Orion Planning Dept.

物を見たり聞いたりする自然体験は物質世界で起きるが、人間が存在のすべてのレベルで活動している領域としては、この物質世界が唯一のものではない。あらゆる国の、あらゆる文化段階にある人々は、この通常の感覚の範囲の外に横たわる知覚領域に入りこもうと探求を続けてきた。現在の科学ではうまく説明できない別の次元があった、そこでは直接体験が可能だと信じられているのである。聖者は地球上の地理的な

どんな場所にも劣らずリアルな所を訪れたと記録に残している。

一般に、地球上の地理的な場所のあなたにあるこうした領域を、私たちは「四次元」と仮定している。そして、「第二の視覚」や「第六感」が知覚されるのはこの次元だと言われている。

人間の機能はいくつかのレベルにわたっていて、それぞれのレベルで人間の多面的な存在が活動している。まず肉体、だれにでも触ってわかる部分がある。この肉体をギリシア人はソマと呼び、牢獄や墓に等しいとみなした。その中に非物質的な要素がとらえられていると考えたからである。次に、この活動する力を持たない骨と肉の物質を動かす、活力を与え、人間を物理と生理のレベルで機能させるものがある。これは人間が動物と共有している能力である。さらにまた、人間が理性を働かせるとき、人格の別の面が現れる。しかし人間は、それだけではなく、より高次の衝動に反応し、ぼんやりではあるにしても偉大な何かを認め、それにあこがれる。このことは、人間に魂があるというように表現されてきた。

こうした人間の非物質的要素については長年にわたって思索が続けられてきたが、いまだにはつきり定義することとは難しい。これについて神秘主義者たちはアストラル体という理論を提唱している。それ以外には納得できるような説明がつかない、人間にまつわる広範な現象について有用な仮説である。神秘主義者たちはこの理論により、睡眠と夢、様々なタイプの狂気、テンカン、多重人格、幻覚や恍惚状態を説明しようと試みてきた。

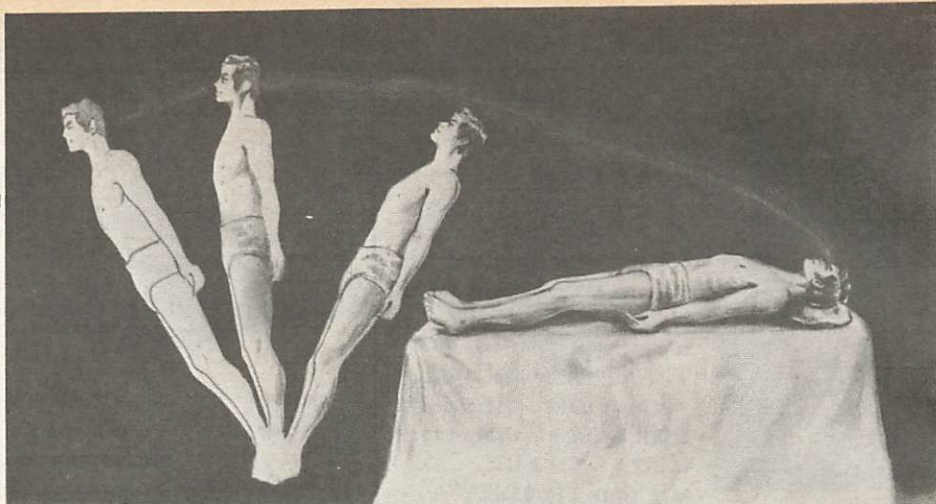
霊魂離脱体験

ごく普通の人々が、とりたてて変わったことのない状況で霊魂離脱を体験するという証拠はますます多くなっている。突然気がつく、物質的な枠組の外に出ているのである。ある人はそれを次のように描写している。車にはねとばされたとき、自分が自分自身から浮揚していくように感じ、肉体から分離した意識が、地面に倒れた彼の肉体をとりまく群衆を見つめている。また、外科手術を受けている患者も、同じように上昇して、天井の近くから自分の肉体に施されている手術の模様を見たという記録が残っている。アーネスト・ヘミングウェイは、第一次大戦中にイタリアの塹壕で、第一弾に被弾し、「まるでポケットの片隅から絹のハンカチを引き出すように」、何かが身体から出ていく感じを受けた。アストラル体はアストラル界に属しているが、時によっては、前に述べたような事故の衝撃がなくても離れ去ることがある。道を歩いたり、庭仕事をしているとき、アストラル体がすこしの間身体から離れ、ある程度の距離を移動後に肉体に戻るといったこともある。その間に、アストラル体は自分自身や他人を観察しているのである。霊魂離脱体験というのは自分が自分自身の肉体の外にいると気づくものだが、そうした体験をしたことのない者にとっては信じがたいかもしれない。しかし信頼できる証言などによって、かつて疑っていた人々もしだいに受け入れられるようになってきており、今日では研究者たちが熱心に研究を行っている。

「同所共存」

アストラル体は、非物質ではあるが肉体と全く同じ複製だとされている。そして目覚めた状態にある普通の成人では、このアストラル体と肉体とはびつたり一致している。これを「同所共存」という。

しかしある種の状況では、アストラル体と肉体とは一致していない。たとえば、幼児はふつう同所共存である。非常に年老いて体力の衰えた者や、病人などは非共存になりやすい。飲酒や薬物の影響を受けている者も、程度こそ異なれ、やはり同所共存からはずれやすい。すべてこうした場合に



は、もし覚醒状態なら肉体はぼやけた感じの動きをし、事物の焦点がぼける。協調関係が目に見えて失われ、足どりや身振りがぎこちなくなる。話し方が不明りょうになり、日常生活との接触が失われる。

睡眠中は、正常の人なら肉体が非共存になるのが普通である。私たちが眠たいという欲望にうちまかされるのは、神秘主義者によれば、アストラル体が肉体の束縛から自由になって、外へ出てのびのびしたいという自然な欲求によるものということになる。外へ出たアストラル体の体験は、夢という形で心に投影されることがある。しかしこの夢は、大脳によってゆがめられて伝達されるのが普通である。神秘主義者の中には、アストラル体は肉体から離れても細いコードでつながっているという者がいる。ある種の超能力者にはこのコードが見えるという。このコードによってアストラル体と肉体の間の接触と意思伝達が行われているのである。人が死ぬとコードは切れ、アストラル体は永久に自由となる。ヘソの緒が切れて赤ん坊が母親の子宮から自由になると同様である。

アストラル投影

こうした信念を背景として、アストラル界はより高次の神秘体験が起きる

場所と定義できるだろう。何かの理由でアストラル体が同所共存から離れると、それは別の次元に入る。この意図しない同所非共存の間に起きた体験の多くはぼんやりとした記憶ではないし、たとえ覚えていたとしてもその意味は理解できないのが普通だ。このため人間は、アストラル界での滞在をはっきり記憶できるよう、分離したアストラル体を覚醒状態の意識に戻すための手段を探し求めてきた。神秘主義者たちは、適性を持つ者には伝授可能な特殊な宗教儀式によって、こうした界（二つだけではない）を上昇していく。

この技法の訓練の原理は、同所共存からアストラル体を慎重に投影させながら、その後の出来事について完全に意識を保っておくというものである。

アストラル投影を実現する方法はいくつかある。その一つは、横たわり、目を閉じてくつろぐ。次に自分自身がベッドの足元に立って、横たわっている自分の身体を見つめているところを想像する。この方法では視覚化がカギである。これを強化し、持続しなければならぬ。ついには意識が実際に肉体から出て、観察者に合体するところまでいくようにするのである。別のもっと難しい方法では、眠る前にあらかじめ夢を考えておいて、実際に眠る直前に「夢の中に入る」というものがある。さらに別の方法としては、静か

に横たわって片足のつま先に意識を集中させ、つま先がチクチク感じるまで続ける。次にこの感覚を別の足のつま先に移し、両足ともチクチク感じるようにする。そしてこの感覚を、くるぶしからだんだんと頭までずっと進めていく。最後には体全体がブーンというようになる。突然、自分が浮揚していることに気づくだろう。生まれつき同所非共存になりやすい人にはアストラル投影はそれほど困難ではない。しかしほとんどの場合は、実行するのに何カ月、いや何年もかかるだろう。

新しい神秘主義

これまでは、他の境界線上にある体験と同様に、アストラル体験も幻覚として片づけられがちだった。あるいは集合的無意識からある種の古代の記憶が再構成されたものとか、心の奥底の恐怖が劇的に表れたものとか、ひそかな願望の視覚化だとして、まじめに扱う問題ではないとされてきた。しかし現在では、別の線にそったアプローチが盛んになってきている。

「もしすべて心の問題だというのならその心についてもっと知ろうではないか」というものである。

これによって意外な事実が分かれば、ひょっとすると、新しい神秘主義がもたらされるかもしれない。

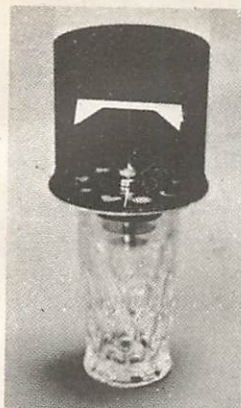
あなたにも“念力”がある!!

念力開発器

(ロジックルーション・ダイヤレット)

人はだれでも潜在的に念力を持っています。ただそれに気がつかないことが殆んどです。このダイヤレットであなたは自分に念力があることが自分自身で確認できますし、訓練によってそれが強化されてゆくのが分ります。バラ十字団の団員は現にダイヤレットを使って自己の念力を強化して実生活で幸福をつかむ手段としていました。

¥7,000 (送料共)

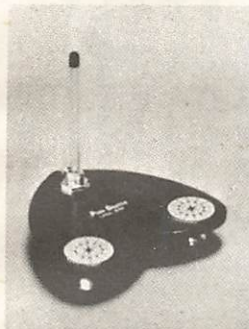


プランセット

(西洋式こっくりさん)

プランセットとはそれを行う人の意志とは関係なく自然に動き文章や図形が記されるもので、プランセットの実験は精神統一にも有益で家族や友人と一緒に楽しめます。

¥5,000 (送料共)



魔法の振子

(シュブロール振子)

魔法の振子は、潜在能力開発のもっとも基本となる道具の一つです。魔法の振子で自分のくれた能力を発見して下さい。占いにも使えます。

¥2,000 (送料共)
携帯用ケース付

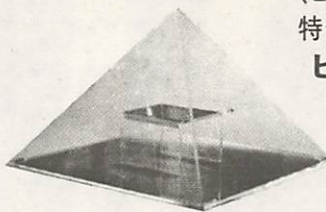


ピラミッドーA

アクリル製底辺約24cm
(ピラミッドパワー実験用)
特価 ¥6,000 (送料共)

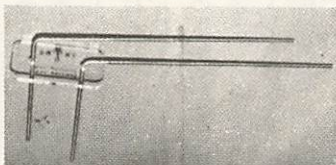
ピラミッドーB

実験だけ楽しみたい方には普及型ピラミッドーB
(¥1,000送料共) もあります。



不思議なピラミッド・パワーの実験ができます。中の台に色々な物を置いてみましょう。カミソリの刃は再び切れるようになります。生花は外のものより長持ちします。ミルクや果物も腐敗が遅くなります。魚や虫など小動物がミイラ化します。その他色々面白い実験ができます。

宝探しロッド (ダウジング・ロッド)



¥3,000 (送料共)
セパレーター付

このロッドであなたは不思議な力が発揮できるようになります。比較的短期間の練習で多くの人が、紛失物やかくされた物を発見できるようになります。この道具は実際に地下のガス管や水道管を探すのに実用されています。さあ、あなたも自分の潜在能力を試してみましょう。

カシオ・バイオレーター



あなたのバイオリズムがワンタッチで出ます。健康管理、セールス、受験勉強、事故防止、スポーツ等に応用できますし、相性判断もできます。

特価 ¥6,000 (定価は ¥7,500 です)

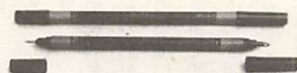
リズム・メーター



バイオレーター同様、簡単にあなたのバイオリズムが求められます。又、グラフに表されますので大変便利です。

¥1,500 (送料共)

消えるボールペン



西独製の消えるボールペンです。紙でも布でも手でも書いた後反対側のインク消しでサッと消えます。あまりいたずらしないように。

¥300 (送料共・切手も可)

ジョーズの口

本物です。室内の装飾に最適!



A 約20cm ¥5,000
B 約25cm ¥7,000
C 約30cm ¥10,000
D 約35cm ¥15,000

価格はいずれも送料共です。ジョーズのAとゆうように御注文下さい。

シャーク←写真のものより平たく
歯がやゝ短い。約30cm ¥3,000

※上記商品には、詳しい説明書、練習方法の解説がついています。

●カタログ請求・お問合せは

〒103 東京都中央区日本橋小舟町2-7

発売元



ポラックス株式会社 U 係

TEL (03) 666-0511 代

技術指導

潜在能力開発研究所

ご注文は

紙に商品名、住所、電話番号、氏名を書き捺印の上代金を現金書留封筒又は郵便振替(東京・4-8703)でポラックス株式会社 U 係にお送り下さい。



〔ベネズエラ〕 1977年1月23日、ベネズエラのサンタ・ローザ近くにあるトルビオ川の土手にUFOが着陸、大騒ぎとなった。

午前0時半のことである。東から1機のUFOが出現し、土手に5分間着陸を続けたのち、再び飛び去っていった。

物体が町の上空を飛ぶところは、多数の人が目撃している。また、UFOが着陸する際の奇妙な音で目を覚めた者もある。

物体の形は長円形というのが主力を占めているが、1人の目撃者はベル型だったと言っている。UFOは赤く輝きながら家をかすめて飛び、地面に着陸した。着陸後も発光は続いていた。

UFOを目撃してびっくりした人々は、いそいで現場に駆けつけた。150人近くの群衆が集まったが、UFOのまわりの空気が熱

せらぬで非常に暑く、とても近づけない。すると突然、円盤の透明に見える部分を通して、2人の人間に似た搭乗員が見えた。彼らは円盤の内部を動き回っている。この時、見物していた群衆の1人が好奇心にかられてライトで照らしたので、UFOはすぐに飛び去ってしまった。

UFOの着陸地点は高温にさらされたときえて、岩や小石の上のほうが焦げていた。ただし、下側はほとんどなっていない。バルキシメントにある工芸学校のH・デ・ラ・ローザ博士により土壌のサンプルの分析が進められている。博士が予備調査で報告しているところによると、

「……重炭化水素、おそらく油煙のついた合成ゴムが不完全燃焼したと思われる。採取したサンプルは、すべて地球上にあるものばかりだが、だからといって、地球のものか宇宙から来たのかわからない、あのナゾの円盤が残したものではないとは言いい切れない」

「ユーゴスラビア」ユーゴで不思議な事件が起きている。1977年2月4日の朝、ペリカ・バスと

いう場所のこと。まだ暗やみに
つつまれている午前6時半頃、メ
トガさん(18歳)と母親のヘレナ
さんは家を出た。眼下の谷間には
かすかに霧がかかり、空には雲が
点在している。

2人が家から90mほど離れたとき、メトガさんはオレンジ色に輝く長円形の物体を見つけた。彼女が黙って見つめていると、母親もそれに気づいて彼女にたずねた。そのUFOは、2人の右手の斜

面の端に音もなく浮かんでいる。母娘は首をひねりながら、物体の方へ歩みよった。すると急に物体は消えてしまった。そしてまだ驚きのさめやらぬうちに、2人は丘の向こう側をすごい速さで飛んで

恐くなくして家に帰りがつたが、母親のヘレナさんは、あれは家か森が火事になつて、助けを必要としてゐるのだと考へた。2人は駆け出し、近道をしてそばの道路の見過しのない場所に出た。しかしそこに着くやいなや、光は消えてしまつたのである。

後になって質問を受けた2人の目撃者は、その物体に4つか5つ非常に明るい個所があったと証言している。ヘレナさんは、その5つの点が2人を観察しているような気がしたという。

この事件を調査したUFO研究家たちは、光の位置からみて、UFOは最初に目撃された地点から500mぐらい離れたところに着陸したのではないかとしている。

UFOとニアミス発生

「コロンビア」 コロンビア共和国のパイロットが、未確認飛行物体(UFO)とのニアミスを報告している。コロンビアのラジオ放送しているラジオ・カラコルが5月5日に伝えたところによると、単発機のパイロットがUFOとニアミス。「自分はUFOの発する強力な光に目がくらみ、一時、失明状態に陥りました」「何も見えぬ、操縦不能」と、ボゴダの空港管制塔へ連絡後、僚機4機が私の機を誘導、無事、着陸しました」

ラジオ放送したこのパイロットは病院に運ばれた。この突発事では精神的にショックを受けたらしい。

ケニアのミニUFO

「ケニア」 1977年5月12日、奇妙な音で目を覚ましたチャリテイ・ムソニ・ベンソン夫人は、恐ろしいものを目にしてベッドの下にもぐり込んだ。

燃えている円盤が部屋に入ってきたのである。先端が光り輝き、ベッドの下からのぞき見たベンソン夫人は、それが回転するボール大に縮んでしまったことに気づいた。物体からは熱がでている。そして、急に物体は姿を消してしまった。あとには煙が残っていたが入口から台所へとしだいに動いていった。彼女は、隣の部屋で寝ていた妹のルーク・カリイチ夫人も呼びにいった。カリイチ夫人も、やはりブーンという音で目を覚ましていた。彼女たちは一緒に台所へ行ってみたが、その時には煙はもうどこにもなかった。

ケニアのミミUFO

〔ケニア〕 1977年5月12日、奇妙な音で目を覚ましたチャリテイ・ムソニ・ペンソン夫人は、恐ろしいものを目にしてベッドの下にもぐり込んだ。

燃えている円盤が部屋に入ってきたのである。先端が光り輝き、ベッドの下からのぞき見たベンソン夫人は、それが回転するボール大に縮んでしまったことに気づいた。物体からは熱がでている。そ

して、急に物体は姿を消してしまつた。あとには煙が残つていたが入口から台所へとしだいに動いていった。彼女は、隣の部屋で寝ていた妹のルーク・カリイチ夫人を呼びにいった。カリイチ夫人も、

やはりブーンという音で目を覚ましていた。彼女たちは一緒に台所へ行ってみたが、その時には煙はもうどこにもなかった。

はたしてこの不思議なものは何
だったのだろうか。火球なのか。
それとも、もっと珍しい超小型U
FOなのだろうか。

光の柱が3人の眼前に

「オーストラリア」 オーストラリア南部にあるアデレードから北に16キロほどのところにソールズベリー・ノースという場所がある。ここで3人の青年が奇妙な光の柱

を目撃するという事件が発生している。1977年5月28日のことである。そして、少年の1人、ブレントン・クラーク君(15歳)はどうもその光線に触ろうと手を伸ばしたらしい。彼は、あつという

間にはね飛ばされてしまった。友人たちはあわてて地面に身を伏せた。彼らが見守っていると驚いたことに、彼らの右手20mほどにある木立の中から、青みがかった緑色をした円すい形の物体が上昇してきた。その物体が上昇して飛び

去る時、かすかなゴロゴロという音が聞こえている。

少年たちの話では、光線は直径3mほどの広さに焦点を結び、彼らが乗ってきた自転車にねらいをつけているようだったという。

巨大なフットボール型物体

「イギリス」 ウェールズ西部で続
発するUFO目撃に、またひとつ
新たな事件が加わった。

今度は巨大なフットボール形の物体で、8月1日、アマンフォードの近くのペトウス山上空に浮かんでいるのを出勤途中の2人の女

性が目撃した。

最初に発見したジャネット・ボックス夫人は、

「8時20分ごろ、山を越えて行くとしていたら太陽の光で銀色に輝く物が見えました。まるでヘリコプターのように一カ所にじっとして、銀色に輝いていました。平たくて、丸みを帯びているように見えました」

ボックス夫人は、車を運転していたデビッド・グラベット夫人にその物体を指示した。

「円筒形に見えました。全然動かないようにしたけれど、私たちが丘の頂上に来た時には姿を消していました。大きな銀色のフットボールみたいで、とてもヘンテコなものでした」

この物体は、上空の空気を観測する気球だったのではないかと、説明が考えられるが、気象台のジョン・ボウエル氏はその日に気球を飛ばしたとは聞いていないと語っている。

また英国空軍のブラウディ基地で航空管制を担当している中尉は「気象観測用気球にしては高度が低すぎるようだ。私には解釈がつかない」と言っている。

ドライブ中の家族が目撃

〔イギリス〕 8月1日の夜、インバネスの北部方面警察本部は、ある家族のUFO目撃事件の報告をロンドンの国防省に提出した。

目撃者は技師のアラン・ルッター氏と奥さんのイボンヌ、それにポール（11歳）とジェーンソン（7歳）の2人の息子たち。ダンドネ

ルからウエスター・ロスのプレモア・ジャンクションに向かって車を走らせていたところ、目もくらむような銀色に光るソーセイジ形の物体が山並みの上に浮かんで、見るの目に入った。

家族は全員、車から飛び降りてそのUFOを観察し、写真を撮ろうとした。すると物体はスピードを上げて飛び去ってしまった。

「写真を撮りたかったんですが、ものすごい速さで飛び去ってしまったのできつと写っていないでしような」

ルッター氏は警察にこう話してから、物体から音は聞こえず、ロケットのような噴射も見られなかったとつけ加えている。

車をストップさせたUFO

〔イギリス〕 8月3日の早朝、イギリス南西部のサクスデッド上空で、未確認飛行物体を目撃したドライブヤーが警察に通報し、物体が上空に来たら車が突然動かなくなると証言している。

チェルムスフォード警察に電話をかけてきた男性は、自分の名前が告げなかったが、事件について次のように語った。

A130道路をダンモアへ向けて走っている時、2つの光体を空中に目撃した。1つはゆっくり上昇しているようだった。高度は15mほどだった。

「車の出力がガクッと落ちて、その場を逃げ出せなくなったので、その男性はあわてふためいたそうです。警察のスポークスマンの発表である。

目撃時刻は午前4時前後、警察ではパトロールカーを急行させて現場一帯の捜索にあたったが、事件の手がかりらしいものは何も発見できなかった。

警察ではこの事件をデマではないと見ていて、事件についてはウエスター・ドレイトン空軍基地、国防省、それにUFO研究団体に報告された。

この一帯、つまりエセックス州では、この事件の10日ほど前にもフリーゲステン上空で警察大訓練係が葉巻型物体を目撃している。白い光を放ち、30分以上も動き回ってから東の方角に去ったという。

7歳の坊やが見た空飛ぶ「お船」

〔イギリス〕 7歳のウエイン・ロビンソン君が、8月3日にUFOを目撃している。イギリス中央部の都市リーズの近くにあるケイリ1での出来事である。

間もなく夕食の時間になろうという頃、彼はお父さんの会社の材木置場にいた。

「ちっぽけなものが見えたんだ。白っぽくて、てっぺんに煙突みたいな物があったよ。とてもゆっくり、静かに動いて雲の中に隠れちゃった。それっきり見えなくなっちゃった」

彼が空を眺めているところを、会社の運転手ジョン・プレストンが目撃している。

「何か上の方に見えたんだ、と言っていましたね」

夕食後、プレストンが父親のバリー・ロビンソン氏にこの話をしたので、父親は息子に聞いたのだし

た。ウエイン君はスケッチを描いてみせたが、それは数本の煙突のある船のような形状だった。

「息子はこういったことにかまける性質ではありません。それに私が聞くまで黙っていたのだから、注意をひこうとしたわけでもないようです」

UFOは東方へ向かう

〔イギリス〕 過去数カ月にわたって西ウエールズ一帯に出没したUFOは、その後東の方角に向かって移動したようである。

8月9日の夕刻ごろ、イスタリフェアに住む一家が、カールセンの方向の上空を飛ぶ色とりどりのUFOを見た報告した。

ついにUFOは西部から他の場所へ移動したのか、西部でUFOを目撃するのはこれで最後ののだろうか。それとも一たん姿を消したと見えていただけだけの、一種のトリックなのか。

約3時間くらい後、まだ薄ぐらゐ未明のことである。UFOが戻って来た、と証言した数名の若者がいた。UFOはドーム型の頂上にライトをつけ、山の上空を飛んでいたという。

UFOは街並の上空に移動し、しばらく飛行した後、ものすごいスピードで海岸の方角へ去って行った。そして、まるで目撃者を戸惑わせることが目的であるかのような不可解な動きかたをしながら再び消えて行った。

こうした証言をしたのは、すべて15歳から17歳までの若者たちで、彼等はいくつとく、自分たち

が目撃したものの不可解さに恐怖心を抱いていたようであった。

当の飛行物体は明らかに飛行機ではなく、かなりのスピードで移動できる能力を有し、更に一つの場所の上空で、ほぼ静止して飛ぶことも出来る——ものである。

UFOとショッキング

〔イギリス〕 エセル・ジャクソンさんは買物をすませて店から出た時、心臓が止まる程驚いた。彼女は空飛ぶ円盤を目と鼻の先に目撃したのである。

プロクサ・クローズのジャクソン夫人が見たUFOとはどんなものだったのか、彼女は語る。

「はら、よく漫画やなにかに出てくるでしょ。あれと全く同じだったわ。大きな丸い型をした円盤が、とても低い所まで降りて来た。私は円盤にすっかり心を奪われてしまったわ。だって、それまで円盤がこの世に存在するなんて信じてもみなかったでしょ、それが私の目の前にあるのですもの」

彼女が犬といっしょに家路に向かってエステート・レイクを歩きはじめた時円盤を見たというのは8月25日夜9時頃のことである。

「まるで雨雲が低くたちこめるみたいに、空飛ぶ円盤が私の頭上に降りて来たの。円盤には沢山の窓があり、車よりもはるかに大きく下部は銀色に輝いていたわ。それに、あんなに近くで見たのに音は何ひとつきこえなかった。私は、円盤がICIの方角に飛び去って行くまでのかなり長い時間、じっと見つめていたわ」

クリブブランド警察では、そうしたものを目撃したという報告は受けていないと発表している。

また、クライシスというUFO研究会のブリアン・ストレイト氏は、この事件に関して、

「その報告は、たしかに円盤状の飛行物体に関する印象を伝えてくれます。が、いくら昨夜は月がきれいでも明かたと言っても、その話だけではどうも……。我々はずっと多くのデータを参考に、更に調査・研究を進めていくつもりでいます」との見解を表明している。

「僕はUFOの写真を撮った」

「イギリス」 15歳になるオードレイ中学校の生徒が、UFOを撮影したと発表。

この少年はポール・ジェフリースという名前で、ヘスコート通りの136番地に住んでいる。彼は9月3日の土曜日に、家の庭の上空を飛んでいる葉巻のような形をした飛行物体を自分のカメラで撮影した。

彼は目撃したUFOについてこう説明している。

「ちょうど庭の奥のほうだったかな。空をバックに浮き出した白い斑点のような感じだった。僕は釘づけにされたようにじっと見つめていた。それはいろんな色に変化したんだ。赤や黄色や白に何度も変った……。輪郭はオレンジ色だった。」

少ししてから僕は我にかえって、カメラで撮影してやろうと思ったんだ。はじめはそれに少し

も近い、2階の寝室の窓から思っただけで、結局庭で三脚を用いて撮影していたんだ。無我夢中だった。それは1時間くらい飛んでたかな……」

これでオードレイ中学校のUFO目撃者は2人目である。最初にUFOを目撃した少年も（彼の場合はちょうどクリスマス頃だった）が、やはり今回と同様、強い光をUFOが発していたと語っていた。

今回の目撃者ポール君は、自分ともに認めるなかなかのカメラマンで、おまけに1週間ほど前の彼の誕生日に400ミリの望遠レンズをプレゼントしてもらったばかりだった。

彼はそのレンズをつけたカメラでUFOを撮影したわけである。シャッター・スピードはかなり遅かったそうだ。

一方、彼の母親であるマリオン・ジェフリースさんもやはり、庭の上空の不思議な光を見ている。彼女は息子のポールほど真剣にその光を観察しなかったようだが、それでも約1時間くらい飛びまわっていたと述べている点では、ポール君の先の説明と一致する。

ポール・ジェフリース君と彼の母親が観察したUFOが、本当はマンチェスターのリングドウェイ空港から離陸した飛行機であり、彼等が見た光は、飛行機のライトだったのではないか——という錯覚説をとる人々も多い。

しかし「錯覚説」を主張する人々の根拠は、どうもジェフリース夫人の証言からするといまひとつ説得力に欠けるのである。

一方、UFOを目撃した人々があらわれた直後、地元の警察は念のため、リングドウェイ空港に問い合わせを行ってみた。ところが、空港当局では、

「土曜日は視界も良好でなし、ちよつと離れてはいますが、おそらくうちの空港を離陸する着陸する航空機の光を見まちがえたんでしょ……」

と、手みじかに片付けてしまった。

これに対してジェフリース夫人は、

「私だって空を飛んでいる飛行機くらい何度か見たことがありますわ。でも今度見たのは、それとははつきりと違うものなんです。だって、空中に長時間静止していたんです。音もたてずに。おまけに横向きに移動したんです。そんなこと飛行機にできると思ひになります。」

この「UFO」飛行機のライト「錯覚説」をめぐる論争に、更にもう一人の証人が出現した。アンドリュー・パークさん（20歳）である。彼はブルートン市ブルートン街183の住人で、土曜日の午後10時ちょっと前、ガールフレンドと一緒にペンティリー上空を飛行中にUFO（円盤型だったという）を見たというのだ。

「僕はあんなのはじめて見た。飛んできたのも、それが発していた光線も絶対飛行機や飛行機のライトじゃないと断言できる。円型で中央部が緑色、ユラユラと揺れながら回転していた。そう、大きさはちょうど小型飛行機くらいだったかな。5分間くらい

で消えてしまった……」

メクスボロの近辺でUFOを目撃

「イギリス」 9月7日、メクスボロの近くにあるボルトン・オン・デアンに住む「昨夜UFOを見た」と語った。彼等の説明によると、その物体は円盤のような形状をしており、星を満天に散りばめた夜空を約15分ほど回転しながら飛びまわり、ウームウエル方面へ飛び去って行ったという。

また、ブルームヒル・ビュードは一家族全員が路上で同時にUFOを見ている。彼等は外出するため、ちょうど家から道路へ出て来たところだった。

目撃したUFOは彼等の家の裏にある野原上空を横切って消えた。時刻は午後10時ちょっと前である。

ブルームヒル・ビュードUFOを目撃した住民のひとり、4児の母であるリリアン・ハドソン夫人はこう語っている。

「私はそんなものが空を飛んでいるなんて、ちつとも知らなかったんです。外で遊んでいた息子のデレク（14歳）が家に駆け込んで来て、私の足をひっぱるので表に出てみたんです。でも、空を見てびっくりしましたわ。あの変なもの、一体何なんですか？」

それは大きくてとても明るい光を点滅させながら、せわしく飛びまわっていた。通りはそれを見ようとして集まった人々でいっぱいになり、子供たちは興奮していた。実際、円盤状の飛行物体が点滅させる光を何かの信号だと思った

何人かの少年は、懐中電灯を持ち出して返信をこころみていた。ハドソン夫人はまた、こうも言っている。

「私は、確信を持って言えます。あれは絶対にヘリコプターや飛行機ではありませんわ。空には雲ひとつなく、見違えるはずがないんです。UFOは何の音も立てずに飛んでいたんです。」

しかし、その地区の警察では、UFOの発見に関して何ら報告を受けていないし、届出もなされていないと言っている。更に英空軍のスポークスマン、フィニングスレー氏は「昨夜この地区では、非常飛行行動や夜間飛行は全く行っていない」と語っている。

テレビシュー放射

「アメリカ」 空軍キャプテン、ランドルフ・B・ジェンキンス（33）の体験を紹介しよう。

「演習飛行の最中でした。突然気がついたんです。私のA-7クルセイダー機の下を、後方から、空飛ぶ円盤が急速に接近してきたのです。UFOの大きさははつきりとわかりました。円盤型で、両側に推進装置がありました。私は自分が見られているのだと直観しました。なにがある決意をせまられているようでした。私の脳は、UFOからテレビシューで影響されているように震えていました。しかし、3秒後、震えはとまったのです。円盤は急上昇しました。音はまったくなかったようです。数秒後、それは水平線上で消え去りました。」

UFOか人工衛星のかけらか（北海道・東北）

明るい火の玉が上空を飛ぶ

〔北海道〕10月26日夕、東日本全域で正体不明の物体が光を放ちながら上空を横切るのが目撃された。この直後、各地方気象台や天文台、警察などに「飛行機が墜落したのではないか」「イン石では」といった問い合わせや「UFO（未確認飛行物体）を見た」などの通報が相次いだ。この物体、かなり長時間にわたりジェット機並みのスピードで、飛行「している」ことから、人工衛星の破片と見る見方が強いが、専門家の意見も「流星説」「人工衛星説」に分かれるなど、さしずめ秋の夜のミステリーといったところ。その正体をめぐって当分論議が続くであろう。

「あれは一体、何だろう。ホウキ星のような光の流れを見た」。道内の目撃者は、南は函館から札幌、旭川、釧路、知床半島——とほとんど全地域にまんべんなくおり、道東の十勝管内豊頃町大津沖ではパトロール中の釧路海保巡視船「だいおう」（千ト）＝山本新一郎船長ら37人乗り組み＝もこれを目撃、「火の玉が明るい光を発しながら、上空を走り抜けるようにして、間もなく2つに分かれて消えた。数秒間のことだった」と同海保に打電してきた。

道警本部、運輸省航空局千歳空港事務所、札幌管区気象台などは問い合わせの電話が殺到、職員はその応対に一時、てんでこ舞い。北海道新聞社にも、本社はもちろ

ろ、道内各支社、支局に数十件もの情報が次々と舞い込んだ。

これらの情報を総合すると、ほぼ共通しているのは目撃時間が午後5時40分前後で、「初め青白い火の玉のようなものがホウキ星のように尾を引き、数秒後だいたい、または赤色に変化、放物線を描いて南東の空に消えた（または落ちた）。音はなかった」。

もちろん、相矛盾する情報も多い。

1時間ほど前の同4時20分ごろに「札幌の西の空を夕焼けの中に飛行機雲のようなものが走ったのを見た」という札幌の青年もいた。みんな「この目で確かに見たんだから間違いない」と、自説を譲らない。一家4人がそろって見たという札幌市豊平区福住263、商店経営桑島治雄さん（40）宅では「月ほどではないが、かなり大きく、ニジの高さに長く明るい尾を引き、3分後、南東の方で燃え尽きるように消えた」「一等星以上の明るさ。流れ星では絶対ない」と北海道新聞社への電話口で家族が交代で出て、目撃の興奮をそのまま伝えてくれた。

「白っぽい光を放った物体が、函館上空から青森方向へ飛んで行った」というのは、空のブルー、外川幸雄函館空港専任管制通信官。

「昨年と同じのを見たことがあ」と、これは網走管内遠軽町向遠軽、民芸品製造業田中修一さん（28）。2回目なので「北から南へ、本体はオレンジの円形。青

白い光を引いていた。肉眼では1mの長さ」となかなか詳しく観察している。

また、午後5時38分ごろ、自宅近くの丘の上で天体観測をしていたため、20倍の双眼鏡で、物体を目撃したという石狩管内原田村望来、会社社員藤原夫さん（20）は「オレンジ色の丸い物体がだんだん赤っぽくなり、最後に空中にだけ散るような感じで消えた」といっている。十勝管内広尾町ではパトロール中の警察官が、また同管内足寄町では新聞配達少年の足寄中2年、谷川健幸君（13）。秋の夜空を駆け抜け、この夜の話題を独占して消えた。光る物体をめぐり、論議は尽きなかった。

●三陸沖に落下か？

26日午後6時半、釧路から羽田に着いた東亜国内航空138便DC9機の正木征二機長（39）が三陸沖に、火の玉が落ちるのを目撃し同社の運航統制室に報告した。

正木機長によると、同機が午後5時39分ごろ、高度約1万mで、函館と松島の中間の花巻上空を松島方向に向かって飛行中、進行方向の斜め左前方のちょうど三陸沖あたりを4～5個の火の塊が垂直に長い尾を引いて海に落下するのが約15秒間にわたって見えた。火の塊の周辺には小さな、火の粉がたぐさん見えた。火の塊は初め青白く、海面に落下する寸前に花火のように赤い色に変わった。

（1977年10月27日付、北海道新聞）

青函連絡船からも問い合わせ（青森）10月26日午後5時45分こ

ろ、函館中央署から青森県警に「函館上空から下北半島に向かって異常な物体が火を噴いて飛んで行った」との連絡が入った。このため県警では三沢基地に連絡をとったが、同基地では岩手県宮古市からも同じ照会があったが、レダーはキャッチしていないとの報告。

県警では、さらに県内各署に通報して情報を集める一方、大湊海自、三沢空自なども連絡を取り合ったが、墜落した事実はいくつもない。間もなく、むつ市中央2丁目、ガソリンスタンド経営沢田喜代一さん（30）が「近くの子どもが騒ぐので外に出たら、川内山方向から陸奥湾に火の玉が落ちるのがみえた」と連絡してきたほか、青森市内や青函連絡船からも続々と問い合わせの電話が入った。

（1977年10月27日付、東奥日報）

真ッ赤になって6個に分裂

〔岩手〕10月26日午後5時30分から同45分ごろにかけて、岩手県の上空北から南の方向へ青白いせん光を放った、ナゾの物体が飛んだのが県内各地で目撃され、盛岡地方気象台や警察などへ問い合わせが殺到した。

目撃した花巻市田力、主婦鎌田アサ子さん（45）は「夕方5時42分ごろ、南東の山中に直径30cmほどのボール状の青い物体が流れ去るのを見た。光の帯は幅1m、長さ4mぐらい。大きな流れ星のようでもともしきれなかった」と話している。また同時刻ごろ車中で見たという紫波町、会社員長谷川武さ

ん（24）は「盛岡に向かって国道4号を北上中、上空北西から南東方向に中心がピンポン玉のような大きさで青く、前後がオレンジ色をした帯状のものが30秒間ほど見えた。あまりきれいだっただけで友達と車から降りてながめた」

この物体は県北でも目撃され、九戸郡野田村玉川の会社員福島文五郎さん（45）も「最初、流れ星のように青白かったが、山を通るとパンという音とともに真ッ赤になって6個ほどに分裂した。この間40秒ほど」。水沢市の商業青野弘さん（42）は「黄色い尾を引いて散ったのかと思つた」と話すなど、このナゾ飛行物体は県内各地で目撃され、この問い合わせで警察、海上保安署、自衛隊などの電話が鳴りつづし。

水沢市の国立緯度観測所は「ドーン」という爆発音は確認していない。空の24時間警戒に当たっている下閉伊郡山田町の航空自衛隊第37警戒群のレダーにも変わった反応はなかった、という。

このため1時間以上わたって情報が乱れ飛び、二戸署では「一戸町と九戸村の境の山中に赤い物体が落ちた」という通報でパトカー12台が、現場に急行したほか釜石海上保安部でも「海上に飛行機が墜落したのでは」と航空自衛隊松島基地など東北の飛行場に問い合わせたが「同時時間帯には1機も飛んでいなかった」とことが確認されたものの、依然として正体不明。

（1977年10月27日付、岩手日報）

警察官が目撃、通報

〔宮城〕 10月26日夕、北海道から関東地方まで、上空で光る物体を見たという人が相次ぎ、自衛隊や警察署、気象台、天文台に問い合わせが殺到、河北新報社にも「見た」という読者の電話が相次いだ。

目撃した仙台天文同好会員の東北大4年生、笠原紳さん(23)の話では、時間は午後5時38分40秒から40秒間。真北の方向で、ほぼ北極星の高さからオレンジ色の2個の物体が、灰色の煙を出しながら南東方向にジェット機ぐらいの速さで落下、間もなくばらばらに分裂した。明るさは月よりやや暗く、色が周期的に変化したことから、回転していたのではないかと

いう。また、宮城県警にも、なぞの飛行物体を見たという110番通報が午後7時までに30件ほど寄せられた。最初に通報してきたのは午後5時35分、吉岡署の外勤警察官。管内を警ら中、夕空をよぎる飛行物体を目撃した。続いて仙台、角田、亘理などの警察署や市民から続々。

寄せられた情報を総合すると、大きさは満月の半分か4分の1ほどで、噴き上げ火花を横にしたように、火の粉をまき散らしながら北から南へほぼ水平に飛んでいったという。

(1977年10月27日付、河北新報)

自衛隊員が飛行中に確認

〔山形〕 北から東南方向に飛ぶ光る物体が10月26日夕、県内各地で

目撃された。「私も見た」との情報は山形市をはじめ、天童、半沢、長井、鶴岡、藤島などから山形新聞本社と各支社、支局に続々寄せられた。

山形県でこの飛行物体が見えたのは午後5時40分ごろ。山形市小白川町3丁目、会社社長鹿野忍さん(47)は「馬見ヶ崎川の山形大橋上空を宮城県方向に、飛行機が燃えているような物体が、赤く光って飛び去った。従業員3人も見た」と伝えてきた。また、同市大野目2丁目、会社員松田満さん(44)は「3本の尾を引いた光が花火のようにまたたきながら飛んでいた。流れ星よりずっと早い」。以後、約30分間、内陸、庄内、置賜各地の中学生や車で帰宅途中のサラリーマンから続々情報が寄せられた。これらを総合すると、飛行時間(目撃時間)は6秒から長い人で30秒。色は「青白い」「赤」「オレンジ」と違ったが、いずれも複数の尾を見ている。大きさは「中心が野球ボールぐらい」というものから「月と同じ大きさ」までさまざまだった。

同じころ、運輸省航空局山形出張所、山形地方気象台にも問い合わせが殺到したが、双方とも「有力情報なし」。同様に問い合わせが寄せられた東根町の陸上自衛隊第6飛行隊は、山形空港上空から飛行中のプロペラ機が物体を空から確認していた。植田達一尉(34)は「葉山の北側からオレンジ色の点が見えた。空港上空で細胞分裂のように分かれ出し、青白い光に変わった。その後、バラバラ状態になって白い光を残して関山方面

に消えた」と報告している。(1977年10月27日付、山形新聞)

イン石より速度が遅い

〔福島〕 10月26日夕、福島県上空を北から東に向かって「発光物体」が通過し、福島民友新聞社、福島地方気象台などには「UFOではないか」「飛行機が墜落したのでは」との問い合わせが殺到した。目撃者の福島市本内、阿部正行さん(26)の話によれば「午後5時40分ごろ、北から東へ向かって光る物体が流れて行った。アセチレンガスのような赤っぽい、尾を引いていた」また、桑川中学校職員は「国見町上空から霊山町上空に向け、帯状の光を放ちながら約1分間流れて行った」と話している。ほかに保原町、白河市など県内各地で目撃者が相次いだ。

福島天文同好会(大野裕明会長、福島市本町中街道下13の7)の観測、調査によると「北海道から南東に向かって約50〜70kmの上空を通過し、茨城県東方海上約200km地点の上空で燃えつきたようだ。イン石に比べると落下速度が極めて遅く、数個に分裂しているところから人工衛星が大気圏に突入し、燃え上がったものではないか」という。

航空自衛隊第27警戒群(滝根町)のレーダーでは、この飛行物体は確認されなかった。同隊の話によると、レーダーに映るのは金属物質だけで、イン石の場合は反応しないという。

(1977年10月27日付、福島民友)

「わが奇跡の力」 トニー・アクバオア者

¥850 (たま出版刊)



わが奇跡の力

心霊手術は最近日本でも大分知られるようになった。また病氣治療のためにフィリピンまで行って手術を受ける人も急に多くなっている。手術のできる人は現地に何人かいるが、中でも愛称「トニー」と呼ばれるアン・トニオ・アクバオア師が内外共に最も有名であり、また第一人者でもある。この書は、トニー師の誕生から始まり、その不可思議で素晴らしい心霊治療能力を身につけ、多くの病氣に苦しむ人を救い出す聖業をはじめに至った経緯を綴った自叙伝である。素手の指を肉体内に入れ患部をとり出すというおおよそ三次元世界ではあり得ないことを易々としてやってのけ、しかも素晴らしい治療効果を発揮しているその奇跡の力は何処から生まれてくるのだろうか。

「富田勲の世界」 (2枚組)

RCA ¥4,000



コズミック・サウンドで今や世界の第一人者となったシンセサイザーのトミタ。その魅力の秘密をあますところなく教えてくれるのが、この2枚組のレコード。音の素材からその組み立て方まで、懇切にいねいに指導してくれる。これはシンセサイザーを実際に操っている人達ばかりでなく、今まで彼の音楽に魅力を感じていた人、あるいはこれから聞いてみたいと思っている人でも十分に楽しめる貴重な中味の濃いレコードである。あのロケットの音が、またUFOの音が、眼前に迫ってくるような。彼の習作である、銀河鉄道の夜、その作品をコンパクトにまとめ、それを信じられない音の拡がりを持つバイフォニック・サウンドで聞かせる。ぜひ一聴をお薦めしたい。なお12月20日には、「宇宙幻想」というタイトルの新しいレコードが発売予定。



遠隔透視の第一人者

「アメリカ」アーカンソー州マウンテンビューのハロルド・シャーマンさん(79)のもとには、毎日毎日、見知らぬ人たちからの手紙が押し寄せている。

たとえばメリーランドの女性からの手紙を紹介すると、

「私は23歳、感受性に富む知的な女性です。すこし以前、26歳の男性と知り合い、6ヵ月間一緒に暮しました。結婚する予定でしたが、彼は急に冷たいそぶりをみせるようになり、私から去っていきましました。私が文句をいすぎるとしか訳も言わずに。どうかあなたのテレビで彼が私のもとに帰ってくるようにしてください。私を愛して、結婚するようにしてほしいのです」

シャーマンさんはこういった内容の手紙を、週に450通ちかく受け取っている。彼は夫人に手紙を声に出して読んでもらい、彼らの悩みに精神を集中する。そして

すべての手紙にみずから返事を出している。

シャーマンさんがこの種の手紙を受け取るようになったのは、彼がみずから超常現象に関する実験をして、それを本にまとめたからである。

最初の実験は1930年代にさかのぼる。彼はテレビシによって、4800キロ離れた北極の水山でキャンプしていたヒューバート・ウィルキンス卿と交信した。この実験について書物を著して以来、彼はESPの権威と認められている。

シャーマンさんのこれまでの業績の中で一番すごいのは、超能力者のインゴ・スワンと一緒に、思念によって木星の探査をしたことだ。

2人は別々の場所において、同時に遠隔透視を行った。シャーマンさんが電話でスタンフォード研究所に連絡した内容は、スワンの報告と合致していた。そのすこし後になって、パイオニア10号の探査で2人の言ったことがほとんど正しいことが裏付けられた。

その後、2人の超能力者は水星と火星にも同じような遠隔透視による探査をしている。

「2人の人間が10億キロ近く離れた惑星に思念を集中して、同じ心像を得るなんて、どうしてか説明が付きません。でも、出来るのです」

シャーマンさんにとっては、近所の人がたのんだことのほうがずっと難問だったという。

ある日、近くに住む夫人から電話があった。2人の少女が牧場に

いった馬に乗ろうとしていて、1人が馬に顔をけられたというのである。顔にひどいケガをして、歯も6本なくなってしまうた。

「歯医者の話では、夜中までに抜けた歯を見つければ移植可能なのだそうです。問題は歯がどこにいったかわからないことで、牧場は広いから時間内に見つかるのはとうてい不可能です。そこでその夫人は、最後の手段として私に電話してきたわけで、どこを探したらいいか教えてほしいと言うのです」

さっそくシャーマンさんは目を閉じて牧場を思い浮かべた。数分後にイメージが浮かんだので、彼はその場所を詳しく説明した。すると2時間後に夫人からまた電話がかかってきて、彼の言った場所

で歯を2本見つけたが、病院から歯の治療をできる状態ではないという連絡があったので、残りを探すのはあきらめたという。

果たして残りの歯がその場所にあったのかどうか、シャーマンさんは一心に思念を集中してみるのだが、なんとも判断がつかないという。

ESP能力を持つ
ウエスタンの女性歌手

「アメリカ」カントリー・アンド・ウエスタンのスーパースター、ロレッタ・リンは驚くべき超常体験を何度かしている。

彼女はESPで父親の死を予知できたという。また、母親のようなスターの座につけたのは、親友だったパティ・クラインの霊の導きのおかげだと信じている。パティ

も歌手だが、1963年の飛行機事故で死亡している。

「ESPや超能力について、たいして知りませんが、自分にその能力があることはわかります。私はずっと超能力を持っていたみたいです。山奥で生まれたことや、インデアンをひいていることが何か関係しているのかもしれない」

ロレッタは、チェロキー・インディアンの血を4分の1ほどひいていて、ケンタッキー東部の人里離れた山奥で生まれた。母親は、超能力で治療する女性としてその地方で非常に有名である。治療した患者は何百人にものぼるという。

父親の死の予知について、もう少し詳しく紹介すると、

「1959年のある晩、父が青い服を着てワイン色のひつぎに横たわっている夢をまざまざと見たのです」

とても恐ろしくなって、夫を起こしたので、夫は気にするなと言った。そしてまた寝てしまいました。

その後も私がずっと夢を見つけていたところ、隣の人がノックして、私に電話がかかっているというので、それは母からの電話で、父が死んだという知らせでした。とても健康だったのに、仕事の中に突然、脳いっ血で倒れたのです。

バカげていると言われるかも知れませんが、私はESPを信じますし、超能力者だという証拠もあります」

ロレッタの一番下の妹ではあるが、歌手のクリスタル・ゲイルもロレッタの能力を信じこんでいる。

テッド・シリアスの念写

「アメリカ」シカゴのホテルのボーイ、テッド・シリアスは、真面目でやかたくなるしい超心理学者にとつてなんとも当惑させられる存在だ。彼は数年前に超能力を持っていることがわかってから、注目の的となっている。

テッド・シリアスは、カメラなしでフィルムに像を結ばせることができるのである。その時に考えていたことが大きな影響を及ぼしているという証拠はあるが、いったい何がフィルムに写っているかは意のままにならないという。ある時など、現像したフィルムを見て、研究者だけでなく彼自身も驚いたという。

たとえば、デンバーで被験者になった時、テッドはデンバー・ヒルトン・ホテルを念写するようにいわれた。現像したフィルムにはヒルトン・ホテルが写ってはいなかった。なんとそれは彼の故郷のシカゴにあるヒルトンだった。

このテッドの超能力について一番よく知っているのは、おそらく精神病医のジュール・アイゼンバッド博士だろう。

博士によると、テッド・シリアスの調査に着手するまで、超常現象には全く関心がなかったという。彼は他の研究者とチームを作

って、どうしてそれほど教育もなく、粗野とも言えるこの人物が超能力を発揮できるのか解明にかかった。現在の博士は、どうして他の者がテッドと同じことができないのか不思議がっている。

異常気象が原因か？
アブラムシ大量発生

〔札幌〕札幌市内の街路樹のニセアカシアにアブラムシが大量に発生している。この虫、ドクガのよう人間に害があるわけではなく木に対する被害も大したことではないが、大群がうごめいているさまは不気味だ。

アブラムシが寄生しているのは新芽の部分。1本の枝に数百匹がむらがついている。この虫は成虫でも2〜3mmの大きさしかなく、肉眼でやっと見える程度だが、幼虫と成虫が入り交じって寄生している枝には分泌物が黒い油を塗ったようにべっとりと付着して、目にした市民は「気味が悪い」。

街路樹のニセアカシアへの寄生は市内全域にわたっている。中でも南区真駒内の南町4から泉町2にかけての市バス通りでは、約100本の8割に程度の差こそあれ寄生。また、北一条通りのアカシア（ニセアカシア）並木でも、注意して見るとあちこちの枝に群れが寄生している。

アブラムシは人を刺すこともなく、寄生した枝の先端が枯れる程度で、樹勢がおう盛なニセアカシアに対する影響もほとんどない。また、現在寄生しているものもほぼ1週間後にはどこかへ飛び去るが、市民から「駆除を」と通報を受けた各区の土木事業所は、目に付きやすい下枝を除去したり、有機リン剤を散布したりで退治にげん命だ。

各区の土木事業所、市環境局自然保護課の関係者の話を総合する

と「ニセアカシアのアブラムシは毎年発生するが、今シーズンには特に多いようだ。やはり、変化が激しい気候が原因ではないか」とのこと。今シーズンは藻岩山や西野の山沿いでフキバッタが大量に発生したり、北大植物園でキアシドクガが爆発的に出現したり虫の世界で異常な現象が相次いでいる。この次はどんな虫か？。

（1977年8月9日付、北海道新聞）

群馬県

「お稲荷騒ぎ」

〔群馬〕お稲荷（とうか）——。

耳なれないことばだが、群馬県群馬郡や高崎市内の一部ではキツネのことをそう呼ぶ。開発の波が押し寄せる群馬郡榛名（はるな）町で、このところ「お稲荷を見た」「お稲荷に食物をとられた」といった話や「ばかされた」といった話まで登場して「お稲荷のいる方へは近づくな」など、お稲荷騒動が起きている。

この騒ぎが起きているのは同町の下里見地区、3年前に土砂崩れで、6人が死亡した事故のあった城山のすぐ南側の山付近にお稲荷の、ねぐらがある。この地区には昔からキツネ、タヌキが多く住んでいて、ばかされた——という話が多く残っているところ。同地区を通る県道高崎・榛名・中之条線や箕郷・板鼻線の交通量がふえたり、住宅が急増したを見て、最近ではキツネやタヌキを見たという話は出ていなかった。

ところが、同町下里見の富沢藤太郎さん（68）が先月初め、自宅か

ら約1km離れた山の中の豚小屋へ行ったところ、隣の管理室の中のお菓子が食べられているのを見つけた。「お稲荷のしわざだ」と騒ぎになった。その後も、「山仕事に行ったら突然おばあさんが出て来て弁当をくれというので食べさせたら消えた」とか「山の中で道に迷って一晩中歩いた」といった、キツネにつままれたような話も出て来て騒ぎが大きくなった。

お稲荷の、ねぐらがあるといわれている所は、榛名町下里見と安中市板鼻の間の山岳地帯で、夏休み中はセミとりやカブト虫とりの子供も目立っているため「子供がお稲荷にばかされたらいいが」と地元の人々は話している。（1977年8月10日付、上毛新聞）

ネコ明神と

化けネコ騒動

〔佐賀〕ワッシ、ワッシとクマゼミが鳴く夏の午後、佐賀市北川副町の木原にある公務員、千布浩一さん（48）方では、虫食いのある木製の古びた厨子（ずし）を前に近所の人々が集まっていた。厨子の前には花と線香、それにイワシの生魚とあずきご飯のごくさんが供えてある。千布さんの手がおもむろに厨子のとびらを開くと、きしむような音とともに中から顔を出したのは、7本の尾を振ってカッ目を見開いているネコの軸物。

千布さんの家では毎年旧暦の11月15日にこの7尾のネコ大明神の軸物を掛け、ネコ祭りをしているが、この日は近所の人々の要望で

特別に公開したものだ。さて、このネコ明神の由来をさぐれば、時代は佐賀二代藩主鍋島直茂の世にまでさかのぼる。

と、ここまで書けば、鍋島のパケネコ騒動のことだな、と気づくに違いない。実際、他県で「佐賀」といえば、「ああ、あのパケネコ騒動」と言葉が返ってくるというほど有名な。

パケネコ騒動のあら筋は、神通力を得た化けネコが、時の佐賀の殿様を散々苦しめ悩まして取り殺そうとするのを、忠臣が辛苦の末、これを退治するというものだが、郷土史家福岡博さんによれば、その物語の筋は細かい点でかなり異なっており、大別すると次の2つに分類できるという。

その1つは、佐賀の支配権が竜造寺氏から鍋島氏に移った歴史的事実を背景にしたもので、芝居になった『花嫁峨猫又双子』などがその例。

この芝居は、嘉永6年（1853）江戸の中村座にかかったもので、鍋島直茂をもじった殿様が、竜造寺家の跡目である盲目の高山検校を開基の相手として城内に呼び寄せ、手打ちにする。検校の母が息子の行方を案じていると、日ごろかわいがっているネコのタマが城内に忍び込み、無惨に殺された検校の首をくわえて帰ってくる。

これを見た母親は、『わが血を吸い、うらみ重なる鍋島家へたつた』と叫ぶのを突くと、血を吸ったタマは神通力を得て鍋島の愛人お豊の方を食い殺し、城中を騒がせるというストーリー。

この芝居は、当時佐賀藩の名誉

を傷つけるものとして、町奉行を通して、上演禁止を求め、芝居をやめさせたという。

もう1つは、お家騒動と直接関係なく、1匹の化けネコが殿様を襲い苦しめるが、ついに忠臣によって倒されるという筋で、千布家のネコ祭りの由来はこれに当たらしい。

寛永17年（1940）の春、お城の庭で催した夜桜見物の宴が終わり、勝茂が床に入ったところ、暗やみの中から怪物が現れ、勝茂の部屋に入った。警固役の千布本右衛門は、勝茂以外だれもいない部屋に愛人がいるのを見つけて、これを怪しみ、打ち首覚悟で愛人を大ヤリで刺すとそれは年老いた黒ネコであったという。

この千布本右衛門の墓はネコ塚のある白石秀林寺にあるが、本右衛門以後、どうしたことが千布家には男児が生まれたためしなく『千布家には7代が間、あとつぎが生まれない』といううわさが立った。そこでネコの霊を慰めんと6代目の子孫がネコを祭ったのがこの掛け軸だといわれる。不思議なことに7代目の親沙六さん（養子）にして初めて男児が生まれ、その子である現当主浩一さん（21）にもNBC勤務の長女淳子さん（22）の下に浩行さん（19）という宮崎大学に通う元気な男の子がいる。

ただし、淳子さんたちにとって『化けネコ退治の千布家の子孫』と呼ばれるのが少々迷惑らしく、『あれ、フィクションじゃないかしら』と少々冷淡だ。

（1977年8月16日付、佐賀新聞）

UFO 目撃 レポート

●星をちりばめたような神戸の夜景を眺めていたとき出現した白い光体

●神戸大学2年(20歳)

栗岡 雅俊

☆目撃日時 1977年10月26日、午後6時5分～10分。

☆目撃地点 下宿の3階から4階への中間の踊り場。

☆天候 晴れ。

☆目撃継続時間 約5分間。

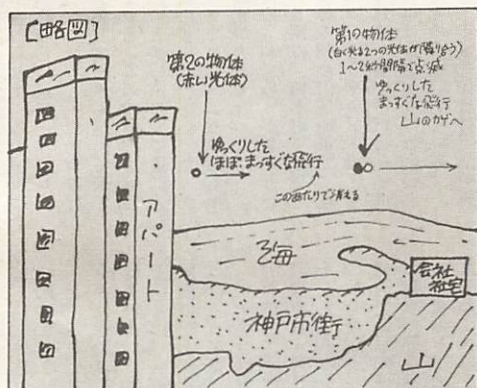
☆同時目撃者 奏 修二(友人)。

☆観測方法 肉眼。

☆物体について 私の下宿先は食堂が1階にあるため、食事のときには4階の自室から1階へ降りていかねばならない。この下宿は六甲山へ連なる高台に建っていて、夜ともなれば神戸市内の百万ドルの夜景が一望のもとに見渡せる。だから私は、階段を降りる途中、踊り場に立ち止まって窓から下界

の美しい光景を眺めるのを、日課としていた。

その日も、いつものように同じ4階に部屋のある友人の奏君を誘って、3～4階の途中の踊り場の窓から、星が美しく輝いている空と、まるでその星をちりばめたような神戸の夜景を、眺めていた。そのとき妙な物体が出現したのである。まず最初の物体が、下宿のまえに建っているアパートの陰から出現した。最初はただぼんやり、星かと思っただけだったが、やがて動いていることに気がついた。さらによく見ると白く光る2つの物体がびったりくっついた形で飛行している。そし



て、点滅を1～2秒間隔でくりかえしている。「あれはUFOじゃないか!」と大騒ぎしたのも束の間、続いて新たな物体が出現したのである。

第2の物体は、最初の物体が、まだ私たちの視野の範囲にあるときに出現した。この物体は赤っぽい色をしていて点滅はしていなかった。最初の物体よりも小さく、また光も弱かったが、飛行した高度はほぼ同じだった。そして途中で消えた(あるいは、神戸市内の夜景の明るさのために見えなくなっただけなのかもしれない)。

赤い物体が消えたあと、最初の白い2つの隣接する物体は飛行を続け、山かげに消えた。物体を見終わったあと2人で話をしたが、あれは絶対に飛行機の類ではないという結論に達した。それは次のような理由による。

①音がしなかった。

②飛行がゆっくりしている。

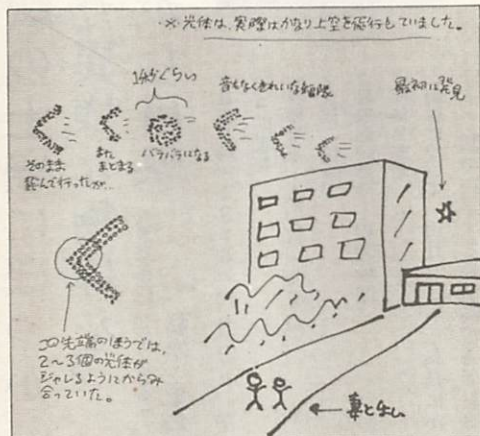
③神戸市内上空を、あの時間帯に通過する飛行ルートはない。

ちなみに私は、故郷(兵庫県揖保郡太子町)で、1975年秋と1977年夏の2回、UFOを目撃した体験を持っている。

(〒657 兵庫県神戸市灘区

六甲台町6-23 山水420号)

UFO 目撃 レポート



※光体は、実際はがより上空を飛行していました。

☆飛行状態その他 私は、持病の胆石を治療するために横浜市民病院に入院中

☆観測方法 肉眼。

☆天候 くもり。

☆同時目撃者 津村昭子（妻）。

☆目撃地点 横浜市民病院の、正面玄

関前。

● UFOの編隊飛行か？ ジェット機の翼の形を崩したり復元したりしながら南の空へ

● 会社員（30歳） 津村一

の者だが、この入院先で不思議な物体を目撃したので報告したい。

その日、ちょっとした用事で外出していた私は、7時すぎに妻といっしょに病院へ帰ってきた。正面玄関の少し手前まで来たとき、私は、病院の建物の北側上空がピカッと光ったのに気がついた。あわててそちらを凝視したのだが、物体は建物にさえぎられて見えなくなってしまった。

私の病気の看病疲れなどで気分がふさぎ、しめっぽくなっている妻を、元気づけるような大きな声で「あつ、飛行機だ！」と私は叫んだ。そして立ちどまり、建物のかけから出てくるであろうあたりを見上げて、待った。

ところがやがて現れた物体はと見ると、驚いたことに、まるでジェット機の翼だけが飛んでいるように見えたのである（図、参照）。それはかなり大きく、高空を音もなく飛んで来た。そして点滅しないあかりがたくさん見えただけ。突然として見とれていたのだが、

2〜3秒もたったかと思えたとき、物体は突然その形を崩し、バラバラになった。が、すぐにまた1秒ぐらいで、全体の形を復元したのである。

物体の先端では2、3個の光体が、まるで小犬がじゃれあうみたいにからみあっていた。全体の形を維持して、物体は同じ調子で飛んでゆき、やがて南の空へ見えなくなった。発見から消え去るまでの目撃時間は、6秒から8秒くらいだったと思う。

病室に戻り、回診の先生にこれ話をすると、ちょうど物体を発見した時刻あたりに、患者のなかに死亡した人がいたという事実が判明した。先生の顔は蒼白だったが、あの物体と死者とは何の関連もないと私は思う。

いったい何だったのだろうか？ 発光する渡り鳥など聞いたこともないし、私にはUFOの編隊飛行以外にまったく考えられないのだ。

同時目撃者の妻は近眼のために、全体の形がバラバラに崩れたとき、物体は消滅したと錯覚したそうである。なお図では、物体はすぐ上空を飛んでいるように見えるが、実際はかなりの高空を飛行した。

（〒100-11 東京都三宅島三宅村

大字神着）

●苦小牧駅の上空にぽっかり浮かんだ異様な物体を、 汽車の窓から目撃

●根室高校3年(18歳)
杉本 重之

UFO 目撃 レポート

☆目撃日時 1976年10月21日、午後5時前後。

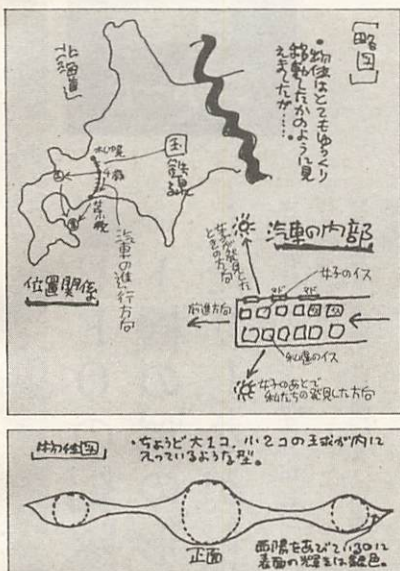
☆目撃地点 苦小牧(北海道)。

☆天候 快晴。

☆目撃継続時間 約30秒間。

☆同時目撃者 6人以上。

☆物体について 10月21日から28日にかけて、私の在学する根室高校普通科3年の学生たちは、7泊8日の修学旅行の途上にあつた。早朝5時30分の出発だったにもかかわらず、旅への期待と解放感で、みんな嬉々として、汽車のなかには騒がしかった。



そろそろ苦小牧駅に到着する、とい

う頃だったとおもう。私は汽車の窓の向こう側に、異様な物体を見た。実際は動いていたのかもしれないが、その物体は上空にぽっかり浮かんでいるように見えた。驚いた私は、あわてて、そばに居た友人のSに知らせた。彼はUFOじゃないかと言った。それで彼と私は急いでバッグからカメラを取り出そうと試みたのだが、そのとき汽車は無情にも苦小牧駅構内に入ってしまった。視界はさえぎられた。

約15秒から30秒ぐらいにしか過ぎないのに、停車時間がとても長く感じられた。ようやく……という感じで苦小牧駅を発車した汽車の窓から空を見上げたが、案のじよう物体は消えていた。

●蒸し暑い夏の夜、それは小高い山のでつぺんで、一等星ほどの輝きを放っていた

☆目撃日時 1974年8月10日、午後10時5分)

☆目撃地点 海南市大野中にある春日神社付近の低い山の上空。

☆目撃継続時間 約4分30秒。

☆観測方法 肉眼(両方とも1.2)

☆飛行状態その他 その夜はやけに蒸し暑い夜で、暑さにたまりかねた私は自

物体の飛行コース、位置などについて考えてみた。図のなかの①は、女子

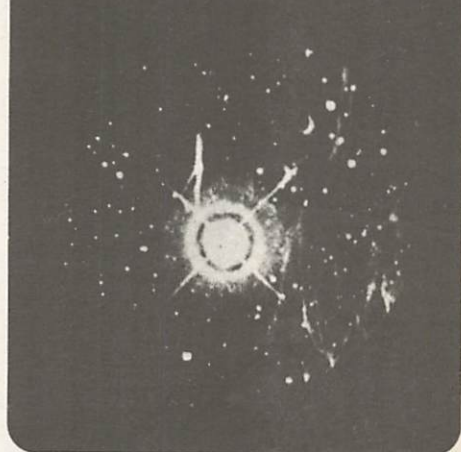
が目撃したときの物体の位置。物体はそれからゆっくり移動して②の方向にきた。そのとき私たちが目撃した。もう1つ考えられる推移は、物体は初めから②の方向にあったのだが、物体があまりに遠いので、女子が目撃したときの方向は①の方向のように見えた。しばらく後になってそれを私たちが目撃したのだが、結局は物体は動かなかった。以上のようなことを考えてみたが、ほかにどんな解釈が成り立つだろうか。いずれにしろ大勢の人間によって目撃された未確認飛行物体であったことは事実である。

(〒087 北海道根室市光洋町2-23)

●海南市立第三中学校(15歳)
大松 真弓

室の南側の窓をあけた。そして、日頃、天体に興味を持つ私は、しばらくのあいだ星を眺めていた。その日は晴天で星はとても美しく輝いていたが、ふと、近くにある小高い山の上空、山の木々の真上に、不思議な物体が静止しているのが目にとまった。
一等星ぐらいの輝きで星によく似て

科学ニュース



気象衛星「ひまわり」の地球画像はゆがんでいた

わが国初の静止気象衛星「ひまわり」の回転軸が予想以上にずれていた。このため地上で再生する地球画像は、押しつぶされたようなゆがみのあるものになってしまった。同衛星に期待していた精密観測は、当分できそうにない状態である。

これは昨年7月、米国から打ち上げられてから、宇宙開発事業団が2カ月近くにわたって衛星の点検と検討を続けてわかったもので、画像撮影のため1分間に100回転の割合で回転している衛星の回転軸が、2度ほどずれていた。

当初は地上からの操作で補正

できる、との楽観的な見方もあったが、不可能とわかって今後、地上のコンピュータ処理でこのひずみを補正する方針。

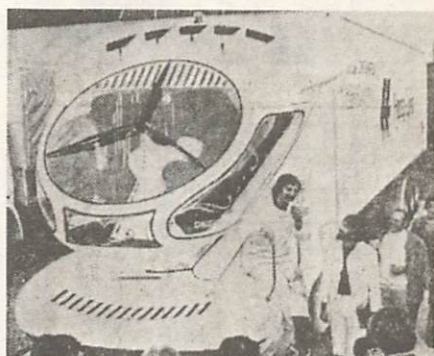
このソフトウェアを開発して本格的観測ができるまでには、あと1年ぐらいかかりそうだ。

気象庁では、このずれによって雲の動きから風速を測るなどの期待されていた精密な観測は当分できないとあって、目算が大幅にはずれた様子である。

松代群発地震の正体は

上昇マグマ

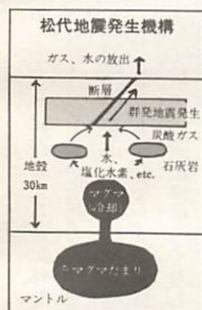
松代地震を覚えていたのだろうか。昭和40年8月から約2年間



続いた群発地震だ。これまで謎に包まれていた地震の正体が、このほどようやく発表された。

地震の正体は、地下のマグマが地表めがけて上昇してきたことによるもので、もう少しマグマの量が多ければ火山噴火に結びついた可能性もあったというもの。

松代地震がおさまってすでに10年以上になるが、ようやく地震の現象をうまく説明できる「仮説」が現れたことになる。



21世紀のスーパートラック

スーパーカーならぬ21世紀のトラック。『2001』と名づけられた、このモダンなトラックは、西ドイツのデザイナール、ルイジ・コラニ氏の手によるもの。昨年9月に西ドイツのフランクフルトで開かれた国際自動車ショーにお目見えして、人気を呼んだ。

トラックのステップに腰をかけ、マイクを手にして、報道陣

に説明しているのがコラニ氏。これまでのトラックと大きく違うところは、円形のフロントガラス。雨天の日には3本のワイパーが回転する仕組みになっている。

これなら視界もかなり良さそう。自動車のデラックス化は、どうもトラックにも押し寄せてきているようである。

(写真/UPリーサン)

ヨガ行者、心臓を止める

近代医学の心電計が証明

このほどヨガの本場、インドのニューデリーで102歳になるヨガ行者サティアムルティさんが医師の前で心臓を止めて見せた。これまでもヨガは心臓を止めることもできるといわれて来たが、こんどのように医療器械で記録されたのは数少ない。

サティアムルティさんは、砂糖入りのミルクを飲んだあと、セメントで固めた地下の穴に入った。体には脈拍、体温、呼吸の動きを測るためコードが接続されていた。穴に入ってから40時間後、心電計の針はビツタリと止まってしまった。だが、心臓はかすかに動き続けているらしく、血液が流れていることが確認された。体温は27度。医師は「記録から見た限り、これは死んだ状態と同じだ」と言った。

そうして8日目、穴の中から自分ではい出

発表したのは東大理学部協田宏講師らのグループで、松代地震断層付近から出てくるヘリウムガスなどを分析した結果わか

った。

分析によると、断層から放出されるヘリウムは、マントル中から出たものらしく、協田講師

宇宙服がデビット君のふだん着

米航空宇宙局（NASA）が開発した、月面着陸で必要なあの宇宙服が、一少年に新しい世界を開いた。

この少年はデビット君（6）といい、免疫機能に重大な欠陥がある特異体質の持ち主のため外気に触れることができず、これまで殺菌装置のついたカプセルの中で育てられてきた。これでは遊びざかりのデビット君には窮屈、そこで目をつけられた

のが、NASAが開発した宇宙服式の殺菌服というわけだ。

テキサス州ヒューストンのジョンソン宇宙センターでは早速、デビット君に合わせて宇宙服ならぬ殺菌服を試作。このほど着てみたところ、デビット君も母親も大喜びだった。これでデビット君は思う存ぶん遊べるだけでなく、新しい世界で十分教育を受けることもできる。（写真／UPI—サン



らは、上部マントル中で部分的

に溶けていたマグマが地殻中に上昇し、そのマグマが冷えたときに、水、塩化水素、チッ素、ヘリウムなどを大量に出し、これらが上部地殻中のすきまの圧力を高め、群発地震を発生させたと考えた。

協田講師らの計算では、これは直径1kmの球状マグマが上昇してきたことに相当するとい

う。もし、これ以上のマグマが出てきたら火山噴火も考えられたわけだ。

光速粒子を衝突させる

貯蔵型加速器を共同開発

粒子同士を衝突させて、より高いエネルギーを出そうという高エネルギー粒子貯蔵型加速器と、その関連技術の研究開発を協力して行おうという国際共同研究計画が今年度からスタートする。

これには日本を含め、計6カ国、8つの世界的な加速器研究所が参加するが、研究所間の組織的かつ対等な研究者の交流、超電導、超高真空、新型イオン源など、将来の加速器建設に欠かせない領域での具体的モデル

し、「黙想中、美しい輝きをみていたのに、突然暗やみが襲ってきてさめてしまった。これ以上中にいたら本当に死んでしまう」と話したとか。それにしても健康状態はいったって良好だった。

サティアムルティさんは、ヨガ行者として心臓を止める技では世界一。今回が278回目、最高は48日間止めていたそう

紙を使ったヨットで

レースの優勝をねらう

紙を使ってヨットを作ろうとしているのはオーストラリアのヨット設計士イアン・マレー君（19）。手にしているのがそれで、新材料の紙とグラスファイバーでできている。ハチの巣状の板は、耐久性があるうえ、従来の合



板に比べて半分の軽さだとか。

彼は昨年の18フィート級ヨットレース世界選手権に優勝しており、こんどもこの軽量ヨットで優勝をねらっている。

（写真／オーストラリア大使館）

ハッカ入りガムが

居眠り運転防止に役立つ

「ハッカ入りガム」が居眠り運転防止に役立つことがこのほど交通医学研究財団の実験でわかった。

の製作と研究開発を目的としている。

これまでの加速器が静止した標的に粒子を当てるのに対し、この貯蔵型では光速に近いスピードで動きまわる粒子同士を正面衝突させるため、比較にならないほど高いエネルギーが得られる。わが国でも、茨城県の筑波研究学園都市にある高エネルギー物理研究所で、同じ貯蔵型の加速器が計画されていて、早ければ56年から着手する。

生きた化石と確認

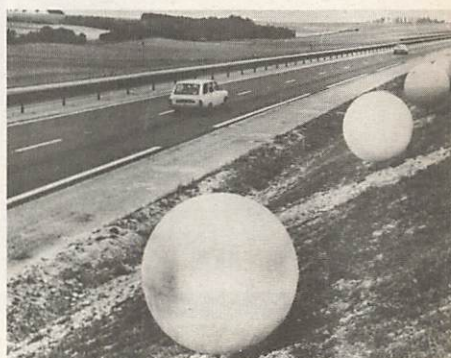
原始生物直系の子孫

地球の歴史46億年のうち、最初の10億年間に進化した最古の生物と思われる「生きた化石」が、このほど米イリノイ大学のカール・ウーズ博士らの研究チ

ームによって発表された。

この微生物はこれまで二酸化炭素と水素を消費し、メタンを排せつ物として生産するバクテリアの一種と考えられてきた。しかし、研究チームの分析の結果、この微生物の基本的遺伝物質であるリボ核酸(RNA)は動物や植物やバクテリアのRNAとは全く異質のものであることがわかった。これは現存する動物の進化系列とは別の「第三の生物」というべきものである。

地球誕生から



安全運転に“目ざましボール”

高速道路沿いに並んだこの奇妙なボールは、フランスが交通事故絶滅のため、事故多発地帯のフランス東部シャロン・スール・マルネ近く30kmにわたって設けた「目ざましボール」。色鮮やかなプラスチックのボールで、ドライバーの注意を呼び起こそうというのが、そのねらい。

(写真/AP)

10億年間、大気は水素と二酸化炭素(炭酸ガス)で構成され、気温は非常に高く、酸素を消費する生命は生存できない環境にあった。メタン生産微生物は無酸素状態で77度以上の高温でも生存できるため、そのような時代にも存在できたのではないかとみられている。

この発見によって生命の起源を解きほぐす重要な手がかりができたわけで、地球上の生命の歴史が一層明らかになるものと期待される。

(写真/UPI・サン)

ラム・ジェット

無公害の極超音速旅客機

トピックス

実験では20人の男性を対象に呼吸数、またたき回数など医学的な計測が行われた。その結果、脳波の変化では、ガムをかんで運転すると興奮状態を増し、なかでもハッカ入りガムが最も脳波の変化が強く、覚せい効果の高いことがわかった。

実験を受けた者の感じを聞いたところ、ハッカ入りガムをかんだ時が最も覚せい効果、気分転換、眠気防止に役立ったという回答が多かった。これらをまとめて、実験班では次のように効果を認めた。

①種類にかかわらずガムをかめば、かまない時より生理的に覚せい効果がある。
②その傾向が最も強く、また実験を受けた者が覚せい効果があると感じたのはハッカ入りガムだった。

海中460mまで潜る

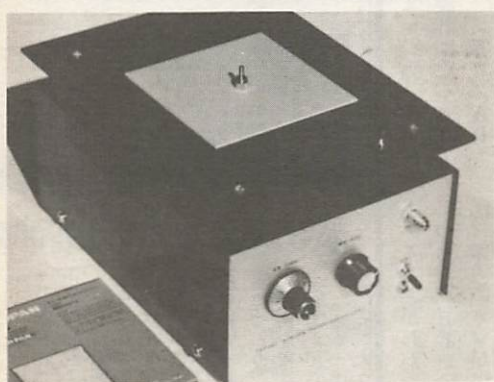
まるで深海人間

フランス人ダイバー2人が460mの潜水世界記録をつかった。この2人はフランスの潜水作業会社コメックスのジャック・ベルボーさんと海軍潜水部隊のジェラルド・ビアルさん。

これまでの記録では、スイスと英国のダイバーが16年前の1962年に米カリフォルニア州沖で達成した307m。だが、この時は英国人ダイバーが、海面に上がってまもなくして死んでしまった。

このたびの潜水は、本来、海底油田開発に必要な500mの深海潜水作業の可能性を確かめるためのもので、記録を更新した2人

キルリアン写真 & バイオフィードバック



キルリアン写真セットTKP-101(写真)

素晴らしいキルリアン写真の世界をその目で確かめて下さい。カメラは必要ありません。

¥28,650(送料共)付属品、説明書付。

キルリアン写真キットTKP-102K

キルリアンセットTKP-101の高圧コントロール部及び付属品のキットです。あなたのセットを組み立てて下さい。

¥12,200(送料共)説明書付。

ESPテスター TES-03

エレクトロニクスを応用したESPテスターです。あなたの予知能力を測定できます。

¥3,500(送料共)説明書付。



バイオフィードバック・モニターBW-300(写真)

アルファ波を感じし、トレモロ音で知らせます。ストレスを取り除き、集中力を養えます。

¥21,600(送料共)説明書付。(輸入品)

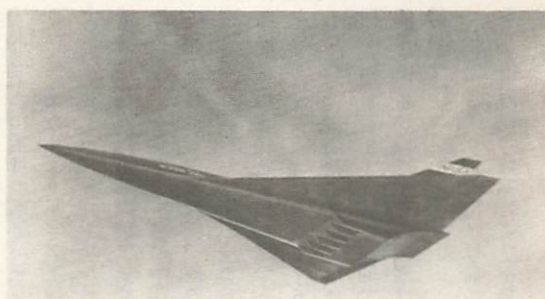
カタログの御請求は下記まで

(株) テクノニクス

〒326 足利市鹿島町1156 ☎0284(62)8073

無公害の極超音速旅客機が米国で脚光を浴び始めている。この旅客機は現在、最も速い超音速旅客機(SST)より速く飛び、しかも公害のないもので、米航空宇宙局(NASA)は、この旅客機の研究契約をロッキード社と結び、実現へと向かうことになった。

「コンコルド」は、高度18000m、時速2000kmを超すスピードで飛行することが可能だが、衝撃音の公害のため、スピードを半分に制限されている。ところが、極超音速旅客機は、燃料に液体水素を使うラム・ジェットで飛ぶため、空気を汚染しない。しかも馬力はターボ・ジェットと比べ約2・5倍もある。



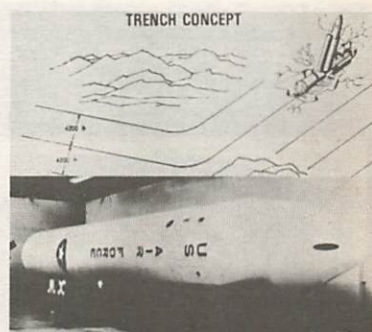
硬貨もガンの原因

米国の医学博士が発表

「硬貨はガンを起こす——禁止せよ」と呼びかけているのは、米コロラド州デンバーの総合病院研究員ジョージ・ムーア、ウィリアム・バーマの両博士。

両博士は、ネズミの体内に殺菌した10セン

は、特殊潜航艇の監視下で2時間海中で作業を続けることになっている。現在、実験は地中海リビエラ沖で行われているが、コメックス社の地上実験施設では、2人のダイバーが600mの海中と同じ状態に耐えられることを実証しており、記録はまだ伸びそう。



米も、もぐらミサイル開発

地下トンネルを掘って、その中を発射台に乗って移動する「もぐらミサイル」の開発が米国で行われようとしている。これは新時代ミサイルとして注目されていた移動可能ミサイル「MX」と呼ばれるもので、現在、米国が主力として保有している地上の発射ミサイル「ミニットマン3」は、相手にとって見つかりやすく、逆にミサイル攻撃を受けやすいということから考え出されたものである。「MX」計画によると、長さ

20km近くの地下トンネルを掘って、その中を発射台が自由に移動する。最終的には、米国各地に合計300基を1980年代中ごろから配備する考えだ。すでにソ連では、同様のものからタイプの移動ミサイル「SS-16」の開発に乗り出しているだけに、米国も開発しなければならぬ立場にある。それにしても秘密兵器の隠し場所として米ソ両国とも暗中模索といった様子ですね。

(写真/UPI・サン)

空飛行時にラム・ジェットを使う二段構えの設計になるようである。

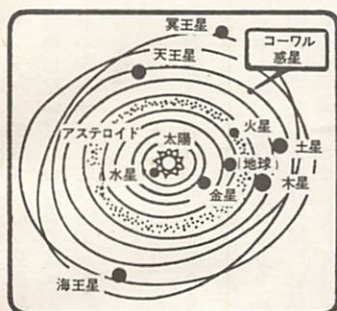
(写真/AP)

ガン早期発見法

血液中のBFPで判定

体内にガンがあるかどうかを簡単に見つけ出す方法が、埼玉県立がんセンターの服部理雄部長によって開発、発表された。

この方法はBFP(基礎胎児タンパク)という物質が、胎児の体内とガン細胞に多量に存在、逆に健康人にはわずかなしかなことをヒントに考え出された検査方法で、研究によると、血液を調べて、100ミリ・g当たりBFPが100ナノ・g(1ナノ・gは10億分の1g)以上存在するガン患者が50%以



上いることがわかってい。つまり、BFPの量を調べれば、体内にガンが潜んでいることがわかるわけで、その後、精密検査をしてどこにガンがあるか見つければよいことになる。この新しい発見方法は、まだ可能性を示しているだけで、実際に集団検診に応用するところまでにはいっていないが、服部部長らは、一日も早く実用化し

たいと話している。

太陽系の10番惑星か？

土星と天王星の間

太陽系の10番目の惑星が発見された。米カリフォルニア工科大学のチャールズ・コーワル教授は、天体写真を顕微鏡で研究した結果、土星と天王星の間に「小惑星でもなければ、他の惑星の衛星あるいはすい星でもない」という10番目の惑星(?)を見つけた。直径は160〜640kmで、太陽系の惑星とほぼ同じ平面上を115年の周期で回っている。地球からの距離は約24億km。

なお、コーワル教授は以前にも、木星の13、14番目衛星を発見している。

トピックス

ト硬貨を埋め込む実験でガンが発生することを実証。このたびの報告論文に「世間に出回っている硬貨を全部回収するため、緊急会議を開くべきだ」と政府当局に呼びかけた。これは冗談半分としても、実験自体は科学的に正確なもので、同博士は「動き回る物はどんなものでも、遅かれ早かれ、なんらかの悪い結果をもたらすものだ」と話している。

あし舟で海洋を大漂流

メソポタミア文明のルートをさぐる

メソポタミア文明が、あしの舟で遠い世界の国々に運ばれたという仮説を実証しようとあし舟大冒険が計画されている。

「コンチキ号探検記」や「あし舟ラー号」の漂流で知られるノルウェーの人類学者トール・ヘイエルダール博士は、メソポタミア文明の遺跡にあし舟の絵が描かれていることなどから、あし舟の製作を思い立った。こんどの目的はメソポタミア文明が世界各国に伝わったルートをさぐるというもので、世界各国の海の男14人を乗せ10カ月間、大海を漂流する。あし舟は「チグリス号」と名づけられ、出発地点のバグダッドで建造される。

乗組員には日本のベテラン・カメラマン鈴木公さんも選ばれた。資金の後援には、日本の日本テレビを含む6カ国が協力し合う。

ヘイエルダール博士は、30年前にバルサ材を組んだイカダ「コンチキ号」でペルーからポリネシアまで約4300kmの漂流に成功している。また、博士の「コンチキ号探検記」は日本でもベストセラーになった。

連載科学記事

(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤 12

レナード・クランプ

斥力場による空中効果 斥力場の空気力学

■ 翻訳出版権獲得 ■

2機のUFOに遭遇したとたん、ジャンサン氏の飛行機は信じがたい状況に陥った。エンジンは完全にストップしたのに水平姿勢を保ったまま。しかも速度計はゼロを指している。飛行機は落ちも進みもせず、空中で止まってしまったのだ。いったいどうして……。

斥力場による空中効果

●ジャンサン事件の分析

前号で紹介したジャンサン氏の目撃例をR場理論の立場から分析してみよう。2機の円盤と飛行機との位置関係については、12月号の図4をもういちど見ていただきたい。この図はR場理論にもとづいて当時の状況を再現したものであるが、それによると、第1の円盤は傾き、焦点距離(R_1)30フィートの2次ポイント・ソースを伴っている。この2次ポイント・ソースは円盤にたいして軸方向に1・4gの斥力加速度を与えている。したがって、垂直上方つまり地球の重力と反対の方向に加わる加速度は0・5gにすぎず円盤の重さの半分を支えているにすぎない。また、円盤に働く水平「推力」成分は1・25gで、もし他のポイント・

ソースから力を受けなければ、円盤は水平方向にも加速されることになる。

だがこのとき、第2の円盤が図に示すような位置にあって、355フィートという長い焦点距離(R_2)を持つ場によつて1gの加速度で支えられていたとしたらどうか。すると、第2の円盤のポイント・ソースから第1の円盤の質量中心までの距離(R_3)は300フィートとなり、その力の方向は、第1の円盤の軸方向を基準に考えたとき、鉛直線に関してそれとちょうど対称の向きになる。第1の円盤が受けるこの補償加速度の大きさは次の式で与えられる。

$$G_{a1} = \frac{R_2^2 G_2}{R_3^2} = \frac{355 \times 355 \times 1}{300 \times 300} = 1.4g$$

これによつて、第1の円盤に働く力は

すべて打ち消しあい、ゼロになることがわかる。すなわち、水平方向に働く1・25gのベクトルどうしは互いに打ち消しあうため、円盤は傾いているにもかかわらず前進しない。また、ふたつの1・4gベクトルの垂直成分の和は1gとなるため、円盤は垂直方向にも動かない。つまり、第1の円盤は空中に静止したままである。

逆に、第1の円盤が第2の円盤に及ぼす影響も考えなければならない。だが、焦点距離が短いため、次の式で示すようにこの効果は非常に小さい。

$$G_{a2} = \frac{R_1^2 G_1}{R_4^2} = \frac{30 \times 30 \times 1.4}{395 \times 395} = 0.008g$$

第2のUFOの重量が30トンだったとすると、この0・008gの加速度は約537ポンドの力に相当し、その垂直および水平成分はそれぞれ336ポンドと470ポンドになる。この力は比較的小さいとは言っても、第2の円盤を第1の円盤から遠ざける方向に加速するには十分な大きさである。だが、少し考えればわかるように、第2の円盤をほんのわずかに傾けておけば、この2次的な効果を完全に打ち消すことができる。いままで述べてきたことはすべて計算で容易に確かめることができるが、簡単のためにここでは割愛した。また、2機の円盤はこのような「場の相互調整」を全自動でおこなっていたにちがいない。これについては

のちほど、証拠となる事実をいくつかとりあげてみたい。

こうして2機の円盤が空間に「固定」されていたとすると、これから先の解析過程は一本道である。第1の円盤の乗員は、これから観察しようと思う飛行機の真下に1次場ポイント・ソースの焦点を合わせる。しかも、このポイント・ソースから飛行機までの距離は、ちょうど飛行機の電気回路を飽和させるのに十分な程度に定めてある。

エンジンの止まった飛行機は失速し、急降下を始めるはずであるが、このとき第1の円盤が1次ポイント・ソースの強さを適当に調節すれば、円盤自身を空中に支えるのと全く同じやりかたで飛行機にちょうど1gの加速度を加え、機体を空中で「支える」ことができる。また、場の焦点をはじめのうち飛行機の前方に合わせるようにすれば、飛行機を急停止させることが可能である。この場合、飛行機のスピードメーターはたちまちゼロを指すが、パイロットは減速のショックを全く感じない。さらに、この1次ポイント・ソースは円盤自身にもわずかな「推力」を与えるはずであるが、この影響はきわめて小さく、2機の円盤と飛行機とが全体としてごくゆっくりと移動するにすぎない。

観察が終わると、第1の円盤は1次ポイント・ソースを飛行機のやや後方に移し、機体を軽く前方に押してや

る。飛行機は動きはじめ、しだいにスピードを増すことだろう。これに気がついたパイロットがエンジンのスイッチを入れると、すでに生じている後流によってエンジンがかかる。最後にもうひとつつけ加えておきたい。2機のUFOは止まっていたのではなく、動いていたのかもしれない。また飛行機も、はじめのスピードを保ったまま飛んでいたのかもしれない。だが、円盤のまわりの空気と同様に飛行機のまわりの空気も機体といっしょに動いているため、パイロットは機が止まっていると錯覚したのではないか？ いずれにしても、ジャンサン事件はR場の考え方をとり入れることによって説明がつく。逆に、プラズマ推進理論の立場からこの事件を考察することは全く不可能である。あるいは、懐疑論者ばかりでなくUFOロジストのなかにも、こんな例は途方もない話として片づけてしまったほうが利口だと考えるひとがいるかもしれない。R場のような力学的効果が一般のひとびとのあいだでも受け入れられるものとすれば、私たちがいまここで研究している力の場も私たちの知識の領域からそう隔たったものではないのかもしれない。

● 2機の円盤相互の影響

当然のことながら、こういった宇宙船の問題についてはもっともっと多くの角度からとりあげることができる。

ずである。私たちはやむをえずそのうちのわずかな例を扱っているにすぎない。だが、ジャンサン事件の分析をお読みになった読者は次のような疑問をいだかれるにちがいない。

「円盤が2機でベアを組んだり、数機が縦や横に連なったり編隊を組んだりして飛んでいるところを目撃した例がかなりあるが、円盤どうしはお互いに影響しあわないのだからだろうか？ そのとおり。互いに影響しあっているのだから、まず手はじめに2機の円盤が飛んでいる場合を考えよう。」

図1・a

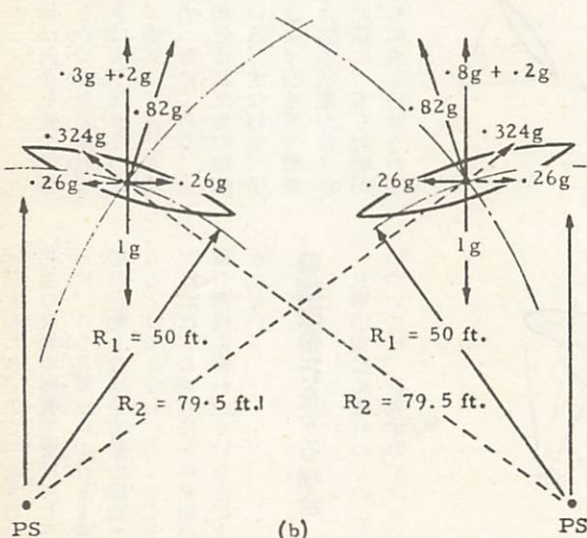
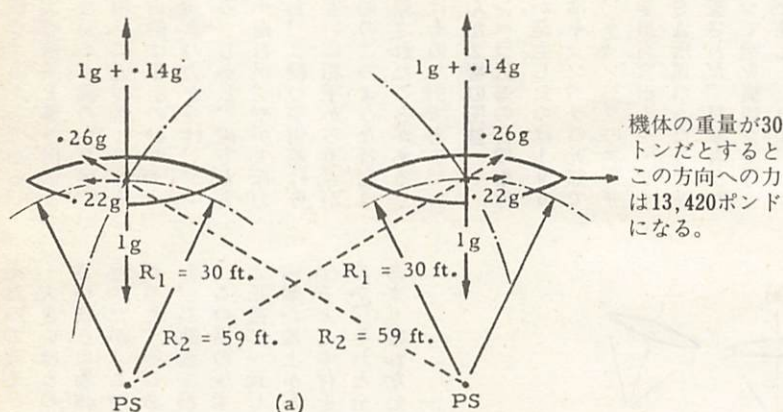


図1 空中静止状態にある2機のR場宇宙船

(それぞれの宇宙船は、他方の宇宙船の揚力の20%を発生している。)

宙船間の距離は20フィート、場の焦点距離は両機とも30フィートである。ジャンサン事件のときと同様、各宇宙船の場が相手の宇宙船に加速度を与えることは明らかである。この例では各宇宙船が他から受ける加速度は0.26gで、これは宇宙船どうしを互いに遠ざける方向に働く。また、その垂直成

分の約0.14gは各宇宙船を上昇させる方向に働く。宇宙船の重量をそれぞれ30トンとすると、各宇宙船は13420ポンドもの反発力と約9400ポンドの上昇力を受けることになる。

このことから、空中に浮かびながら互いに接近しつつある2機の宇宙船に要求される動作として次のふたつが考え

られる。ひとつは接近するにつれてポイント・ソースのパワーを落とすことであり、もうひとつは傾斜角を大きくすることである。

図1・bに示す2機の宇宙船はやはり20フィートを隔てて空中に浮かんでいるものであるが、aの場合とちがってそれぞれが内側に16度傾いている。いま、場の焦点距離(R₁)を50フィートとすると、それぞれの宇宙船が自らの場によって軸方向に受ける加速度は0・82gとなるが、宇宙船が傾いているために、この加速度は垂直方向の0・8gと水平内向き0・26gとに分けて考えることができる。またいっぽうでは、それぞれの宇宙船は相手のポイント・ソースからも「推力」を受ける。宇宙船の質量中心から相手のポイント・ソースまでの距離(R₂)は79・5フィートなので、この推力の大きさは次の式で与えられる。

$$\frac{50 \times 50 \times 0.82}{79.5 \times 79.5} = 0.324g$$

このうち、垂直成分の0・2gが新たに揚力として宇宙船に加わる。言い換えれば、それぞれの宇宙船は相手の宇宙船の揚力の20%を分担していることになる。また、各宇宙船に加わる水平推力成分は完全に打ち消しあっている。ついでに補足しておくと、焦点距離を可変しておかなければならない設計上の理由がここにもある。つまりこの場合で言うと、焦点距離が短いほ

ど傾斜角を大きくとらなければならないという法則が成立するからである。以上のことから次の結論を導き出すことができる。すなわち2機の「R場」宇宙船が互いに相手に近づきつつある場合、双方の宇宙船は相手の場によって進行方向と逆向きの力を受け、ブレーキをかけられる。しかし、両方とも慣性でさらに先へ進むが、やがて斥力が慣性にうち勝ち、2機の宇宙船は停止し、こんどは互いに相手から遠ざかってゆく。宇宙船のこのような行動はこれまでも目撃されたことがある。次に紹介するのはその一例である。

衝突して軽く弾んだ2機の円盤

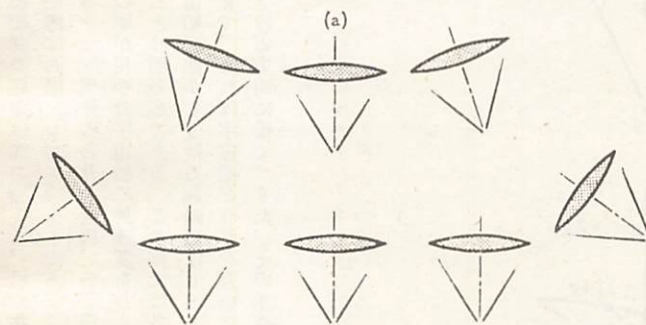
キャンベラ近郊の目撃事件

このできごとが発生したのは1964年5月、場所はキャンベラの近郊であった。事件は、キャンベラのアメリカ大使館付き科学担当官ポール・サイブル博士とNASA所属のふたりの技術者によって調査された。目撃者たちが、北東に向かって空を横切っていく大きな輝く物体を発見したのは、ちょうど夜明け前であった。物体はゆらゆらと揺れ、まるででたらめに動いているようだ。近くには、それよりも小さいUFOが赤い光を放ちながら空中に停止している。するといきなり、大きいほうの物体が小さいほうに向かって速度を増しながら近づき、ふたつはぶつかったようだ。つまり目撃者たちにとっては、2機のUFOが「衝突」し

てそのために「軽く弾んだ」ように見えたのである。

大きいほうの物体は向きを変えて小さいほうの物体からゆつくりと離れて行ったが、このときはもう揺れていなかった。そのあと、物体は速度を増し、高速度で飛び去ったのである。

この話の後半の部分は私たちの理論と正確に一致している。すなわち、宇宙船が地上からいきなり高速度で離陸するとその付近の地表の状態が乱れるか、それと全く同様に、もし両機があまり離れないうちに大きいほうの宇



宇宙船を等距離に保つ半径の成分

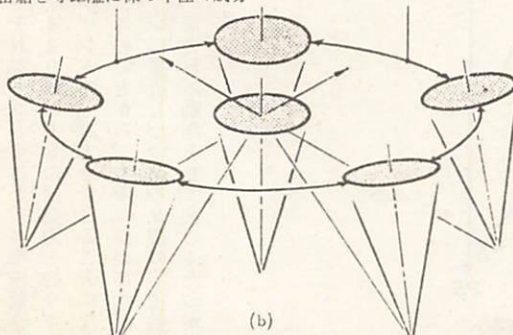


図2 故障した僚機を支えているR場宇宙船

宙船がポイント・ソースのパワーを上げたとしたら、小さいほうの宇宙船は相手のR場の影響を受けてしまう。さらに、この目撃例における2機の宇宙船の行動をG場宇宙船の理論で説明することはできない。どうしても説明したければ、G場のほかにR場の発生装置が両機に備わっていたと仮定するほかはない。

●編隊飛行をする場合

R場宇宙船に固有のこのような機能については、世界中のアクロバット飛

行チームが反感を示すかもしれない。編隊飛行がそれほど熟練を要しないものになってしまおうと考えられるからである。たしかに、ある程度それは当たっているだろう。だが、ほかにも考慮に入れなければならない要素がたくさんある。たとえば、これまで考察してきたのは2機の宇宙船が近接して飛行している場合にすぎない。図2・aは3機の場合を示している。両側の2機は図1・bの場合と同じように内側に傾いているが、中央の1機は水平を保っているはずである。さらに前進飛行のための前傾や、側方発生装置などによる2次場の影響を考慮に入れると、編隊飛行の形態にはいくつかの複雑な要素が加わることになる。また、数機の宇宙船が横一列に並んで飛行している場合には、内側の宇宙船は通常の飛行パターンを保ち、外側の宇宙船が前の例よりも大きく傾いて場を補正しているはずである。このことは次の目撃例で確かめることができるだろう。

インディアナ州の事件

1958年10月3日、アメリカのインディアナ州中部に位置するクリントン郡で、走行中のモノン鉄道貨物列車から、前方を横切る4個の明るい光の編隊が目撃された。列車に興味を覚えたのか、4個の光る物体は向きを変え、貨物列車の先頭から最後尾までをなめるようにして飛んだ。列車の長さ

は約800mで、その間、乗務員は全員このありさまをながめていた。

列車の最後尾を通過すると、4機のUFOは東に向きを変え、さらに旋回して列車のあとを追いはじめた。物体が放つ強い光のためにその正確な形状は不明であるが、乗務員のうちある者はこう言っている。

「4個の物体は水平飛行をしていたようだ。また、あるときには横に並んで編隊飛行をしていた。そのうちのいくつかは、なにか不安定なかつこうで飛んでいたように思う。」

列車乗務員のひとりがUFOに向かって明るい光を投げかけると、4機のUFOは顔をそむけるようにしてコースからはずれたが、すぐにもどってきて列車を追いつづけた。やがてUFOは興味を失ったらしく、北東向きを転じると見えなくなってしまうた。

●故障した円盤の救出

さて、このあたりでひとつ重要な点を指摘しておこう。それは、これまでに編隊飛行について述べてきたことはすべて、G場理論にも等しく当てはまるということである。ただし、G場とR場とは力の表れかたが逆になる。つまり、2機編隊の場合を例にとるとG場に特有の内側へ「引張る」力を打ち消すために、各UFOは外側に傾くことになる。しかしここでも、それぞれの宇宙船は相手の揚力の一部を自動

的に負担している。ところで、読者はすでにお気づきかもしれないが、飛行不能に陥った宇宙船を救助隊が救出するような場合、R場の技術を用いるとたいへん便利である。すなわち、図2・bに示すように、数機の宇宙船が内側に傾きながら故障した宇宙船をとり囲めば、飛行不能の宇宙船をゆっくりと運び去ることができるのである。

円盤から降りそそいだ金属片

ダール艇長たちの目撃

すでに知っている読者もいると思うが、宇宙船のこのような行動は実際に目撃されている。1947年6月21日に、アメリカ沿岸警備隊のH・A・ダール艇長と乗組員が目撃した驚くべき光景がそれである。

警備艇はワシントン州ピュージェットの南端をパトロール中で、本土から5kmほど離れたモウリイ島の東岸の湾に入ったところだった。

警備艇にはダール艇長と2人の乗組員、それに15歳になる艇長の息子と彼の愛犬が乗っていた。

舵輪から目を離して上を見上げたダール艇長は、「非常に大きなドーナツ型の飛行物体6機」を目にしてびくびくした。物体は音もなく静止したままである。

最初、彼は気球の一種ではないかと思ったが、やがて、1機が故障したらしく急速に降下しはじめ、そのまわりを他の5機がとり囲み、円を描きはじ

めた。中央の1機から約60m上方の距離を保ったまま他の5機も下降を続け、見守っている乗組員の頭上150mのところで止まった。

物体は無音で、その金属表面で光を反射させている。すべての物体の胴体には、大きな丸窓のように見えるものが等間隔に並んでいた。

後になって、ダール艇長はこう語っている。

「中央の一番低いところにある機体が湾内に撃突するのではないかと恐れて、艇を海岸に接近させ、湾内パトロール用カメラを取り出しました。その時でも気球だと思っていました。4枚の写真を撮影しました。その間ずっと、他の5機は静止している1機のまわりを旋回していました。5分ほどして、旋回していた機体の1つが列から離れて、静止している機体になすすぐ近づいていきました。接触したような状態で、そのまま4分間じっとしていました。そして鈍いドシンという音が聞こえ、中央の機体の中心から、まるで何千という新聞紙のようなものが噴出されたのです。しかしこの落下する破片は、非常に軽くて白っぽい金属だとわかりました。地上にひらひらと舞い落ち、湾にも落下しました。それから機体は私たちに向けて、もつと黒っぽい金属を雨のように降りそそぎました。金属は海岸や湾にぶつかりました。これらの破片は溶解しているように見え、

海面にぶつかると蒸気が立ち昇りました。私たちは崖の下にかけ込み、流木の背後に避難しました。落下する金属は息子の腕にあたりましたし、また犬は当たりどころが悪くて死んでしまいました。やがて金属の雨はやみましました。奇妙な機体は静かに上昇すると、太平洋に向けて、西の方に飛びさりました。中央の1機は最後まで編隊の中央に位置したままでした。落下した金属は、しばらくの間、熱くてさわれませんでした。冷めてから、その破片をたくさん船に積み込みました」

●R場宇宙船での空想旅行

少し前に私は、読者であるあなたをR場宇宙船にご案内し、空想の旅を楽しんでいただいたが(本誌28号を参照)あのと中断した飛行を再開するのにふさわしい時期が訪れたように思う。こんどの飛行では、宇宙船を操縦中に異常な体験をしていただくことになる。こういう機会はめったにあるものではない。図3を参照しながら、故障した宇宙船の操縦席に座っているつもりでダール艇長の目撃例を一緒に再現してみよう。

あのとときの離陸のあと、あなたは他の5機と合流したとする。あなたにとっては初めての任務なので、編隊長はあなたの機をいちばん内側にして編隊を組ませた。編隊の両翼では、1号機と2号機がかなりの急角度で内側に傾

いている。場のパワーを増すにつれ、あなたの機も他の5機の動きに合わせ、前傾を深める。まもなく、計器類は機体の傾斜が45度を大幅に上まわったことを示すが、からだは何も感じない。はるか180マイル下ののんびりと展開するパノラマを舷窓からながめていると、10000ノット近くを指している。速度計の指示がうそのようだ。あと少し速度を増せば、機は揚力を全く必要としなくなる。軌道速度に達するのだ。レシーバーから編隊長の声が響く。旋回用意。あなたはただちにインターロック位相制御装置を点検し、あとは操縦席にゆったりと背をもたせかけて、計器の針が驚くべき速さで逆まわりするのを見ていればよい。機はなんと38g以上の減速を受けているのである。

舷窓から外を見ると、傾いていた水平線がたちまち本来の水平な向きにもどるが、あなたは自身が動いている感じは全くなく、機はそのまま空中静止状態に入る。ふたたび編隊長の声が響き、あなたは他の5機といっしょに高速編隊降下をはじめた。かたわらの宇宙船に目をやると、僚友のジャンが心強いOKサインを送ってくれている。いい気分だ。にやりと笑い返し、眼下にひろがる息をのむような光景に思わず見とれる。すると突然、警報装置がけたたましい音をたてはじめた。あなたは一瞬ドキリとするが、時をうつさ

ず計器盤のうえに視線を走らせて、赤ランプのともっている計器をさがす。

故障箇所はすぐにわかった。1次場発生装置のパワーが落ちているのだ。みるまに高度が下がっていく。すでに図3のWの位置まで落ちている。だが、まだ2次場発生装置がある。宇宙船の重量は離陸前に航程表と照合してチェックしてあるから心配はいらない。あとは2次場発生装置のトグルスイッチを倒せばいいのだ。助かった。降下速度が鈍る。だがそれもつかの間、機はまたすぐに落ちはじめた。なんと、2次場発生装置も働いていないのだ。降下速度が一時的に鈍ったのは、他の5機のポイント・ソースによる効果が最大になる高さ、つまり45フイートの焦点距離(R)を持つポイント・ソースよりわずかに高いXの位置をあなたの機が通過したからだ。ここで、他の5機はお互いに場の強さを補いあいながら飛行していることを思い出していただきたい。したがって、各宇宙船が自分のポイント・ソースから受ける揚力は1gよりも小さく、これでは5機分のポイント・ソースを合わせてもあなたの機を支えるに足る揚力は得られない。それどころか、銃が弾丸を発射するときのように、これらのポイント・ソースはあなたの乗った宇宙船を力いっぱい下に押しやるので、機はYの位置を通過してなおも落下しつづける。

人類に初めて太陽の口伝(教え)無病長者になる、家宝の書

太陽口伝 第一巻 (愛情の書)

太陽口伝 第二巻 (太陽の掟)

第一巻 (各一、〇〇〇円)
第二巻

家宝

わが身の守り
太陽の掟

あらゆる悩み

病苦から救われる

太陽占

運勢・迷い

占料
五、〇〇〇円を添えて
お申込み下さい。
直ちに返信致します

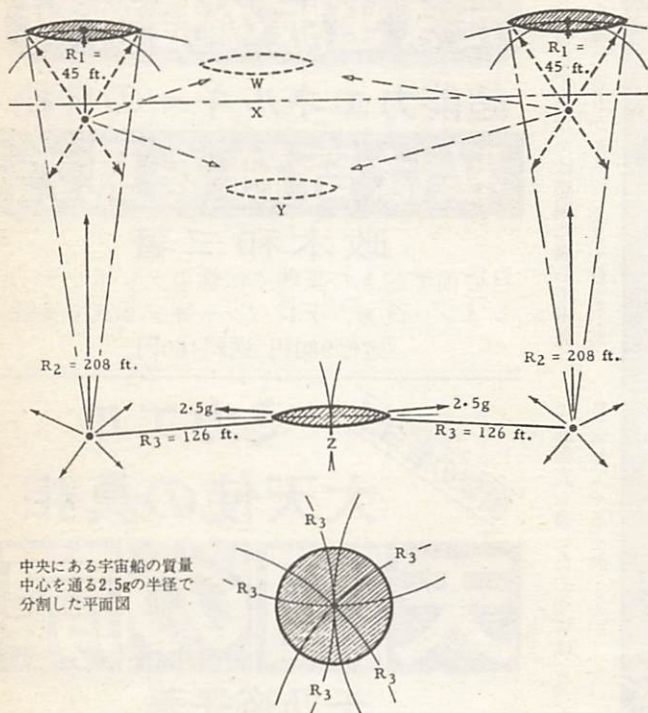


図3 R場理論によるダール艇長の目撃の分析

たいへんだ。どうしたらいいのだ。1次場も2次場もパワーを失っている。だが、あなたはただちに編隊長の指示どおりに次の行動を起こす。「手動ジャイロ・スタビライザーを操作せよ」これはすべてほんの数秒のことである。僚機からすでに160フット以上も下にきてしまった。しかしここで最後の命令が発せられた。それはたいへん心強いものだ。緊急支援体制がとられ、あなたの機は眼下にうねる海面に撃突するよりもはるか前に止めてもらえるだろう。早くも落下速

度が減少しはじめた。そうだ、上空にいる他の5機がただちに円状の編隊を形成し、それぞれのポイント・ソースがあなたの故障機より下に形成されるように1次場発生装置の焦点距離を208フットに延ばしたのだ。焦点距離の切り換えは非常に速く、ポイント・ソースが下方へ移ってもあなたの機はほとんど動揺しない。いずれにしても、あなたはなにも感じなかったはずだ。この切り換えは想像もつかない速さで、瞬間的に行われたのである。あなたの機の降下は止まり、それと

ともに、機は他の5機のポイント・ソースから受ける内向きの加速度成分によって自動的に編隊の中心軸上に持つてこられる。もうこうなれば安心だ。円の外へは出ようとしても出られないことをあなたは知っているからだ。こうして、あなたの乗った宇宙船は編隊からちょうど200フット下がったところで静止する。いま、あなたの機の質量中心から各ポイント・ソースまでの距離(R_3)は126フットである。また、機の計器によれば、現在、他の5機はそれぞれ約0.9gの垂直加速度を自分のポイント・ソースから受け、ごくわずかだけ内側に傾いている。いっぽう、これらのポイント・ソースから R_3 の距離にあるあなたの宇宙船は2.5gの内向きの加速度を受けているが、このベクトルの垂直成分はわずか0.2gにすぎない。しかし上には5機の宇宙船が控えていて、そのそれぞれが0.2gの揚力を分担しているのだ。つまり、故障した宇宙船とそこにいるあなた自身とは合計1gの揚力を受けて無重量状態にあるわけである。あなたは助かったのだ！

レシーバーから再び編隊長の声が響く。編隊を離れて原因を調査するといふ。見ると、隊長機はあなたの機と合流するために高度を下げて近づいてくる。このために隊長機はポイント・ソースのパワー・スイッチを切つてあるはずだ。こうして、隊長機もあなたの機と同じように、残る4機のポイント・ソースによって支えられることになる。この段階では、あなたの機と隊長機とは自らの重量の2倍以上の力でびったり押し合わされている。2機が離ればなれになるおそれは全くないし、また、機体の構造はきわめて頑丈にできているのでつぶれる心配もない。両機はハッチをひらき、あなたも編隊長も機外へ出て点検作業にとりかかる。ふたりとも無重量状態なので落ちる心配はない。点検は5分で終わった。おもな故障箇所は再生装置で、これでは1次場も2次場も働かないのは当然だ。さらに、多量のバラストが以前の水中任務のときから積まれたままになっている。航程表によれば、このバラストはすでに投棄してあるはずのものだ。そこでまず、編隊長の手だすけをしてこのお荷物をしまつてしまわなければならない。これには当然、爆薬による投棄方式が用いられる。宇宙船のまわりにはそれを支える強力なR場が存在するからである。投棄作業は終わった。見ると、射出されたバラストが宙を舞いながら海面に向かって落ちていく。これを見とどけた編隊長とあなたは、いっしょに隊長機に乗り込む。編隊長はマイク・フォンに向かって次の飛行段階に入るための命令をくだ

たま出版の最新刊 超能力エネルギーの神秘 私は奇跡を見た

政木和三著

目の前で起きた真珠や仏像のテレポーテーション、念力、テレパシー等を写真で実証

定価980円 送料160円

衝撃の告白!!

ミカエル
大天使の真相

天国の扉

千乃裕子著

神とは、霊魂とは何か。霊界に住む釈迦、キリスト、モーゼ等の姿をカラー絵で紹介。既成宗教の概念を越え、人間が神であるということを科学的角度より徹底的に解明。

定価1,200円 送料160円

話題のUFOシリーズ

宇宙哲学

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳
空飛ぶ円盤の惑星文明とは何か、宇宙人達の普通の真理体系 定価750円 送料160円

宇宙の友人たち

古山晴久著 地球に來ている宇宙人とのコンタクト体験記と生命の真理。アダムスキーを継ぐ啓蒙活動 定価850円 送料160円

株式会社 たま出版

162 東京都新宿区納戸町33

電話03-260-4367 振替東京3-94804

斥力場の空気力学

「それらの飛行物体は、まるで見えな
い糸でつながっているように、一体と
なっているように動いているように……ふ
しぎなくらいよくそろって」

編隊飛行をしているUFOについて
目撃者がこのような証言をするのを、
私たちは何回耳にしたことだろう。U
FOを研究する者ならばだれでもよく
知っていることである。私としてはあ
らためて言う必要もないことだが、こ
のような飛びかたこそ、編隊を組んで

の航程表を書いたやつにはこつてりお
礼をしてやるぞお……」

飛ぶUFOについて私たちが理論的に
予想することのできる飛行形態なので
ある。各UFOの制御を隊長機との
「インターロック」方式で行うことに

よって、編隊長はUFOの一団を事実
上「一体として」動かすことができる
からである。ところで、地球上のバイ
ロットにはおなじみの後流、乱流、そ
の他の空気力学的効果は、円盤のバイ
ロットにとっては存在しない。しか
し、G場理論のときと同様、R場宇宙

船にもそれにとまらぬある種の空気力
学的効果があることを認めなければな
らない。ここでも、G場と同じような
効果が期待されるのである。すなわ
ち、宇宙船が運動しているとき、場の
広がり、つまり場の強度や、ポイント
・ソースからの距離に応じて、まわり
の空気粒子も宇宙船それ自体と同様に
斥力を受ける。

図4に示す3つのイラストは、本誌
20号の98ページの図で示したG場の場
合とちょうど対称をなしている。あの
ときと同様、図4・aでは、前進飛行
姿勢をとった宇宙船（ただしこの場合
はR場宇宙船）が示されている。宇宙
船に働く場の垂直成分は1gであり、
よってこのUFOは水平に飛行してい

ることがわかる。Rは30フィートで、
宇宙船の質量中心に加わる全加速度は
1・8gである。いっぽう、ポイン
ト・ソースからR₂、つまり34フィート
離れたところでは、これよりも小さい
1・4gの加速度が宇宙船のまわりの
空気粒子に働いている。したがってこ
の点に関しては、R場宇宙船とG場宇
宙船とのあいだに空気力学的にみて若
干の相違が見られる。G場の場合には
g差による空気の流れが宇宙船を包む
かたちで直線的に生じるはずであつ
た。しかしこれまでも見てきたよう
に、焦点距離が長くなればそれにつれ
てg差は減少し、相対的な空気の流れ
は無視しうるほど弱くなる。図4・b
は同じく前傾姿勢をとった円盤を示し

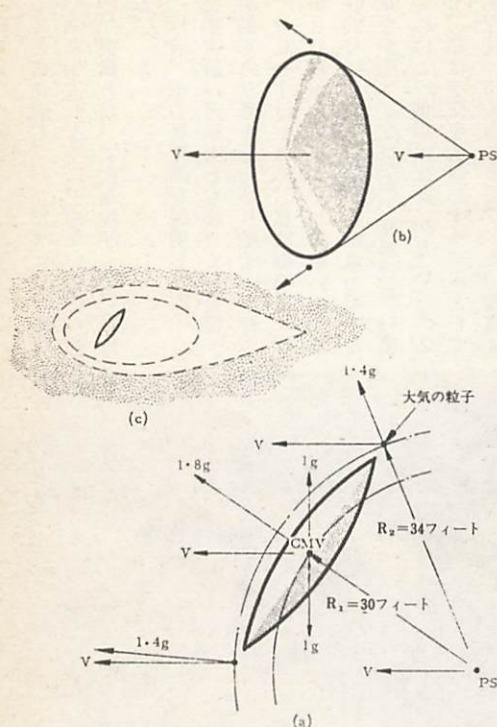


図4 R場の移動によって生じる大気の変換現象

ているが、この図から私たちは、帯状に動く空気の流れを想像することができ。この場合も、空気の流れは図4・cに示すように涙滴状のかたちを取り、しだいに弱くなっている点で消えるはずである。

図5・aはこの状況をもう少し詳しく分析したものである。宇宙船の傾斜角は45度、 R_1 は38フィート、宇宙船の質量中心には $1.41g$ の加速度が加わっている。したがって、加速度の垂直および水平成分はともに $1g$ で、宇宙船は水平方向に飛行することになる。帯状に動く空気の流れによって引きもどされる力を無視すると、1秒後には宇宙船は毎秒 $32 \cdot 2$ フィートの速度で動いているはずである。いっぽう、ポイント・ソースから進行方向に

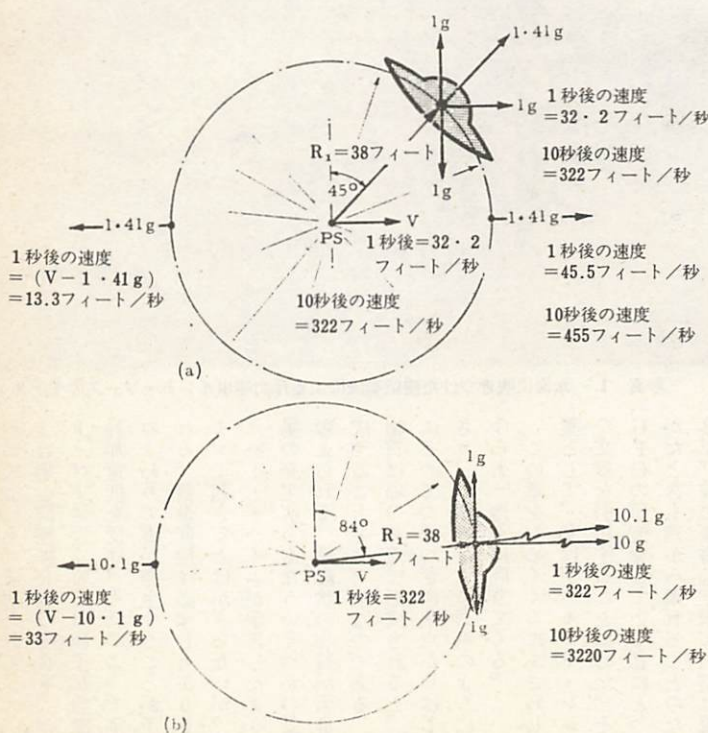


図5 ポイント・ソースの移動によって生じる吸引効果

R_1 だけ離れた位置にある空気の粒子は $1.41g$ の加速度を受ける。つまりこの粒子は1秒後に毎秒 $45 \cdot 5$ フィートの速度に達しているはずである。したがって、この付近の空気粒子は宇宙船そのものよりも高速度に加速されることになる。また、ポイント・ソース自体も宇宙船と同じ速度 V に達する。さらに、ポイント・ソースから進行方向とは逆向きに R_1 だけ離れた位置にある空気の粒子も $1.41g$ の初期加速度をうしろ向きに受けるが、ポイント・ソース自体が粒子から遠ざかっていくため、それと逆方向に動く粒子の速度は毎秒 $13 \cdot 3$ フィート程度にしかない。以上に対応して、宇宙船と空気粒子のそれぞれがひきつづき同じ加速度を10秒間受けたのちの速度

もあわせて図に示した。しかし、図5・bに示す例を検討すれば、もうすこしはつきりと状況をとらえることができるだろう。

この図に示されているのは、推力 $10g$ の場を持つ宇宙船である。ここでまず目をひくのは宇宙船の傾斜角だ。この例では、機体は約84度傾き、それによって $1g$ の揚力成分を生じている。また、それぞれの水平運動について1秒後と10秒後の速度を示してあるが、これと矢印で示したベクトルの配置と

を見れば、宇宙船のうしろに西洋ナジ形の空気の流れが生じるありさまを想像することができる。じつさい、高速で動くR場宇宙船の背後にいるひとは吸い込まれるような感じを経験するはずである。以前に私たちは、カサブランカのM・ギュイッタの運転する車が、飛び去って行くUFOのほうに強く吸い込まれてあやうく道路からとび出しそうになった例を見たことがある(本誌18号89ページを参照)。ギュイッタはあのととき、その物体が「ものすごい

スピードで」飛んでいたと証言していることに注意していただきたい。物体のあとを追うように、冷たい空気が強烈な突風となって吹き抜けたのである。

以前、重力場理論を説明した際、G場宇宙船の運動にもなつて空気粒子が動くありさまをわかりやすいかたちでお見せするために、私は磁場内に置かれた鉄粉をモデルとして用いた（本誌20号「空気の力学的にみた重力場」の章を参照）。ところが、R場理論の場合にはこう簡単にはいかない。そこで、私は空気をあらわすモデルとして水を使ってみることにした。写真1は、あまり強くない空気噴流を水面に吹きつけているところである。これによつて水面にくぼみができているが、このくぼみが斥力場のポイント・ソースに対応する。実際には、ポイント・ソースはまわりの空気を、つまりこの場合は水を四方八方に放射状に押し出しているはずである。実験では、空気の噴流を水面に沿ってゆつくりと動かしてみた。すると、くぼみの前面の水はくぼみの運動につれてほとんどそれと同じ速さで動く。いまここで、宇宙船のかわりに小さなコルク片をくぼみのすぐ前に浮かべたとすると、コルク片は水といっしょに運ばれるだろう。このモデルは、ともすればバラバラに理解されがちな場と場とのさまざまな効果を結びつけて、その類似性を把握する

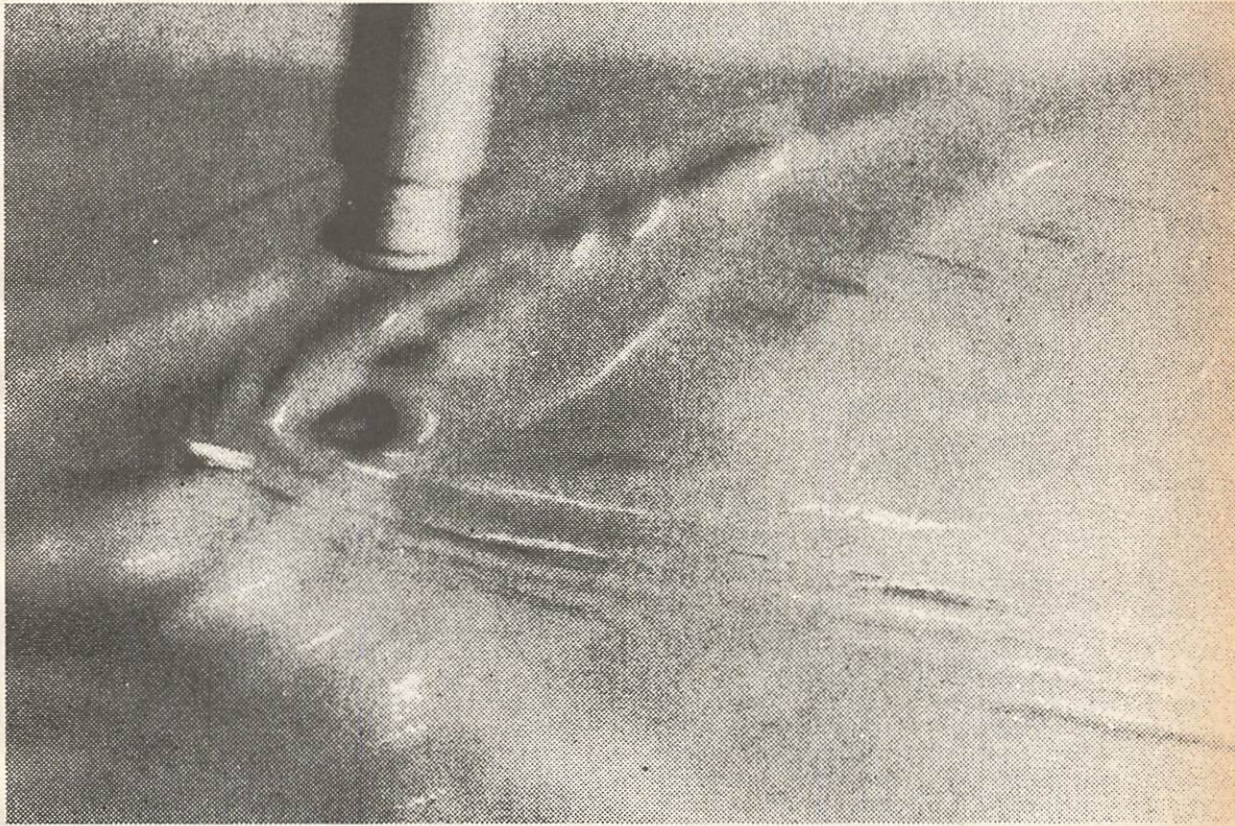


写真 1. 水面に吹きつけた空気噴流による斥力場ポイント・ソースのモデル

のに役立つものと思われる。

G場と同様にR場の場合も、ポイント・ソース近くの空気粒子が急激な上昇加速度を受け、それによって宇宙船のまわりで雲が発生することが予想される。質量変換は必ずしも100パーセント起きるとはかぎらないが、パーク・ハード・ハイムが予言したように、場の発生にともなういくつかの効果が考えられる。繊維状の物質が大量に生成することさえ可能なのである。この物質は場の焦点で形成されると、斥力によつてつぎつぎに焦点からはじき出され、「繊細なクモの糸のようにゆらゆらと」地上に降りてくる。

この章をしめくくるにふさわしい言葉として、私はデスモンド・レスリーの文章を引用することにした。それはUFOの研究をしている私にとって、かたときも頭から離れることのない言葉だ。彼の著書『空飛ぶ円盤は着陸した』が与えてくる示唆に富んだ指針を、私は決して忘れることがないだろう。未来の宇宙人について、レスリーはこう記している。

「彼の使う力は、おだやかで、調和のとれた力だ。押すこともなく、突くこともなく、また、引くことも裂くこともない。だが、この力は、たぐみな科学的方法で、うやうやしく、すべるように空気を分けひらく」

（以下次号）

遠山峻征訳

A New Library of the Supernatural

超常世界への挑戦

シリーズ
全12巻

翻訳権独占 オールカラー版 定価各980円

超能力者たちの魔力のひみつは?
ネッシー神話は真実か?
アトランチスはどこに沈んだ?
宇宙人はどこに現われたか?
心霊は実在するか?

UFOファンを
直撃する
驚異の全12冊。
只今、日本上陸中。



12冊が揃って書店で発売中

① 驚異の超能力者たち

コリン・ウィルソン=著/木村一郎=訳

② 戦慄の怪奇人間

ダニエル・ファーソン=著/三好章六・三上泰永=共訳

③ ネッシーと雪男

アンガス・ホール=著/桐谷四郎=訳

④ 幽霊とポルターガイスト

フランク・スミス=著/安田洋平=訳

⑤ 心霊の世界

ロイ・ステマン=著/楠田 順=訳

⑥ 大予言と謎

アンガス・ホール=著/船戸英夫=訳

⑦ 魔術と占いの神秘

スチュアート・ホルロイド=著/小野協一=訳

⑧ 宇宙よりの来訪者

ロイ・ステマン=著/久保田八郎=訳

⑨ 神秘と怪奇

コリン・ウィルソン=著/安田洋平=訳

⑩ テレパシーと念力

スチュアート・ホルロイド=著/桐谷四郎=訳

⑪ 魔女の恐怖

ジェレミー・キングストン=著/船戸英夫=訳

⑫ 謎の大団

ロイ・ステマン=著/小野協一=訳

1 地上編

- 超科学の世界……南山 宏
- 来たるべき世界……大宮信光
- 地球の滅び……小松左京
- ロボットとミュータント
- 石原藤夫・渡辺 晋
- マンガ……
- ……竹宮恵子
- 短編小説……
- ……田中光二
- ほか



驚異の世界が連続展開!!
SF界の世界全成果を集大成した話題の2冊。

SFファンタジア

監修=小松左京 編集=石川喬司 原案=福島正実 定価各980円

2 時空編

- 宇宙探検と植民……瀬川昌男・小隅黎
- SF宇宙人類学……光瀬 龍
- 幻想の宇宙誌……
- ……野田昌宏
- 時間旅行と異次元世界……
- ……石川喬司
- マンガ……
- ……松本零士
- SFアート座談会 ほか





楽しさバツグンのハム

『JA1ZEAさん、こちらJR6△△△。あなたの電波は59(ファイブ・ナイン)で沖縄県是那覇シティに入感しております……お初にお耳にかかりますが、QSO(交信)よろしくおねがいいたします。どうぞ……』

ハムになるのはカンタン

『電話級ハム免許』は○×式のやさしい試験、小中学生の合格者も多数います。ラジオ、模型、BCL等の好きな方なら短期間の準備でOK。

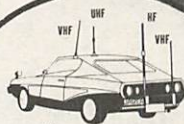
▶ハム初心者のための『普及会』通信講座では日本短波(全国)放送にて『必勝!! 国試対策教室』を放送中。国試最新情報をつかんだ重点速習指導で会員を一発合格へプッシュします。



ハムガイド集 無料贈呈中!!

▶今すぐ右のようにハガキに書いてお申込み下さい。
▶読むだけでも楽しい『最新ハム資料表』急送します。

——こんなふうに『電波の声』で仲間を呼び出して自由にラグチュー(おしゃべり)を楽しめるハム(アマチュア無線)が、いまヤングの間ですごい人気。マイクにむかって呼びかけるキミの声が大空をかけ一瞬のうちに世界各地の仲間(100万人以上!!)にとどいて、楽しい交信が始まります。



↑クルマとハムを結びつけた『カー無線』は人気最高! 運転免許を取ったらキミもぜひやろう。

楽しみつきないハムの世界

●海外交信で外国の友達もたくさんできるし●ローカル(近辺)の仲間とのラグチューもゴキゲン●また学校その他のクラブ局や野外交信でも活躍できる●カラフルなQSL(交信)カードあつめの楽しさはBCLファンなら見逃せないところ●ハムコンテストやフォックスハンティング等各種の催しも盛ん●手がるで予算少々のハンディー局も急増中!

●ハム受験から開局までの総合指導システム



CQアマチュア無線普及会

QTH. 東京都世田谷区尾山台3-9-5

〔CQハムサービス 03・704・4986〕

「ハムガイド」送れ
〒番・住所
氏名・年令

〒158 東京玉川局
私書箱19号
CQアマチュア無線
普及会C7係

声

宇宙人を崇拜するよう
なことはやめよう。自
分のことは自分の手で

高 勝仁（高3）
（〒815 福岡県福岡市南区大字
檜原字山崎43）

この「声」欄には毎号、宇宙人の
ことが話題になります。それはそれ
でよいのですが、私はいつも崇拜的
な思想が濃いのを不思議に思いま
す。

純然たる金属性の円盤に乗り、遠
い天体からやって来る。私たち地球
人よりも物質的にも精神的にも高い
レベルにあるという宇宙人様。ひた
すら地球人の安泰を願って日夜地球
の周りを飛び続けてくださると聞く
と、一言それはないがたいことで、
せめてガソリン代だけでも……と
言いたい気持になる。もしそうだと
するならば、なぜ「見守っているぞ」
と公式の通知がないのか。通知もな
いに地球の人々が勝手にそう解釈
するのは、宇宙人に対して失礼では

ないでしょうか。

地球の原爆実験を止めさせようと
監視しているのだ、という人もいま
す。はたしてその効果があったので
しょうか。私はないように思えるの
ですが、姿を現して「止める」と
言え、効果十分だと思うのに。
私たちも余り宇宙人頼みの勝手な想
像をやめて、地球上のことは私たち
の手でやりましょう。

10月26日、日本全国を 騒がせた人工衛星落下 の様子を目撃した

塩野修一（35・農業兼商店業）
（〒999-01 山形県東置賜郡川
西町大字小松398）

私は今、寝着かれず床の中でベン
私とついています。というのも数時間
前に目撃した不思議な出来事が強烈
な印象として頭に焼きついていてい
るからです。北日本に住む多くの皆さん
も目撃されたことと思います。のちに
人工衛星が高度低下による大気圏



●阪上清久 茨城県土浦市

突人といわれた騒ぎです（目撃した
2時間後にTVニュースで人工衛星
と報道されました）。

私はその仕事から朝早くから陽が
沈むまで屋外にいるのですが、これ
までUFOと思われるものを見たこ
とがありません。本誌の目撃レポ
ートを時々読むとその九割近くまで誤
認と思われることがあります。天体
観測に夢中になったこともありますが、
「空飛ぶ円盤」というものには
自分で目撃しないことにはどうも……

。誤認の多くは夕方、陽の光を反
射させて飛ぶ飛行機、夜間には翼が
つけるこれまた飛行機、ヘリコプタ
ーだと思えます。これらは風の向き
によって爆音が聞こえないことがあ
るからです。錯覚でジグザグに見え
ることもあります。ごくたまに、鳥
の羽根が夕陽に輝くこともあります
ね。サーチライトの光で雲がUFO
に見えたことから新聞ざたになった
こともあります。

横道にそれました。本題に入りま
す。10月26日の午後5時40分頃でし
た。だいぶ暗くなり、月も出ていま

した。

仕事から帰り、トラックから荷物
を降ろし終わったとき、ヒョイと北
の空を見ました。星の3倍ほどの明
るさ、橙色をしたボヤリとした光体
が火の粉の尾を引きながら飛んでい
ます。

スピードはジェット機よりも遅い
ようです。

やがて青白い光を出して分裂、3
個になりました。驚いた私は、家の
玄関を開き、TVを見ていた子供た
ちを呼びました。すると今度は、10
個ほどに分裂しながら東の空に消え
て行きました。

発見したときは空中分解した飛行
機かと思いました。

大変な事故です。しかし、考えて
みると飛行機なら失速して落下して
来るものが水平に飛ぶわけがありま
せん。

それとてにかく、110番にダイ
ヤルを回してみました。山形県警本
部です。ところが、もうすでに調査
を始めているようでした。
気象台でも本体がわからないとい
ことでした。

仕方なく、仕事に手もつかないま
ま、子供たちとTVの前にかじりつ
いてニュースになるのを待ちまし
た。でも報道では人工衛星落下説を
とっていました。それでも本当にホ
ッとした感じになりました。自衛隊
の報告では同夜、山形県上空に飛行
機は1機しか飛んでいなかったよう
です。

こうして今、書き終わるころにな
ると、気持ちもだいぶ落ち着いて来
たようです。

何かの参考になれば、と思って投
稿しました。

地球にしか生物がいな
いと主張する人に……

山田成章
（〒451 愛知県名古屋市中区名
塚町1-85）

今の地球の科学水準といえ、せ
いぜい月へ人類を3人ほど送れる程
度のものである。遠大な宇宙から
比較すれば、まだまだといったこ
ろですね。そんな今の科学力で一
体、宇宙の何がわかるというのだ。
宇宙の中の地球などチリかホコリ、
いやもっと小さな一つの細胞にすぎ
ない。

そんな地球だけに人類が存在する
という考え方が、どれだけむずかし
いことか……。

ほくが過去を透視した
なら、そして未来を透
視したらどうなるか
上村敬一（21）
（〒940-02 新潟県新潟市谷内
2-4-4）

神はその初めに天地を創造し、闇
と光を分けた——創世記

昔、昔、その昔、地球上にはアト
ランとタイタンが住んでいました。
彼らは不死の生命をもち高度な科学
技術を有していました。やがて有害
な放射線が太陽から放射され始めた
ため、この優秀な文明人たちは宇宙
船で他の遠い天体に移住したので
す。そして地球に残された者は地底
の洞窟に住み、邪悪なデロへと退化
していったそうです。デロいわく、
「おれたちは祖先が残したあらゆる

機械を駆使して地上の人間たちを苦しめてやるのだ」

わずかに退化を免れた善良なテロという集団がいまいたが、彼らには手がおえません。デロは地表の人間に悪い思想を与えたため、やがては悪が地上を循環し始めた。

神は大いにお怒りになり、

「ノアよ、そなたを救ってあげよう。方舟をつくり、家族の者と雌雄の動物を乗せよう」

すると連日連夜大雨が続き、地上には大洪水がおおひ、150日後に方舟はアララト山に留まった。

これがぼくの幻想物語。古代文獻

「リグ・ヴェーダ」

や「ラーマヤナ」

に記載されている事柄が虚構でないのなら、過去の透視も可能であろう。

次に南米アマゾン

ナス原産のパニス

チリア、その茎の

汁を飲むと未来を

覗くことができる

という不思議な植物。

「どれ、ぼくも飲んでみようかな」

ぼくの脳裏に浮かんだのは恐ろしい光景だった。

そこには過酷な自然があり、途方もなく広い荒廃した土地を2人で歩いている姿をみた。

ここにローズマリーという名の少女が登場する。

この猛獣さえ近づかぬ荒涼たる大地には、私とローズマリーのほかには誰もいなかった。天国と地獄の中間、地の果てを想像させる風景に淋しさというよりは郷愁にかられ、ただひたすら歩き続ける。

地球上には世にも怪奇な事件が無數に発生する。

空から鳥が落ちてきたり、真昼間にうしろの急に暗黒になったり、人間が突然消え、そして燃えだしたりする。

このまま地球が壊滅に傾いたら、過去にその栄華を誇った沈黙の超古代文明も宇宙の神秘も永遠に忘却の彼方に消えてしまうのか。

それとも遠いいつの日かすべての謎は解明されるときが来るのであるうか。

最後まで読んでくれて、どうもありがとう。



●北野 誠 石川県金沢市

数千年も遅れた地球文明に高度な科学を伝えても理解できないよね

五十川市郎

(〒910 福井県福井市花月2-8-12)

UFOはなぜ人類にその実態を現さないのか。これだけ多種多様のUFOが数千年にもわたって人々に目撃され、撮影されている。確かに中には誤認やイタズラもあるだろう。しかしそのうちの何割かは実在するUFOなのである。それならば、なぜ

彼らは公然と姿を現さないのか。

それはきっと、そうすることが地球人の幸福にならないことを彼らが知っているからだと思う。この地球に飛来するものだから、彼らの科学は地球のものより数百年、数千年進歩しているにちがいない。高度の科学力を持ったUFO搭乗員が我々とコンタクトして、何かを伝えようとしたところで理解できるわけもなく、また利用できるわけもない。

たとえば、現代人がタイムマシンに乗り、数千年前のギリシア人、いやルネッサンスのイタリア人でもいい、コンタクトしてみよう。現代文明を説明しようとしても、彼らには全く理解できない。混乱するだけであるかもしれない。

そのように現在の地球人も彼ら宇宙人の科学を利用できず、間違った個人、国家の軍事的な利益のためにみに利用しようとするだろう。それほど先を急がなくても、数百年、数千年後の地球は他の太陽系などにも自由に飛行出来るようになりやがて、他の惑星の生物から、UFO、と呼ばれるようになるかもしれないのだ。

円盤を飛ばそうとする
ことも大事だが、それ
だけではいけないのだ

山崎 誠(16・高一)

(〒949-84 新潟県中魚沼郡中里村荒屋)

本誌10月号の山下里江ちゃん！元気でつか？ おはようさん。俺はキミの「自分たちのあやまちのしりぬぐい」を宇宙人にさせようとしてい

あなたの郷土の 謎めいた伝説 ③



おみせんの謎

藤延千代子(雑貨商)
(〒872-11 大分県西国東郡真玉町白野山畑)

青い空と海、緑豊かな自然。国東六郷満山信仰の聖地として古くから知られている私の郷土。その朝夕仰ぎ見る標高458mの猪群山頂にある環状列石の「おみせん」に多くの謎めいた伝説がある。

ストーンサークルの中心をなす4・5mの神石は北向きに45度の傾斜と、上部に凹みがある。夏になると茶褐色に変化、4月

にはシメ縄を張る。山幸彦が泊浦から上陸して山頂のメンヒルに潮満干玉を移したという伝説もある。そんなところから、満潮時には石の上の凹みに水が溜まり、逆に干潮時には干上がりという。

ストーンサークルは周囲が約

300mあり、大小53個の石が二重の環状をなしている。古書には古代八咫王の霊場とある。東西南北を示す位置に巨石が据えられ、特に東を示す石が中心から目にとどかない下方にあるので、意味があることだと天文学者は推測する。

入口の陰と陽を表わす4mもある門石は西北に面しており、昔から女人禁制として、女性がくぐることをできない門である。もしこのタブーを破ると大風が吹くといわれている。このサークル内が「おみせん」と呼ばれている。

過去の干ばつには、古いしきたりで、潮汲みや割れ木を山頂に運び、夜になって干把焚きをした風習がある。ここでは昭和33年まで雨乞いの行事が古く代わった。「その神々の形式が古代ペルシアからシルクロードを経てこの地に伝えられたのでは」と言った人もありました。その

る」という意見、もともとだと思っ
ている。

考えてもみたまえ、宇宙で最初に
起こった文明は初めから高度であっ
たのではないはず。地球と同じよ
うに苦しみをのり超えて、高度に発
達していったのだ。はたして最初の
文明は何をアテにしただろう。何も
ないよね。全て自分たちで解決して
いく以外にはなかったのではないか。
選ばれた人たちは救ってもらえ
るなんてことは絶対になかった。

それに比べて我々の仲間はどうだ
ろう？ 地球が嫌になったからウラ
ニデスたちを呼んで助けてもらおう
とは！ 宇宙意識も持っていない我
々の仲間は何が出来よう。

もし、地球の滅亡のときがやって
きて、自分が助かりたいと思っただ
らば、他人も助けなければいけない。
地球人みんなが助からなくては、宇
宙空間に飛び出るなんて恐れ多い。

近頃、円盤を飛ばそうとする試み
が盛んだが、それだけではいけない
のではないかと。円盤を飛ばすこと
も大切だが、それよりも以前に我々
は人に対し宇宙に対して、つまり、
「人愛天敬」の思想がなければいけ
ないのでは。このことを忘れて
いる人が多いのにビックリする。

月Ⅱ宇宙船説に疑問な く賛成。いずれ科学的 に証明されるだろう

辻 嘉彦(16)
(〒790 愛媛県松山市桑原町4
-8-41)

本誌28号で石井貴志さんは「月は
人工建造物ではない。ソ連の科学者

が発表した月Ⅱ宇宙船説は疑問だ」
と書いていますが、私はやはり月を
宇宙船だと考えます。

石井さんはその理由として、月の
表面物質が玄武岩で出来ていること
をあげていますが、果たして月が宇
宙船でないという証拠になるだろう
か。たとえば、こんなことも考えら
れるのだ。確かに月は、大昔ただ一
つの天体に過ぎなかった。しかし、
現在ではどこかの宇宙人が月を宇宙

●藤田幸久 静岡県静岡市



船に改造したとは考えられないか。

本誌21号「月世界はUFOの中継
基地か」のソ連科学者が発表してい
たデータが真実だとすれば、月が天
体でないと考えるのが妥当である。
世界各地にUFOが飛び回っている
現在、我々の目の届かない地の底、
海底あるいは月に宇宙人の基地があ
っても決して不思議ではないのでは
ない。

すると反論して、ある人は「月だっ
たら、すでに米国のアポロが降り立

って死の世界であることを宇宙飛行
士が証明しているではないか」と言
うかもしれない。しかし、そうだろ
うか。月の表面写真には確かにそれ
らしき人工物はなかった。だが、ぼ
くが思うには一般に公開された写真
は、岩石とクレターばかりで、U
FOや基地を写した写真は公開され
なかったのだ。それらの写真はどう
なったのか。おそらく、米政府が保
管しているか、謎の黒い影によって
処分されたかのどちらかである。

宇宙飛行士が目撃体験の他言を禁
止されているというではないか。月
の内部が空洞であるらしい調査結果
が発表されたり、自然天体にしては
奇妙な軌道を回っているというでは
ないか。公転周期と自転周期が一致
した月の動き、単なる偶然だろう
か、ぼくには不思議でしうがない。

会員募集もよいが、途 中で活動中止だなんて 無責任な研究会もある

石村公成
(〒351 埼玉県朝霞市溝沼5-
16-12-506)

本誌22号「文通しよう」コーナー
に出ていたUFO専門研究会に入会
希望の手紙を出したところ、3回の
情報でぶつりとしたえてしまった。
それから半年以上にもなるのに返事
の「へ」の字も書いてよこさない。
コーナーにはもっともらしいことを
書いていたというのに、少々、いや
とても無責任だ。こういった奴はU
FOファンだなんて言えないはず。
こんな団体についてあなたはどう感
じますか？ 手紙をください！

後、文化財調査員が伝説、習
慣、信仰をゾロアスター教の教
典アベスターと照らし合わせ、
「拝火教の伝播されたことなど
から、先祖がアベスターを信奉
するシュメール族ではないかと思
う」という意見を出している。
「おみせん」というのも、もと
は、大御神。または、御弥山。
と書くのではないかという人が
二派に分れている。前者は町か

ら遠くの郊外で神を祭る聖なる
所として仏教伝来以前のものと
いい、後者は仏教にもついた
山全体の名称ではないかといわ
れている。
私は古代人の業績を偲び、こ
の聖域に興味を寄せながらも、
このストーンサークルが太陽観
測と結びついていたのではと思
いたいのである。



●阪上清久(画)

〈次のテーマ〉

●あなたの郷土の謎めいた伝説

全国から多数のお手紙ありがとうございました。
次号も右記のテーマに投稿をお寄せください。
発表は2月20日発売「UFOと宇宙」3月号です。
800字以内 12月末日まで。

ユニバース出版社編集部「声」係

文通しよう

U FOの好ききらいにかかわらず
兵庫縣灘市の東灘区に住んで
いる同じ年の女の子、ヨロシク！
菅原智道〈中1〉
(〒135 東京都江東区猿江2-13-1)

危 機がせまる地球、この事実をあ
なたはどうか考えますか？ 今
まで無視してきた私たちは、今こそ
われに帰るべきではないでしょう
か。科学、社会問題に興味のある方
意見の交換をしませんか。
上田和生〈中3〉
(〒697 島根県浜田市下府町346
19 桜ヶ丘)

は じめまして。私はUFOファン
の一人です。どなたか、お手紙
をください。
岩丸 寿〈23〉
(〒803 福岡県北九州市小倉南区下
徳力二町内 徳力三共苑9号)

不 思議なもの「宇宙、UFO、超
常現象、生死、宗教、人間」な
どに興味を抱いている方、考えを深
めるために話し合いませんか。年
齢性別は問いません。
黒須光男〈26〉
(〒180-04 東京都清瀬市竹丘2-1
9-71)

U FO、心霊などの超常現象に興
味しんしん！ 今までにUFO
を1回、幽霊らしきものを3回見ま
した。これらに関する写真、情報を

お持ちの方、興味のある方お便りく
ださい。
甲斐田雅博
(〒860 熊本県熊本市新町1丁目9
16 新町アパート)

U FOや心霊、バケ学にとっても興
味を持っています。どなたか、
私と文通しましょう。
重松宏明〈15〉
(〒872-05 大分県宇佐郡安心院町
大字下毛1707-1)

宇 宙人、UFO、G・アダマスキ
1などについて、まじめに考え



大作家のレパ (志忠篇)

●そのむらのぶあき 熊本県
ていらっしやる方、私という話
し合いませんか。東京地方が神奈川
県内にお住まいの同年代の女性の方
を希望します。ご連絡ください。
小島原竹子〈19・学生〉
(〒228 神奈川県相模原市文京2-1
2-11 相模ビルレジ内B号室)

U FO、異次元現象に興味を持っ
ています。そしてヨガ哲学も研
究しています。近隣の同好の方、年
齢不問、お便り待っています。
向井 昇〈28〉
(〒921 石川県金沢市上荒屋3-149
19)

古 代文明、
奇妙な
現象に興味
があります。
ところが、
知識はほと
んどなしの
未じゆく者
です。こん
な私でよか
ったら、だ
れか文通し
てください。
連絡待つて
ます。
岩瀬まゆみ
〈中2〉
(〒519-15 三重県上野
市印代)

まんがマンガへ

うれしい
お知らせ

自宅でグン上達するマンガ技法を伝授します

さあ、キミも自分の
かくれた才能を
発見しよう!!



※じぶんの思っていることすべてがマンガやイラストに
描けたらどんなにスバライなことでしょう。
※マンガをつくる才能はキミにも必ずあります。ただ、じ
ぶんでは気づかないだけ、キミもこのチャンスにたく
れた才能を発見してみませんか？
※今コミックスクールでは、夢といわれた一流の先生方
がキミのかくれた才能をスクスクのぼし、どんなマン
ガでも自宅でどんな描けるよう指導してくれ、みんなマン
ガびながら自宅でバイトができる「誌上展」にも参加
できます。この機会にキミのかくれた才能を存分に発
揮し、おこづかいもパツチリかせいで下さい。

まんがの好きな方は、下記へハガキ下さい
今なら、自宅でグングン上達するまんがの
学び方や自分の才能がすぐわかるテストつき
説明書セットを無料で差しあげます

早坂金夫

(〒171 東京都豊島区池袋2-116
95 藤田荘内 971-7695)

UFOファン
集まれ!

U FO問題、超常現象を身をもつ
て体験しようという同志を探し
ています。一緒に活動できる方、そ
して本気でやる意志のある方、連絡
ください。
杉本香苗〈学生〉
(〒175 東京都板橋区成増1-29-1
7 タイムズコーポ成増703号 90
3-9775-1313 17PMまで)

U FOファンで、しかも「宇宙戦
艦ヤマト」の大ファンという
方、意見、情報を聞かせてください。
全国にどのくらいの方が興味をもつ
ているのか参考にしたいくもありま
す。
芳賀寛子
(〒424 静岡県清水市桶新田437
12)

興 味は持っているのですが、あま
りUFOのことを知りません。
いろいろな教えてくださる方、お手
紙ください。
渡辺由美〈高2〉
(〒861-13 熊本県菊池市片岡63)

現 在、UFO、その他の研究団体
に所属している方、ぼくと会報
などの情報交換をしませんか。所属
団体名を書いてはがきまたはTEL
で連絡ください。何名かの方に本誌
18〜20号、「エニグマ1号」、「オカ
ルト時代」9、10月号を差し上げま
す。

現代コミックスクール UFO係
〒145 東京都大田区田園調布局第56号
(大田区上池台5-7-10)
TEL 東京(03)727-2216(指導部)

日 本タイムトンネル研究会では会
員を募集しています。

また、当会の資料としてTVのタイ
ムトンネル……恐怖政治、ロビンフ
ッドの復讐……を録画した方を捜し
ています。お知らせください。

根津守男(代表)

(〒360 埼玉県熊谷市箱田636)

ぼ くたちの研究会に名前とシンボ
ルマークをつけてください。採
用された方には記念品贈呈。また、
UFO、心霊の写真をお持ちの方、
交換しましょう。会員も募集してい
ます。はがきで連絡してください。

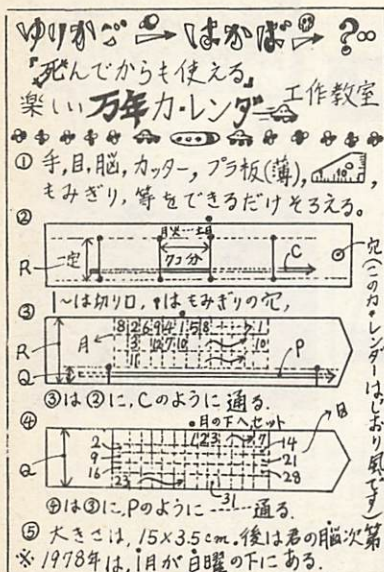
葛城さとし

(〒602 京都府京都市上京区千本中
立売上ル東側)

私 と一緒にUFO同好会を結成し
ませんか。近県の方で積極的な
方なら誰でも大歓迎。また他のサー
クルのリーダーの方、会結成に協力し
てください。連絡待っています。

山西久江(19)

(〒762 香川県坂出市林田町浜西3)



武田吉喜(〒989-62 宮城県
古川市桜の字鹿島伝6-1)

955-11

わ がUFO研究同好会の会誌「O
BSEVER」初秋号少々残
部あり、ご希望の方は連絡ください。

番田 武

(〒510-03 三重県安芸郡河芸町千
里ヶ丘R5-301)

会 員募集！ 袋井UFOと映画友
の会(FUAMC)。マーク入り
会員証と会報を郵送。現在会員20名
入会金無料、ただし年会費3000円
が必要。連絡をください。

藤田泰芳

(〒437 静岡県袋井市萱間720
50538418-7185)

私 たち(SHFOR)超常現象調
査最高司令機構の会員になって
ください。中・高校生中心ですが性
別は問いません。入会金無料、機関
誌代年間500円。J・A・キール、
B・スタイガー、G・バーカーなど
のUFO研究家の研究対象に関心
のある方はぜひどうぞ。

私

(〒437 静岡県袋井市萱間720
50538418-7185)

工 業高等専門学校へ通うUFOフ
ァン、連絡ください。

西沢 一

(〒411 愛知県豊田市栄生町2-1
豊田高専学生寮内)

わ がグループでは資料不足のた
め、他のグループと提携して重
力、UFOの作用原理を研究したい
と思います。ご連絡ください。

塩野博雪(19・学生)

(〒120 東京都足立区綾瀬4-29-1
11)

北 海道内のUFO研究会代表の
方、ぜひ北海道宇宙連合へ加盟
してください。くわしくは50円切手
同封の上、当方へご連絡ください。

逢坂輝夫(北海道宇宙連合代表)

(〒001 北海道札幌市北区新琴似10
14-983)

宇 宙法則研究会(OSLU)会員
募集中！ 研究内容はUFO、古
代文明、霊現象などの超常現象全
般。まじめに取り組んでくれる方な
ら、どんなでも歓迎します。入会希
望の方は50円切手同封のうえ、ご連
絡ください。

榊原 毅(22・学生)

(〒442 愛知県豊川市牛久保町八幡
口78)

超 自然現象研究会を結成。「ロマ
ン会報」を発行中です。研究内
容はUFO、心霊、超能力などなど。
全国UFOファンの皆さん、ぜひわ
が会に協力。できれば入会してく
ださい。ご連絡を待っています。

洲之内高男(代表)

(〒254 神奈川県平塚市松風町14-1
4 0463122-1380)

あ らゆる謎に挑戦してみたいとい
う方、わが自然宇宙科学研究部
へ！ PKテストカード、UFO探
知機を使って実験、調査を行って
ください。くわしく知りたい方は連絡
ください。案内書を送ります。

福原道雄

(〒294 千葉県館山市水岡895)

全 国のUFO研究家の諸君！ ぼ
くたち北関東フラインググループ
クラブ(KFSC)に入会しませ
んか。希望者は簡単な自己紹介、住
所、氏名、年齢、職業を書いて送っ
てください。

手塚庄平

(〒321-22 栃木県今市市小林17
19)

S F、その他の漫画を描くのが好
きな人、ぼくたちの会に入って
くれ！。返信用切手と自分で描い
たカットを同封して連絡してくださ
い。

渡辺俊二(高2)

(〒244 神奈川県横浜市戸塚区飯島
団地2-5-703)

生 命の真理と大宇宙の原点を深く
瞑想することに興味をもつ同志
を広く求めています。中学生以上、
性別不問です。大自然と大宇宙にふ
れながら親ほくをはかりたいと思
いますので希望者は自己紹介を書き、
はがきで連絡ください。

向井 昇

(〒921 石川県金沢市上荒屋3-49
19)

人 から聞いた話ですが、図のよう
に内側に円板、外側にドーナツ
形円板を置き、逆方向に回転させると
物が浮き上がるそうです。以前、
工業新聞にのっていたようで、くわ
しく知っている方は教えてください。

高木元二

(〒934 富山
県新湊市本町
2-3-10)



高木元二
(〒934 富山
県新湊市本町
2-3-10)



売ります
買います

読みます



▼漫画本「サスケ⑨」「ハリスの旋風②」
「あしたのジョー①②③」各200円、「宇宙
戦艦ヤマトロマンアルバム」600円、「宇
宙戦艦ヤマト」10月号と「郵趣」75年11
月・77年10月号を4000円、ストックブ
ック3冊とシートブック2冊を3000円
で譲る。値段は送料共、はがきで連絡を。
細谷勇治(〒272-10 千葉県東葛飾郡浦安
町堀江658-2-15)
▼本誌No.1、2、5、22まとめて1万円。
送料当方負担。往復はがきで連絡。
近藤隆律(〒466 愛知県名古屋市中区川
名本町2-1)
▼本誌No.5、7各500円、No.8、19各2
000円で譲る。はがきで連絡。
小貝昭己(〒369-01 埼玉県北足立郡吹上
町本町1-9-2)
▼本誌No.1、20を譲ります。送料も負担し
てくださる方、往復はがきで連絡を。TEL
L記入も忘れないように。
今井恭子(〒951 新潟県新潟市浜浦町2-
27-5号 吉備津金三郎方)
▼「四次元世界の秘密」「怪奇植物トリフ
イドの侵略」「もしもの世界」「24時間の

侵入者」「天才はつくられる」「ねじれた
町」「泣いたら死がくる」「まぼろしのペ
ンフレンド」「カード占いの秘術」「タロ
ットカード」を無料で譲ります。希望者は
往復はがきで連絡してください。
中村絵里(〒998 山形県酒田市亀ヶ崎1-
4-35)
▼本誌No.19、26各200円、「エニグマ」
No.1、5各150円、「実験円盤浮上せり」
「UFO旋風」「宇宙大襲撃」各450
円、「UFO入門」400円、「UFO発
見法」350円で譲る。全部買ってくれた
場合は2割引、2000円以上の方は送
料無料にします。往復はがきで連絡を。
石田雅明(〒718 岡山県新見市高尾)
▼本を無料で差し上げます。ただし対象は、
母子家庭、交通事故で父親を亡くされた方、
生活保護を受けている中学生、高1の方で
す。大陸書房UFOシリーズ、高文社
UFOシリーズ、中岡俊哉の著書、や文
久書林刊の本、「エニグマ」No.1、3、
5などです。希望者の多い場合は抽選で
す。生年月日を書いて連絡ください。
島中 宏(〒665 北海道札幌市東区北30東
14-415 電話011-752-8840)
▼本誌No.2、4、6、10、11、15、18、20、21
を送料共4500円で。手渡しの場合は価
格応議。往復はがきで連絡を。
桐沢克己(〒270 千葉県松戸市大谷口35
6)
▼「天文ガイド」74年4、9月号」「宇宙艇
No.6、20」「重力直接発電の組立て」
「空間の征服」「光とは何か」「時空と連
続」「重力のナゾ」「物理質問箱」「四次
元の世界」「フレドリック・ブラウンの短
編、大陸書房の「世界のノンフィクション」
・シリーズ」などを譲ります。日本テレビ
の本屋スペースでユリ・ゲラーが金写し
たネガを差し上げます。
安藤英典(〒768 香川県観音寺市栗井町2
017)
▼本誌No.7、20各250円。本誌別冊「U
FO写真集」500円で譲る。往復はがき
で連絡してください。
望月 隆(〒400-14 山梨県東八代郡一宮
町金田)

▼本誌No.10、11の2冊、「ノストラダムス
の予言」を適価で譲ります。
村瀬慶洋(〒662 兵庫県西宮市獅子ヶ口町
11-23)
▼「宇宙文明の夜明け」「タロット占いの
秘密」「エクソシスト」「イルカの目」各
500円、「ノストラダムスの予言」「パ
ミューダ海域はブラック・ホールか」「謎
の白鳥座61番星」「四次元99の謎」「ブラ
ック・ホール」各250円、「私は円盤に
乗った!」400円、「スパーマインド」
300円、「エニグマ(2号)」2000円で
譲ります。いずれも送料別、往復はがきで
連絡してください。
国方武志(〒581 大阪府八尾市西木ノ本4
-12)
▼本誌No.14、27、「エニグマ」(No.1、2、
5)「UFO教室」(No.1、2)「ノストラ
ダムス大予言原典」「イエス・キリストの
探究」「死後の真相」「デューランド・世界
の歴史」以上まとめて1万円です。手渡
し希望。往復はがきで連絡ください。
佐藤文昭(〒989-24 宮城県岩沼市押分字
南谷地46)
▼本誌No.20を近県に住む18歳以上の女性の
方に適価で譲ります。希望価格を書いて必
ず封書で、TELも忘れずにね。
前田繁雄(〒488-01 佐賀県伊万里市黒川
町清水60 電話0955-217-2308)
▼本誌No.2、4、18譲ります。希望する号
数と値段を往復はがきに書いて送ってくだ
さい。
古高ひとみ(〒420 静岡県静岡市長沼28
6-11)
▼本誌No.7、26を送料別各4000円で譲り
ます。またUFO探知機(T-15)5000
0円で譲ります。希望するものを書いては
がきで連絡してください。
市田真澄(〒232 神奈川県横浜市中区六ツ
川2-1102-16)
▼「ヤングタウン第2集」400円「名探
偵入門」2000円で譲る。はがきで連絡。
藤原正信(〒673-06 兵庫県神戸市北区淡
河町本町市住4号)
▼本誌No.11、18の8冊を6000円で譲り
ます。都内の直接、手渡せる方に限りま

す。早い者勝ち! 連絡は往復はがきに
て、TELを明記のこと……。
今井久美子(〒106 東京都港区南麻布2-
1-22)
▼「実験四次元科学」の英語版を送料共1
500円で「English Today」(創刊号
から1月分)をカセットつきで送料共13
00円で譲ります。往復はがきで連絡を。
岡本 肇(〒630-02 奈良県生駒市萩原町
1-4 広田様方)
▼「エニグマ」(No.1、5)を送料共各12
00円、「マンガ少年」76年9月号・77年
8月号を各1000円で譲ります。往復は
がきで連絡してください。
藤田泰万(〒437 静岡県袋井市置間720)
▼本誌No.1、4まで。希望値段を往復は
がきに記入してお寄せください。
首村和史(〒601 京都府京都市南区久世上
久世町133-16)
▼本誌No.1、20(14、15ナシ)を送料共2
5000円で譲ります。値引き可!
鶴岡秋育(〒162 東京都新宿区戸山町43-
23-406)
▼「ビッグX①」「包丁人味平①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩」
各200円、「切り抜きエレクトロニ
クス工作集」2000円で譲ります。連絡は
往復はがきでお願いします。
河辺秀樹(〒440 愛知県豊橋市草間町郷裏
46-4)
▼本誌No.7、28(10、12、14ナシ)を送料
共25000円で、1冊なら20000円で譲
ります。連絡は往復はがきで。
山口勝己(〒311-13 茨城県東茨城郡大洗
町磯浜3552)
▼本誌No.1を3500円以上で譲る。希望
値段を往復はがきに書いて送ってください
発生川武士(〒332 埼玉県川口市中青木5
12-12)
▼「記憶術」4冊一組2000円、「欽
ちゃんのドンといってみよう」2800円、
シズベンD晩時20000円で譲りま
す。連絡してください。TELでもOK
丹羽利広(〒454 愛知県名古屋市中川区愛
知町29-10 電話052-351-16898)
▼本誌No.1、6のコピーしたものを送料共
各10000円で譲る。連絡は往復はがきで。

読めます

望遠鏡



▼レコード「海のトリトン」「宇宙戦艦ヤマト」「UFOロボ・グレンダイザー」「キャンディ・キャンディ」、LPレコード「宇宙戦艦ヤマト」を千共3000円。「オーディオ入門」「ヤング・オーディオ・ナウNo.6」を千共1500円で譲ります。

細谷勇治(千272-01 千葉県東葛飾郡浦安町堀江658-12-15)

▼重力直接電池部品一式、高圧発振用高圧トランス・スライダックトランスを譲ります。価格応談。往復はがきで連絡を。望月隆昭(千409-14 山梨県東八代郡一宮町金田)

▼本誌「特製バイナダー」2個を東京都内

星 佳伸(千113 東京都文京区西片1-15-1 桜荘)

▼SF単行本4冊900円、「あばしり一家」200円、「新造人間キシャーン」100円、「天文ガイド」3冊500円、英会話初級セット(旺文社)1万円、その他、高校生の各種参考書などあり、リスト送る。往復はがきで連絡を。

森 淳二(千779-44 徳島県美馬郡半田町高瀬24-5)

▼和光大学UFO・PSI研究会の会誌を送料共300円で譲ります。切手可。

和光大学UFO・PSI研究会(千113 東京都文京区白山1-6-4 601 秋山方)

▼「エニグマ」No.1、2、4 送料共300円「超科学」(日本超科学会刊)No.1、2、4、6を送料共400円で譲る。また、「マンガ少年」76年9月号、77年10月号を

の方に譲ります。価格応談。往復はがきで連絡してください。

片岡まり子(千182 東京都調布市深大寺1265)

▼「バリ旅行会話」カセットテープ、ケース付を2500円で譲ります。

松沢信雄(千330 埼玉県大宮市大谷1693)

▼カセットテレコを1万円、催眠術の本を5000円、速記術の本を1万円で譲ります。往復はがきで連絡を。

笹之池功三(千409-28 山梨県南巨摩郡早川町中洲)

▼S社トランシーバー・ICB 680を千共半額の2万円! N社ラジオカーク・1150を定価の半額で譲ります。

中西 真(千991-11 山形県鶴岡市下川龍花崎36-3 68 00235-33-29937)

▼TV主題歌を録音したカセットテープがあります。「鉄腕アトム」「ワンダフル」「マダム大使」「レインボー戦隊ロビン」「狼少年ケン」「スーパージェッター」「宇宙少年ソラン」「バーマン」「怪物くん」「キャプテンウルトラ」など。希

送料共3500円。

千田孝一(千021 岩手県一関市青葉1丁目1-9)

▼本誌No.17を2000円、「航空ファン」76年9月号4500円、「丸」No.357、358、359、362、363各400円、No.376を5000円。第2次大戦の戦況写真集60円で譲る。まとめて買って。くわしくは往復はがきで連絡を。

飯川敏弘(千949-42 新潟県刈羽郡西山町石地828)

▼「大空戦」4500円、「タイムマシンのつくり方」7000円、「世界一周ひとりぼっち」5000円、「リーディング・マジック」77年版10冊「13000円で譲る。値段は送料込み。切手可。連絡は往復はがきでお願いします。

西村兼好(千040 北海道函館市万代町6-21)

▼「超物理学入門」「世界の怪奇ミステリ

1」「新しい記憶術」「バイオリズムとは何か」「天文ガイド」「ユリ・ゲラーわが超能力」「続・私は宇宙人を見た」「空飛ぶ円盤の秘密」その他、カセットテープ「想い出の名画ベスト20」「コレッド・リイ・スタディ・恋する二人など高校生参考書31冊まとめて3万円で譲る。

由良和豊(千535 大阪府大阪市旭区赤川町4-11-28)

▼「荒野の少年イサム」①②③ 3000円「釣りキチ三平」①②③ 7000円。漫画本3冊付録につける。連絡は往復はがきで。

太田和人(千518-01 三重県上野市下神戸2756 日生学園・向陽寮2-4)

▼「狐狗狸さんの秘密」「恐怖の心霊写真集(正・続・新)」「日本怪奇名所案内」「幽霊を見た!」「日本・世界篇」「恐怖の四次元館」「お化けの住所録」「死霊を見た!」「タロット占いの秘密」「お化けの本」「悪

望者はTEELかはがきで連絡を。

白石優史(千684 鳥取県境港市東本町40-1 08594-416267)

▼TV漫画「宇宙戦艦ヤマト」2話録音しました。1本7000円、2本10000円で譲ります。往復はがきで連絡を。ラジコン用品との交換も可。

山口篤生(千855 熊本県玉名市伊倉北方229-1)

▼カセットテープ、SF本、漫画本が多数あります。リストを送りますので連絡ください。一眼レフカメラを購入するため。

山上 治(千535 大阪府河内長野市千代田南町22-10)

▼双眼鏡ルビナス7×50ミリ(興和製)を千別1万円で譲ります。

また、Sky and Telescope 77年4月号をお持ちの方、自作、万年カレンダーと天体カメラスライドで交換しませんか?

武田吉喜(千933-62 宮城県古川市桜の目字鹿島6-11 002292-817474)

▼購読版セット(17000円)を9000円で譲ります。

岩田守正(千453 愛知県名古屋市中村区大

魔の本」「プラナ占術」「チビッコ夢判断」「魔教」「願いが叶う本」「ジプシイ占いの本」「念力呪術入門」「よく効くおまじないの本」「冒険手帳」「飲ん①④⑤、カセットテープビルド・トルズのヘルプ、ブルワーカー2(ケース付)。価格応談、連絡まで。

鈴木隆史(千311-13 茨城県東茨城郡大洗町成田町76)

▼「宇宙と星99の謎」「ノストラダムス大予言の秘密」千別7000円、「万葉集・下巻」「古事記」千別12000円、「水滸伝1」「7巻」千別12000円、「仮面の忍者赤影1」「3巻」千別12000円、「片目猿1、2巻」千別14000円、「雑誌・バスケットボール」76年2月号」千別5000円で譲る。

佐賀哲哉(千047-02 北海道小樽市銭函1-50)

宮町2-44 05524810252)

▼UFOと心霊のカラ写真(各3枚)1組1500円、木製スナック5000円で譲ります。また、筆法帖、筆法着、鉄柱、手甲を安価で買いたし。TEEL記入のうへ連絡ください。

丹羽利広(千454 愛知県名古屋市中川区愛知町29-10)

▼プロマイド「仮面ライダー、V3、ガッチャマン、ゴジラ、パロム1」千別30円で譲る。リスト送ります。50円切手同封のうへ連絡ください。

熊田利秋(千671-02 兵庫県姫路市四郷町東阿保962)

▼レンズ譲ります。ニッコール50ミリF2を1万円、200ミリF4を23000円で譲ります。

足田勝巳(千11 東京都台東区浅草橋3-28-11 フラワーマンション801)

▼念力開発器(解説書付)5000円、プランセット(西洋こっくりさん)30000円で譲る。往復はがきで連絡を。

大森裕治(千565 大阪府吹田市長野西9-1 千里丘第2鉄道寮316)

119 星の市

読んで下さい



▼本誌No.2を適価で譲ってください。「太陽の王子、ホルスの大冒険」のストーリーも適価で譲ってください。なおボスターを譲ってくださった方には私が持っている「宇宙戦艦ヤマト」の主題歌を録音してあげます。

増岡秀啓(〒730 広島県広島市富士見町6-14)

▼桐山靖雄著「密教―超能力の秘密」「念力」「密教―超能力の力」「密教―占星術」やG・アダムスキー著「テレパシー」「生命の科学」をそれぞれ定価の半額で譲ってください。はがきで連絡をお願いします。

谷口 稔(〒517 三重県鳥羽市小浜町21-7-14)

▼海外・国内の映画雑誌(S35/45年)を譲ってください。なお私のUFO資料との交換も可能です。価格は、あるいは交換希望など連絡は封書でお願いします。

加藤ヒロシ(〒286-02 千葉県印旛郡富里村7-25-14)

▼「世界の不思議」「古代遺蹟とUFOの謎」(文藝春秋)、地震に関する本・資料

読んで下さい



▼現在、TVのRKK局を受信できる熊本県地方の方、再放送中の「太陽にはえろ」「怒れ、マカロニ」「マカロニ死す」を録音してください。写真も撮れるとなおよいのですが、必要費用は負担します。どなたかご連絡ください。

住田明祐(〒832 長崎県長崎市光町10-7) 漫画「宇宙戦艦ヤマト」(コミック漫画)「宇宙戦艦ヤマト」に関するものを何でも譲って。コピー可。送料負担。お礼

▼本誌No.1を千共500円また古銭・コインを次の値で譲ってください。天保・安政一分銀各2000円、宝永通宝・常平通宝各1000円、天保通宝300円、一朱銀500円、円銀(明治)・五輪千円各500円、札幌記念貨400円、万国・天皇記念貨280円。買入れリストを送ります。千共50円。はがきで連絡をください。下山浩之(〒379-23 群馬県新田郡等懸村

など、どんなものでも、なるべく安価で譲って。また、「自動車ガイドブック」'71-'76年まで1500円。連絡まつ。川瀬尚真(〒496 愛知県津島市唐臼町前南一)

▼漫画本「イナズマン③、仮面ライダー①④、原始少年リュウ①③、さるとびエッちゃん①⑤、がんばれロボコン①②、石森章太郎、松本零士、木本しげるの作品、その他「花のビュンビュン丸」(昭和40年頃、朝日ソノラマ刊)、漫画ボスター「宇宙戦艦ヤマト、キャンディ・キャンディ」などを適価で譲ってください。往復はがきで連絡を。

▼「ファンタジー」No.116、6、「OUT」No.216を定価ほどで。電話かはがきで連絡してください。山本圭子(〒156 東京都世田谷区羽根木1-14-16 電話03-3211-9585) ▼「I・C・E英語テープ中級コース」「基礎フランス語コース」(ランゲージ・サービス刊)を適価で譲ってください。連絡ははがきで。波田野喜美子(〒682 鳥取県倉吉市鍛冶町2)

▼本誌No.11、23、「エニグマ」No.11、3のどれか譲ってください。送料しか負担できませんが。森和久(〒989-23 宮城県亶理郡亶理町荒浜字上新田20-1)

▼「忘れぬ技術」(光文社刊)「欲望」を適価で譲って。はがきで連絡を。斉藤千明(〒720 広島県福山市草戸町1000-2 千代田貿易物)

▼「GAP ニューズレター」(日本GAP) No.11、57を2万円譲ってください。なおこのうちのNo.57を、私の持っている本誌No.8、13との交換も可能です。藤原 忍(〒237 神奈川県横浜須賀野市追浜町2-58)

▼「天女」(ひび)に関する本を譲ってください。連絡は電話かはがきで。平野泰敏(〒431-33 静岡県天竜市二俣町南鹿島58-18 電話053-9215-2615) ▼「ファンタジー」No.116、6、「OUT」No.216を定価ほどで。電話かはがきで連絡してください。山本圭子(〒156 東京都世田谷区羽根木1-14-16 電話03-3211-9585)

▼「GAP ニューズレター」(日本GAP) No.11、57を2万円譲ってください。なおこのうちのNo.57を、私の持っている本誌No.8、13との交換も可能です。藤原 忍(〒237 神奈川県横浜須賀野市追浜町2-58)

▼「GAP ニューズレター」(日本GAP) No.11、57を2万円譲ってください。なおこのうちのNo.57を、私の持っている本誌No.8、13との交換も可能です。藤原 忍(〒237 神奈川県横浜須賀野市追浜町2-58)

▼「GAP ニューズレター」(日本GAP) No.11、57を2万円譲ってください。なおこのうちのNo.57を、私の持っている本誌No.8、13との交換も可能です。藤原 忍(〒237 神奈川県横浜須賀野市追浜町2-58)

▼「GAP ニューズレター」(日本GAP) No.11、57を2万円譲ってください。なおこのうちのNo.57を、私の持っている本誌No.8、13との交換も可能です。藤原 忍(〒237 神奈川県横浜須賀野市追浜町2-58)

▼「GAP ニューズレター」(日本GAP) No.11、57を2万円譲ってください。なおこのうちのNo.57を、私の持っている本誌No.8、13との交換も可能です。藤原 忍(〒237 神奈川県横浜須賀野市追浜町2-58)

★news★

ふれると
明りがつく
UFOコードペンダント
宇宙の照明

25W又は40W×3灯ボールランプ
大きさ φ430mm×H180mm
タッチスイッチ付

特別価格¥13,800(送料共)

アダムスキー型円盤が君の部屋に
アダムスキー型コードペンダント
にちょっとふれるだけでUFOの
明りがバツ!!消す時も同じ不思議
なコードペンダントです。
君を不思議なUFOの世界に誘い
こみます。サア今日から君の部
屋はUFOの世界だ!!

購入方法

葉書にて、商品名・住所・氏名・年令
職業明記の上申し込んで下さい。代引
郵便物として折り返し郵送致します。
代引郵便物とは、貴方が住んでいる近
くの郵便局に品物が着きますと、局よ
り通知が行きます。その通知と13,800
円を持参の上、品物をお受取り下さい。
尚、クラブ単位で数々がまとまる場合は
ご相談下さい。

木曜会

〒135 東京都江東区住吉1-17-13
カワイ照明株式会社デザイン室内
03-633-1261(代表)

交換して下さい



▼宇宙戦艦ヤマトの「ボスター」、サントラ
盤レコード、ひおあきら著の単行本、セル
原画をお持ちの方をお願いします。私の
「火の鳥」「リリカNo.2」「キャンデ
イキャンディ4巻」「ムーミン谷の夏祭り
(トール・ヤンソン作)」と交換してください。
連絡ははがきで。
武田利恵子(〒460 愛知県名古屋市中区金
山2丁目10-17)
▼マシンガンZ、グレートマシンガンを心

から愛する人と呼びかけます。これらの資
料などを交換しませんか。
富山洋子(〒300-21 茨城県筑波郡谷田部
町不動町)
▼「聞えドラゴン」「海のトリトン」「キ
ューティヘーニー」などのレコードを持
ちの方をお願いします。私のレコード「ア
タックNo.1」「ダイアポロン」「コンパ
ラー」「マシンハヤブサ」「ガイキング
「ゴワッパ15」「怪物くん」と交換して

ください。
庭田純(〒031 青森県八戸市柏崎新町19)
▼本誌No.1-7をお持ちの方はいませんか
? よろしかったら私の「消えた文明99の
謎」「なぜ磁石は北をさす」「重力の謎」
「SF相対論入門」「エニグマNo.2-5」
に2000円を足して交換してください。
連絡ははがきで。
吉田 宏(〒437 青森県五所川原市平井町
132)

大字阿左美1082)
▼SFアニメ「トリトン、ガッチャマン」
などのプロマイド、ミニカード、原画、動
画、セルを適価で譲って。また、私の本誌
を譲ります。本誌No.3-13各500円、本誌
別冊「UFO写真集」1300円、「円盤
写真大図鑑」「空飛ぶ円盤」「UFO入門」
「天空人物語」「私は宇宙人を見た(正・
続)」各600円、千共の値段。連絡は返
信用はがきを同封してください。
山崎哲彰(〒780 高知県高知市福井町34
3)
▼UFOに関する資料や写真を譲って。ま
た、各地の研究団体の活動状況を教えて。
八尋 豊(〒891-12 鹿児島県鹿児島市西

伊敷7丁目13-21)
▼「ヤマト大図鑑」「ヤマトロマンアルバ
ム」「ヤマトのセル、そしてフアントーシ
ユ」を何号でも。どなたか適価で譲って。
山田隆哉(〒057 北海道浦河郡浦河町向別
35)
▼一眼レフカメラ・カレナSRH1001
かカレナSF12を譲ってください。また
次の本を譲ります。「アッ!? 心理試験」
「私は宇宙人を見た」「UFO事典」「U
FO大襲来」希望価格(千共)を書いて
往復はがきで連絡を。
中村美智子(〒835 福岡県山門郡瀬高町小
川東)
▼ソノシート「宇宙エース」「宇宙バトロ

ール・ホッパ」「レインボー戦隊ロビン」
を一枚1000円で譲ってください。
西原孝二(〒380-01 茨城県猿島郡三和町
山田708)
▼英国ICT制作のTVドラマSF「キャ
プテン・スカレット」「謎の円盤UFO」
に関する切り抜きを譲ってください。お礼
にUFO関係の資料を差し上げます。次の
本も定価で譲って「ハーモニック33」「招
かれざる客」「CBA宇宙シリーズ」
磯部剛喜(〒283-21 千葉県八日市場市8
736)
▼「宇宙戦艦ヤマト」「侍ジャイアンツ」
「海のトリトン」「サイボーグ009」に
関するもの、あなたが描いた似顔絵でもい

いです。譲ってください。他にアニメに關
するものならなんでも。価格応談。
小松洋子(〒783-01 高知県南国市稲生小
久保912)
▼どなたかUFO関係の資料をわがSIC
研究会に送ってください。
平井 渉(〒690-11 島根県松江市上本庄
町370-15)
▼赤道儀を安価で譲ってくださる方、連絡
をください。相談します。また、ある化粧
品メーカーのつくった宣伝ポスターで、小
林麻美を写したものをもちの方、適価で
譲ってください。
稲岡 修(〒675-22 兵庫県加西市三口町
740)

レンズ片方無料でおなじみの

東京 新宿西口メガネが レイバン・ サングラスを 5割引!!

通信販売

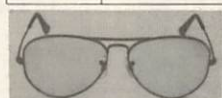
を開始!
店頭にて販売

	スモーク	グリーン
金	¥16,000→8,000	¥16,000→8,000
ブラック	¥17,000→8,500	¥17,000→8,500



CARAVAN<キャラバン>

	スモーク	グリーン	濃スモーク
金	¥18,000→9,000		
ブラック	¥19,000→9,500		



METALII<メタルII>

	スモーク	グリーン	濃スモーク	フォトサン
金	¥16,000→8,000			¥20,000→10,000
ブラック	¥17,000→8,500			



METAL<メタル>

	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン	ミラー
金	¥18,000→9,000		¥20,000→10,000	¥22,000→11,000	¥21,000→10,500
ブラック				¥23,000→11,500	



OUTDOORSMAN<アウトドアズマン>

	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン
金	¥20,000→10,000		¥22,000→11,000	¥24,000→12,000
ブラック				¥25,000→12,500



SHOOTER<シューター>

	スモーク	グリーン	イエロー
金	¥21,000→10,500		¥23,000→11,500



DECOT<デコット>

- 申込方法
ご希望のモデル名・レンズの色と住所・氏名を明記し現金書留又は代金引換にて申込み下さい。送料はサービスいたします。
- 申込先
〒160 東京都新宿区西新宿11-6 協立ビル
新宿西口メガネ レイバンUFO係

店頭特別企画
好評実施中!

メガネレンズ
片方無料!
コンタクトレンズ
クリニック併設!

学生割引も致しております

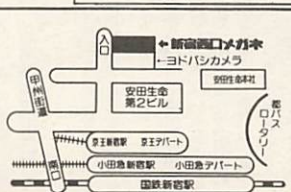
各種メガネフレーム
ローデンストロップ・
マルヴィッツ・
メッツラー他
各種メガネレンズ
HOYA・ニコン・ツアイス他

私もTVCMで
放映中です。

週刊ポスト連載中

忘れ苦兵衛

おことわり
品切れの際は、入荷予定日をお知らせ致します。
又、御返金も致します。



新宿西口メガネ

東京・新宿西口・安田生命第2ビル裏・ヨドバシカメラ並び
営業時間 AM10:00~PM8:00 年中無休
でんわ東京 03-348-3360

本誌バックナンバー紹介

■1〜7号は売切れ、8号は残部僅少
■送料 50円(1冊に付き)

●No. 8 (1974年9月発売) ¥330

◇マンテル大尉の悲劇／荒井欣一◇イタリアの不思議な小出現事件◇ネズミ湖における悪魔ばらいの儀式◇UFOの着陸◇天体オーラ◇宇宙電界の謎◇内田秀男◇宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3)◇L.クラフツ◇その他

●No. 9 (1974年11月発売) ¥400

◇UFOによる米空軍機追跡事件◇UFOは人類を宇宙へ導いている◇スペインに出現した円盤と乗員◇ジョージ・アダムスキーはまだ影を投げかけている◇G.クレイトン◇宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4)◇その他

●No. 10 (1975年1月発売) ¥360

◇銀色の服を着た宇宙人／高梨純一◇科学を曲げる男ユリ・ゲラ◇月世界の謎の現象を探る◇宮本正太郎◇宇宙・引力・空飛ぶ円盤(5)◇宮崎県のUFO現象を分析する◇UFOの推進法について◇その他

●No. 11 (1975年3月発売) ¥360

◇月面は円盤の中継基地か◇ニューヨーク州の着陸事件◇1980年代の宇宙連絡船◇原・銀河系・理解(1)◇D.フライ◇東北、東関東をよぎったUFOの大編隊◇アダムスキー型円盤、尾道市に出現◇宇宙・引力・空飛ぶ円盤(完)◇その他

●No. 12 (1975年5月発売) ¥360

◇甲府市にUFO着陸◇古代の天空人◇E.V.デニゲン◇オーストリアの光るカタツムリ状物体◇原・銀河系・理解(2)◇ソ連圏のUFO現象(1)シベリアの謎の大爆発◇長野県に落下した小型円盤◇北海道で撮影されたUFO◇その他

●No. 13 (1975年7月発売) ¥360

◇千葉市にアダムスキー型円盤出現◇円盤に乗った宇宙人を見た◇宇宙交通のためのテレパシー通信◇炎をふく不思議な物体◇原・銀河系・理解(3)◇円盤現象を解釈するために欠かせない「アインシュタインの三つの基本事項」◇ソ連圏のUFO現象(2)◇その他

●No. 14 (1975年9月発売) ¥390

◇1897年の謎の飛行船◇私は金星文字を解読した◇大気圏外生命体とのコンタクト◇実在する超感覚と念力◇関英男◇円盤と人体保護装置◇原・銀河系・理解(4)◇ソ連圏のUFO現象(3)◇その他

●No. 15 (1975年11月発売) ¥390

◇ステラ・ランシング夫人の不思議な写真◇ドラギニヤの怪事件◇ワルモンの奇妙なロボット◇G.クレイトン◇聖書の予言とスペース・プログラム(1)◇原・銀河系・理解(完)◇ソ連圏のUFO現象(完)◇その他

●No. 16 (1976年1月発売) ¥390

◇テレポーテーションとテレパシー／平野威雄◇聖書の予言とスペース・プログラム◇X博士の怪UFO事件◇作図によるアダムスキー型円盤解析の試み◇三原市の驚異コンタクト事件◇UFOと日本列島構造線◇その他

●No. 17 (1976年3月発売) ¥390

◇月面の謎アポロ飛行士が撮ったUFO写真初公開◇UFOは地球の救済にくるのか◇奇跡を起こす方法・宇宙人とのコンタクト◇ピーター・フルコスの驚異的大発見◇アポロの飛行士は月で地球外文明を見た◇その他

●No. 18 (1976年5月発売) ¥390

◇トリス・ウォルトンのUFO同乗事件◇私は宇宙人のクビをすげかえた◇UFOは地球の救済に来るのか(完)◇マヤと飛鳥を結ぶ宇宙人の遺産◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(1)◇その他

●No. 19 (1976年7月発売) ¥390

◇横尾忠則・私はUFOを何度も見た◇チャールズ・ムーディ軍曹、砂漠で円盤に誘拐される◇世界の12の魔の基地◇宇宙人はなぜ人類と正式に交流しないのか(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(2)◇その他

●No. 20 (1976年9月発売) ¥430

◇口絵・火星の大地他◇トリス・ウォルトン事件の真相◇東北地方UFO事件特別取材◇UFOインタビュー・久里洋二◇月世界はUFOの中継基地か(2)◇D.ウィルソン◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3)◇その他

●No. 21 (1976年11月発売) ¥430

◇口絵・ビレネーの怪他◇日本を代表するUFO研究者3人の主張展開◇精密UFO大図鑑◇UFO事件完全年鑑◇空飛ぶ円盤の推進原理を探る◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4)◇その他

●No. 22 (1977年1月発売) ¥430

◇UFOは石を食べていた◇チベット山中の金星人基地◇金髪的女性宇宙人としばは接触◇女性三人を身体検査した巨大UFO◇着陸した円盤に宇宙人の死体◇UFOアメリカ(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(5)◇その他

●No. 23 (1977年3月発売) ¥430

◇(特集)ジョージ・アダムスキー◇闇夜に牛が殺された◇矢追純一◇UFO写真のコンピュータ分析◇女性宇宙人セムジャーゼとの会話◇星・生命の始まるころ◇その他

●No. 24 (1977年5月発売) ¥430

◇(特集)戦後UFO30年史◇ウィンチェスターに出現したUFOと不思議な人間◇謎のニューヨークの大停電◇荒井欣一◇驚くべきコンタクトの全貌◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(6)◇UFOに家族をさらわれた◇その他

●No. 25 (1977年7月発売) ¥430

◇(特集)謎の黒い影◇宇宙人の言葉の解読に成功◇私は円盤に乗った宇宙人に救われた◇UFOと謎の奇妙な生物(1)◇G.バサー◇聖書と宇宙人◇C.ボリロン◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(7)◇その他(月刊8月号)

●No. 26 (1977年8月発売) ¥430

◇宇宙人と、地球の新人類=超能力少年◇怪物ビッグフットとUFO◇UFOと謎の奇妙な生物(完)◇怪獣がサメか◇奇跡!ルードの聖皇(1)◇超能力の謎は科学で解けたか◇中岡俊哉◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(8)◇その他(月刊9月号)

●No. 27 (1977年9月発売) ¥430

◇ワシントンのUFOパニック◇宇宙人からテレパシー・メッセージを受ける科学者たち(1)◇怪死した青年乗客◇中岡俊哉◇謎の第10番惑星◇斎藤守弘◇奇跡!ルードの聖皇(完)◇この眼で見た現代の怪奇◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(9)◇その他(月刊10月号)

●No. 28 (1977年10月発売) ¥430

◇驚異の宇宙人撮影事件◇宇宙人からテレパシー・メッセージを受ける科学者たち(完)◇スパイに使われる超能力者◇中岡俊哉◇灼熱の密林より永遠に(1)◇久保田八郎◇海溝に消えた太古の首長竜◇矢追純一◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(10)◇その他(月刊11月号)

●No. 29 (1977年11月発売) ¥430

◇札幌市で異星人との驚異コンタクト発生◇雲は未来の出来事を語る◇アフリカの超能力研究◇中岡俊哉◇星のささやく新宇宙◇斎藤守弘◇灼熱のジャングルより永遠に(完)◇海溝に消えた太古の首長竜(完)◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(11)◇その他(月刊12月号)

特製バインダー

本誌保存用

¥400

荷造送料

1〜2個 ¥350

3〜4個 ¥700

「UFOと宇宙」を破損・紛失しないためにバインダーをご利用ください。6冊をひとまとめにすることができます。

UFO写真集

¥1,300

¥300

カラー21点、白

黒33点 A4判

植上アート紙使

用・美麗カバー

付豪華本

●全国UFOファンの熱望にこたえ、全世界で記録された貴重な写真を集大成。

■当社出版物が書店にない場合は振替・現金書留・小為替・低額切手などで当社宛直接ご注文ください。

ユニバース出版社

エッジバックナンバー

■送料・1冊 ¥160

2〜3冊 ¥200

4〜6冊 ¥240

創刊号 (1976, 11-12月) ¥430

◇(特集)巨大地震予知最前線◇よみがえれ冷凍人間◇田辺純◇ヒマラヤの雪男・イェティを訪ねて◇谷口正彦◇恐怖の動物と怪物◇黒沼健◇金を生み出す「生きた原子炉」◇斎藤守弘◇矢追純一不思議考「ナスカの巨大地上絵」◇日本にもピラミッドがあった!◇高坂勉◇その他

創刊第2号 (1977, 1-2月) ¥390

◇キミは氷河期を生かされるか◇細菌兵器◇小橋良夫◇多重人格者◇斎藤守弘◇大作曲家がていついた女性ロースマリー・ブラウン◇和田則彦◇モーゼは日本で死んだ?◇高坂勉◇クロウゼットとフルコス◇中岡俊哉◇航空機事故は23日周期で起こる!◇井上超夫◇その他

創刊第3号 (1977, 3-4月)

◇(特集)人の進化・過去と未来◇現代の拷問◇佐々木雅子◇日本列島宝探し◇桑田忠親◇大空へ蒸発した2人の男サテングジュベリとギヌメル◇小橋良夫◇ポルターガイストの家◇中岡俊哉◇巨石は念力でとばされた!◇矢追純一◇その他

第4号 (1977, 5-6月) ¥390

◇(特集)現代の奇案◇コンピューター犯罪◇松本修平◇オリバー・クーンの謎に挑む◇斎藤守弘◇現代忍術大研究序説◇名和弓雄◇ソ連・超能力研究の秘密◇日本の最高秘密結社◇赤間剛◇タイの予知能力者スーチャン僧◇中岡俊哉◇バミュータ海域に潜入する◇矢追純一◇その他

第5号 (1977, 7-8月)

◇(特集)超能力◇失われた大陸アトランティスの謎◇ジョン・ネーカー◇恐怖の幽霊屋敷◇庄司浅水◇ヒトラーと秘密結社◇赤間剛◇バミュータ海中に人工建造物を発見!◇矢追純一◇キリストは日本で死んだ!◇高坂勉◇驚異のピラミッド・パワー◇久保田八郎◇その他

2月号予告!

(都合により内容を変更することがあります)

- カラー●NASAの公開フィルムで月面の謎を探る
●ブラジル・フィリピン二大心霊手術詳細ルポ
●ニューヨーク現地報告／話題のUFO映画「未知との遭遇」

セムジャーゼは何を語ったか

資料発掘 コンドン計画大批判

札幌市で異星人と接触! (完)

これがブラジルの心霊手術だ

フィリピン心霊手術現地ルポ

異星文明の宝庫は太陽系にある

1978年に何が起きるか 中岡俊哉

その他興奮の記事満載!

徹底追求／ナスカの巨大地上絵
インカ高度文明の謎を探る ほか

●お知らせ ●好評連載中「この眼で見た現代の怪奇」の筆者・矢追純一氏が本誌のためにユニークな企画を続々と計画中。ご期待下さい。

UFOと宇宙

UFOと宇宙 1978年1月号 第30号
定価 四三〇円 送料五〇円
発行 昭和五十三年二月一日
(月刊/毎月二〇日発売)
編集人 矢沢潔
発行人 大木茂男
発行所 株式会社 ユニバース出版社
住所 〒110 東京都台東区上野五―一六ヤマトビル
電話 〇三(八三二)一三四一四四
振替 東京一〇一―九四七八
印刷所 三晃印刷株式会社
年きめ購読料 五一六〇円(送料サービス)
書店で入手できない場合は、本社へ直接ご注文ください。
本誌掲載記事・写真の無断転載を禁じます。
海外の記事はすべて翻訳転載権取得済。

編集後記

★本誌は今号で通巻30号を数えます。その間、足かけ6年、さまざまな曲折を経て、また新しい年を迎えられるのも読者の支持あればこそです。

折しも、編集部には新たに2人の、洗練された美ほうと知性がこぼれんばかり(ホント)の女性部員(田坂教子、中原祥子)が加わり、本誌の舞台裏の景色と空気が

投稿歓迎

本誌はUFOおよび一般ミステリー問題に関する原稿・写真・研究発表等を広く募集しています。原稿はなるべく原稿用紙(タテ書き)をご使用ください。なお、投稿された原稿類はお返し致しません。

掲載分には規定の原稿料を差し上げます。
あて先
〒110 東京都台東区上野五―一六ヤマトビル
ユニバース出版社「UFOと宇宙」編集部

一変しました。彼女たちの新鮮な感受性が誌面に反映されないはずはありません。ご期待ください。そんなわけ、今年本誌を充実させるばかりでなく、臨時増刊号、単行本等も企画していきたいと考えています。

読者へお願い——これまで以上に率直なご意見をお寄せください。有益なご意見はたちまち紙面に具体化する、とお約束します。

(Y)

限定販売!

一年ぶり待望の最新作遂に完成!

トミタ/シンセサイザー

宇宙幻想

前作「惑星」で一大スペース・ロマンを謳いあげたトミタが、さらに多くのエッセンスと情熱でクラシックの名曲の数々をもとにして完成させた壮大なスペース・ファンタジー。トミタ/シンセサイザーはつねにブームの三歩先を行く!



- RVC-2170 ¥2,500 RCX-1021 ¥2,500
- スペース・ファンタジー(ツラトウストラはかく語りき)
(R.シュトラウス=ワグナー=富田)
- パシフィック231(オネゲル=富田)
- 答えのない質問(アイヴス=富田)
- スター・ウォーズのテーマ(ウィリアムズ=富田)
- ソルヴェーグの歌(グリーク=富田)
- アランフェス(ロドリゴ=富田)
- ホラ・スタックカート(ディニーク=ハイフェッツ=富田)
- ソラリスの海(三声のためのインヴェンション)
(J.S.バッハ=富田)

富田 勲

●シンセサイザー

〈特典〉 お申込みの方にジャケットと同じデザインのポスターを差し上げます。

全世界の音楽ファンを驚嘆させたトミタ/シンセサイザー・サウンドの秘密と全貌をさぐる待望のアルバム。



富田勲の世界

シンセサイザー：構成
富田 勲

- RVC-7564-5(2枚組) ★4,000 RCX-5501 ¥4,300
- レコード①PART I：トミタ・サウンドの秘密をさぐる
- レコード②PART II：「驚異の虹がり」……バイフォニック・トミタ・サウンド
- 富田 勲監修「覚えておく」と便利なマイ・サウンド8巻(付(配電図、図解入り))

発売元/RVC株式会社

現代の謎UFOに挑む!



これがUFOだ!

スーパー 8 カラー●(55m=9分)
光学録音(カセットテープ付き)

¥10,800(千共)



宇宙人は地球にきた!

スーパー 8 カラー●(55m=9分)
光学録音(カセットテープ付き)

¥10,800(千共)

東宝株式会社製作

月旅行があなたのものに!



地球は青かった!

スーパー 8 カラー●(55m=9分)
光学録音(カセットテープ付き)

¥9,800(千共)



人類月に立つ!

スーパー 8 カラー●(55m=9分)
光学録音(カセットテープ付き)

¥9,800(千共)

お申し込み方法

★別紙に左の用紙の要領で代金と共に現金書留でお送り下さい。
但し、レコードの場合は送料550円(何枚でも可)加算してお送り下さい。
くわしくは、お電話にてお問合せ下さい。

★カタログご希望の方は、商品名と年令を書いてお申し込みください。

申し込み先

〒104 東京都中央区築地1-3-4 築地警察裏

ヤングショップ・ツクダ

☎03(543)2733

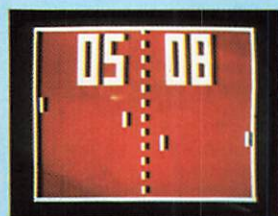
UFO係

★★★★ レコード・8ミリ映画申込書例 ★★★★★

商品名	レコード番号	8ミリ題名		
住所：〒				
氏名：	年令	才	電話	
保護者氏名：	(印)	(20才未満の方は、保護者の氏名捺印をお願いします。)		
送金合計金額	円	個	UFO係	

新発売

衝撃のカラービデオゲーム
信頼の MOP 8×30を従えて
熱い期待の中を遂に登場



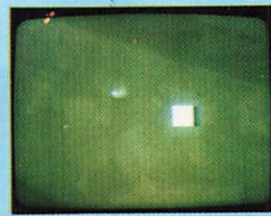
テニス
2人ゲーム
4人ゲーム



スカッシュ
1人
2人



サッカー
2人
4人



ライフル I、II
1名



コメット8000

ライフル銃 ACアダプター
切換スイッチ含む

新発売

特別価格 ¥19,800

送料 ¥1,200

MOP 8×30



定価 11,500円

カスタムマイクロコンピュータ搭載(MOS7600)
ビデオゲームマシン/MODEL COMET 8000

今コメット8,000をお求めになれば
← MOP8×30がもらえます。

ご注文方法

広告価格はすべて現金価格です。ご注文の場合は品名・住所
電話番号・氏名を明記し、現金書留でお申し込みください。

お求めは……



(株)インターナショナル・サイエンティフィック (旧社名株インテル)

〒193 東京都八王子市小比企町2957-9 ☎0426(25) 7941

新発売!!

●無料でご覧になれます

温度計+湿度計+気圧計

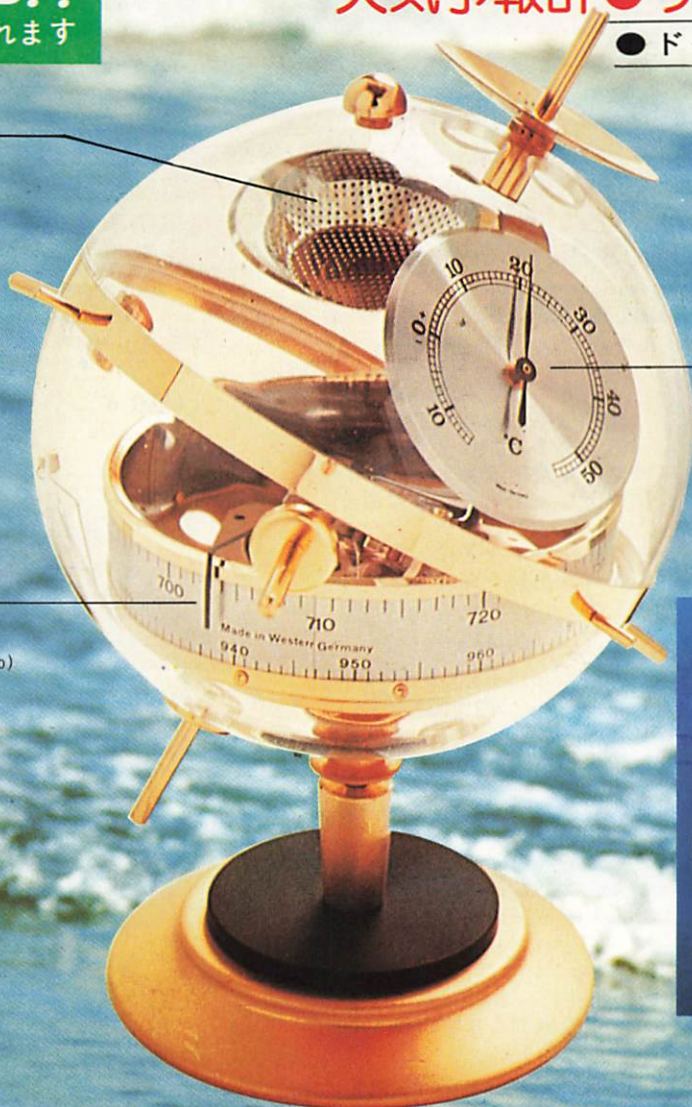
天気予報計●サテライト・3

●ドイツ製、直輸入品

●湿度計
(20%~100%)

●温度計
(-15°C~+55°C)

●気圧計
(700mb~1060mb)



球体直径 130mm
高さ 205mm
重量 610g

晴れ、のち曇り、一時雨—?

天気予報に最も大きな関係があるのは、気圧の高低ではなく、気圧が上昇中(快方に向う)なのか、下降中(下り坂)なのかということです。欧米ではウェザー・バロメーター(天気予報計)が一般の会社や家庭に広く普及しています。しかし、我が国ではあまり普及していません。公害や天気不順の折から現代人は、毎日の天候…温度や湿度、気圧に適應する、健康管理を、ひいては生活設計をしなくてはなりません。このドイツ生まれの“サテライト・3”は、気圧計・温度計・湿度計の3つの精密機器が、コンパクトに収まり、そのうえ、洋風にも和風にも調和する豪華で美しい室内装飾品にもなります。また、お子様の科学の勉強に、興味をひく面白い天気観測器は、机や書斎の上に飾るインテリア・アクセサリに最適です。なお、ご結婚や新築のお祝い、ご入学・卒業などの贈り物に実生活に役立つ天気予報計“サテライト・3”はぴったりです。

申込先 社団法人 日本試験協会 事業委員会
フェーマースアートギャラリー 企画部

●手にとって無料でご覧になれます!!

「天気予報計“サテライト・3”」を手にとって無料でご覧になれます。もし、ご満足できないようでしたら、現品受取後、5日間以内にご返送ください。この場合、何らの購入義務もありません。お気に入りましたら、そのままご購入ください。

●月づき3,000円×6回払いでOK

いま、お申込みの方は奉仕価格⇒月づき3,000円×6回払いでお求めいただけます。(一括払いの場合は16,800円) しかも現品先送り、代金は後払いで結構です。

ご希望の方は右記の申込書を切り取り、住所・氏名・支払方法を明記し、印を押して当社(東京か大阪)へお送りください。なお現品をご覧になってご不満の場合は、現品受取後5日間以内に返送ください。この場合、何らの購入義務もありませんので安心して申込みください。

〒556 大阪市浪速区大国町1の121の8 ☎(06)649-5508
〒170 東京都豊島区駒込1の34の8 ☎(03)945-2810

“サテライト・3” 価格表

●現金価格 16,800円 (一括払いの場合のみ)	●割賦価格 18,000円 分割払金 3,000円 支払回数 6回 支払期間 6ヵ月
------------------------------	---

●梱包送料当社負担 ●製品保障

今、スグ切り取ってポストへ!!

●下記の申込書に記入し捺印の上、封筒に入れてお送りください。

“サテライト・3”購入申込書

■天気予報計“サテライト・3”を購入申込みます。現品到着後に下記の方法で必ず送金します。
●支払方法(○印をしてください)

1. 月づき 3,000円×6回払い
2. 一括払い 16,800円

●現品に不満の場合は現品受取後5日間以内に返送し、この場合、購入義務は一切ありません。

おなまえ	捺印	年令	TEL
	Ⓜ	才	

おところ(郵便番号)

(様方)

保護者名(18才未満の方は保護者の印が必要)	捺印
	Ⓜ

UFO-1

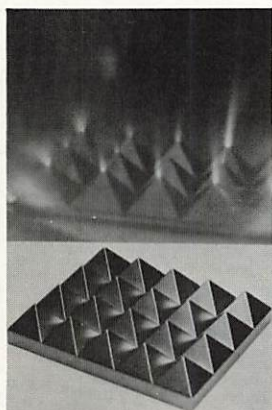
△ ピラミッド製品発売中!! △

——— ピラミッド・エネルギーをあなたのものに! ———

ピラミッド・エネルギーの発見以来、この力を実用化しようと数々の研究が行なわれてきたが、ついにアメリカのパット・フラナガン博士を中心とするピラミッド・プロダクツ社の研究員達によって“ピラミッド・エネルギー発生器”の開発に成功した。そして次々に新製品が開発された。以下は当社が自信をもって皆様におすすめするピラミッド製品(アメリカ製)の数々である。

エネルギー発生器

(ピラミッド・エネルギー・ジェネレーター)



ジェネレーターとエネルギーの発生している瞬間。
(キルリアン写真による)

多方向磁場内蔵の結果南北の磁軸に合わせる必要がありません。ピラミッド模型より数倍のエネルギーが発生します。この上に置くだけで、コーヒー、タバコは味がマイルドに、食物は新鮮さを長く保つようになります。

●ポケットサイズ (3×5インチ) ¥3,200(送料共)

●ミディアムサイズ (4×5インチ) ¥4,150(送料共)

エネルギー放射板

(ピラミッド・エネルギー・プレート)

ピラミッド・エネルギー(18ヵ月分)が注入してある特殊なアルミ板で、ジェネレーターと同じ働きをします。一週間に一度12時間、ジェネレーターの上に置くだけで100%エネルギーを放射します。枕の下に置けばこちよい睡眠ができます。

●ポケットサイズ (3×5インチ) ¥1,650(送料共)
●ミディアムサイズ (4×5インチ) ¥1,950(送料共)
●キングサイズ (8×10インチ) ¥3,500(送料共)

アクセサリ

(ピラミッド・メダル)



●ピラミッド・メダル (男性用) ¥3,950(送料共)
●ピラミッド・ペンダント (女性用) ¥3,150(送料共)

エネルギーをよく吸収し、放射しやすい特殊合金でできています。一晩ジェネレーターの上に置いて体に付けると、あなたに宇宙生体エネルギーを補給することができます。

ピラミッド・テント

(モジュール・ピラミッドテント一式)

(組立式)

¥22,600(送料共)



ギゼーの大ピラミッドを正確に縮小し、ピラミッド・エネルギーで処理した特殊アルミ管製。ワンタッチで開くと四角錐の表面にエネルギー・スクリーンができ、方位を合わせると中にエネルギー場が出現する。植物の発育や、深い瞑想、安眠に役立ち、あなたの宇宙生体エネルギーを強化させます。

ピラミッド振子

(ペンデュラム)

ピラミッド・エネルギー振子を使うと潜在意識が呼びさまされ、振子が四通りの動きをすることによって様々な問題の解答が得られます。

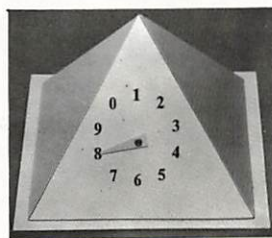
¥2,650(送料共)



パワーダイヤル

あなたの潜在能力を強化し肯定的な希望を実現に導く働きをします。1~10までのある一つの数があなたの自己数になりますが、その数をセットして目的実現のため、ピラミッドに向かって潜在意識に呼びかけるのです。

¥1,850(送料共)



ピラミッド・レプリカ

¥2,450(送料共)

底辺13インチ、高さ8インチのアルミ貼り厚紙製ピラミッド。

ピラミッド・エネルギー研究セット

¥1,700(送料共)

パット・フラナガン著「ピラミッドと宇宙生体エネルギーとの関連」とコンパス、高さ4インチ、底辺6インチの厚紙丸窓付ピラミッド模型3個がセットになっています。実験に最適です。

(上記の商品は全てアメリカのピラミッド・プロダクツ社の製品で、それぞれ詳しい日本語の説明書が付いています。)

(総輸入元)
マンカインド株式会社

(〒150) 東京都渋谷区宇田川町12-3 ニュー渋谷コーポラス1104
TEL. 03-464-8075

●ご注文は現金書留か郵便振替(東京4-21690)に商品名を明記して当社までお申し込み下さい。カタログ請求の場合は50円切手を同封して下さい。

35mm一眼レフ用

135mm
¥13,000

35mm
¥12,000

2倍テレコンバーター

¥7,000~¥8,800

交換レンズのカatalog希望の方はカメラ名を書いてハガキで申し込み下さい

●リライアンス交換レンズ仕様 (プリセット絞り・絞込測光・マウント交換式)

品番	LP135	LP200	LP300	LP400	LP500	WP35
焦点距離	135mm	200mm	300mm	400mm	500mm	35mm
明るさ	F:2.8	F:4.5	F:5.6	F:6.3	8	F:2.8
レンズ構成(群/枚)	4/4	3/4	3/4	3/4	3/4	5/6
全長・重量	80・340	140・420	230・550	315・700	410・790	52・150
価格	¥13,000	¥14,000	¥18,000	¥21,000	¥24,000	¥12,000
付属品	フード・マウント・ケース					マウント・ケース

●価格は付属品を含んだ価格です。35mm一眼レフ専用

マルチコート2倍テレコンバーター

標準レンズ50mmに付けば100mm、200mmなら400mmの2倍の望遠レンズになります。アサヒペンタックスSシリーズ用¥7,000(フジカ・ミヤリコーヤシカにも使用可能)・キヤノン用¥8,500・ミノルタ用¥8,000・オリンパスOM用¥8,500・ニコン・ニコマート用¥8,500・コニカ(新)用¥8,800・アサヒペンタックスM・Kシリーズ用¥8,500。(アサヒペンタックス用のみ自動絞、絞込測光) 他は自動絞、開放測光、AE運動は絞優先カメラのみ可能。

ものすごいやつが現れた!!

この性能 この機能 この低価格

月々分割でお求めになれます
現金価格 ¥14,800
分割払価格 ¥15,800
初回金 ¥6,800
¥4,500
×2回



- もっと大きく写したい時... ワンタッチで望遠レンズに切換えわずか0.5秒、同時にファインダーも切換ります。ぐーんと引つける望遠レンズの迫力!
- 暗い室内や夜間でもかんたんです... めんどうなフラッシュ球の交換の必要ないストロボ内蔵です。(単3乾電池2本使用)
- ピント調節の必要ありません... レンズの焦点深度が深い1mから無限大までピントが合います。
- カラー写真も白黒写真も鮮明に写せます... 軽く作動し、シャッターブレの無いメカニカル定速シャッターです。
- 軽量コンパクト・わずか205g... ポケットに入れて、抜き打ち速写OK、チャンスを逃がしません。
- フィルム装てはかんたん... フィルムカートリッジを入れてノブを押すだけ、フィルムは市販のポケットカメラ用フィルム使用

標準レンズ内ワンタッチ
望遠レンズ蔵切換式
ストロボフラッシュ内蔵の
ポケットカメラ ¥14,800

- (仕様) ★使用フィルム・ポケットカメラ用フィルム13×17mm
★レンズ固定焦点 標準25mm F9.5 望遠40mm F11
★シャッター 1/125秒メカニカルシャッター
★ストロボ ガイドナンバー16
★大きさ 59mm×30mm×165mm

今ご注文の方に 特急プレゼント

コダックカラーフィルム
ストロボ用乾電池進呈!
ソフトケース・ストラップ付



35mmフィルム現像と7×10cm判への引伸しが かんたんにできる カラーフォトセット

- ★わずか¥8,800で楽しめるカラー現像セットです
- ★フィルム現像、引伸し現像の両方ができるので秘密の写真もOK!
- ★むずかしいフィルム現像も明るい所でかんたんに出来ます
- ★カラー写真も白黒写真もお好み次第に、7×10cmに引伸し出来ます
- ★現像液・印画紙等は後日追加購入が出来ます

カラーフォトセット ¥8,800 (白黒用7点セットは¥5,500)

だれにでもかんたんに出来る (ごらんに成ってご不満の場合は5日以内に返品下さい)

- 【カラーフォトセット内容】
①フォトプリンター 引伸しレンズ2枚構成 ②カラーフィルム現像液 ③カラーフィルム定着液 ④現像液バット ⑤カラー印画紙12枚 7×10cm判 ⑥カラー引伸用フィルム7枚 ⑦白黒フィルム用現像剤セット ⑧白黒引伸用現像剤セット ⑨ネガバサミ(ガラス) ⑩フィルム現像ビン10本 ⑪計量カップ ⑫赤色シート (説明書付)

■ご注文は電話又はハガキで! 東京03(850)6110・(859)1331 (全品送料無料) 営業時間 午前10時~12時 午後1時~5時・日曜、祭日は休業

ハガキのうら
氏住所
年令・電話
必要印
お申込みハガキ
品名
郵便番号
〒121
スリーピーチ
UFO係
20円
東京都足立区
平野3-7-17
17

カラー・白黒



みとの印の無い物は無効

121 東京都足立区平野3-7-17
(株)スリーピーチ UFO係
東京03(850)6110・(859)1331

アメリカ、カナダで今、爆発的人気!!

バイオフィードバック

《GSR-1で時代を先取りしよう》

GSR-1
ジー エス アール ワン



高級天然木（クルミ）使用
長さ10cm 巾6.2cm 高さ3cm 重さ100g

定価 ¥30,000（送料共）練習用カセットテープ説明書付 1年保証

●受験生、経営者、タレント、
プロスポーツ選手、管理職、
サラリーマン、OL、教師、医師…全ての方々

●GSR-1バイオフィードバックは何に有効か？

GSR-1は「健全な心」を自分で作り、それを保つためのモニターと云えます。ですからGSR-1は「心の鏡」とも云われます。毎日「心」を鏡に映して、具合が悪ければ、自分でメークアップして「美しい心」にしましょう。

1. ストレスを追いはい、リラックスできます。

精神的なイライラやストレスを自分自身で、GSR-1を使いながら追いはい、ゆったりとリラックスした快感を味わうことができます。今までにない幸福感すら味わえるようになります。

2. 精神統一が上手になり集中力が養えます。

毎日GSR-1の練習を続けると、集中力が高まります。受験生などはイライラすることなく勉強に集中できるようになりますし、野球の選手などは、バッテリーボックスで打つ球に集中できるようになります。

3. 深い瞑想に入れます。

GSR-1の練習を積みまると、禅やヨガで得られる瞑想に早く入ることが出来ます。

4. 赤面、対人恐怖の不安を克服でき、あがりなくなります。

GSR-1に習熟すると、いたづらに不安を感じたり人前でドキドキしたり、顔が赤くなったりすることが、次第に少なくなつてゆきます。自分自身に今までよりもっと自信がもてるようになります。

5. ピンチに強くなります。

野球の投手はピンチを迎えても今迄とちがうはずで、ゴルフの選手もこゝ一番に強くなります。受験生も本番で強くなるはずで、すぐカーッとしたり、イライラする性格が改善されてゆくからです。

6. ESP能力が増します。

ヨガ瞑想者や禅瞑想者は、通常普通の人が出しているβ波とちがうα波と云う脳波を出すと言われます。GSR-1で精神統一をするとα波が出るようになり、この訓練を続けるとESP能力が増すと云われます。

リラックスする方法は2、3日で習得でき、その日から効果が出ますが、他は3～6ヶ月以上の練習が必要です。

アメリカでは「21世紀はバイオフィードバックなしには考えられない。」と云われているほどです。GSR-1でストレスを追い出すことを覚え、タフな精神を養い、平和で豊かな心で人生を快適なものにしましょう。

問合せ、カタログ請求は下記へ。

●使用方法・効果については詳しい説明書とガイド・カセット・テープがついています。

お申込みは、氏名、住所、年令明記捺印の上、代金は現金書留又は郵便振替（東京・4-8703）でポラックス(株)へお願い致します。現品急送します。雑誌 8945-1

輸入総発売元



ポラックス株式会社U係

東京都中央区日本橋小舟町2-7 ☎ 666-0511(代) 〒103

製造元



THOUGHT TECHNOLOGY LTD.
CANADA